

小田原市立小中学校の教育環境に関するアンケート

報告書

令和5年(2023年)12月

小田原市新しい学校づくり検討委員会

目次

1.調査概要	1
2.調査結果	
・回答者について	5
・学校全般について	10
・学級の人数・学級数について	15
・通学・学区について	60
・学校と地域との関わりについて	76
・教育環境・学校施設について	82
・「新しい学校づくり」に対するご意見	117
質問用紙(保護者)	121
質問用紙(教職員)	124
質問用紙(地域関係者)	128

調査概要

(1)調査概要

- 調査対象
 - 保護者 :市立小学校3・4年生 市立中学校2年生の保護者
 - 教職員 :市立小中学校の教職員
 - 地域関係者:学校運営協議会委員・学校評議員

- 調査期間
 - 保護者・教職員:令和4年(2022年)7月15日(月)~8月22日(月)
 - 地域関係者 :オンライン調査・紙の調査票の選択制

- 調査方法
 - 保護者・教職員:オンライン調査(希望者は紙の調査票により回答)
 - 地域関係者 :オンライン調査・紙の調査票の選択制

- 回収状況

	配布数	回収数			回収率
		郵送	オンライン	計	
保護者	4,237	-	2,239	2,239	52.8%
教職員	916	7	645	652	71.2%
地域関係者	311	133	86	219	70.4%

(2)調査の設問項目

	保護者	教職員	地域 関係者
回答者について			
お子様の学年・通学している学校等	問3 問4 問5		
勤務または所属している学校等		問2 問3	問3 問4
役職・勤務年数等		問4 問5	
通常学級数が11学級以下の学校に勤務した経験		問6	
学校全般について			
これからの学校教育で重視して欲しいこと	問6	問7	問5
学級数等について			
お子様が所属する学年と学級の人数	問7 問8		
現在の学級や学年の状況	問9		
1学級あたりの望ましい人数とその理由	問10 問11	問8・10 問9・11	問6 問7
1学年あたりの望ましい学級数とその理由	問12 問13	問12 問13	問8 問9
通学・学区について			
現在の通学時間・通学手段	問14 問15		
望ましい通学時間の許容範囲と通学するための配慮	問16 問17	問14 問15	問10 問11
学区の見直しをする場合に重要と考える事項	問18	問16	問12
学校と地域との関わりについて			
地域連携の取組の中で、力を入れていきたい/重要と思うもの		問17	問13
地域に学校がこれまで果たしてきた役割と期待する役割			問14 問15
教育環境・学校施設について			
これからの学校施設に期待する機能	問19	問18	問16
これからの学校施設に必要と思うもの		問19	
現在の学校施設についての評価	問20 問21	問20 問21	問17 問18
学校施設と地域のつながりについて		問22	問19
学校施設にあったら良いと思われる空間・施設・設備等	問22		
学校施設に併設・隣接しているといいと思う施設			問20
学校施設に他施設が併設・隣接された場合に必要な配慮			問21
「新しい学校づくり」に対するご意見			
本市の「新しい学校づくり」に対するご意見やご要望	問23	問23	問22

※太字は概要版に掲載されている項目

(3)集計・分析方法

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比(百分率)で表現しています。
- 「n」は「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数(該当質問においては該当者数)を 100%として算出しています。
- 本文及び図表の数字に関しては、全て小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記しているため、選択肢の割合の合計が 100%にならない場合があります。
- 「教職員」、「地域関係者」のクロス集計については、分析するための分母(回答者数)が少ないため参考資料として表とグラフを記載しています。
- 自由記述の設問については、回答を「テキストマイニング」、「共起ネットワーク」という手法を用いて分析しています。

テキストマイニング :文章を単語や助詞などの文節で区切り、単語の出現頻度や重要度(調査対象の文章のみ出現頻度が高い場合、重要度が高くなる)などを抽出・分析する手法。

赤:動詞 例:取り組める、知り合える

青:名詞 例:教育、クラス

緑:形容詞 例:通いやすい、深まりやすい

※使用サイト:User Local AIテキストマイニング

共起ネットワーク :単語の関係性を可視化する方法で、出現頻度の高い表現や文全体の趣旨の把握に有効な手法。

※使用ソフト:KH Coder 3

回答者について

○お子様の学年・通学している学校等

【保護者】問3：お子様の学年

	回答数	割合
小学校3年生	740	33.1%
小学校4年生	782	34.9%
中学校2年生	650	29.0%
特別支援学級(小学校)	52	2.3%
特別支援学級(中学校)	15	0.7%
計	2,239	100.0%

【保護者】問4：お子様が通学している学校

小学校

	回答数	割合
三の丸	121	7.7%
新玉	46	2.9%
足柄	87	5.5%
芦子	105	6.7%
大窪	32	2.0%
早川	25	1.6%
山王	28	1.8%
久野	52	3.3%
富水	78	5.0%
町田	48	3.0%
下府中	68	4.3%
桜井	84	5.3%
千代	86	5.5%
下曽我	31	2.0%
国府津	87	5.5%
酒匂	51	3.2%
片浦	12	0.8%
曾我	23	1.5%
東富水	91	5.8%
前羽	30	1.9%
下中	39	2.5%
矢作	106	6.7%
報徳	69	4.4%
豊川	95	6.0%
富士見	80	5.1%
計	1,574	100.0%

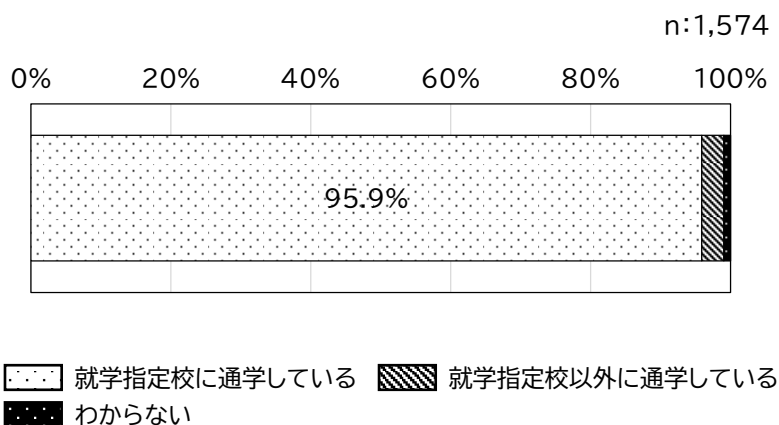
中学校

	回答数	割合
城山	34	5.1%
白鷗	46	6.9%
白山	94	14.1%
城南	33	5.0%
鴨宮	86	12.9%
千代	69	10.4%
国府津	40	6.0%
酒匂	68	10.2%
泉	90	13.5%
橘	23	3.5%
城北	82	12.3%
計	665	100.0%

【保護者】問5:お子様の就学指定校について

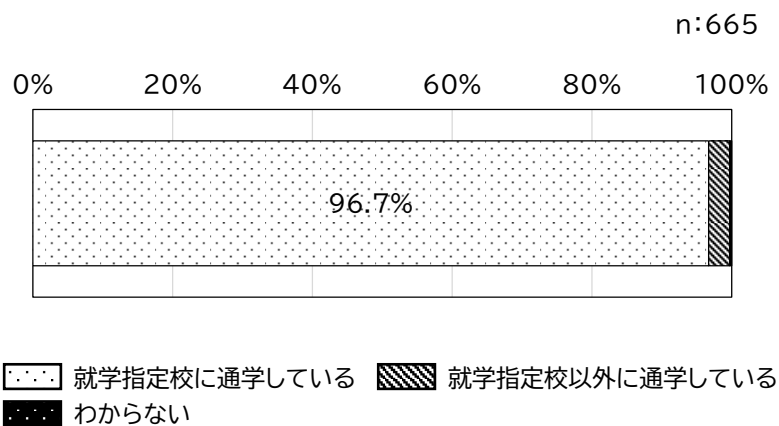
小学校

	回答数	割合
就学指定校に通学している	1,509	95.9%
就学指定校以外に通学している	50	3.2%
わからない	15	1.0%
計	1,574	100.0%



中学校

	回答数	割合
就学指定校に通学している	643	96.7%
就学指定校以外に通学している	20	3.0%
わからない	2	0.3%
計	665	100.0%



○勤務している学校等

【教職員】問2:勤務している学校の校種

	回答数	割合
小学校	388	59.5%
小学校(特別支援)	22	3.4%
中学校	224	34.4%
中学校(特別支援)	18	2.8%
計	652	100.0%

【教職員】問3:勤務している小学校・中学校名

小学校

	回答数	割合
三の丸	21	5.1%
新玉	15	3.7%
足柄	23	5.6%
芦子	17	4.1%
大窪	14	3.4%
早川	9	2.2%
山王	14	3.4%
久野	14	3.4%
富水	23	5.6%
町田	20	4.9%
下府中	26	6.3%
桜井	7	1.7%
千代	24	5.9%
下曾我	9	2.2%
国府津	7	1.7%
酒匂	14	3.4%
片浦	13	3.2%
曾我	11	2.7%
東富水	24	5.9%
前羽	14	3.4%
下中	18	4.4%
矢作	23	5.6%
報徳	14	3.4%
豊川	26	6.3%
富士見	10	2.4%
計	410	100.0%

中学校

	回答数	割合
城山	20	8.3%
白鷗	14	5.8%
白山	30	12.4%
城南	17	7.0%
鴨宮	13	5.4%
千代	24	9.9%
国府津	20	8.3%
酒匂	29	12.0%
泉	31	12.8%
橘	21	8.7%
城北	23	9.5%
計	242	100.0%

○役職・勤務年数等

【教職員】問4：役職等

小学校

	回答数	割合
校長	25	6.1%
教頭	24	5.9%
教務主任	20	4.9%
学年主任	73	17.8%
担任	177	43.2%
上記以外の総括教諭、または教諭	40	9.8%
養護教諭	17	4.1%
栄養士	12	2.9%
事務職員	19	4.6%
その他	3	0.7%
計	410	100.0%

中学校

	回答数	割合
校長	9	3.7%
教頭	11	4.5%
教務主任	10	4.1%
学年主任	26	10.7%
担任	119	49.2%
上記以外の総括教諭、または教諭	49	20.2%
養護教諭	9	3.7%
栄養士	0	0.0%
事務職員	7	2.9%
その他	2	0.8%
計	242	100.0%

「その他(自由記述)」

非常勤講師
特別支援

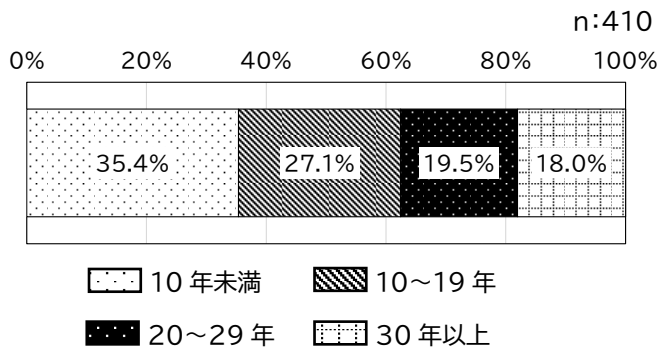
「その他(自由記述)」

副担任
非常勤講師

【教職員】問5：教職経験年数または勤務年数

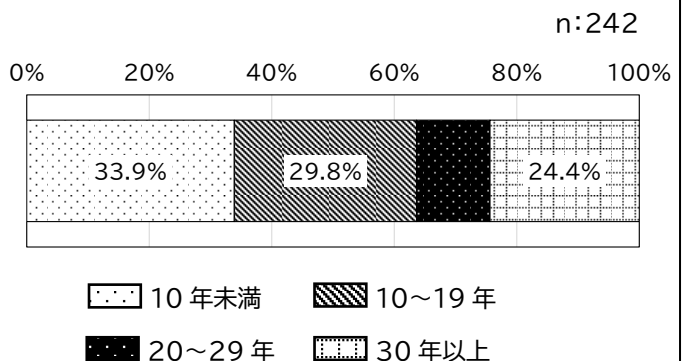
小学校

	回答数	割合
10年未満	145	35.4%
10～19年	111	27.1%
20～29年	80	19.5%
30年以上	74	18.0%
計	410	100.0%



中学校

	回答数	割合
10年未満	82	33.9%
10～19年	72	29.8%
20～29年	29	12.0%
30年以上	59	24.4%
計	242	100.0%

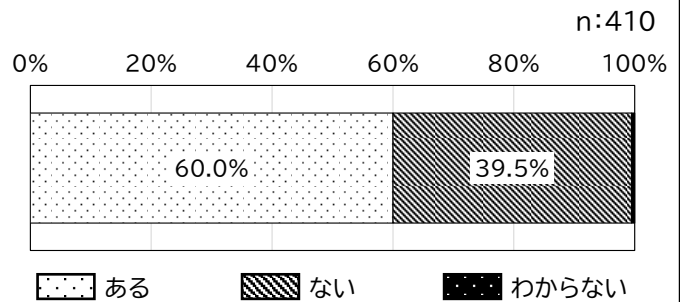


○通常学級が 11 学級以下の学校に勤務した経験

【教職員】問6:通常学級数が 11 学級以下の学校に勤務した経験

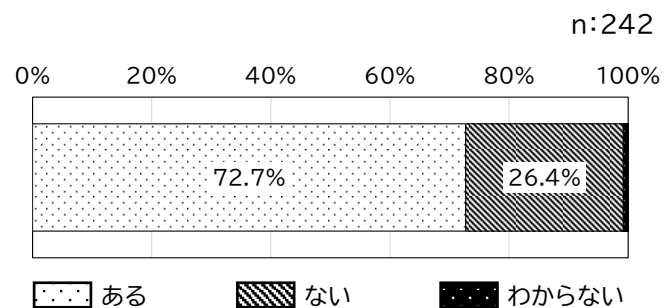
小学校

	回答数	割合
ある	246	60.0%
ない	162	39.5%
わからない	2	0.5%
計	410	100.0%



中学校

	回答数	割合
ある	176	72.7%
ない	64	26.4%
わからない	2	0.8%
計	242	100.0%



○所属している学校等

【地域関係者】問3:所属している学校運営協議会・学校評議員の校種

	回答数	割合
小学校	161	73.5%
中学校	58	26.5%
計	219	100.0%

【地域関係者】問4:所属している学校名

小学校

	回答数	割合
三の丸	6	3.7%
新玉	8	5.0%
足柄	9	5.6%
芦子	6	3.7%
大窪	7	4.3%
早川	6	3.7%
山王	7	4.3%
久野	3	1.9%
富水	8	5.0%
町田	5	3.1%
下府中	4	2.5%
桜井	6	3.7%
千代	5	3.1%
下曾我	9	5.6%
国府津	4	2.5%
酒匂	7	4.3%
片浦	6	3.7%
曾我	8	5.0%
東富水	6	3.7%
前羽	6	3.7%
下中	4	2.5%
矢作	8	5.0%
報徳	10	6.2%
豊川	7	4.3%
富士見	6	3.7%
計	161	100.0%

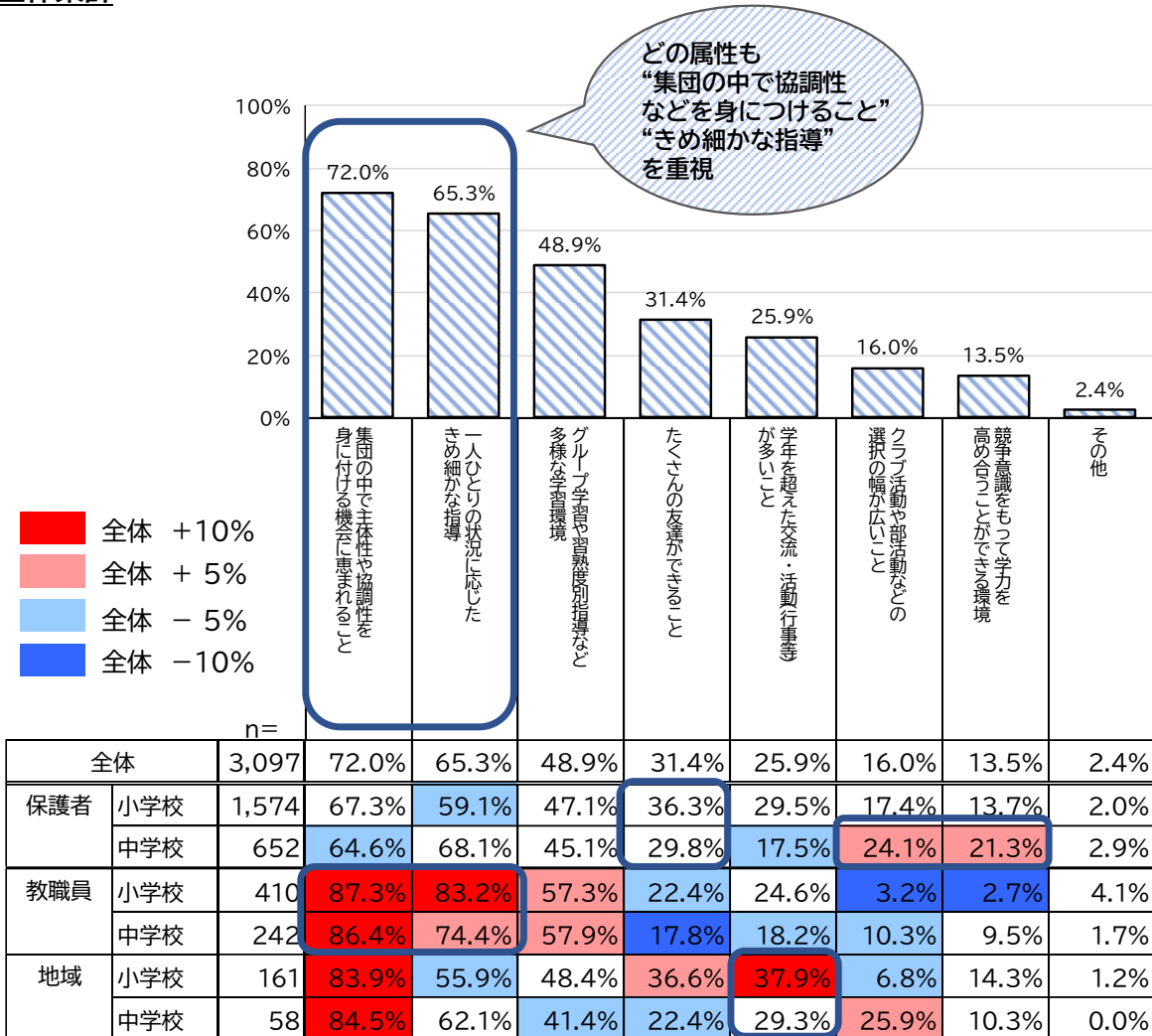
中学校

	回答数	割合
城山	6	10.3%
白鷗	4	6.9%
白山	5	8.6%
城南	7	12.1%
鴨宮	6	10.3%
千代	4	6.9%
国府津	4	6.9%
酒匂	6	10.3%
泉	7	12.1%
橘	4	6.9%
城北	5	8.6%
計	58	100.0%

学校全般について

○これからの学校教育で重視して欲しいこと ※3 つまで選択

全体集計



保護者と教職員
で重視する度合
いが異なる

- 保護者は“たくさんの友達ができる”“部活動”などを重視している。
- 教職員は“協調性”や“きめ細かな指導”を重視している。
- 地域は“学年を超えた交流”などを重視している。

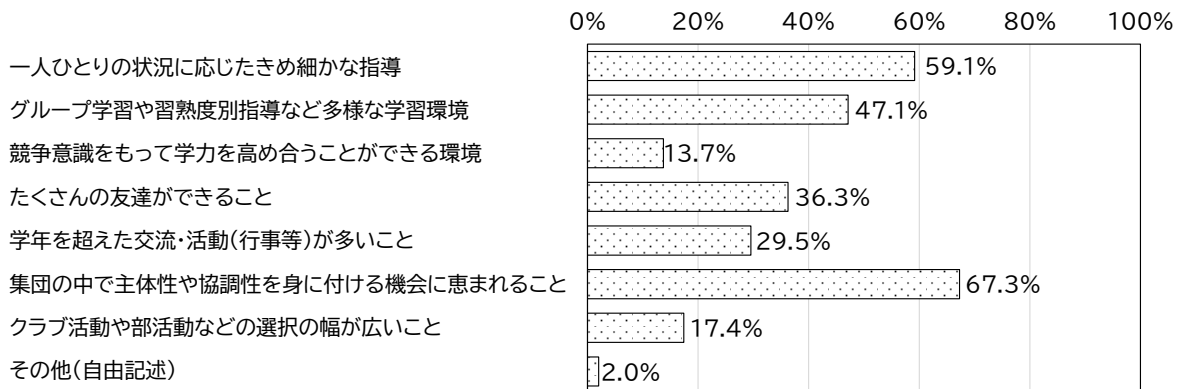
- 全体では、「集団の中で主体性や協調性を身に付ける機会に恵まれること」、「一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導」の順で高い割合。
- 教職員は、全体と比較して「たくさんの友達ができること」、「クラブ活動や部活動などの選択の幅が広いこと」、「競争意識を持って学力を高め合うことができる環境」の割合が低い。中学校の保護者は全体と比較して、「クラブ活動や部活動などの選択の幅が広いこと」、「競争意識を持って学力を高め合うことができる環境」の割合が高くなっている。
- 地域関係者は、「学年を超えた交流・活動(行事等)が多いこと」の割合が高い。これは保護者、教職員でも小学校では重視している割合が高くなっている。

【保護者】問6:これからの学校教育で重視して欲しいこと

小学校

	回答数	割合
一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導	931	59.1%
グループ学習や習熟度別指導など多様な学習環境	742	47.1%
競争意識をもって学力を高め合うことができる環境	216	13.7%
たくさんの友達ができること	571	36.3%
学年を超えた交流・活動(行事等)が多いこと	465	29.5%
集団の中で主体性や協調性を身に付ける機会に恵まれること	1,059	67.3%
クラブ活動や部活動などの選択の幅が広いこと	274	17.4%
その他(自由記述)	32	2.0%
計	4,290	-

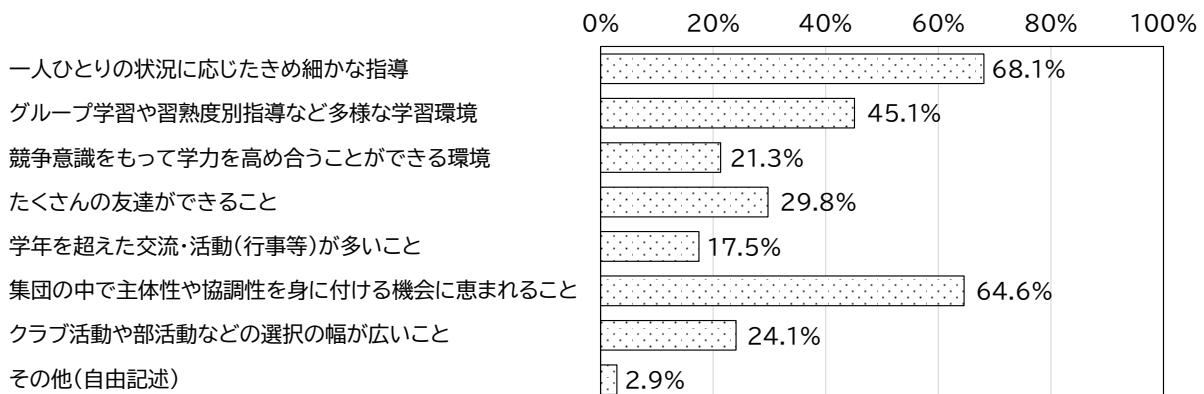
n:1,574



中学校

	回答数	割合
一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導	444	68.1%
グループ学習や習熟度別指導など多様な学習環境	294	45.1%
競争意識をもって学力を高め合うことができる環境	139	21.3%
たくさんの友達ができること	194	29.8%
学年を超えた交流・活動(行事等)が多いこと	114	17.5%
集団の中で主体性や協調性を身に付ける機会に恵まれること	421	64.6%
クラブ活動や部活動などの選択の幅が広いこと	157	24.1%
その他(自由記述)	19	2.9%
計	1,782	-

n:665



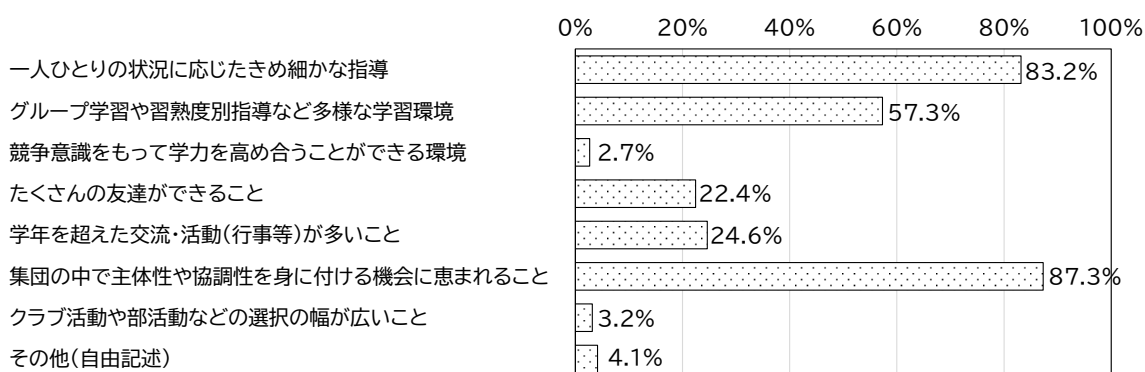
- これからの学校教育で重視することについては、小学生の保護者は、「集団の中で主体性や協調性を身に付ける機会に恵まれること」が一番高く、中学生の保護者は、「一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導」が一番高い結果となっている。

【教職員】問7:これからの学校教育で重視すること

小学校

	回答数	割合
一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導	341	83.2%
グループ学習や習熟度別指導など多様な学習環境	235	57.3%
競争意識をもって学力を高め合うことができる環境	11	2.7%
たくさんの友達ができること	92	22.4%
学年を超えた交流・活動(行事等)が多いこと	101	24.6%
集団の中で主体性や協調性を身に付ける機会に恵まれること	358	87.3%
クラブ活動や部活動などの選択の幅が広いこと	13	3.2%
その他(自由記述)	17	4.1%
計	1,168	-

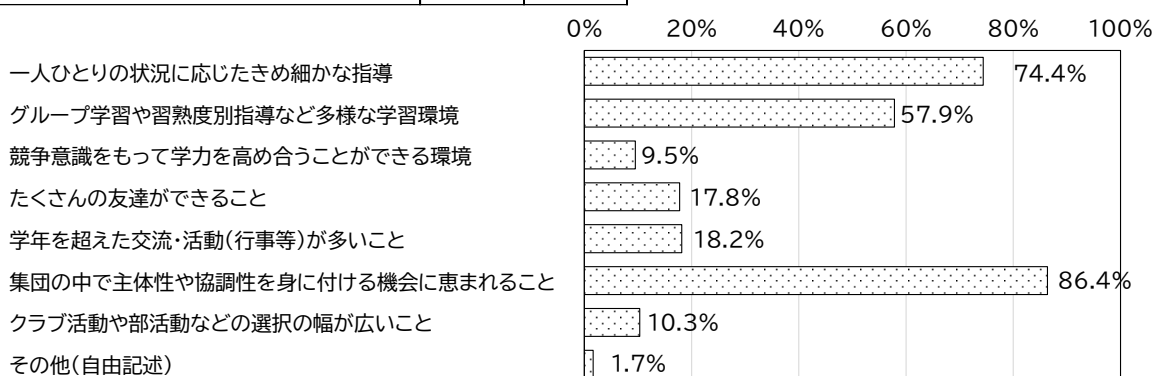
n:410



中学校

	回答数	割合
一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導	180	74.4%
グループ学習や習熟度別指導など多様な学習環境	140	57.9%
競争意識をもって学力を高め合うことができる環境	23	9.5%
たくさんの友達ができること	43	17.8%
学年を超えた交流・活動(行事等)が多いこと	44	18.2%
集団の中で主体性や協調性を身に付ける機会に恵まれること	209	86.4%
クラブ活動や部活動などの選択の幅が広いこと	25	10.3%
その他(自由記述)	4	1.7%
計	668	-

n:242



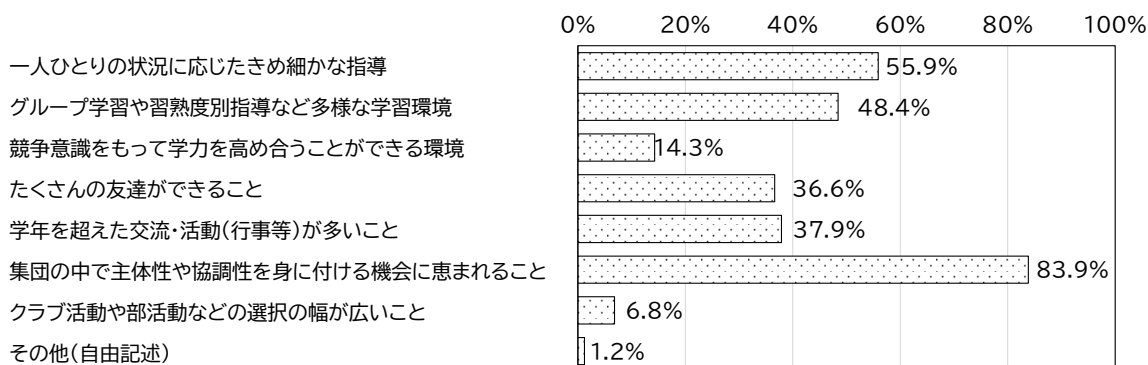
- 小学校、中学校ともに「集団の中で主体性や協調性を身に付ける機会に恵まれること」が最も高く、次いで「一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導」、「グループ学習や習熟度別指導など多様な学習状況」が高くなっている。

【地域関係者】問5:これからの学校教育で重視すること

小学校

	回答数	割合
一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導	90	55.9%
グループ学習や習熟度別指導など多様な学習環境	78	48.4%
競争意識をもって学力を高め合うことができる環境	23	14.3%
たくさんの友達ができること	59	36.6%
学年を超えた交流・活動(行事等)が多いこと	61	37.9%
集団の中で主体性や協調性を身に付ける機会に恵まれること	135	83.9%
クラブ活動や部活動などの選択の幅が広いこと	11	6.8%
その他(自由記述)	2	1.2%
計	459	-

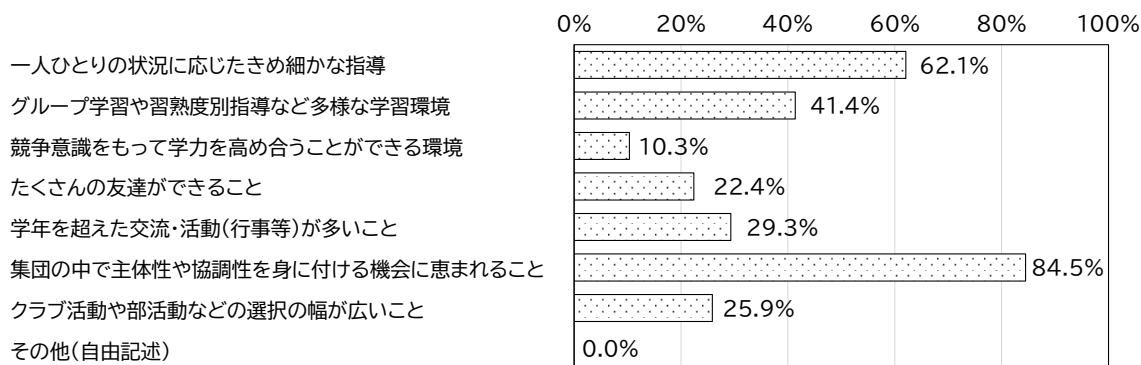
n:161



中学校

	回答数	割合
一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導	36	62.1%
グループ学習や習熟度別指導など多様な学習環境	24	41.4%
競争意識をもって学力を高め合うことができる環境	6	10.3%
たくさんの友達ができること	13	22.4%
学年を超えた交流・活動(行事等)が多いこと	17	29.3%
集団の中で主体性や協調性を身に付ける機会に恵まれること	49	84.5%
クラブ活動や部活動などの選択の幅が広いこと	15	25.9%
その他(自由記述)	0	0.0%
計	160	-

n:58



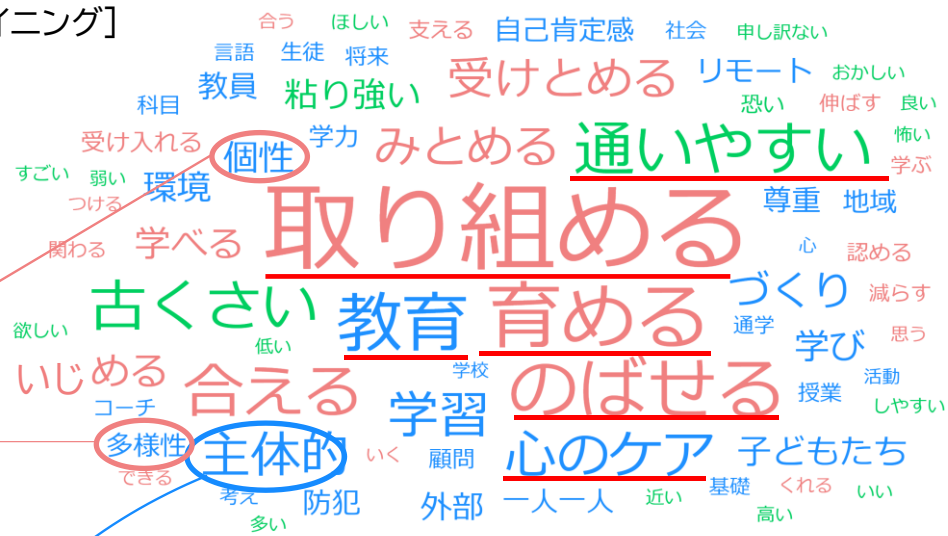
- 小学校、中学校ともに「集団の中で主体性や協調性を身に付ける機会に恵まれること」が最も高く、次いで「一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導」、「グループ学習や習熟度別指導など多様な学習状況」が高くなっている。

○これからの学校教育で重視して欲しいこと・自由意見(80件)

<主な意見> [保護者・教職員・地域関係者]

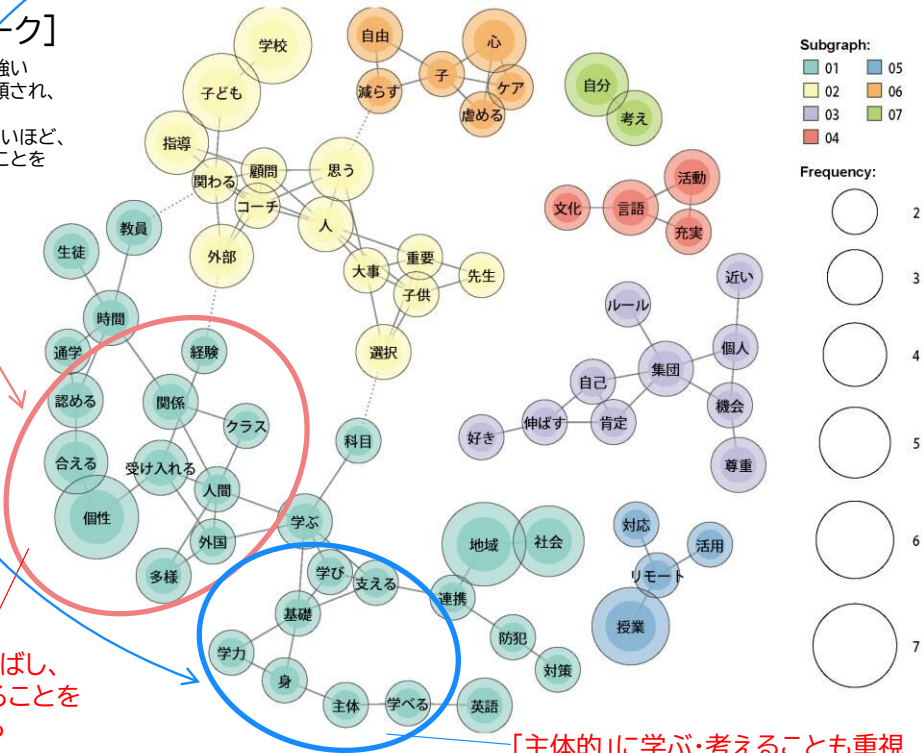
- 誰もが安心して学習に取り組めること。粘り強く取り組める環境づくり。
- 個性を認め合え、長所や好きな事を伸ばせること。自由に個性をのばせる。
- 集団に馴染ませる訓練ではなく、子ども達が自己肯定感を育めるような環境。
- 通いやすい雰囲気。
- いじめられた子の心のケアはもちろん、いじめている側の心のケア。
- 主体的に考える意欲や行動力を身につけること。
- 個性を受け入れる、画一的な価値観で評価することのない教育。
- 自分の意見をはっきり言える、また自己肯定感を伸ばす教育。
- 一方的な授業ではなく自分の考えを持って発言でき、認め合える教育。

[テキストマイニング]



[共起ネットワーク]

Subgraph: 関連性の強いワードごとに自動で分類され、色分けされたもの。
Frequency: 円が大きいほど、ワード登場回数が多いことを示している。



「個性」を認め、伸ばし、「多様性」を認めることを大切に感じている

「主体的」に学ぶ・考えることも重視

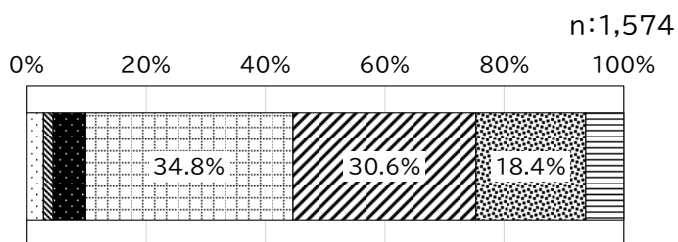
学級の数・学級数について

○お子様が所属する学年と学級の人数

【保護者】問7：お子様が所属する学級の人数

小学校

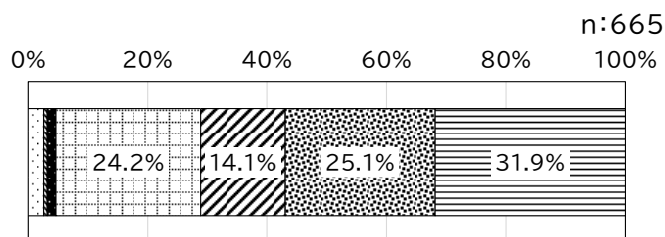
	回答数	割合
0~10人	44	2.8%
11~15人	26	1.7%
16~20人	85	5.4%
21~25人	547	34.8%
26~30人	482	30.6%
31~35人	290	18.4%
36~40人	100	6.4%
計	1,574	100.0%



0~10人
 11~15人
 16~20人
 21~25人
 26~30人
 31~35人
 36~40人

中学校

	回答数	割合
0~10人	17	2.6%
11~15人	4	0.6%
16~20人	10	1.5%
21~25人	161	24.2%
26~30人	94	14.1%
31~35人	167	25.1%
36~40人	212	31.9%
計	665	100.0%

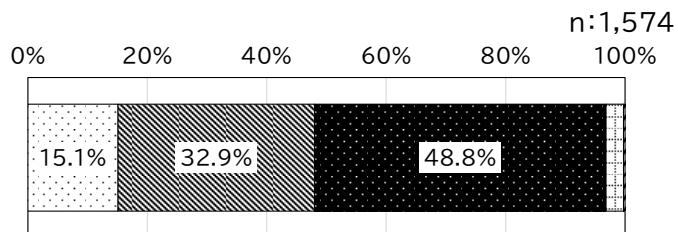


0~10人
 11~15人
 16~20人
 21~25人
 26~30人
 31~35人
 36~40人

【保護者】問8：お子様が所属する学年の学級数

小学校

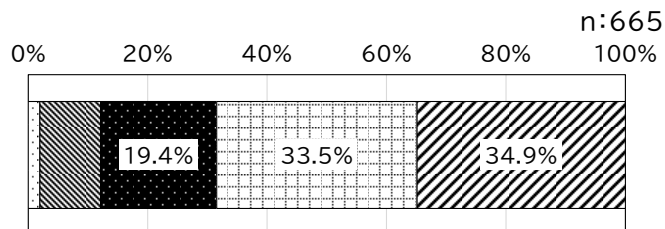
	回答数	割合
1学級	238	15.1%
2学級	518	32.9%
3学級	768	48.8%
4学級	46	2.9%
5学級	4	0.3%
計	1,574	100.0%



1学級
 2学級
 3学級
 4学級
 5学級

中学校

	回答数	割合
1学級	13	2.0%
2学級	68	10.2%
3学級	129	19.4%
4学級	223	33.5%
5学級	232	34.9%
計	665	100.0%



1学級
 2学級
 3学級
 4学級
 5学級

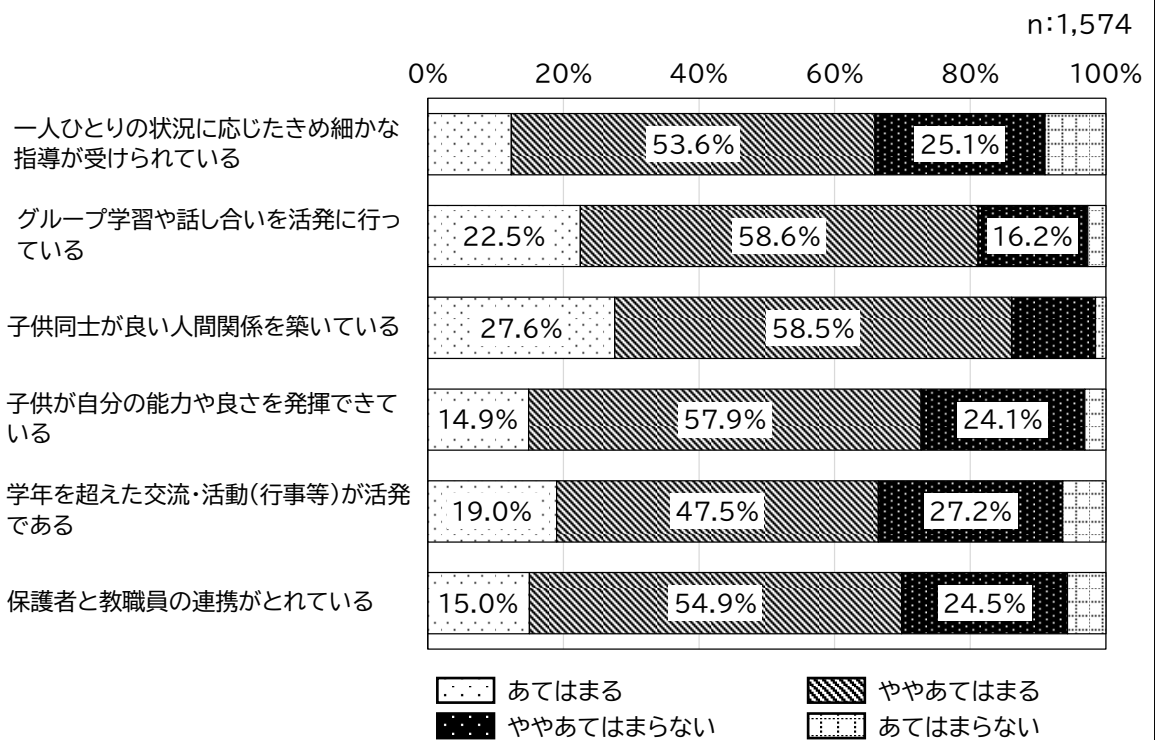
- 所属する学級の人数は、小学校は「21~25人」が最も高く、中学校は「36~40人」が最も高くなっている。
- 所属する学年の学級数は、小学校は「3学級」、「2学級」、「1学級」の順になっており、中学校は「5学級」、「4学級」、「3学級」の順となっている。

○現在の学級や学年の状況

【保護者】問9：現在の学級や学年の状況

小学校

	一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられている		グループ学習や話し合いを活発に行っている		子供同士が良い人間関係を築いている		子供が自分の能力や良さを発揮できている		学年を超えた交流・活動(行事等)が活発である		保護者と教職員の連携がとれている	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
あてはまる	194	12.3%	354	22.5%	434	27.6%	234	14.9%	299	19.0%	236	15.0%
ややあてはまる	844	53.6%	923	58.6%	921	58.5%	911	57.9%	747	47.5%	864	54.9%
ややあてはまらない	395	25.1%	255	16.2%	195	12.4%	380	24.1%	428	27.2%	385	24.5%
あてはまらない	141	9.0%	42	2.7%	24	1.5%	49	3.1%	100	6.4%	89	5.7%
計	1,574	100.0%	1,574	100.0%	1,574	100.0%	1,574	100.0%	1,574	100.0%	1,574	100.0%

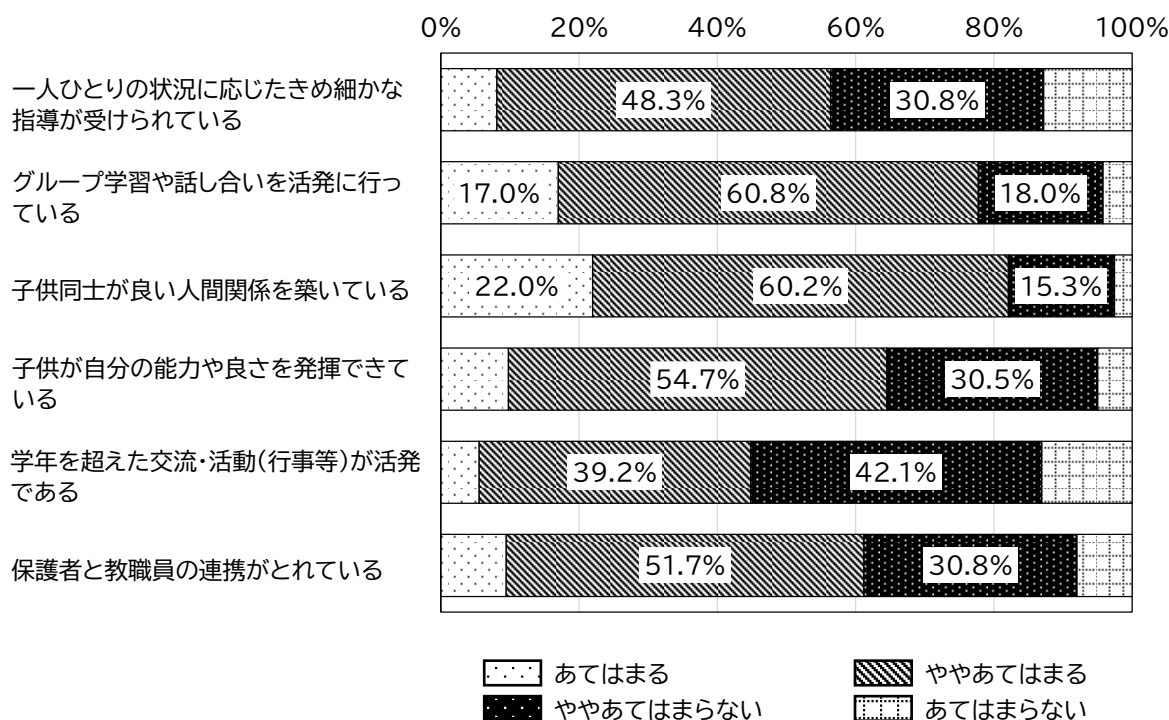


- 小学生の保護者の場合、「子供同士が良い人間関係を築いている」、「グループ学習や話し合いを活発に行っている」といったコミュニケーションに関する項目の割合が高くなっている。

中学校

	一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられている		グループ学習や話し合いを活発に行っている		子供同士が良い人間関係を築いている		子供が自分の能力や良さを発揮できている		学年を超えた交流・活動(行事等)が活発である		保護者と教職員の連携がとれている	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
あてはまる	54	8.1%	113	17.0%	146	22.0%	65	9.8%	37	5.6%	63	9.5%
ややあてはまる	321	48.3%	404	60.8%	400	60.2%	364	54.7%	261	39.2%	344	51.7%
ややあてはまらない	205	30.8%	120	18.0%	102	15.3%	203	30.5%	280	42.1%	205	30.8%
あてはまらない	85	12.8%	28	4.2%	17	2.6%	33	5.0%	87	13.1%	53	8.0%
計	665	100.0%	665	100.0%	665	100.0%	665	100.0%	665	100.0%	665	100.0%

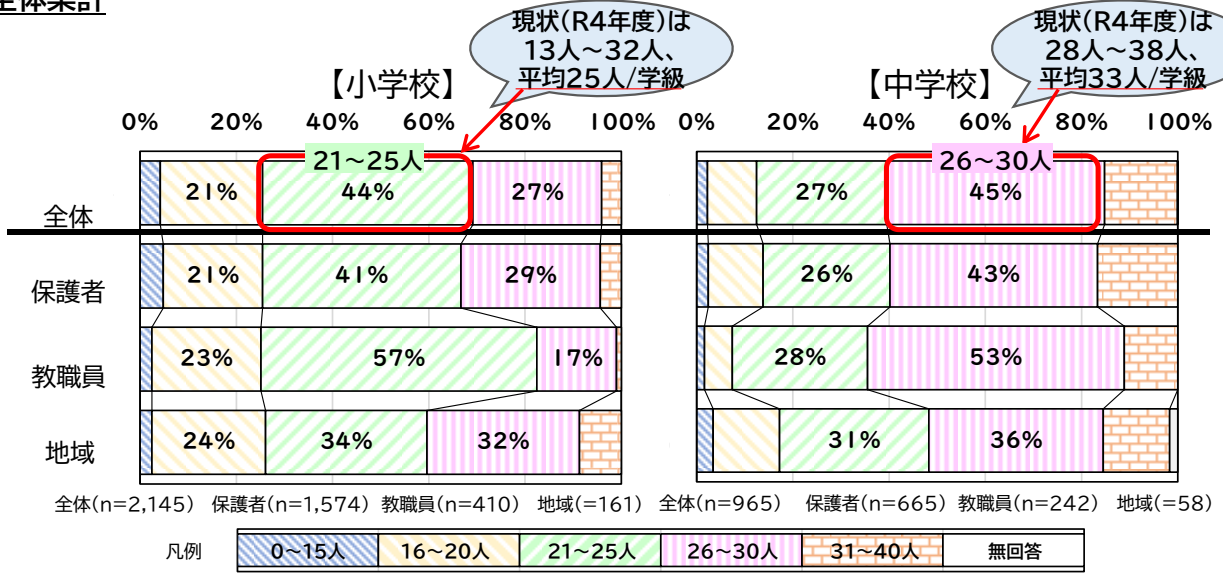
n:665



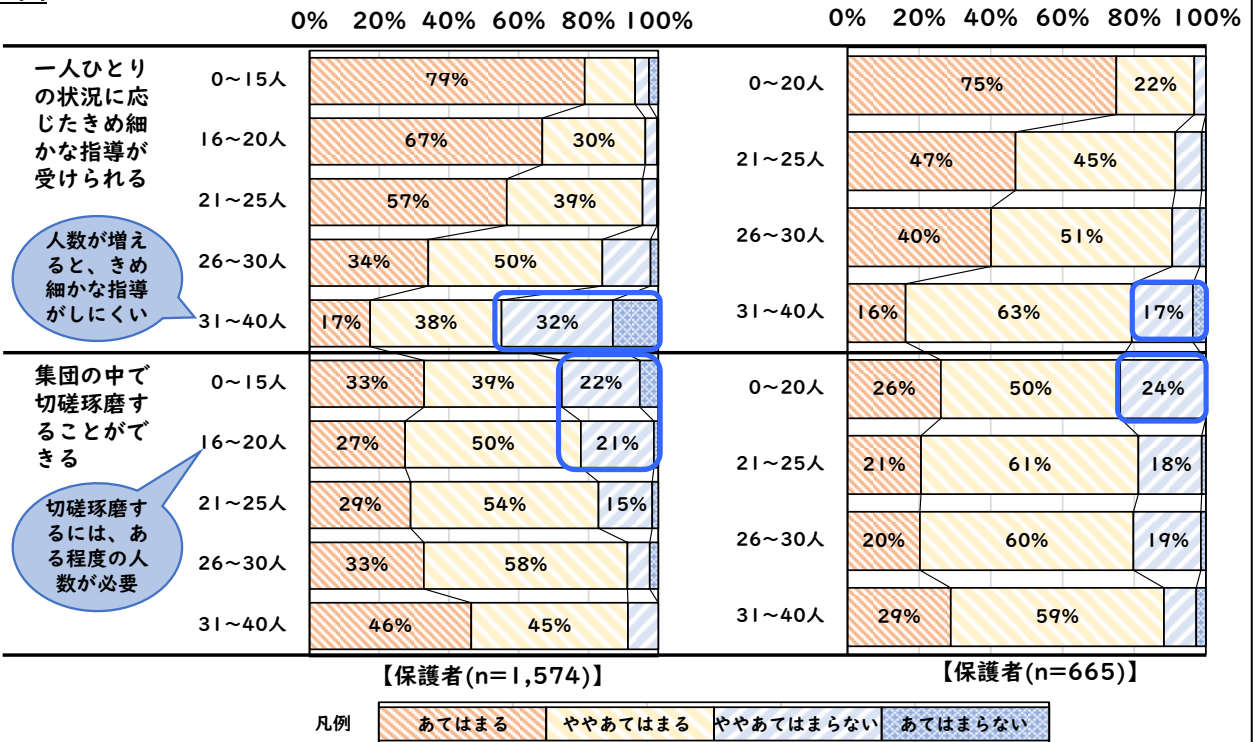
- 中学生の保護者についても、小学生と同様「子供同士が良い人間関係を築いている」、「グループ学習や話し合いを活発に行っている」が比較的高い一方、「学年を超えた交流・活動(行事等)が活発である」については、あてはまらない・ややあてはまらないと答えた割合の方が高くなる。

〇1 学級あたりの望ましい人数とその理由

全体集計



理由



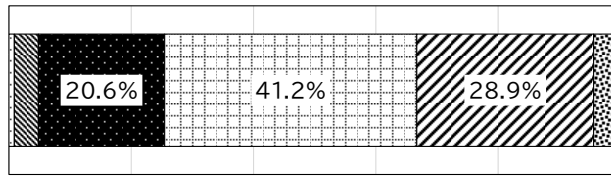
- 全体として、小学校は「21~25人」、中学校は「26~30人」と回答する割合が高い傾向。
- 主な理由として、「一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる」を選択した人は、少人数学級が望ましいと考える傾向が高く、「集団の中で切磋琢磨することができる」を選択した人は、26人以上の学級を望ましいと回答した割合が90%を超えている。

【保護者】問 10:1学級あたりの望ましい人数

小学校

	回答数	割合
0~10人	14	0.9%
11~15人	62	3.9%
16~20人	325	20.6%
21~25人	649	41.2%
26~30人	455	28.9%
31~35人	60	3.8%
36~40人	9	0.6%
計	1,574	100.0%

n:1,574
0% 20% 40% 60% 80% 100%

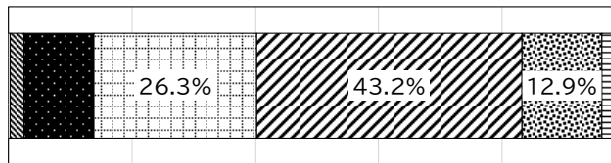


0~10人 11~15人 16~20人 21~25人
26~30人 31~35人 36~40人

中学校

	回答数	割合
0~10人	2	0.3%
11~15人	14	2.1%
16~20人	76	11.4%
21~25人	175	26.3%
26~30人	287	43.2%
31~35人	86	12.9%
36~40人	25	3.8%
計	665	100.0%

n:665
0% 20% 40% 60% 80% 100%



0~10人 11~15人 16~20人 21~25人
26~30人 31~35人 36~40人

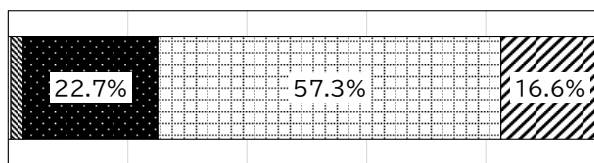
- 保護者の1学級あたりの望ましい人数は、小学生は「21~25 人」の割合が最も高く、中学校は「26~30 人」が最も高くなっている。

【教職員】問8(小学校)／問 10(中学校):1学級あたりの望ましい人数

小学校

	回答数	割合
0~10人	2	0.5%
11~15人	8	2.0%
16~20人	93	22.7%
21~25人	235	57.3%
26~30人	68	16.6%
31~35人	4	1.0%
計	410	100.0%

n:410
0% 20% 40% 60% 80% 100%

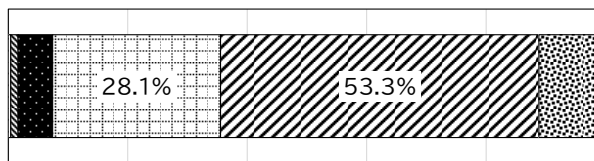


0~10人 11~15人 16~20人
21~25人 26~30人 31~35人

中学校

	回答数	割合
0~10人	1	0.4%
11~15人	3	1.2%
16~20人	14	5.8%
21~25人	68	28.1%
26~30人	129	53.3%
31~35人	25	10.3%
36~40人	2	0.8%
計	242	100.0%

n:242
0% 20% 40% 60% 80% 100%



0~10人 11~15人 16~20人 21~25人
26~30人 31~35人 36~40人

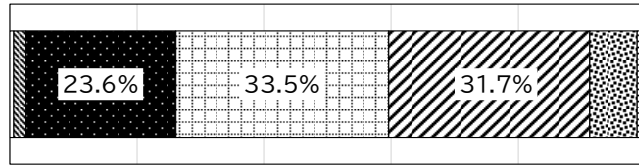
- 教職員の場合、1学級あたりの望ましい人数は、保護者と同様、小学校は「21~25 人」の割合が高く、中学校は「26~30 人」が最も高くなっている。

【地域関係者】問6:1 学級あたりの望ましい人数

小学校

	回答数	割合
0~10人	1	0.6%
11~15人	3	1.9%
16~20人	38	23.6%
21~25人	54	33.5%
26~30人	51	31.7%
31~35人	12	7.5%
36~40人	2	1.2%
計	161	100.0%

n:161
0% 20% 40% 60% 80% 100%

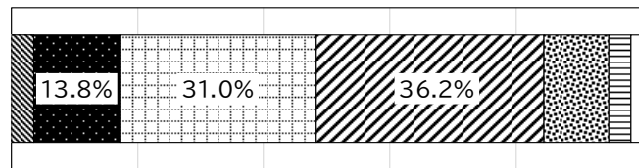


0~10人 11~15人 16~20人 21~25人
26~30人 31~35人 36~40人

中学校

	回答数	割合
0~10人	0	0.0%
11~15人	2	3.4%
16~20人	8	13.8%
21~25人	18	31.0%
26~30人	21	36.2%
31~35人	6	10.3%
36~40人	2	3.4%
無回答	1	1.7%
計	58	100.0%

n:58
0% 20% 40% 60% 80% 100%



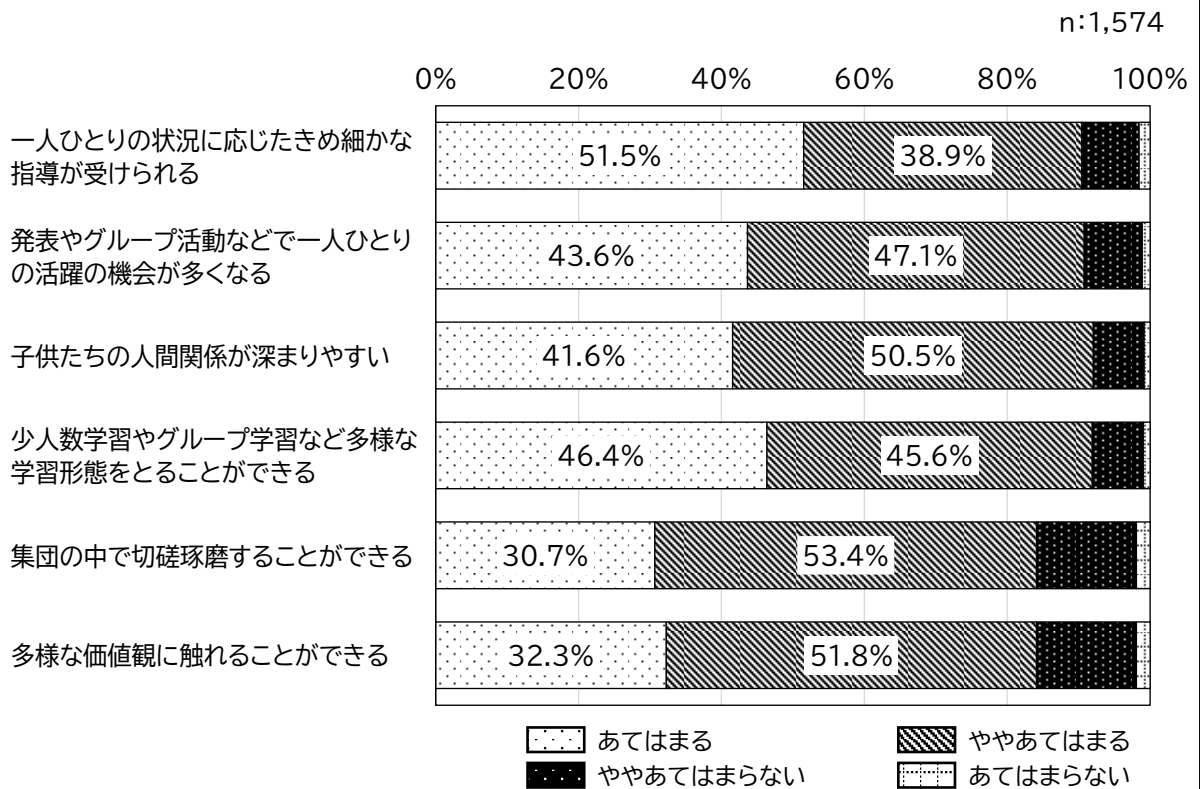
0~10人 11~15人 16~20人 21~25人
26~30人 31~35人 36~40人

- 地域関係者の場合、1学級あたりの望ましい人数は、保護者・教職員と同様、小学校は「21~25人」の割合が高く、中学校は「26~30人」が最も高くなっている。

【保護者】問 11:1学級あたりの望ましい人数の選択肢を選んだ理由

小学校

	(1)		(2)		(3)		(4)		(5)		(6)	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
あてはまる	811	51.5%	687	43.6%	654	41.6%	730	46.4%	483	30.7%	508	32.3%
ややあてはまる	613	38.9%	742	47.1%	795	50.5%	717	45.6%	841	53.4%	816	51.8%
ややあてはまらない	126	8.0%	128	8.1%	112	7.1%	112	7.1%	220	14.0%	220	14.0%
あてはまらない	24	1.5%	17	1.1%	13	0.8%	15	1.0%	30	1.9%	30	1.9%
計	1,574	100.0%	1,574	100.0%	1,574	100.0%	1,574	100.0%	1,574	100.0%	1,574	100.0%

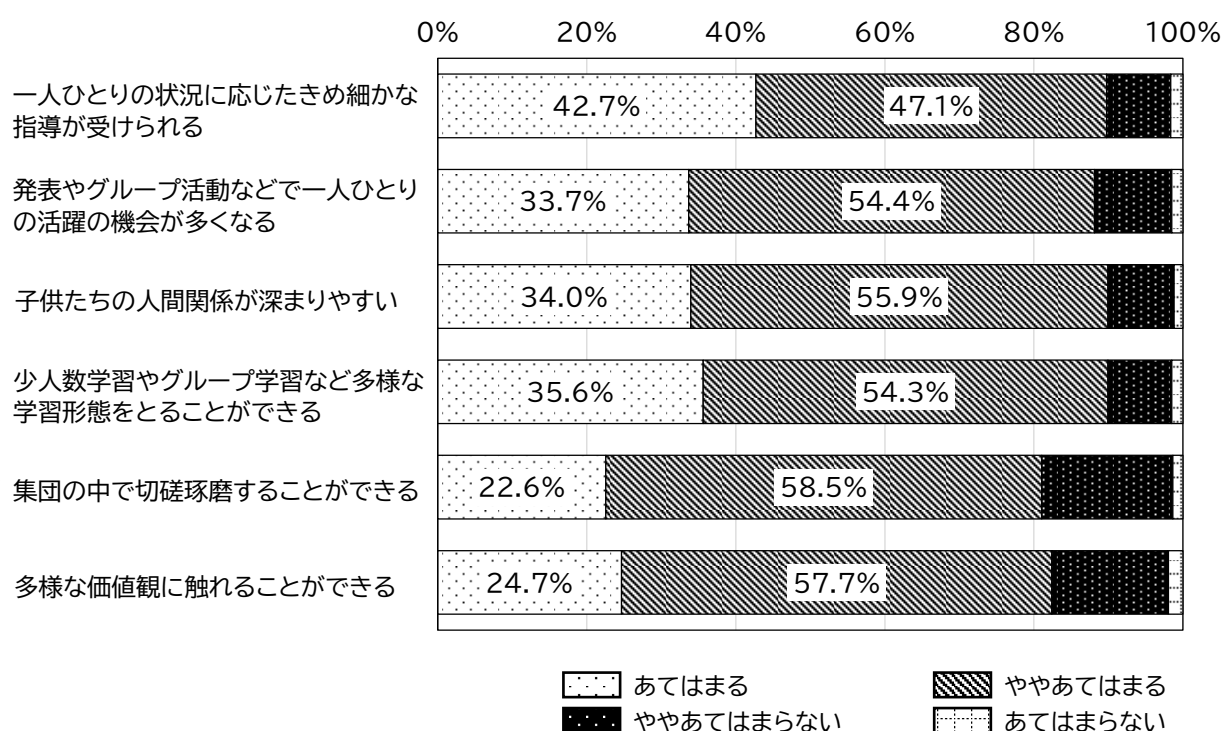


- 小学生の保護者の場合、問 9 の現状分析と同様に「子供たちの人間関係が深まりやすい」、「少人数学習やグループ学習など多様な学習形態をとることができる」といったコミュニケーションに関する項目の割合が高くなっている。

中学校

	(1)		(2)		(3)		(4)		(5)		(6)	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる	284	42.7%	224	33.7%	226	34.0%	237	35.6%	150	22.6%	164	24.7%
発表やグループ活動などで一人ひとりの活躍の機会が多くなる	313	47.1%	362	54.4%	372	55.9%	361	54.3%	389	58.5%	384	57.7%
子供たちの人間関係が深まりやすい	57	8.6%	69	10.4%	59	8.9%	57	8.6%	117	17.6%	104	15.6%
少人数学習やグループ学習など多様な学習形態をとることができる	11	1.7%	10	1.5%	8	1.2%	10	1.5%	9	1.4%	13	2.0%
集団の中で切磋琢磨することができる												
多様な価値観に触れることができる												
計	665	100.0%	665	100.0%	665	100.0%	665	100.0%	665	100.0%	665	100.0%

n:665

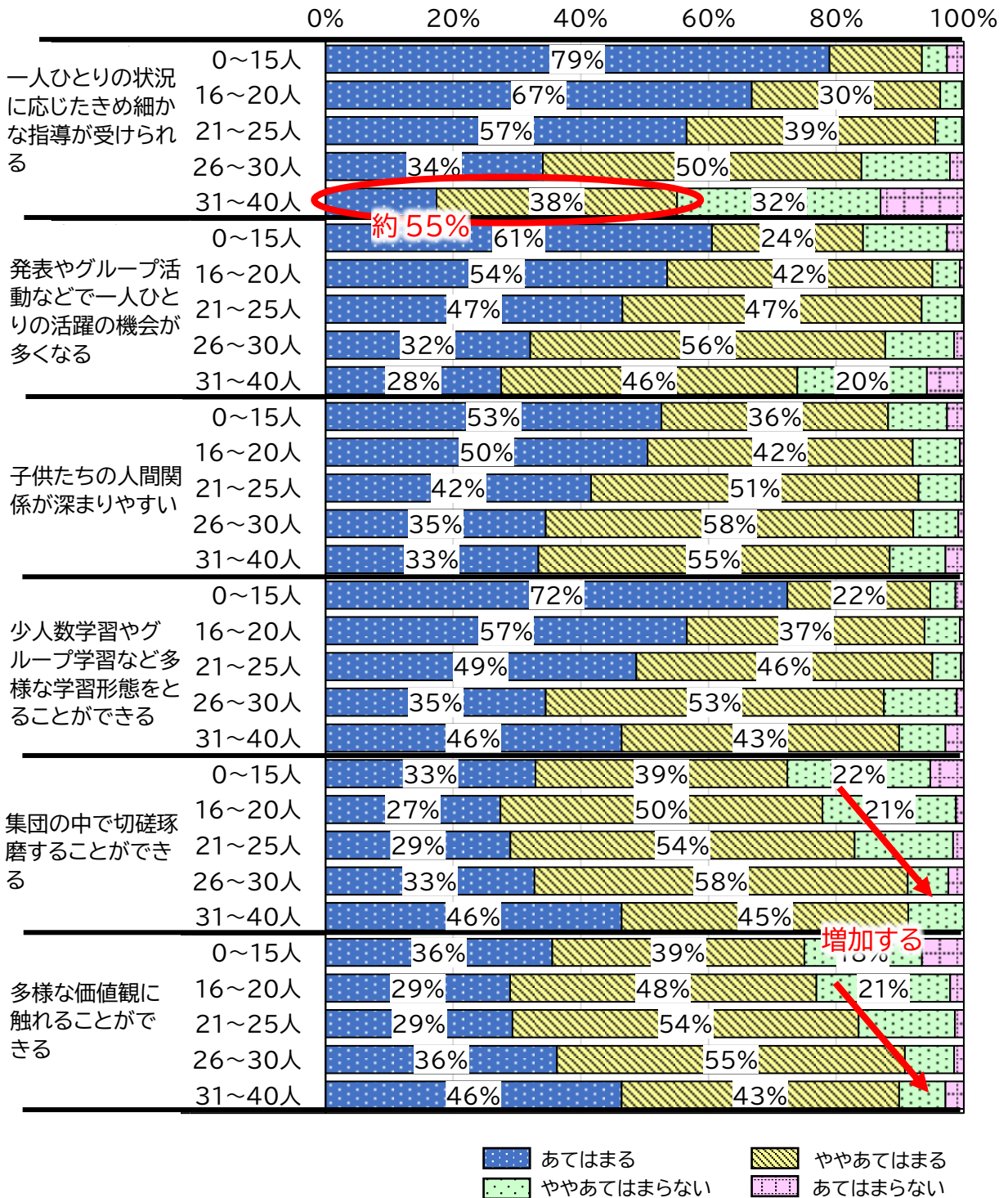


- 中学生の保護者の場合、「子供たちの人間関係が深まりやすい」といったコミュニケーションの項目とともに「一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる」という学習指導に関する項目の割合が高くなっている。

【保護者】問 10:1学級あたりの望ましい人数×問 11:問 10 の選択肢を選んだ理由

小学校

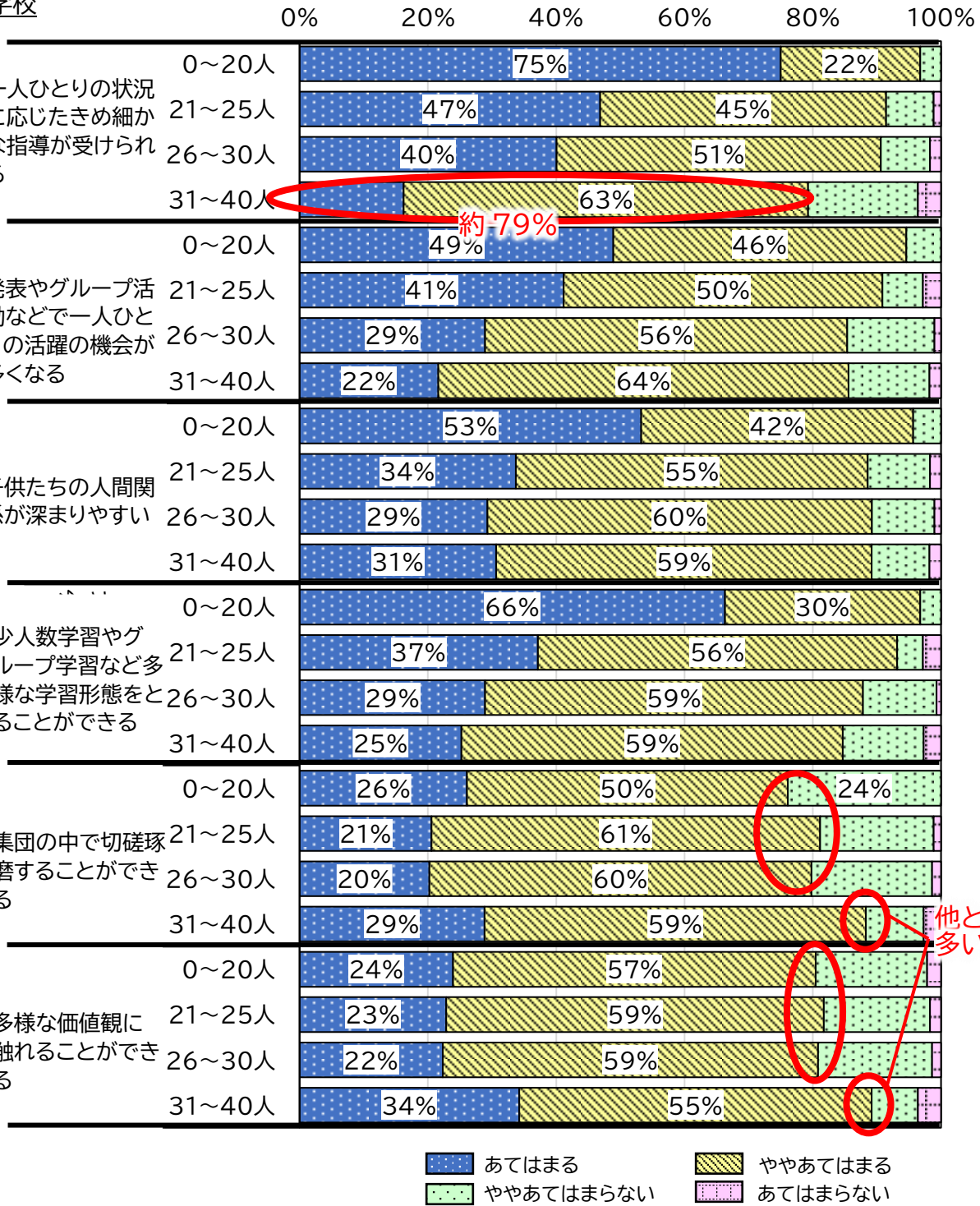
n:1,574



- 小学校の保護者の場合、1学級あたりの望ましい人数を選んだ理由では、「一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる」で、「0~15人」、「16~20人」、「21~25人」を選んだ人が「あてはまる」と回答する割合が高く、「26~30人」では「あてはまる」と回答する割合が減少し、「31~40人」では55%まで減少する。
- 「集団の中で切磋琢磨することができる」、「多様な価値観に触れることができる」では、1学級あたりの望ましい人数が増えるにつれて「あてはまる」と回答する割合が高い。

中学校

n:665



他と比べて多い

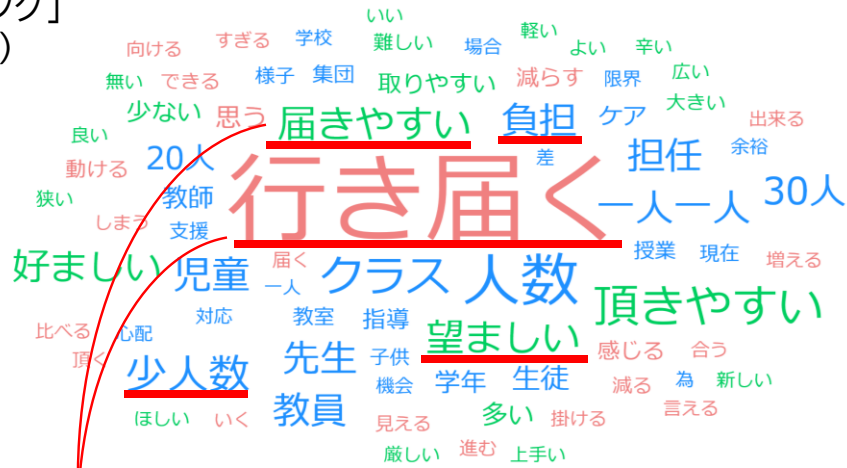
- 中学校の保護者の場合、「一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる」では、「0~20人」を選んだ人が「あてはまる」と回答する割合が高く、「21~25人」、「26~30人」では「あてはまる」と回答する割合が減少し、「31~40人」では79%まで減少する。
- 「集団の中で切磋琢磨することができる」、「多様な価値観に触れることができる」で、「0~20人」、「21~25人」、「26~30人」を選んだ人に比べて「31~40人」を理由に選んだ人は「あてはまる」と回答する割合が高い。

〇1学級あたりの望ましい人数とその理由・自由意見(71件)

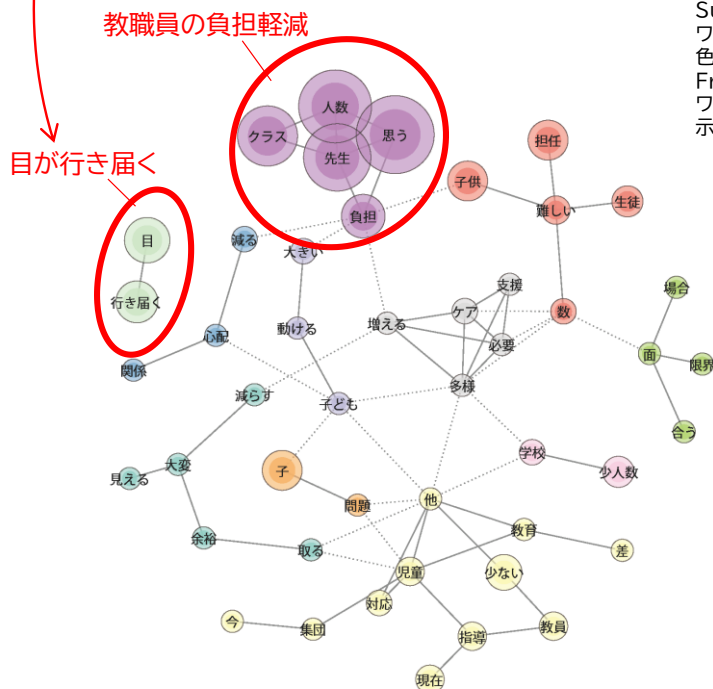
<主な意見> [保護者]

- 一人の担任の目が行き届く最大が30人だと思っから。教室スペース的にも30人以上は多く感じるから。
- 1クラスの生徒の数よりも、先生の数を目が行き届く人数にしていきたいです。
- 現状のクラス人数では先生方の負担が大きい。小田原市内の小学校でクラスの人数に差があるのは不公平。
- 集団の中で一人ひとりが今よりは埋没しないで済むと考えるから。適度な人数の集団であることは大切であると思っので、あまりに少人数なクラスではない方が良いとも思っから。
- 少人数だと先生の負担は減ると思っが、子供たちの負担が増えるのかも。(例えば掃除などの当番)
- 先生の負担が、軽くなれば、未来を作る子供に影響を与え、未来の世界が必ず良くなると思っます。
- 教員の目が届きやすいのではないか。

[テキストマイニング]
保護者(小学校)



[共起ネットワーク]
保護者(小学校)



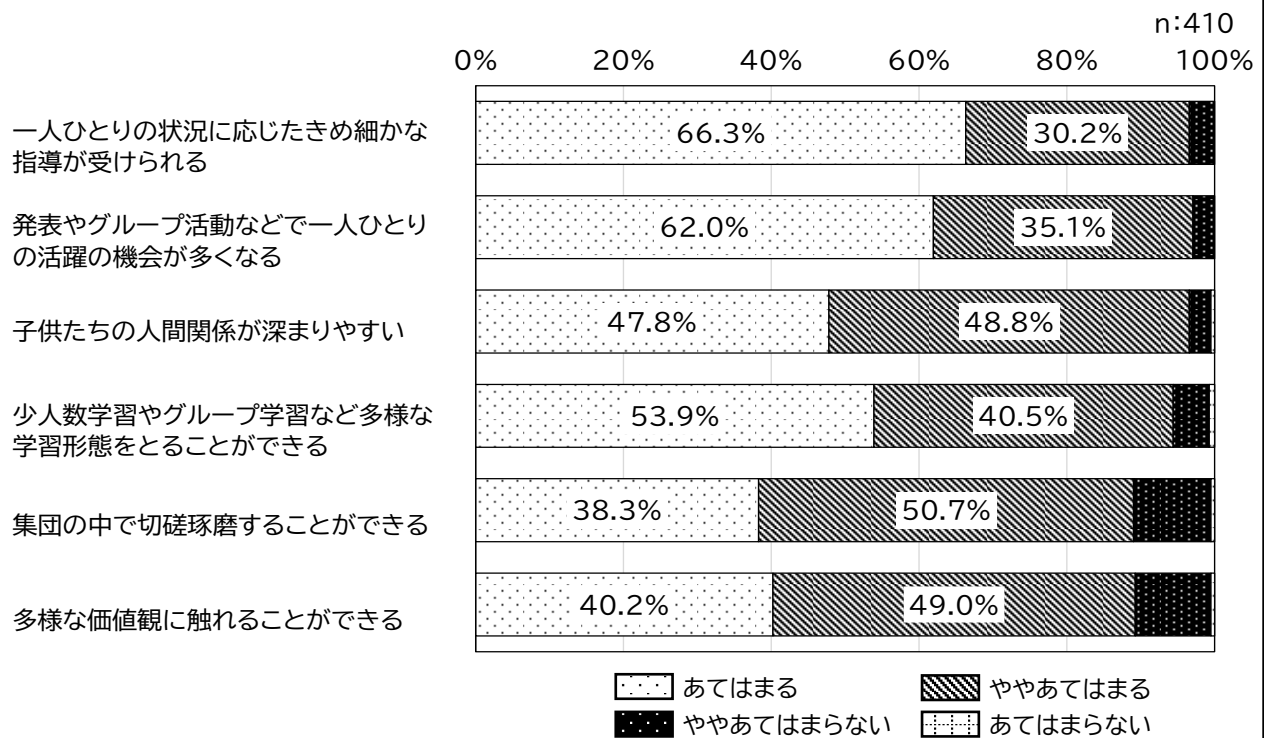
Subgraph: 関連性の強いワードごとに自動で分類され、色分けされたもの。
Frequency: 円が大きいほど、ワード登場回数が多いことを示している。

保護者は、1学級あたりの人数が多すぎると教職員の負担が増えるため「教職員の負担軽減」と「教職員の目が行き届く」規模の人数が望ましいと考えている。

【教職員】問 9(小学校)／問 11(中学校):1 学級あたりの望ましい人数(問8／問 10)の選択肢を選んだ理由

小学校

	一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる		発表やグループ活動などで一人ひとりの活躍の機会が多くなる		子供たちの人間関係が深まりやすい		少人数学習やグループ学習など多様な学習形態をとることができる		集団の中で切磋琢磨することができる		多様な価値観に触れることができる	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
あてはまる	272	66.3%	254	62.0%	196	47.8%	221	53.9%	157	38.3%	165	40.2%
ややあてはまる	124	30.2%	144	35.1%	200	48.8%	166	40.5%	208	50.7%	201	49.0%
ややあてはまらない	14	3.4%	12	2.9%	12	2.9%	20	4.9%	43	10.5%	42	10.2%
あてはまらない	0	0.0%	0	0.0%	2	0.5%	3	0.7%	2	0.5%	2	0.5%
計	410	100.0%	410	100.0%	410	100.0%	410	100.0%	410	100.0%	410	100.0%

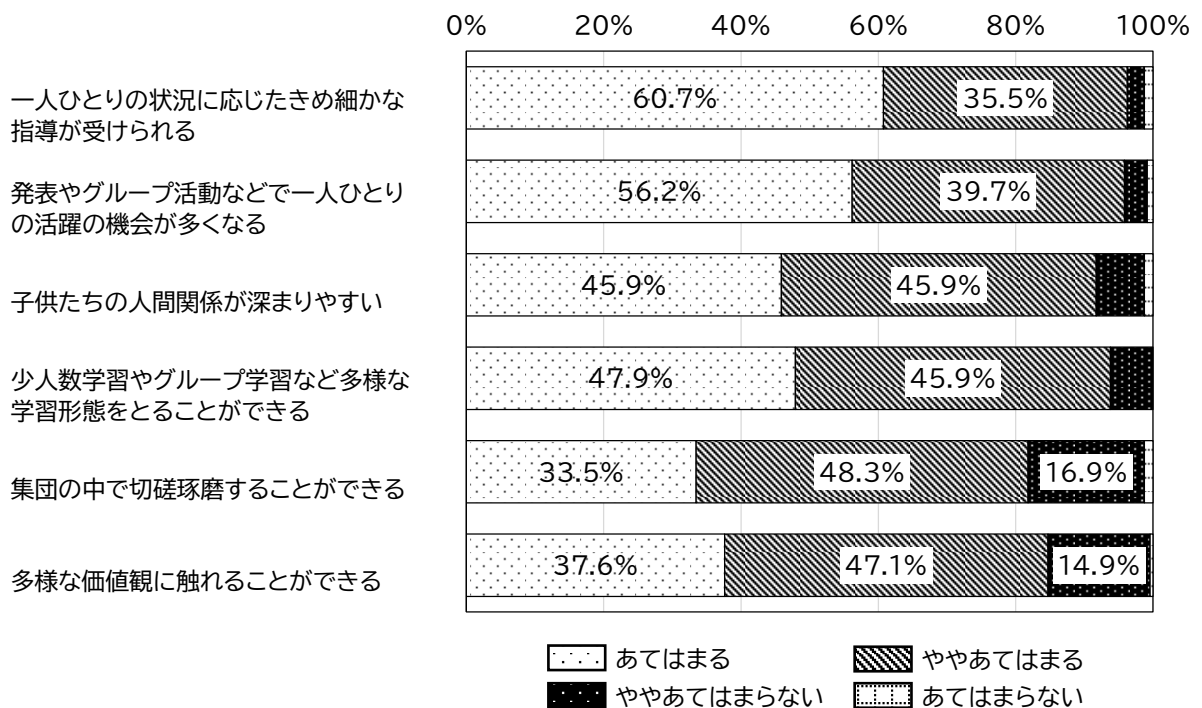


- 小学校の場合、「発表やグループ活動などで一人ひとりの活躍の機会が多くなる」、「一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる」といった個に応じた学び・育ちに関する項目の割合が高くなっている。

中学校

	一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる		発表やグループ活動などで一人ひとりの活躍の機会が多くなる		子供たちの人間関係が深まりやすい		少人数学習やグループ学習など多様な学習形態をとることができる		集団の中で切磋琢磨することができる		多様な価値観に触れることができる	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
あてはまる	147	60.7%	136	56.2%	111	45.9%	116	47.9%	81	33.5%	91	37.6%
ややあてはまる	86	35.5%	96	39.7%	111	45.9%	111	45.9%	117	48.3%	114	47.1%
ややあてはまらない	6	2.5%	8	3.3%	17	7.0%	15	6.2%	41	16.9%	36	14.9%
あてはまらない	3	1.2%	2	0.8%	3	1.2%	0	0.0%	3	1.2%	1	0.4%
計	242	100.0%	242	100.0%	242	100.0%	242	100.0%	242	100.0%	242	100.0%

n:242

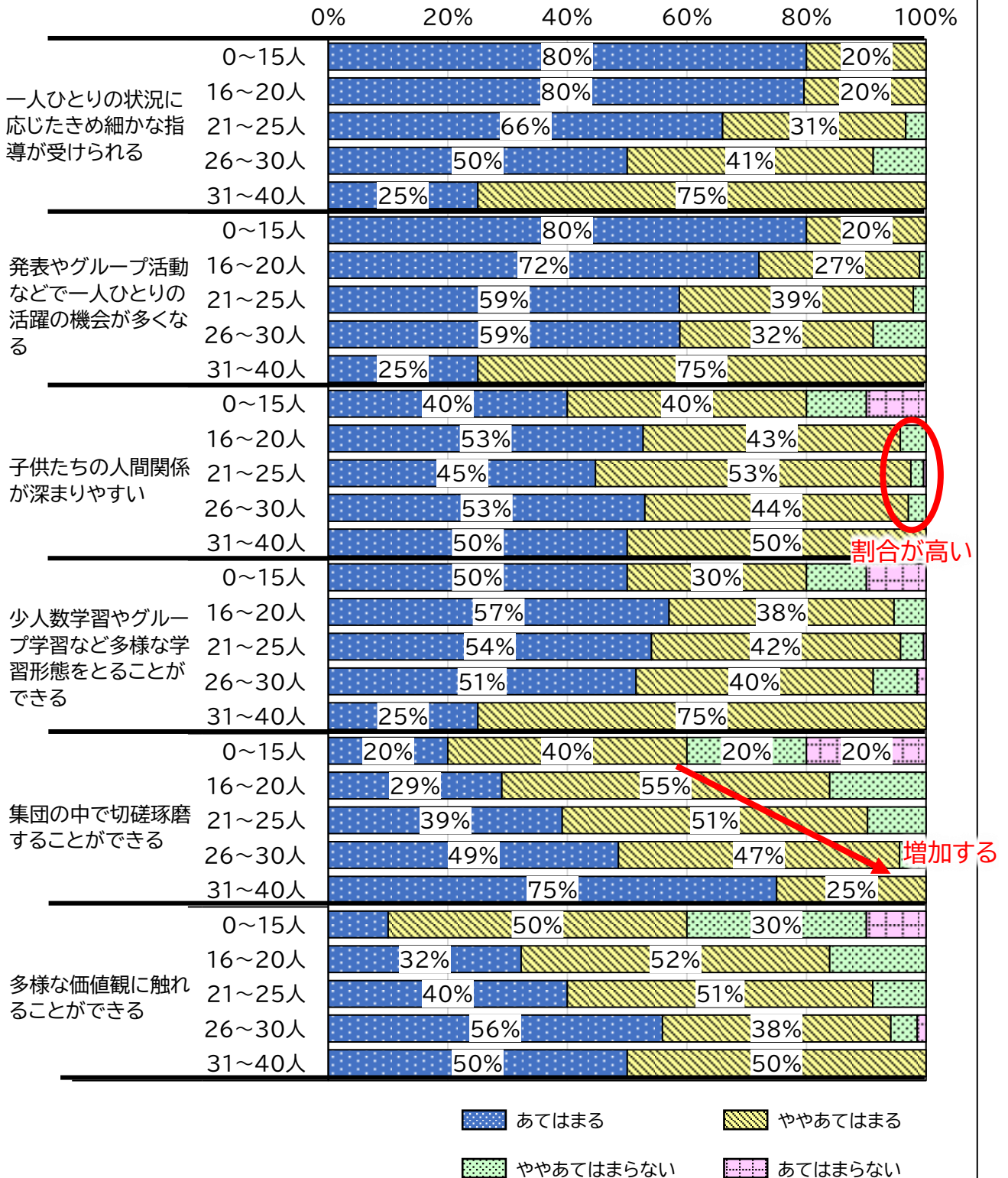


- 中学校の場合も小学校と同様、「一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる」、「発表やグループ活動などで一人ひとりの活躍の機会が多くなる」といった個に応じた学び・育ちに関する項目の割合が高くなっている。

【教職員】問 8・問 10:1学級あたりの望ましい人数×
問9:1 学級あたりの望ましい人数の選択肢を選んだ理由

小学校

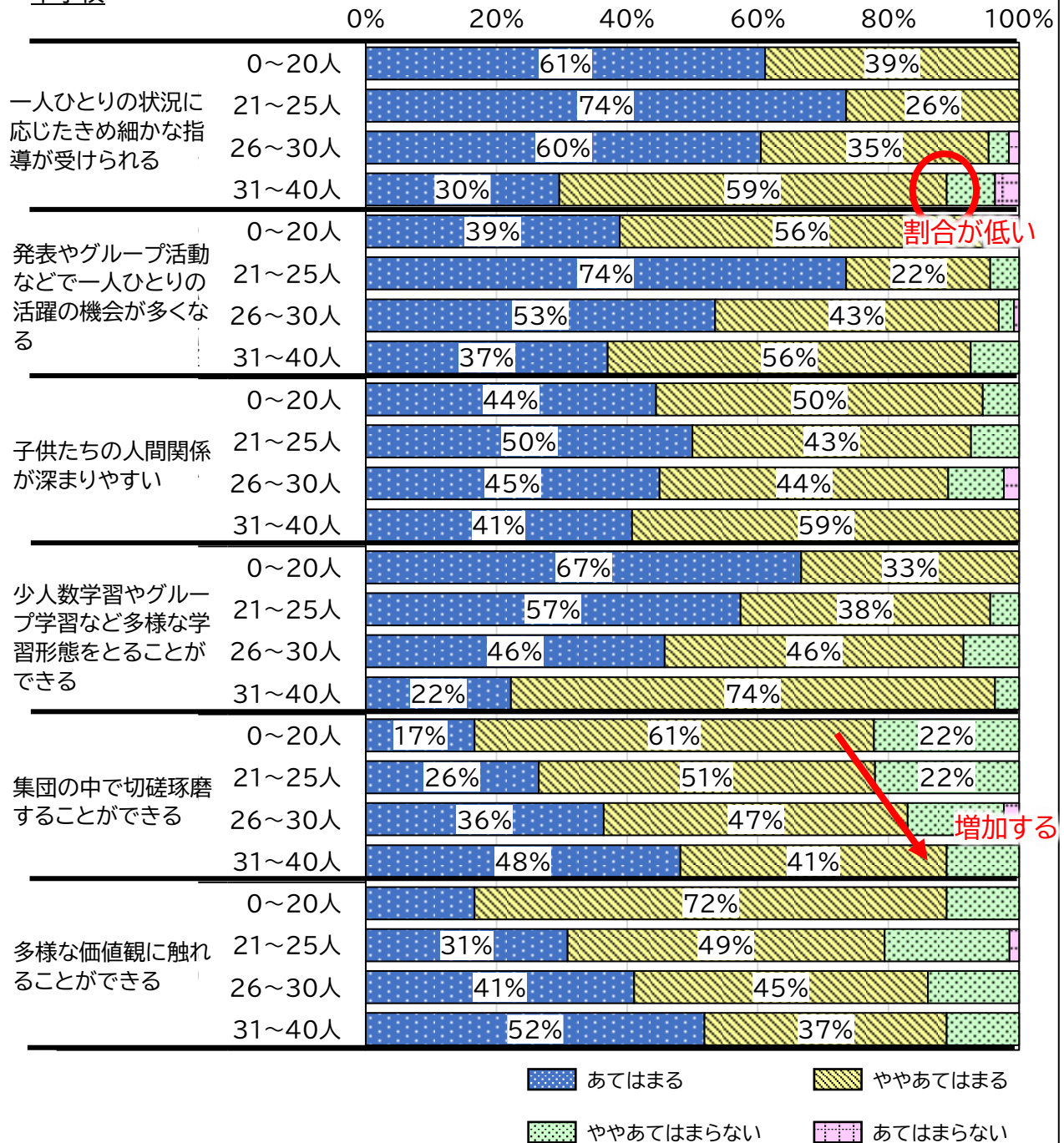
n:410



- 小学校の教職員の場合、1学級あたりの望ましい人数「16~20人」以上だと「子供たちの人間関係が深まりやすい」で、「あてはまる」と回答する割合が高い。
- 「集団の中で切磋琢磨することができる」で、1学級あたりの望ましい人数が多いほど、「あてはまる」と回答する割合が高い。

n:242

中学校



割合が低い

増加する

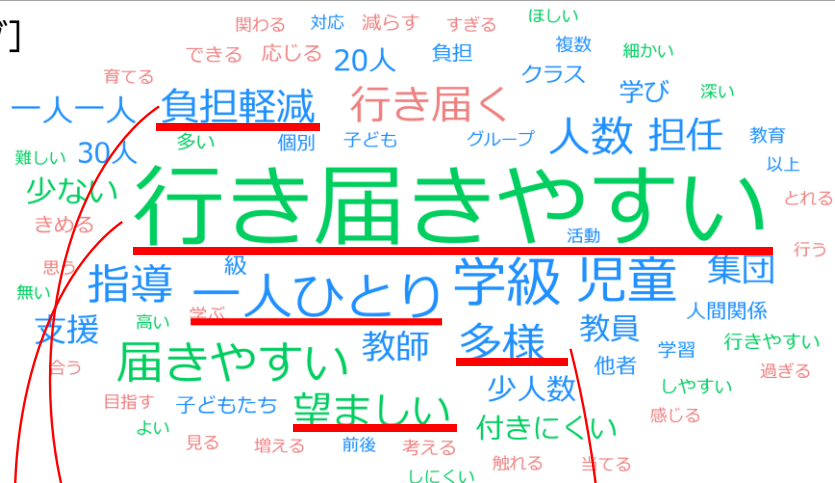
- 中学校の教職員の場合、「一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる」では、「0~20人」、「21~25人」、「26~30人」で、「あてはまる」と回答する割合が高い。
- 「集団の中で切磋琢磨することができる」では、1学級あたりの望ましい人数が増えるにつれて、「あてはまる」と回答する割合が高い。

〇1学級あたりの望ましい人数とその理由・自由意見(57件)

<主な意見> [教職員]

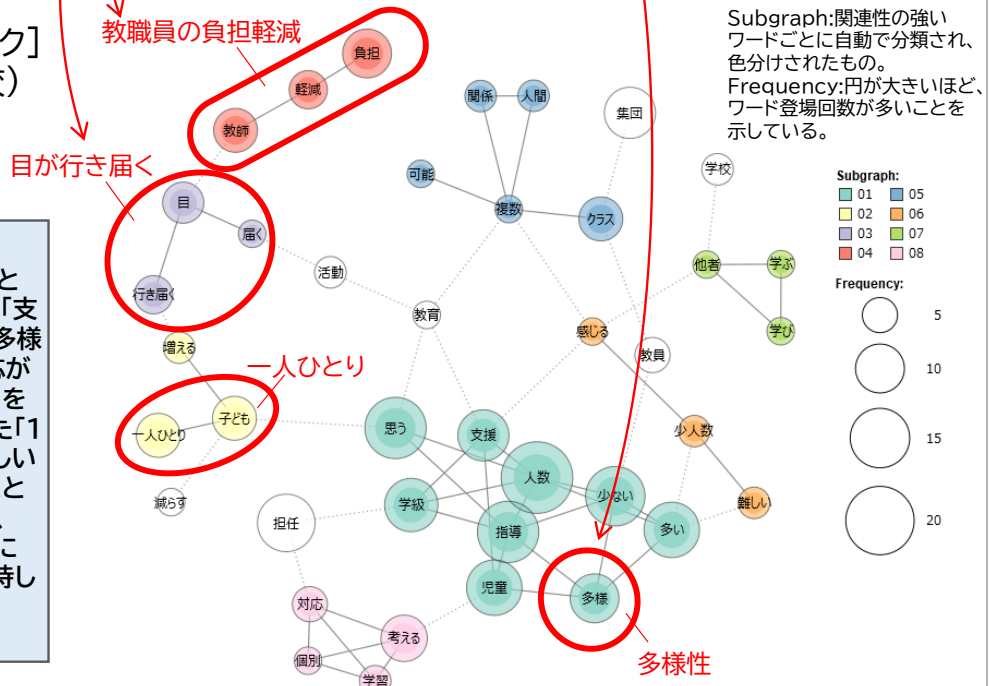
- 30人以下であれば、児童一人ひとりに目が行き届きやすいと考える。
- 多様な体験と一人ひとりに目が行き届くことのバランスのとれた人数がこの選択肢の範囲だと思う。
- 一人ひとりが自分や他者の存在を認めあえることで、安心して学校生活を送ることができるから。
- 少人数は、指導が行き届きやすいという利点があるが、多様な考えに触れることが難しい場合もある。多すぎず、少なすぎず、適度な人数の学級集団が良いのでは。
- 担任が行う学級での業務の負担軽減になる。保護者対応がよりきめ細やかにできるようになる。
- 1学級の人数は多すぎても少なすぎても難しい。世界的な平均値で考えても 20人前後が望ましいと考える。

[テキストマイニング]
教職員(小学校)



[共起ネットワーク]
教職員(小学校)

教職員は、「一人ひとり」にあった指導や「支援を要する児童」「多様な児童」などの対応が必要であり、これらを行うために見合った「1学級あたりの望ましい人数」を設定することで「目が行き届き」、「教員の負担軽減」につながることを期待している。

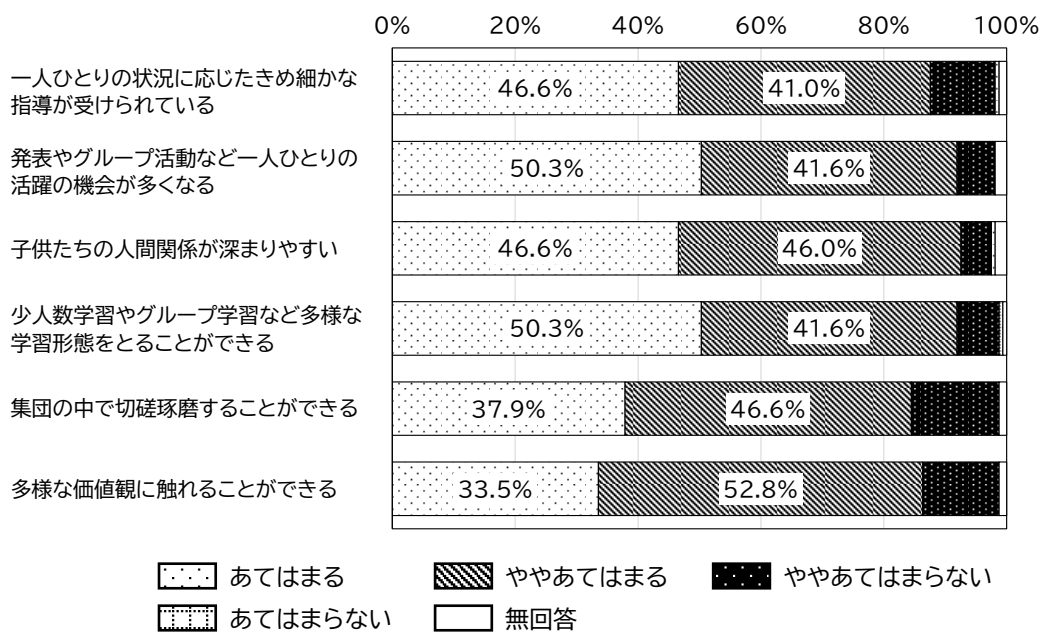


【地域関係者】問7:1 学級あたりの望ましい人数(問6)の選択肢を選んだ理由

小学校

	一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられている		発表やグループ活動など一人ひとりの活躍の機会が多くなる		子供たちの人間関係が深まりやすい		少人数学習やグループ学習など多様な学習形態をとることができる		集団の中で切磋琢磨することができる		多様な価値観に触れることができる	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
あてはまる	75	46.6%	81	50.3%	75	46.6%	81	50.3%	61	37.9%	54	33.5%
ややあてはまる	66	41.0%	67	41.6%	74	46.0%	67	41.6%	75	46.6%	85	52.8%
ややあてはまらない	17	10.6%	10	6.2%	8	5.0%	11	6.8%	23	14.3%	20	12.4%
あてはまらない	1	0.6%	0	0.0%	1	0.6%	1	0.6%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	2	1.2%	3	1.9%	3	1.9%	1	0.6%	2	1.2%	2	1.2%
計	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%

n:161

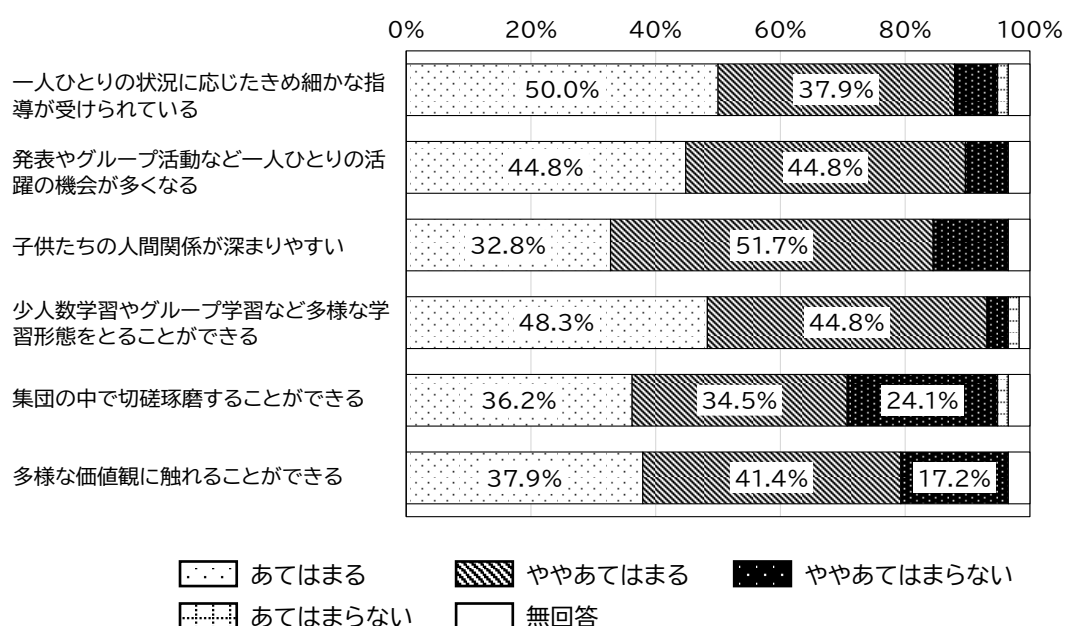


- 小学校の保護者の場合、全ての項目で「あてはまる」、「ややあてはまる」の回答割合が 80% 以上となった。その中で「子供たちの人間関係が深まりやすい」と回答した割合が最も多い。

中学校

	一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられている		発表やグループ活動など一人ひとりの活躍の機会が多くなる		子供たちの人間関係が深まりやすい		少人数学習やグループ学習など多様な学習形態をとることができる		集団の中で切磋琢磨することができる		多様な価値観に触れることができる	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
あてはまる	29	50.0%	26	44.8%	19	32.8%	28	48.3%	21	36.2%	22	37.9%
ややあてはまる	22	37.9%	26	44.8%	30	51.7%	26	44.8%	20	34.5%	24	41.4%
ややあてはまらない	4	6.9%	4	6.9%	7	12.1%	2	3.4%	14	24.1%	10	17.2%
あてはまらない	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	1	1.7%	0	0.0%
無回答	2	3.4%	2	3.4%	2	3.4%	1	1.7%	2	3.4%	2	3.4%
計	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%

n:58

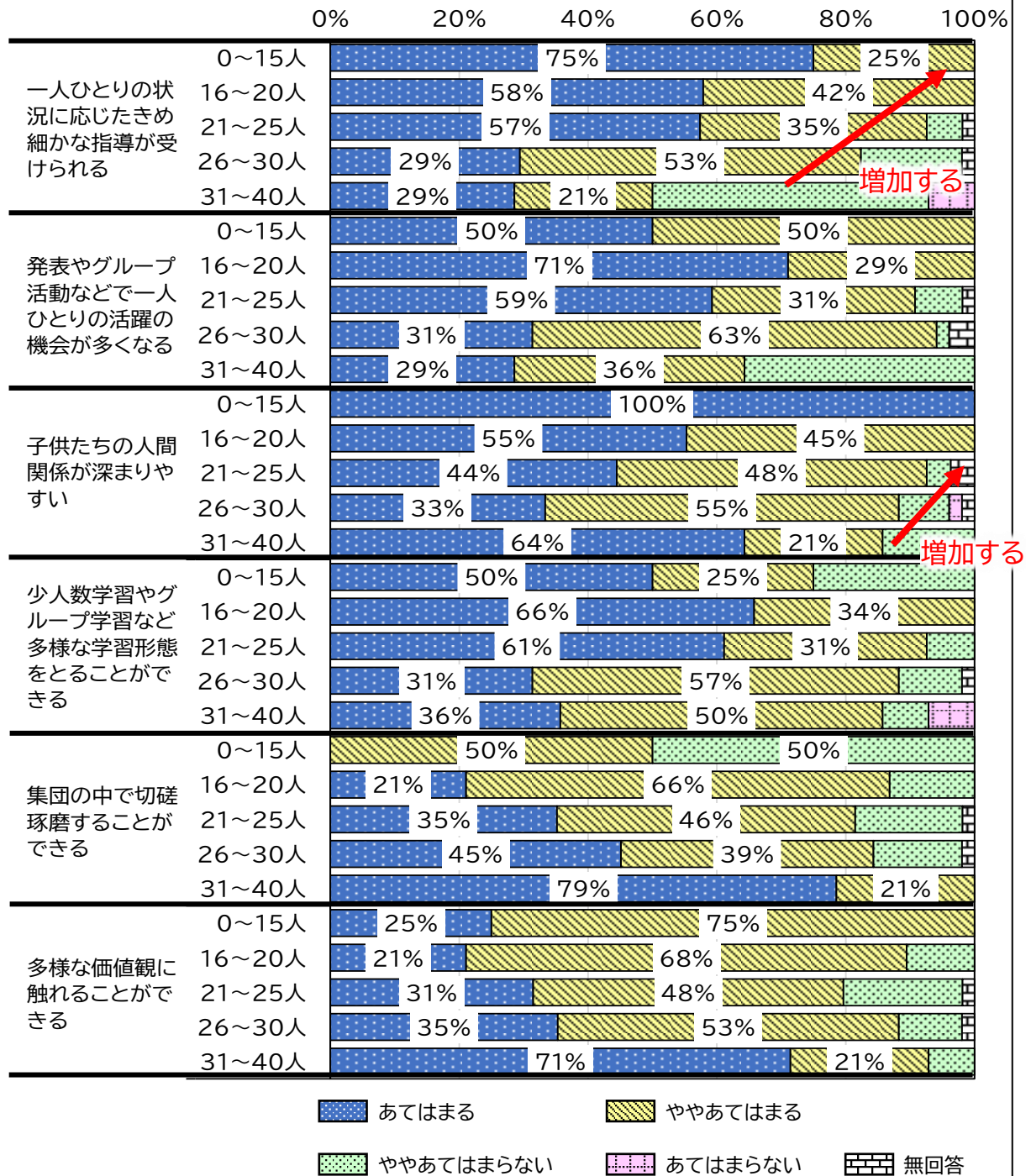


- 中学校の保護者の場合、「少人数学習やグループ学習など多様な学習形態をとることができる」、「発表やグループ活動などで一人ひとりの活躍の機会が多くなる」といった項目の割合が比較的多い。

【地域関係者】問 6:1学級あたりの望ましい人数×
問 7:1 学級あたりの望ましい人数の選択肢を選んだ理由

小学校

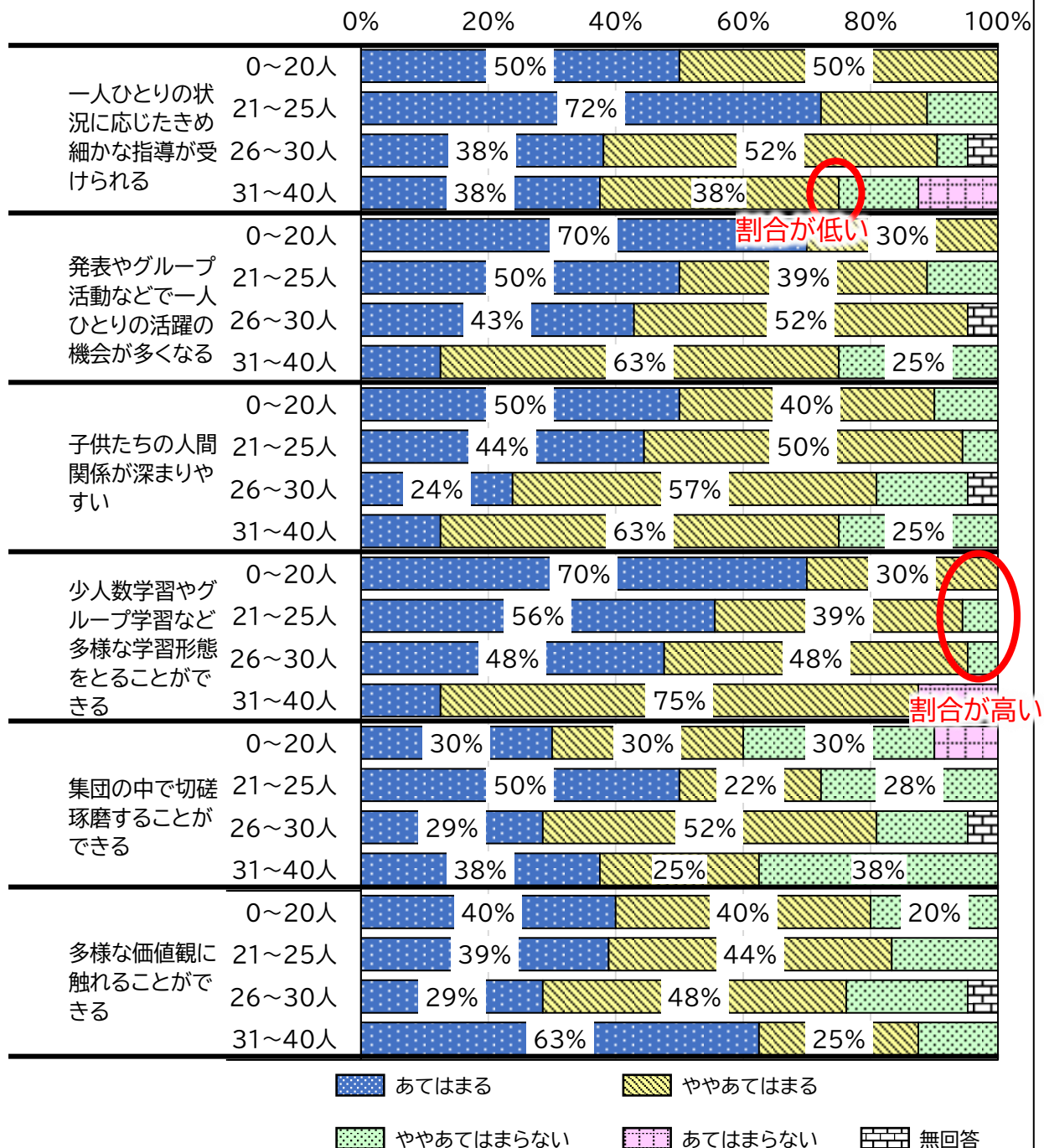
n:161



- 小学校の地域関係者の場合、「1学級あたりの望ましい人数」が少ないほど、「一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる」と回答する割合が高い。
- 「子供たちの人間関係が深まりやすい」では、1学級あたりの望ましい人数が少ないほど、「あてはまると回答する割合が高い。

中学校

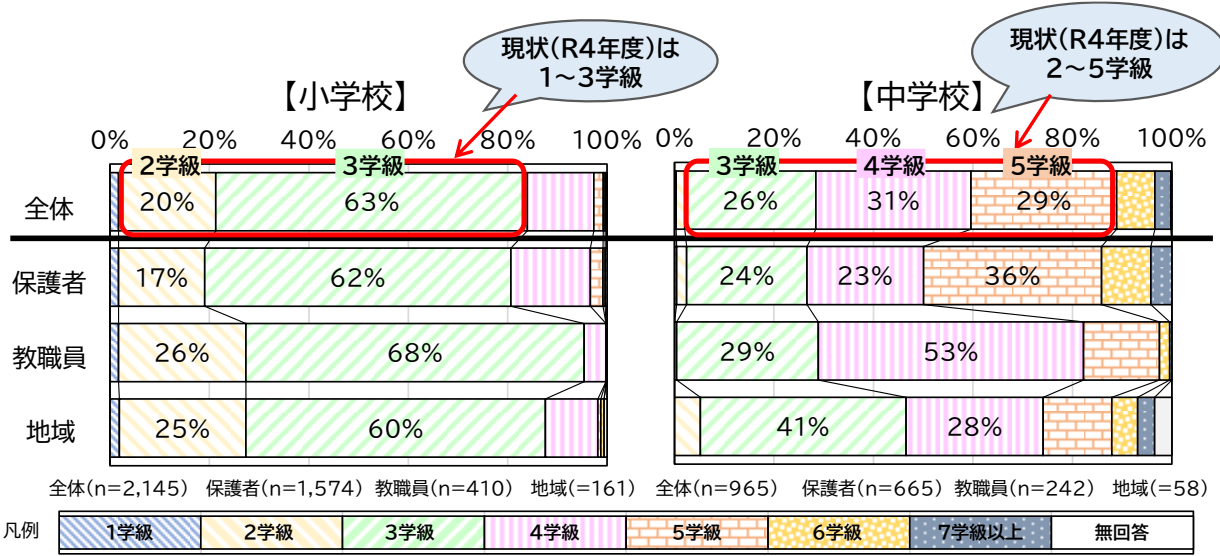
n:57



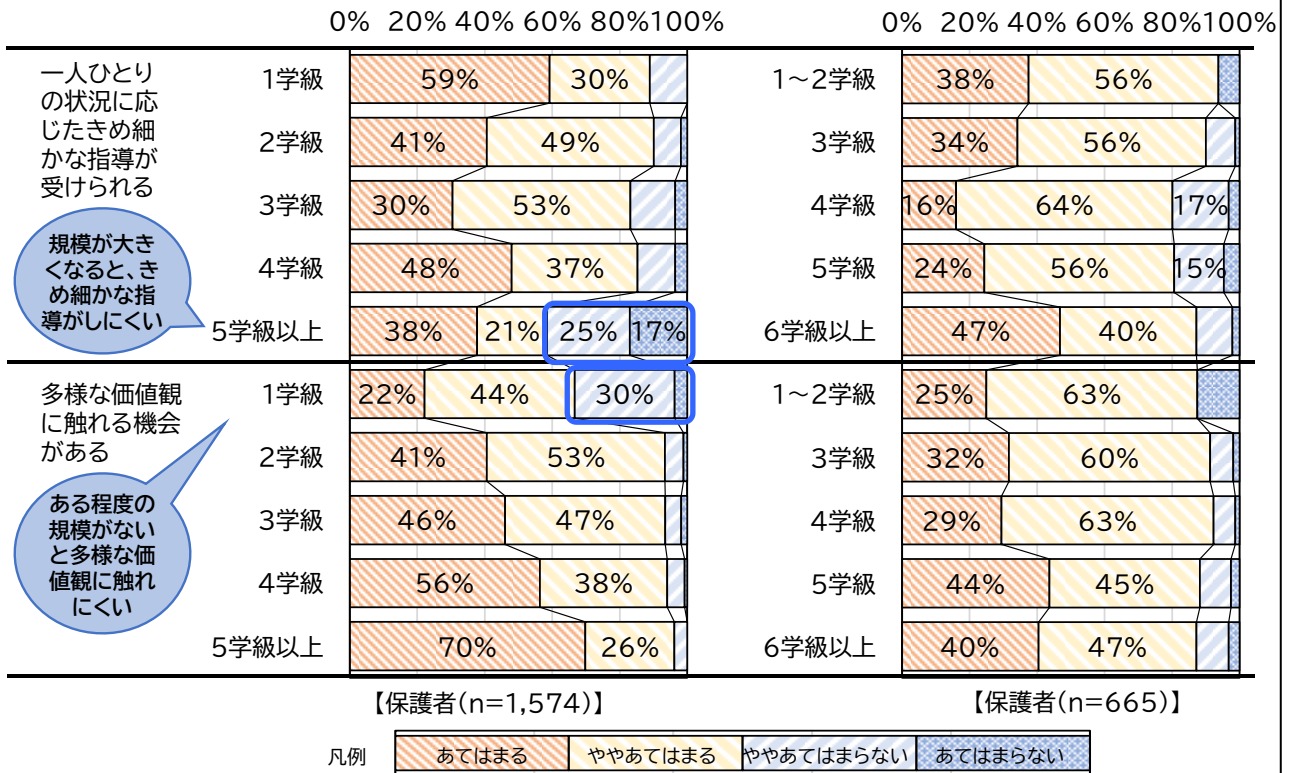
- 中学校の地域関係者の場合、「一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる」で「0~20人」、「21~25人」、「26~30人」で「あてはまる」と回答する割合が高い。
- 「少人数学習やグループ学習など多様な学習体系をとることができる」では、「0~20人」、「21~25人」、「26~30人」で「あてはまる」と回答する割合が高く、「31~40人」では少し減少する。

O1 学年あたりの望ましい学級数とその理由

全体集計



理由



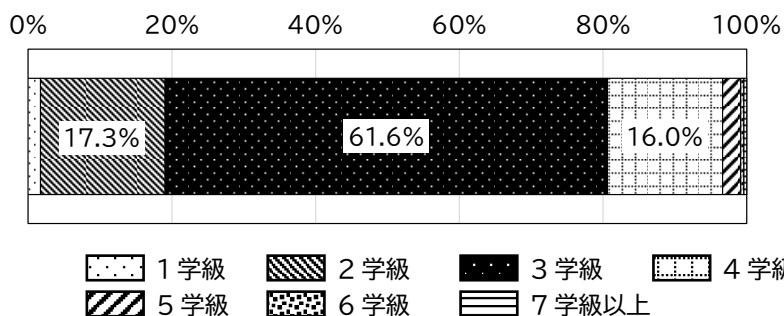
- 全体として、小学校は「3学級」、中学校は「3~5学級」と回答する割合が高い傾向。
- 主な理由として、「一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる」では望ましい学級数5学級以上だと、あてはまらない傾向が高く、「多様な価値観に触れる機会がある」は望ましい学級数が多くなるにつれ、あてはまる傾向が高い。

【保護者】問 12:1学年あたりの望ましい学級数

小学校

	回答数	割合
1学級	27	1.7%
2学級	273	17.3%
3学級	969	61.6%
4学級	252	16.0%
5学級	40	2.5%
6学級	7	0.4%
7学級以上	6	0.4%
計	1,574	100.0%

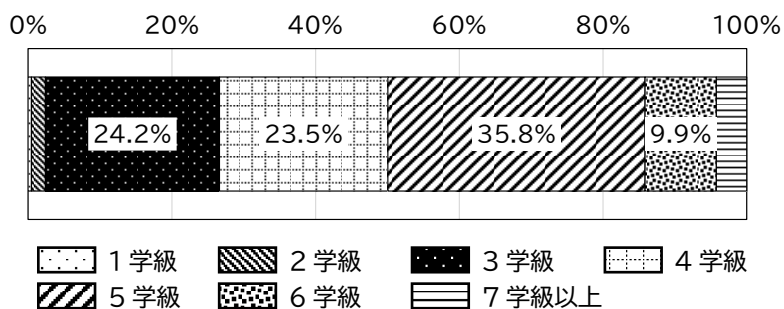
n:1,574



中学校

	回答数	割合
1学級	3	0.5%
2学級	13	2.0%
3学級	161	24.2%
4学級	156	23.5%
5学級	238	35.8%
6学級	66	9.9%
7学級以上	28	4.2%
計	665	100.0%

n:665



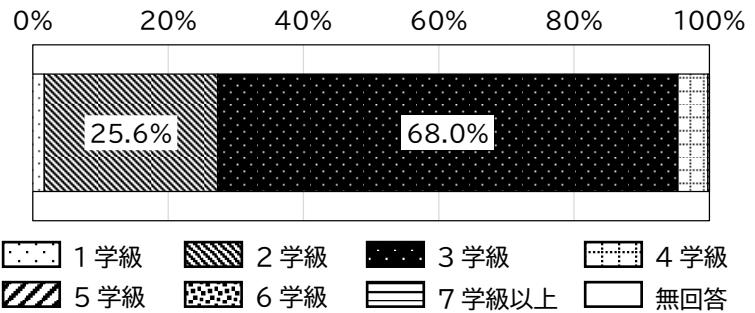
- 保護者の場合、1学年あたりの望ましい学級数は、小学校は「3学級」、「2学級」、「4学級」の順になっており、中学校は「5学級」、「3学級」、「4学級」の順となっている。

【教職員】問 12:1 学年あたりの望ましい学級数

小学校

	回答数	割合
1学級	7	1.7%
2学級	105	25.6%
3学級	279	68.0%
4学級	18	4.4%
5学級	0	0.0%
6学級	0	0.0%
7学級以上	1	0.2%
計	410	100.0%

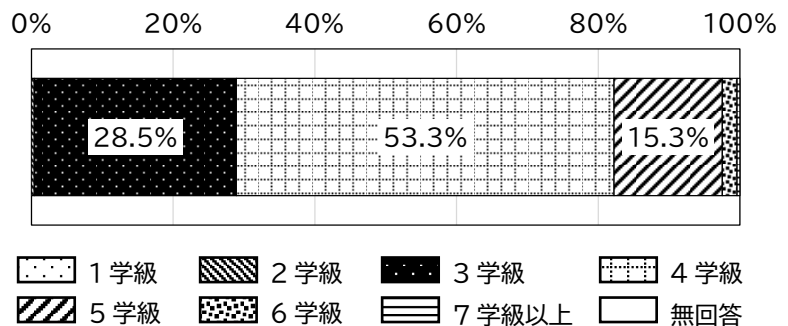
n:410



中学校

	回答数	割合
1学級	0	0.0%
2学級	1	0.4%
3学級	69	28.5%
4学級	129	53.3%
5学級	37	15.3%
6学級	5	2.1%
7学級以上	1	0.4%
計	242	100.0%

n:242



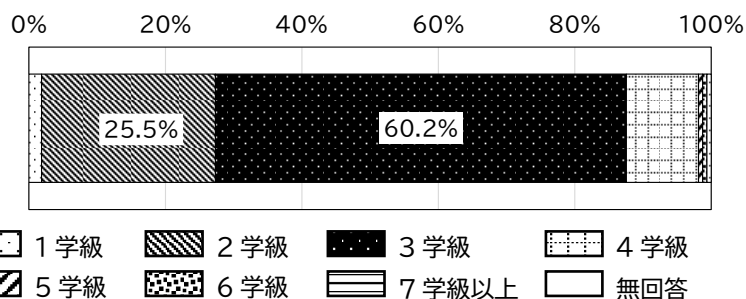
- 教職員の場合、1学年あたりの望ましい学級数は、小学校は「3学級」、「2学級」、「4学級」の順になっており、中学校は「4学級」、「3学級」、「5学級」の順となっている。

【地域関係者】問8:1 学年あたりの望ましい学級数

小学校

	回答数	割合
1学級	3	1.9%
2学級	41	25.5%
3学級	97	60.2%
4学級	17	10.6%
5学級	1	0.6%
6学級	1	0.6%
7学級以上	0	0.0%
無回答	1	0.6%
計	161	100.0%

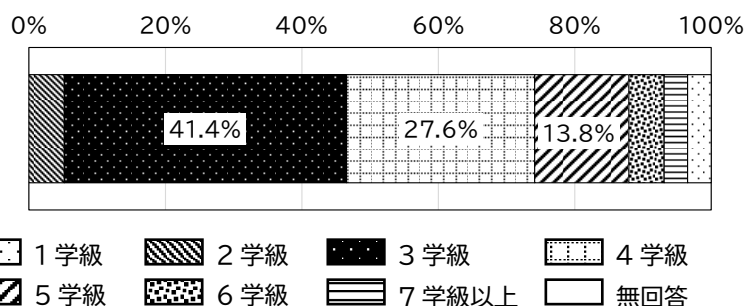
n:161



中学校

	回答数	割合
1学級	0	0.0%
2学級	3	5.2%
3学級	24	41.4%
4学級	16	27.6%
5学級	8	13.8%
6学級	3	5.2%
7学級以上	2	3.4%
無回答	2	3.4%
計	58	100.0%

n:58



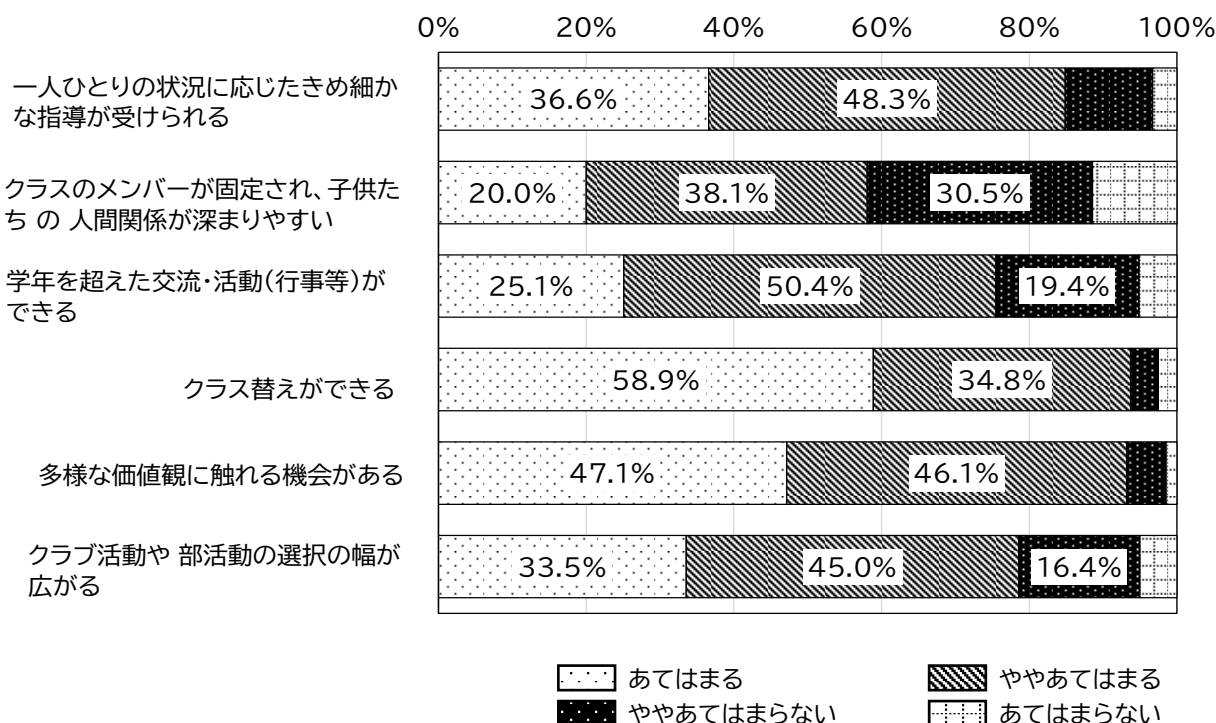
- 地域関係者の場合、1学年あたりの望ましい学級数は、小学校は「3学級」、「2学級」、「4学級」の順になっており、中学校は「3学級」、「4学級」、「5学級」の順となっている。

【保護者】問 13:1学年あたりの望ましい学級数(問 12)の選択肢を選んだ理由

小学校

	一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる		クラスのメンバーが固定され、子供たちの人間関係が深まりやすい		学年を超えた交流・活動(行事等)ができる		クラス替えができる		多様な価値観に触れる機会がある		クラブ活動や部活動の選択の幅が広がる	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
あてはまる	576	36.6%	315	20.0%	395	25.1%	927	58.9%	742	47.1%	528	33.5%
ややあてはまる	760	48.3%	599	38.1%	793	50.4%	548	34.8%	725	46.1%	709	45.0%
ややあてはまらない	186	11.8%	480	30.5%	305	19.4%	59	3.7%	84	5.3%	258	16.4%
あてはまらない	52	3.3%	180	11.4%	81	5.1%	40	2.5%	23	1.5%	79	5.0%
計	1,574	100.0%	1,574	100.0%	1,574	100.0%	1,574	100.0%	1,574	100.0%	1,574	100.0%

n:1,574

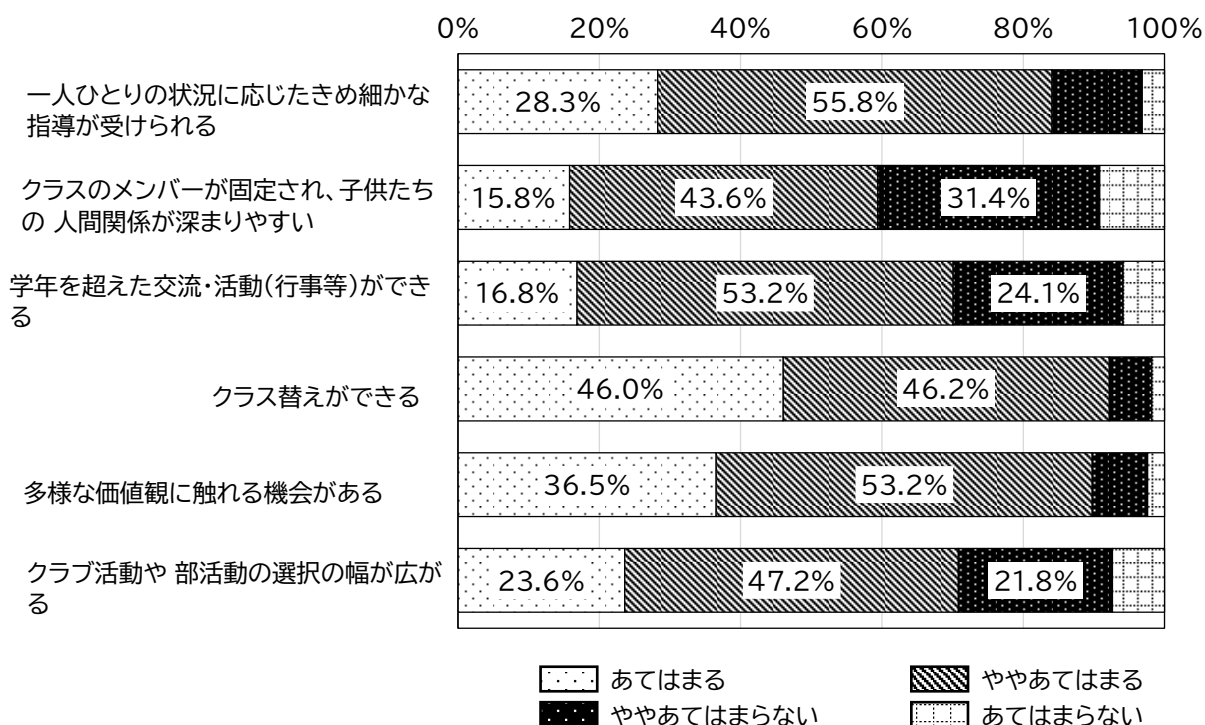


- 小学生の保護者の場合、「クラス替えができる」と回答する割合が最も高く、次いで「多様な価値観に触れる機会がある」、「一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる」が高くなっている。

中学校

	一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる		クラスのメンバーが固定され、子供たちの人間関係が深まりやすい		学年を超えた交流・活動(行事等)ができる		クラス替えができる		多様な価値観に触れる機会がある		クラブ活動や部活動の選択の幅が広がる	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
あてはまる	188	28.3%	105	15.8%	112	16.8%	306	46.0%	243	36.5%	157	23.6%
ややあてはまる	371	55.8%	290	43.6%	354	53.2%	307	46.2%	354	53.2%	314	47.2%
ややあてはまらない	85	12.8%	209	31.4%	160	24.1%	40	6.0%	52	7.8%	145	21.8%
あてはまらない	21	3.2%	61	9.2%	39	5.9%	12	1.8%	16	2.4%	49	7.4%
計	665	100.0%	665	100.0%	665	100.0%	665	100.0%	665	100.0%	665	100.0%

n:665

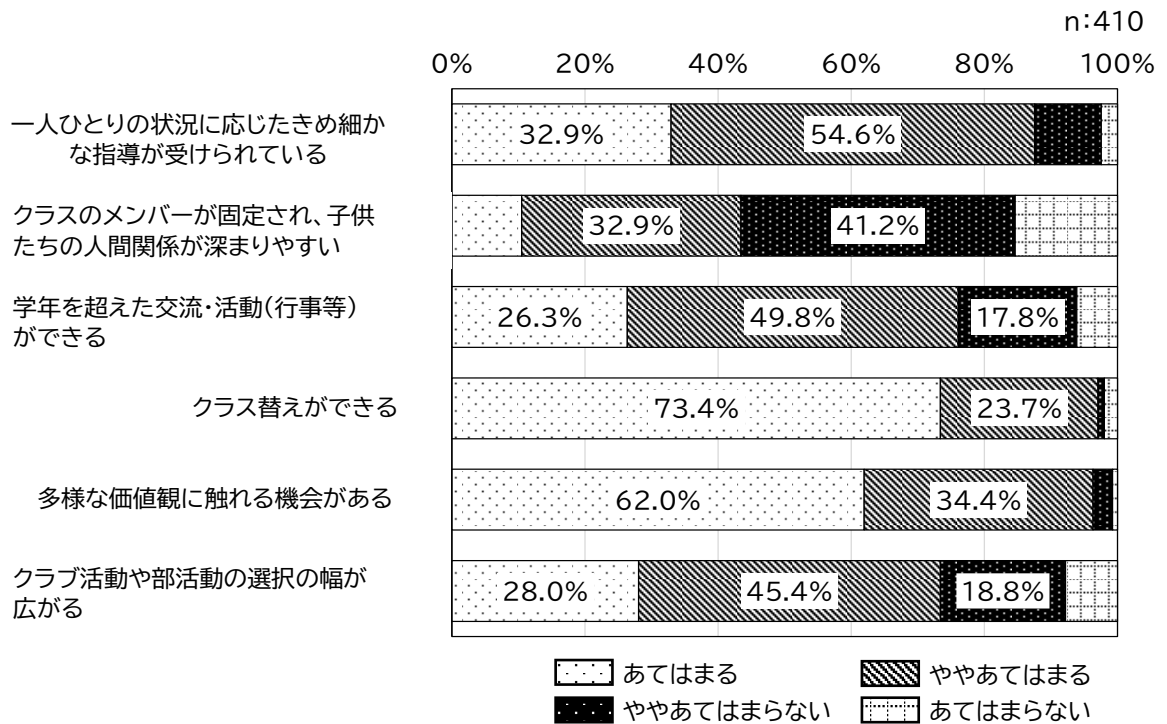


- 中学生の保護者の場合、「クラス替えができる」と回答する割合が最も高く、次いで「多様な価値観に触れる機会がある」、「一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる」が高くなっている。

【教職員】問 13:1 学級あたりの望ましい学級数(問 12)の選択肢を選んだ理由

小学校

	一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられている		クラスのメンバーが固定され、子供たちの人間関係が深まりやすい		学年を超えた交流・活動(行事等)ができる		クラス替えができる		多様な価値観に触れる機会がある		クラブ活動や部活動の選択の幅が広がる	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
あてはまる	135	32.9%	43	10.5%	108	26.3%	301	73.4%	254	62.0%	115	28.0%
ややあてはまる	224	54.6%	135	32.9%	204	49.8%	97	23.7%	141	34.4%	186	45.4%
ややあてはまらない	41	10.0%	169	41.2%	73	17.8%	4	1.0%	12	2.9%	77	18.8%
あてはまらない	10	2.4%	63	15.4%	25	6.1%	8	2.0%	3	0.7%	32	7.8%
計	410	100.0%	410	100.0%	410	100.0%	410	100.0%	410	100.0%	410	100.0%

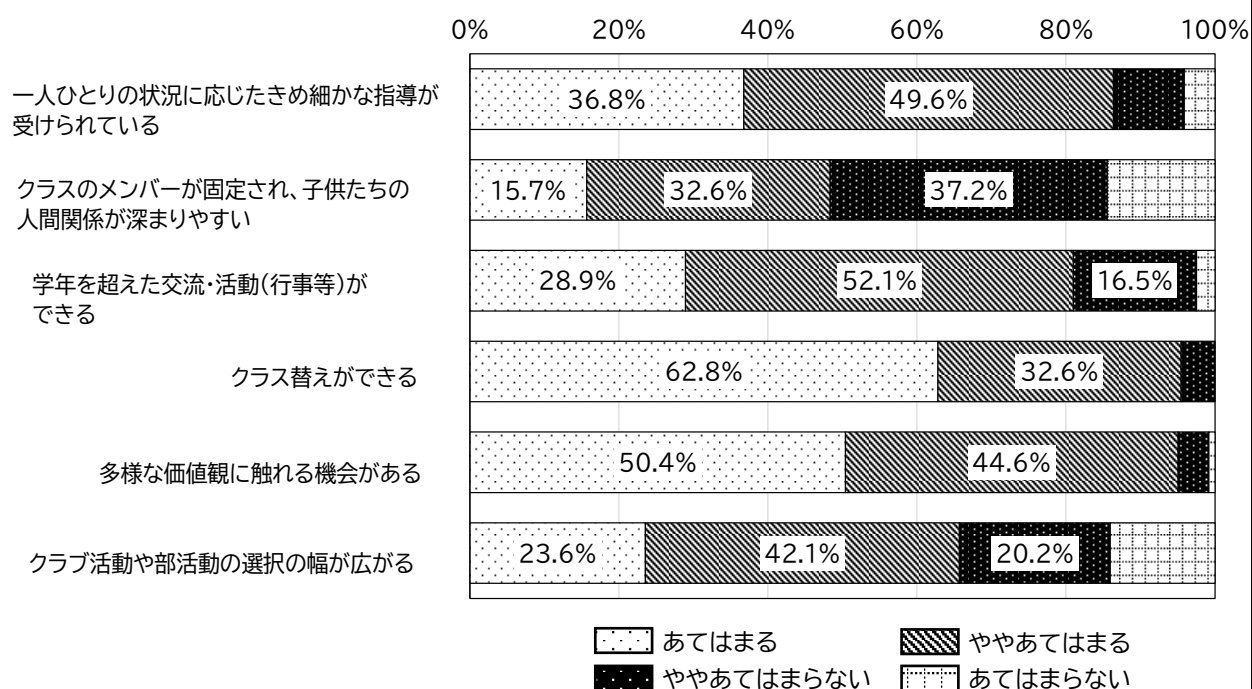


- 小学校の教職員の場合、「クラス替えができる」と回答する割合が最も高く、次いで「多様な価値観に触れる機会がある」、「一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる」が高く、保護者と同様の傾向となっている。

中学校

	一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられている		クラスのメンバーが固定され、子供たちの人間関係が深まりやすい		学年を超えた交流・活動(行事等)ができる		クラス替えができる		多様な価値観に触れる機会がある		クラブ活動や部活動の選択の幅が広がる	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
あてはまる	89	36.8%	38	15.7%	70	28.9%	152	62.8%	122	50.4%	57	23.6%
ややあてはまる	120	49.6%	79	32.6%	126	52.1%	79	32.6%	108	44.6%	102	42.1%
ややあてはまらない	23	9.5%	90	37.2%	40	16.5%	11	4.5%	10	4.1%	49	20.2%
あてはまらない	10	4.1%	35	14.5%	6	2.5%	0	0.0%	2	0.8%	34	14.0%
計	242	100.0%	242	100.0%	242	100.0%	242	100.0%	242	100.0%	242	100.0%

n:242

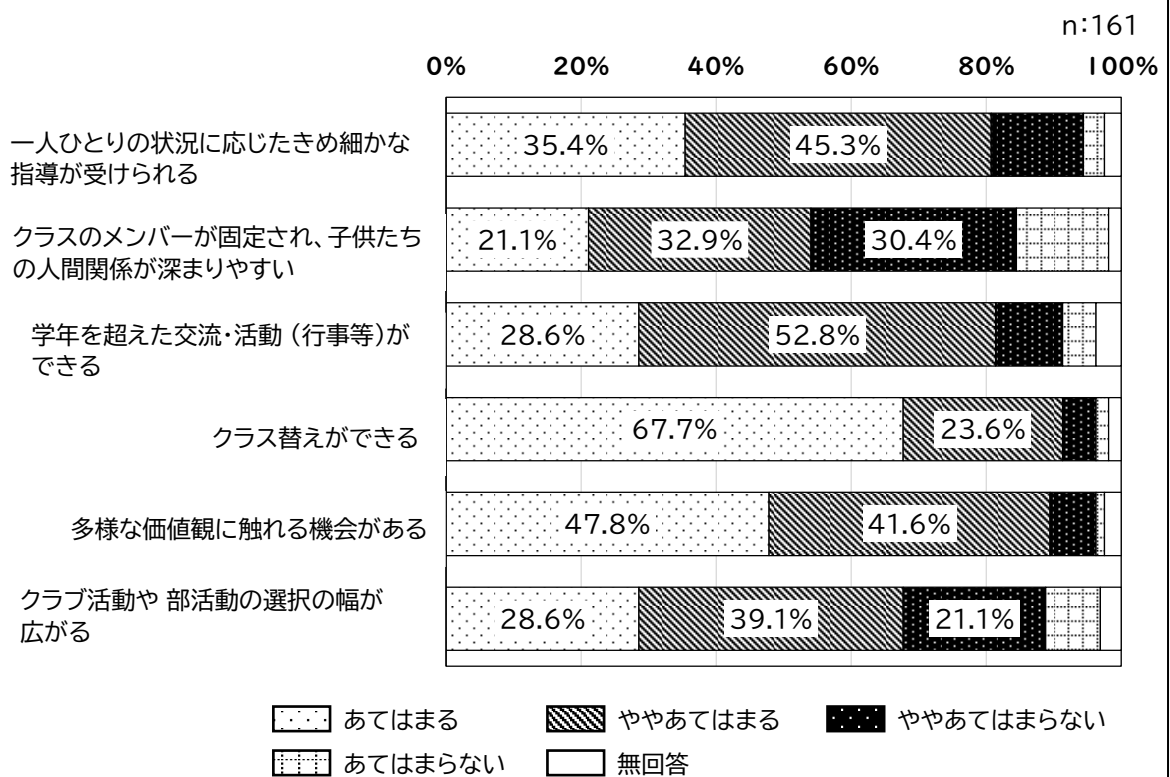


- 中学校の教職員の場合、「クラス替えができる」と回答する割合が最も高く、次いで「多様な価値観に触れる機会がある」、「一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる」が高く、保護者と同様の傾向となっている。

【地域関係者】問9:1学年あたりの望ましい学級数(問8)の選択肢を選んだ理由

小学校

	一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる		クラスのメンバーが固定され、子供たちの人間関係が深まりやすい		学年を超えた交流・活動(行事等)ができる		クラス替えができる		多様な価値観に触れる機会がある		クラブ活動や部活動の選択の幅が広がる	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
あてはまる	57	35.4%	34	21.1%	46	28.6%	109	67.7%	77	47.8%	46	28.6%
ややあてはまる	73	45.3%	53	32.9%	85	52.8%	38	23.6%	67	41.6%	63	39.1%
ややあてはまらない	22	13.7%	49	30.4%	16	9.9%	8	5.0%	11	6.8%	34	21.1%
あてはまらない	5	3.1%	22	13.7%	8	5.0%	3	1.9%	2	1.2%	13	8.1%
無回答	4	2.5%	3	1.9%	6	3.7%	3	1.9%	4	2.5%	5	3.1%
計	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%

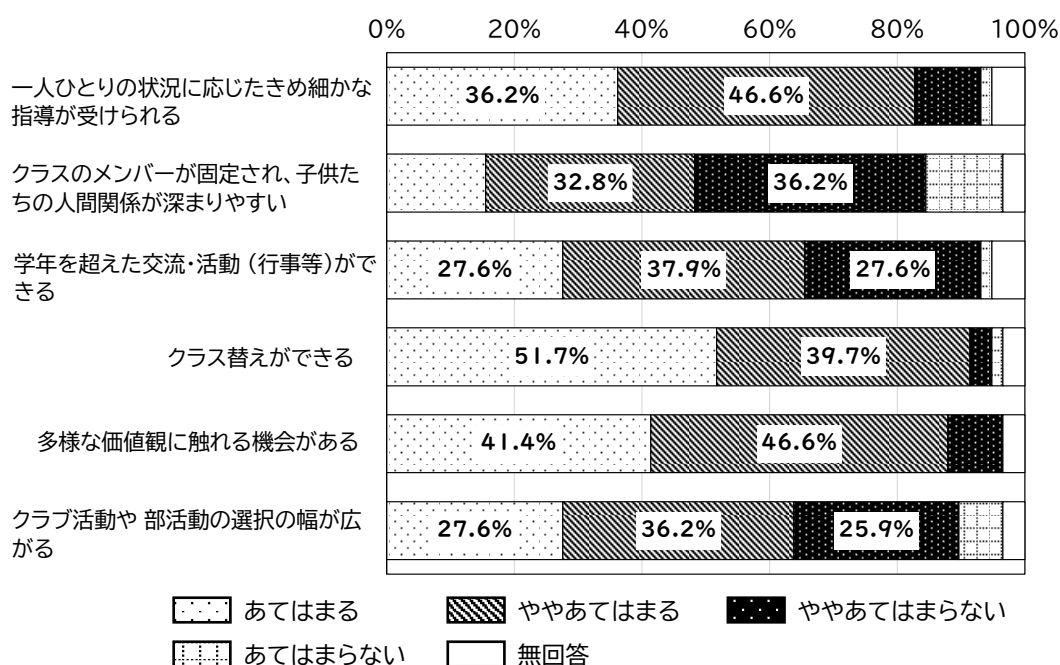


- 小学校の地域関係者の場合、「クラス替えができる」と回答する割合が最も高く、次いで「多様な価値観に触れる機会がある」が高くなっている。

中学校

	一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる		クラスのメンバーが固定され、子供たちの人間関係が深まりやすい		学年を超えた交流・活動（行事等）ができる		クラス替えができる		多様な価値観に触れる機会がある		クラブ活動や部活動の選択の幅が広がる	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
あてはまる	21	36.2%	9	15.5%	16	27.6%	30	51.7%	24	41.4%	16	27.6%
ややあてはまる	27	46.6%	19	32.8%	22	37.9%	23	39.7%	27	46.6%	21	36.2%
ややあてはまらない	6	10.3%	21	36.2%	16	27.6%	2	3.4%	5	8.6%	15	25.9%
あてはまらない	1	1.7%	7	12.1%	1	1.7%	1	1.7%	0	0.0%	4	6.9%
無回答	3	5.2%	2	3.4%	3	5.2%	2	3.4%	2	3.4%	2	3.4%
計	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%

n:58

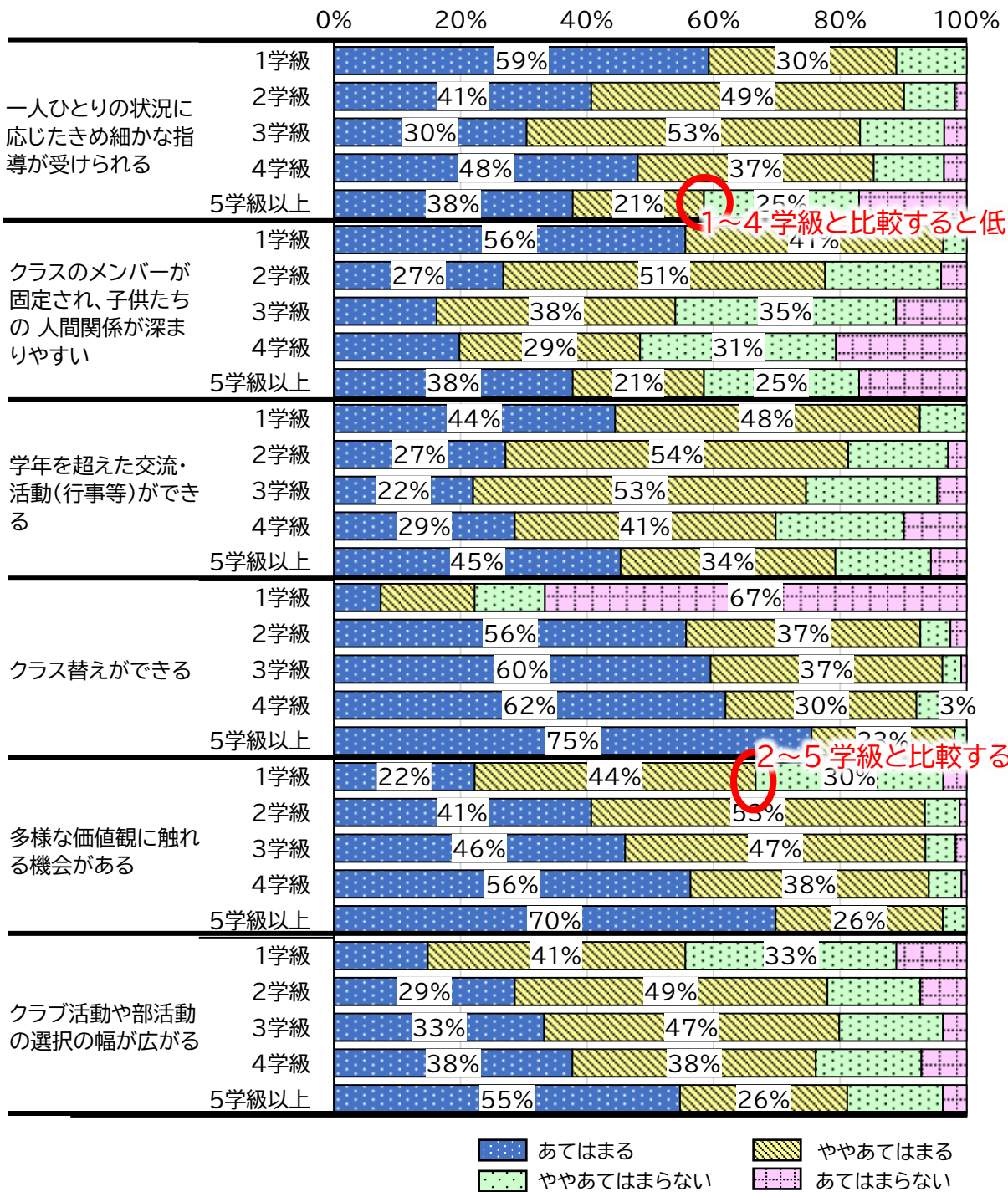


- 中学校の地域関係者の場合、「クラス替えができる」と回答する割合が最も高く、次いで「多様な価値観に触れる機会がある」が高くなっている。

【保護者】問 12:1学年あたりの望ましい学級数×
問 13:1学年あたりの望ましい学級数の選択肢を選んだ理由

小学校

n:1,574



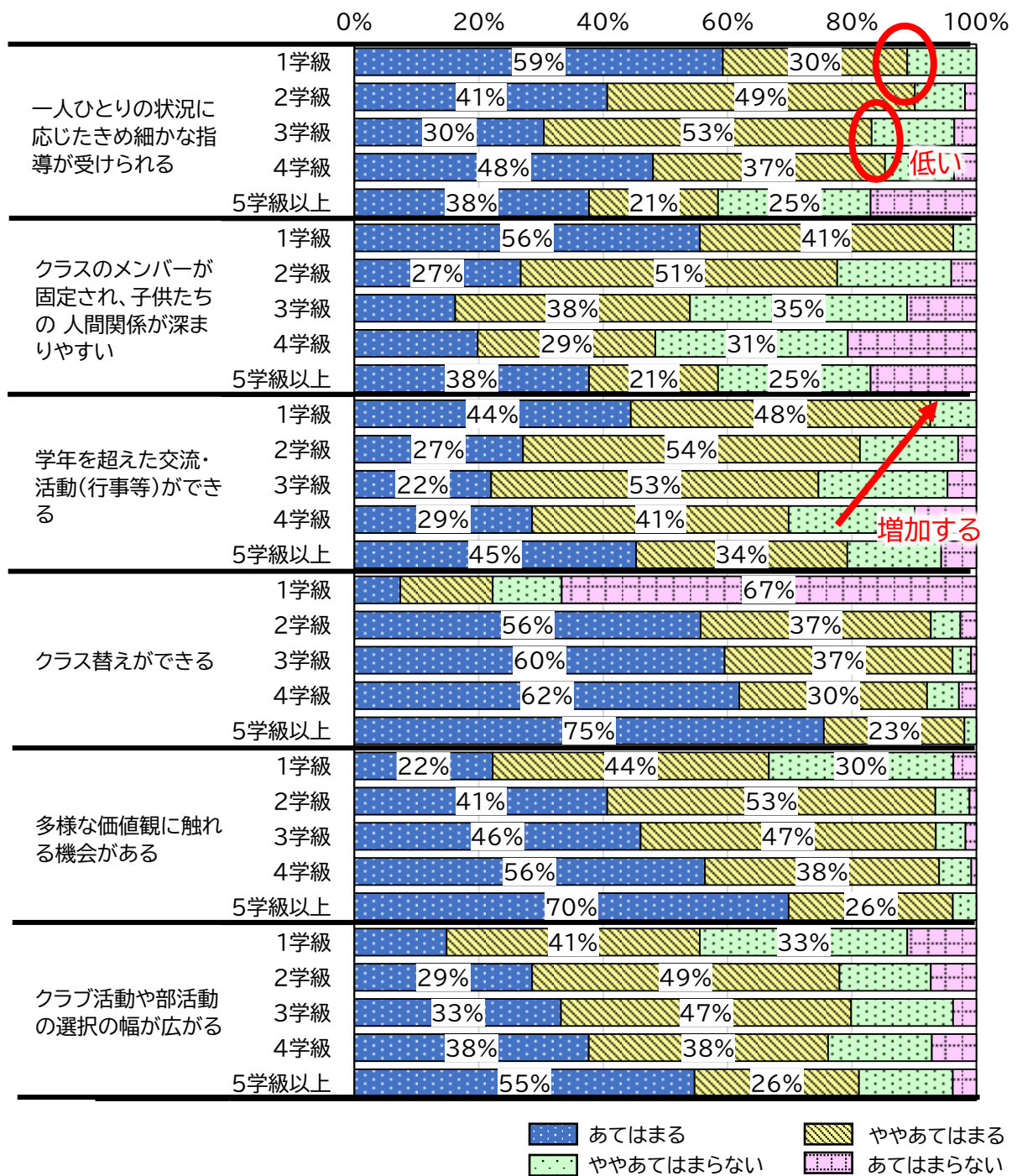
1~4学級と比較すると低い

2~5学級と比較すると低い

- 小学校の保護者の場合、「一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる」で1学年あたりの望ましい学級数を「1学級」、「2学級」と回答した人が「あてはまる」と回答する割合が高く、「3学級」、「4学級」と回答した人になると「あてはまる」と回答する人は減少傾向となる。「5学級以上」になるとさらに減少する。
- 「多様な価値観に触れる機会がある」では、「2学級」~「5学級以上」で、「あてはまる」と回答した人に差はあまり見られないが、「1学級」と回答した人では他と比べて低い割合となっている。

中学校

n:665

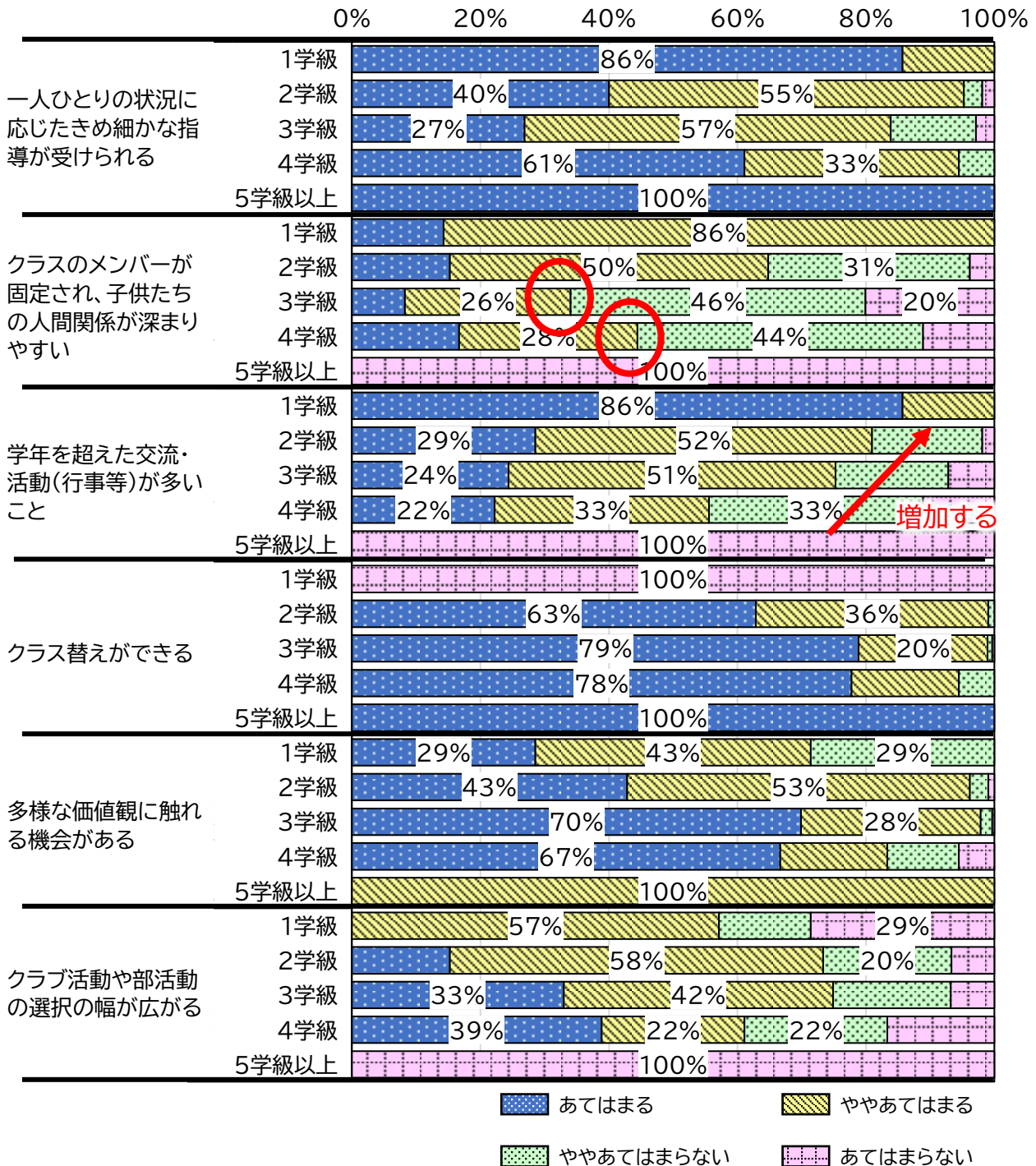


- 中学校の保護者の場合、「一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる」で1学年あたりの望ましい学級数を「1学級」、「2学級」と回答した人が「あてはまる」と回答する割合が高く、「3学級」、「4学級」と回答した人になると「あてはまる」と回答する人は減少傾向となる。
- 「学年を超えた交流・活動(行事等)ができる」では学級数が少ないほど、「あてはまる」と回答する割合が高い。

【教職員】問 12:1学年あたりの望ましい学級数×
問 13:1学年あたりの望ましい学級数の選択肢を選んだ理由

小学校

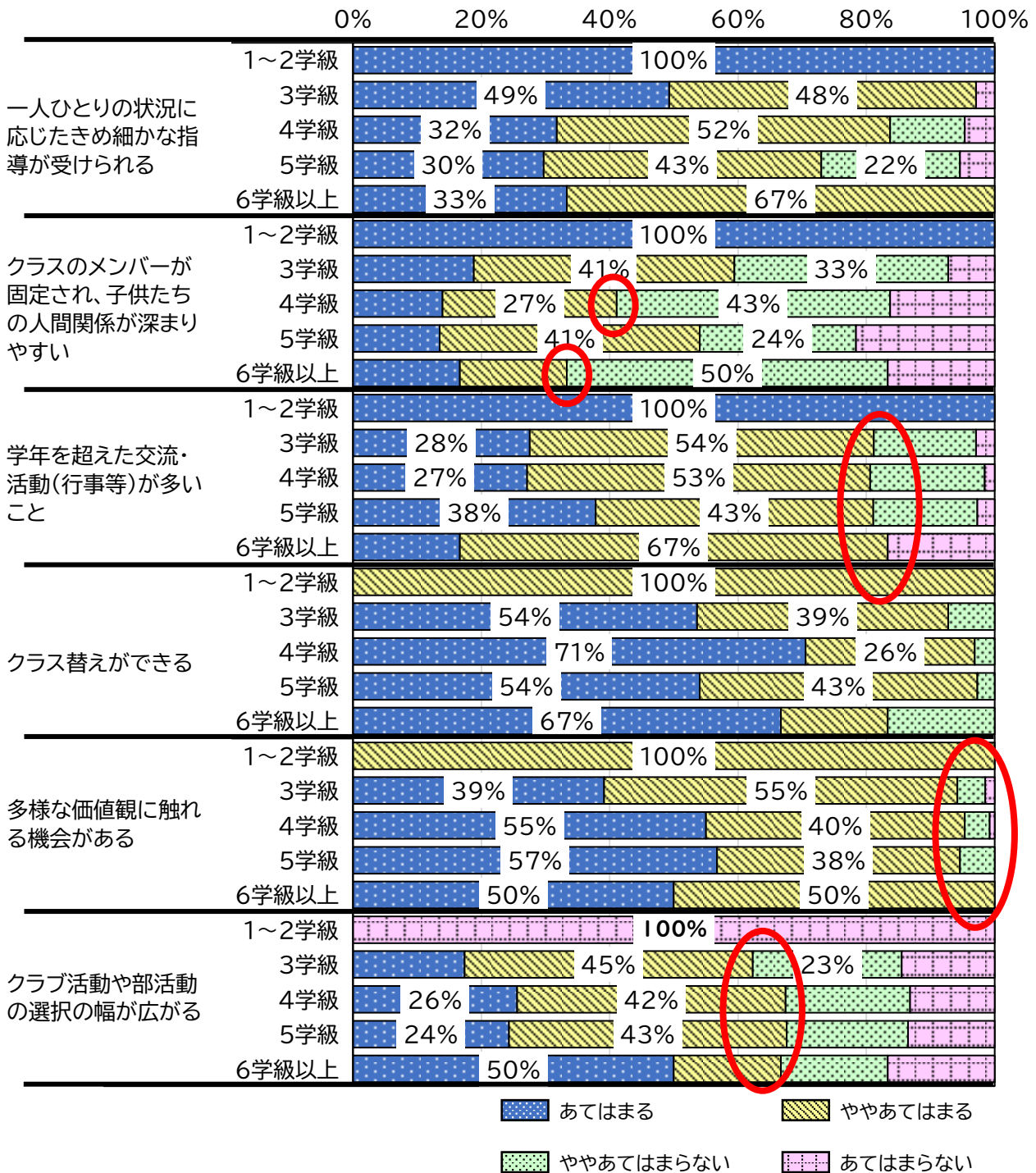
n:410



- 小学校の教職員では、「1学級あたりの望ましい学級数」が、「3 学級」、「4学級」と回答した人は、「クラスのメンバーが固定され、子供たちの人間関係が深まりやすい」で、「あてはまる」と回答する割合が低い。
- 「学年を超えた交流・活動(行事等)が多いこと」では、「1学級あたりの望ましい学級数」が少ないほど、「あてはまる」と回答する割合が高い。

中学校

n:242

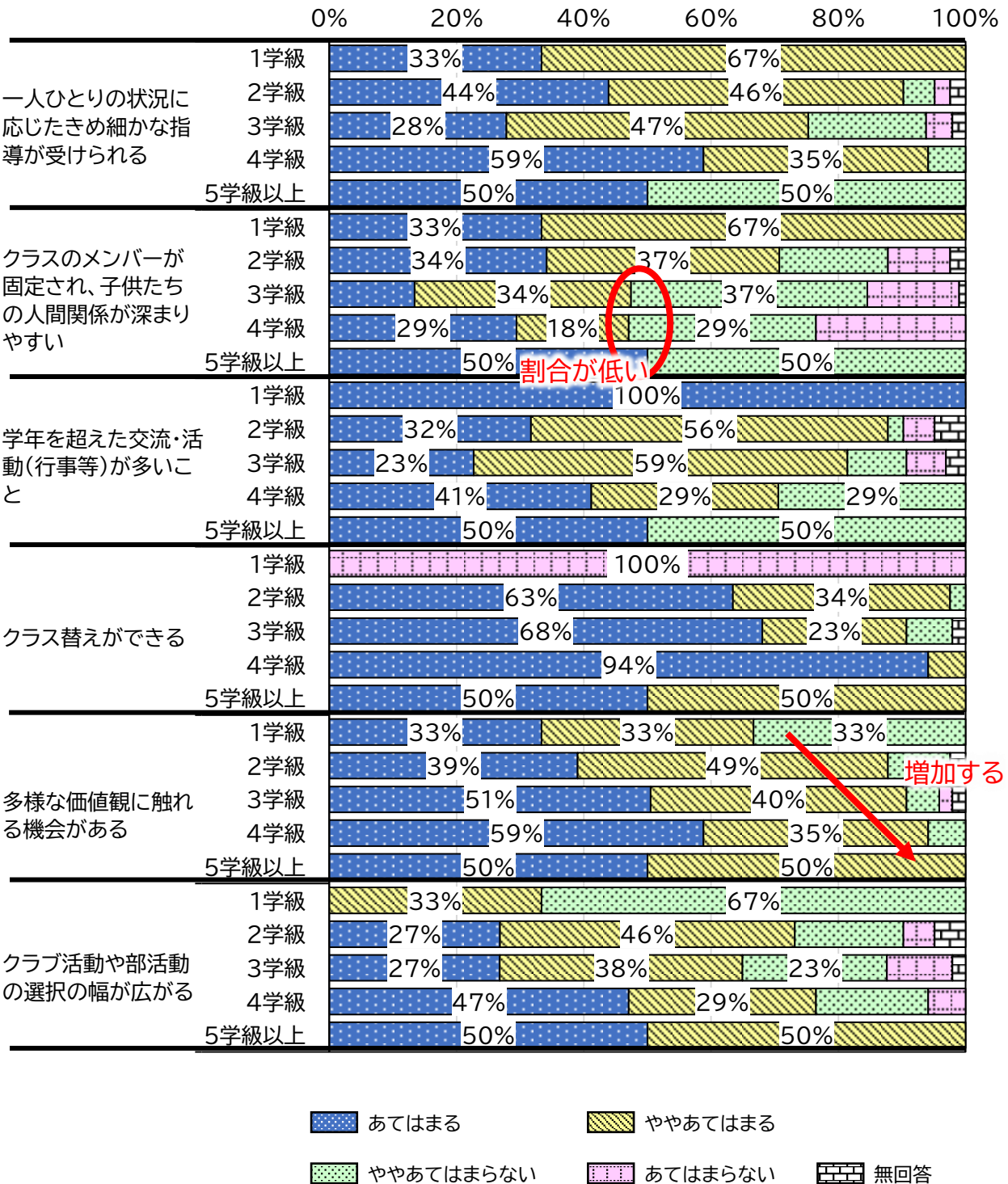


- 中学校の教職員の場合、「1学級あたりの望ましい学級」が、「4学級」と、「6 学級以上」と回答した人は、「クラスのメンバーが固定され、子供たちの人間関係が深まりやすい」で、「あてはまる」と回答する割合が低い。
- 「学年を超えた交流・活動(行事等)が多いこと」、「多様な価値観に触れる機会がある」について、「1~2学級」では「あてはまる」と回答する割合が高いが、「3学級」以上では回答の割合に大きな差はない。

【地域関係者】問 8:1学年あたりの望ましい学級数×
問 9:1学年あたりの望ましい学級数の選択肢を選んだ理由

小学校

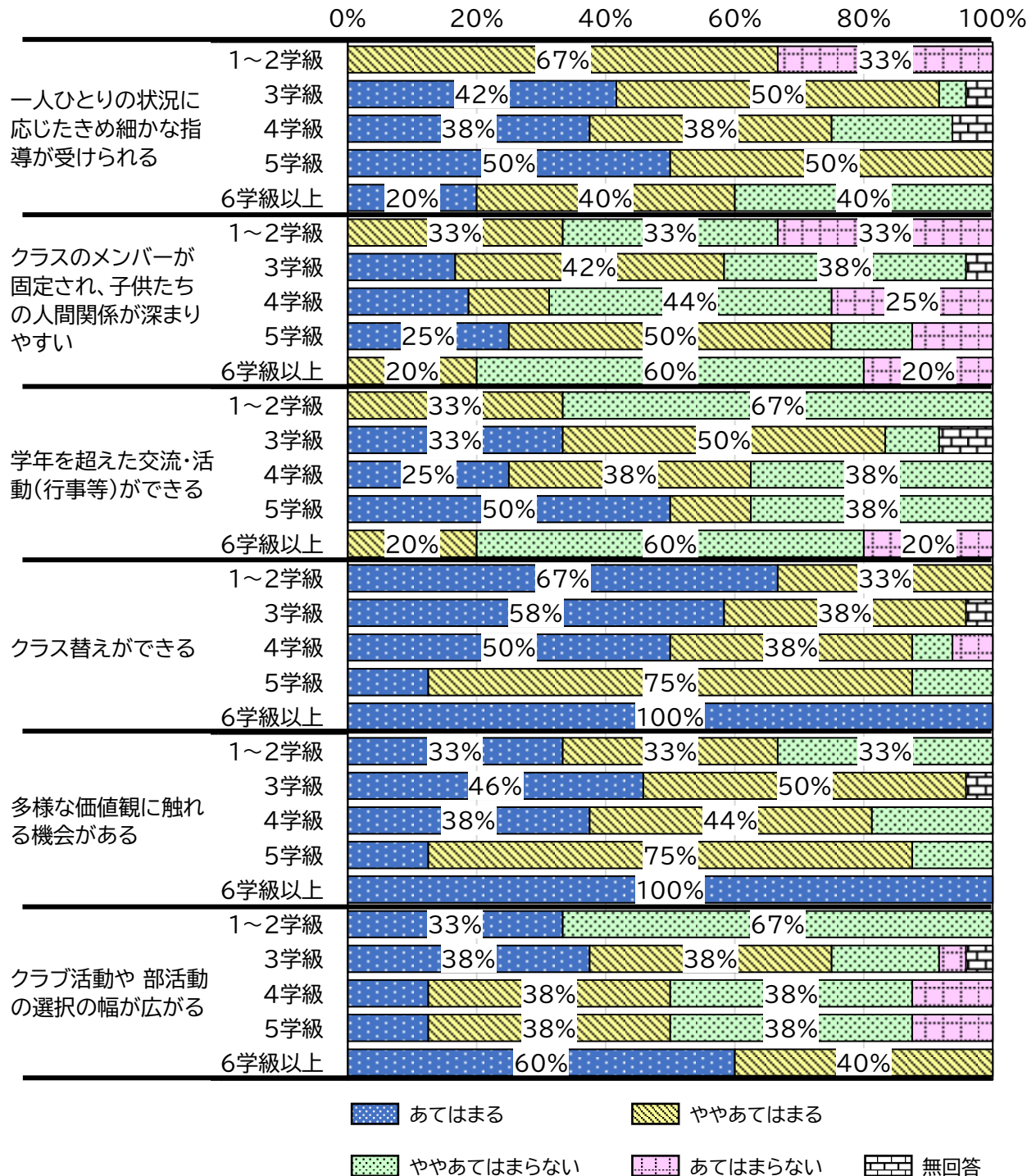
n:160



- 小学校の地域関係者の場合、「1学年あたりの望ましい学級数」が、「3 学級」、「4学級」、「5学級以上」と回答した人は、「クラスメンバーが固定され、子供たちの人間関係が深まりやすい」で、「あてはまる」と回答する割合が低い。
- 「多様な価値観に触れる機会がある」では、「1学年あたりの望ましい学級数」が増えるほど、「あてはまる」と回答する割合が高い。

中学校

n:56

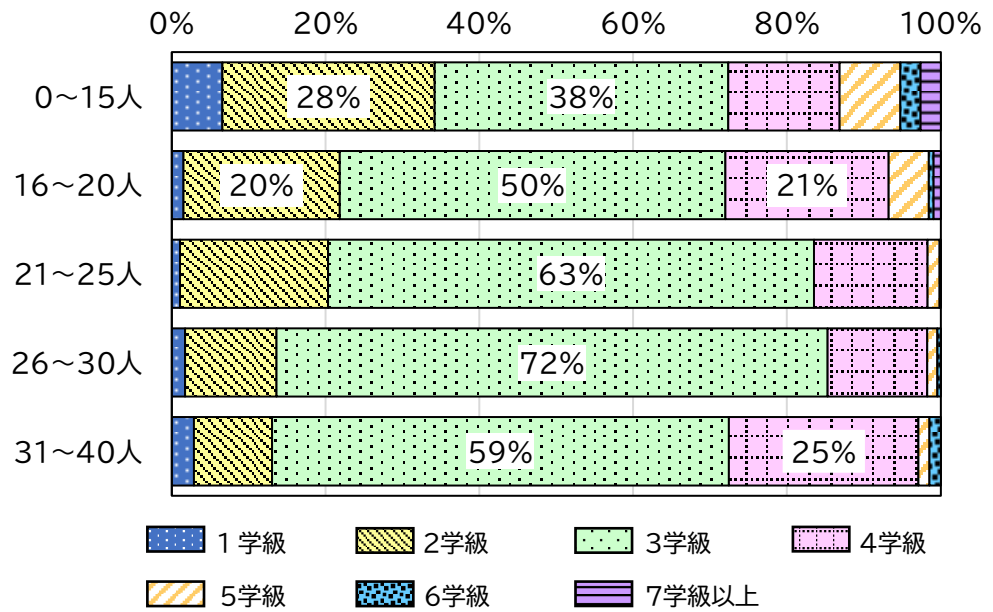


- 中学校の地域関係者では、「一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる」、「クラスのメンバーが固定され、子供たちの人間関係が深まりやすい」で、「1学年あたりの望ましい学級」が、「1~2学級」、「4学級」、「6学級以上」と回答した人は、「あてはまる」と回答する割合が低い。

【保護者】問 10:1学級あたりの望ましい人数×問 12:1学年あたりの望ましい学級数

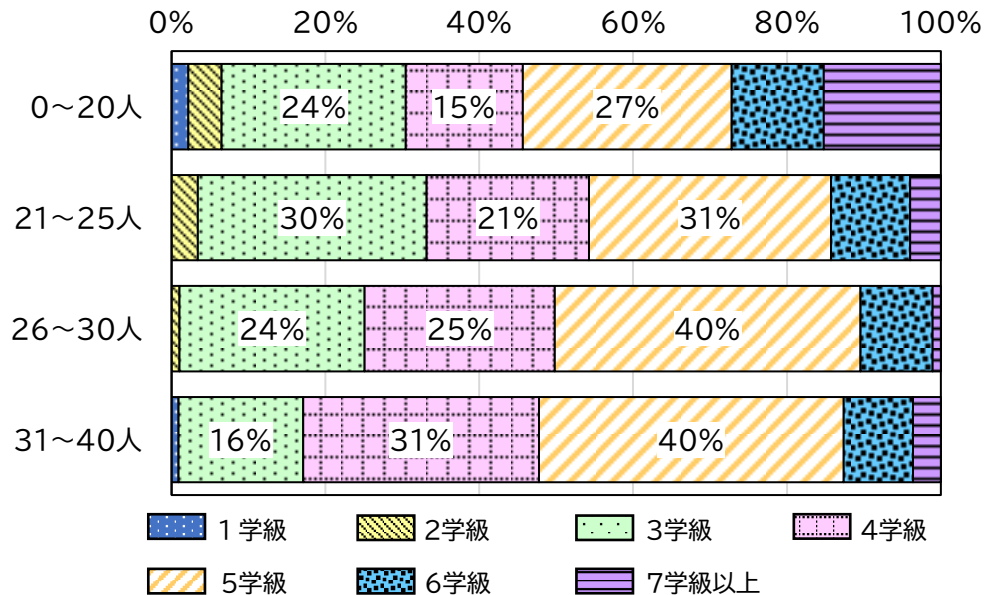
小学校

n:1,574



中学校

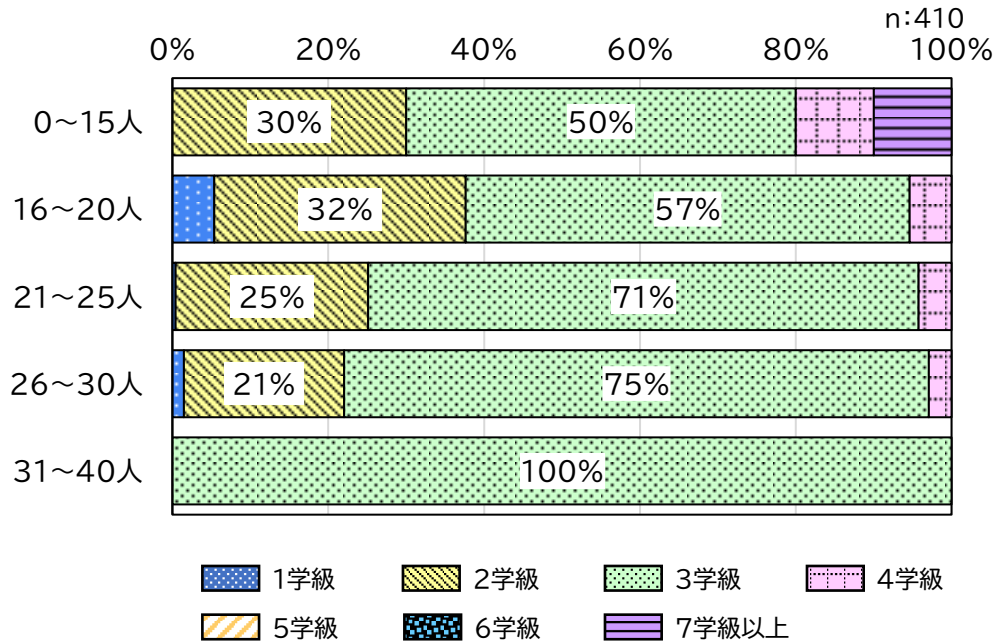
n:665



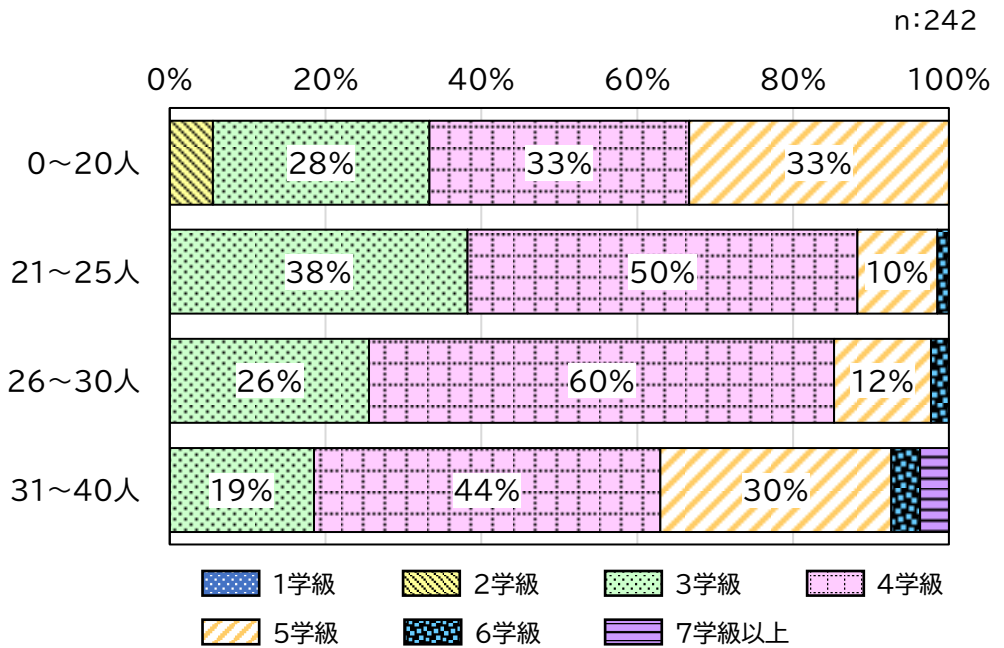
- 小学校の保護者の場合、1学級あたりの人数が何人であっても、「1 学年あたりの望ましい学級数」は、「3学級」と回答する割合が最も高く、特に1学級あたり「26~30 人」と回答した人はその割合が高い。
- 中学校の保護者の場合では、1学級の人数が多くなるほど、「1 学級あたりの望ましい学級数」が、「5 学級」と回答する割合が最も高く、次いで、「3 学級」、「4学級」となっている。

【教職員】問8・問 10:1学級あたりの望ましい人数×問 12:1学年あたりの望ましい学級数

小学校



中学校

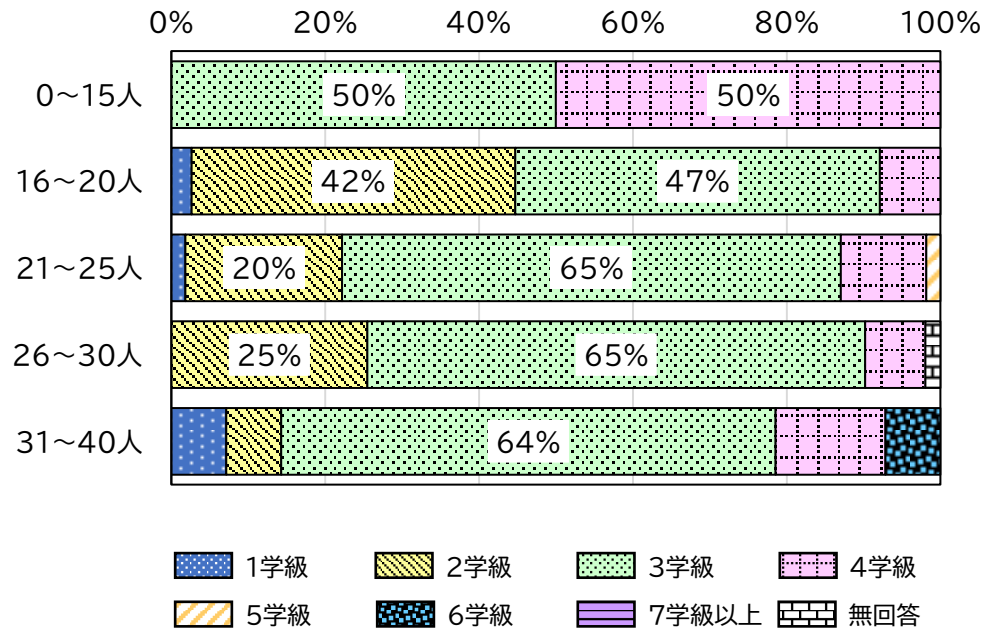


- 小学校の教職員の場合、1 学級あたりの人数が多くなるほど、「1 学年あたりの望ましい学級数」は、「3学級」と回答する割合が最も高く、次いで、「2 学級」と回答する割合が高い。
- 中学校の教職員の場合では、1学級あたりの人数が何人であっても、「1 学級あたりの望ましい学級数」は、「4学級」と回答する割合が高く、特に1学級あたり「26~30 人」と回答した人はその割合が高い。

【地域関係者】問 6:1学級あたりの望ましい人数×問 8:1学年あたりの望ましい学級数

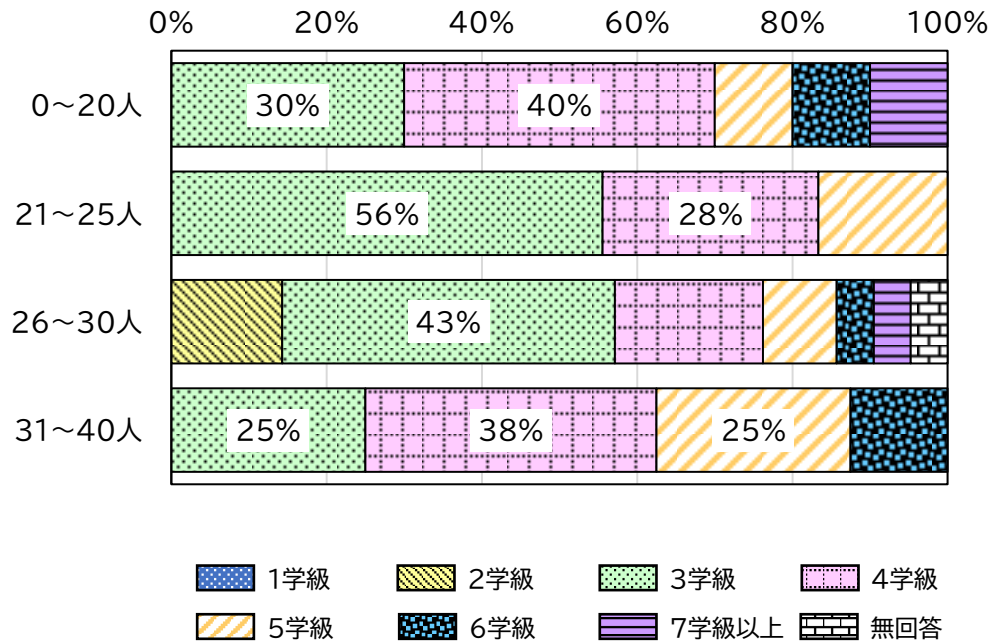
小学校

n:161



中学校

n:57



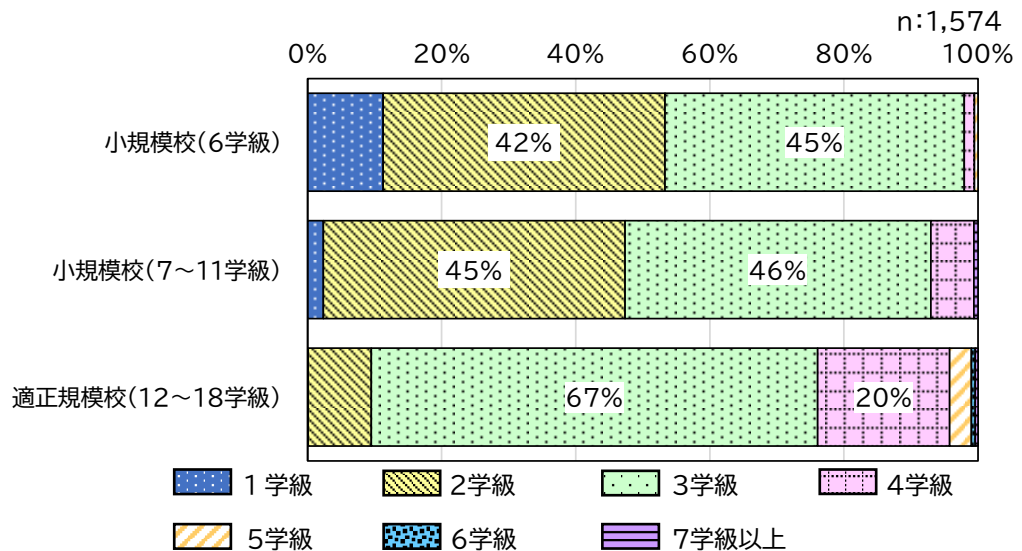
- 小学校の地域関係者の場合、1学級の人数が何人であっても、「1学年あたりの望ましい学級数」は、「3学級」と回答する割合が最も高い。
- 中学校の地域関係者の場合では、1学級の人数が「0~20人」、「31~40人」の場合は、「4学級」と回答する人が最も多く、「21~25人」、「26~30人」の場合は、「3学級」と回答する人が高い。

【保護者】現在の学校の学級数別傾向×問 12:1学年あたりの望ましい学級数

小学校

学校規模	1学級		2学級		3学級		4学級	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
小規模校(6学級)	22	11%	82	42%	87	45%	3	2%
小規模校(7~11学級)	4	2%	77	45%	78	46%	11	6%
適正規模校(12~18学級)	1	0%	114	9%	804	67%	238	20%
計	27	-	273	-	969	-	252	-

学校規模	5学級		6学級		7学級以上		合計
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	計
小規模校(6学級)	1	1%	0	0%	0	0%	195
小規模校(7~11学級)	0	0%	0	0%	1	1%	171
適正規模校(12~18学級)	39	3%	7	1%	5	0%	1208
計	40	-	7	-	6	-	1,574



小学校	R4年度学級数 (通常)	学校規模	小学校	R4年度学級数 (通常)	学校規模
三の丸	18	適正規模校	下曾我	6	小規模校(6学級)
新玉	6	小規模校(6学級)	国府津	17	適正規模校
足柄	14	適正規模校	酒匂	12	適正規模校
芦子	15	適正規模校	片浦	6	小規模校(6学級)
大窪	7	小規模校	曾我	6	小規模校(6学級)
早川	6	小規模校(6学級)	東富水	14	適正規模校
山王	6	小規模校(6学級)	前羽	6	小規模校(6学級)
久野	10	小規模校	下中	11	小規模校
富水	17	適正規模校	矢作	17	適正規模校
町田	11	小規模校	報徳	12	適正規模校
下府中	12	適正規模校	豊川	18	適正規模校
桜井	15	適正規模校	富士見	14	適正規模校
千代	17	適正規模校			

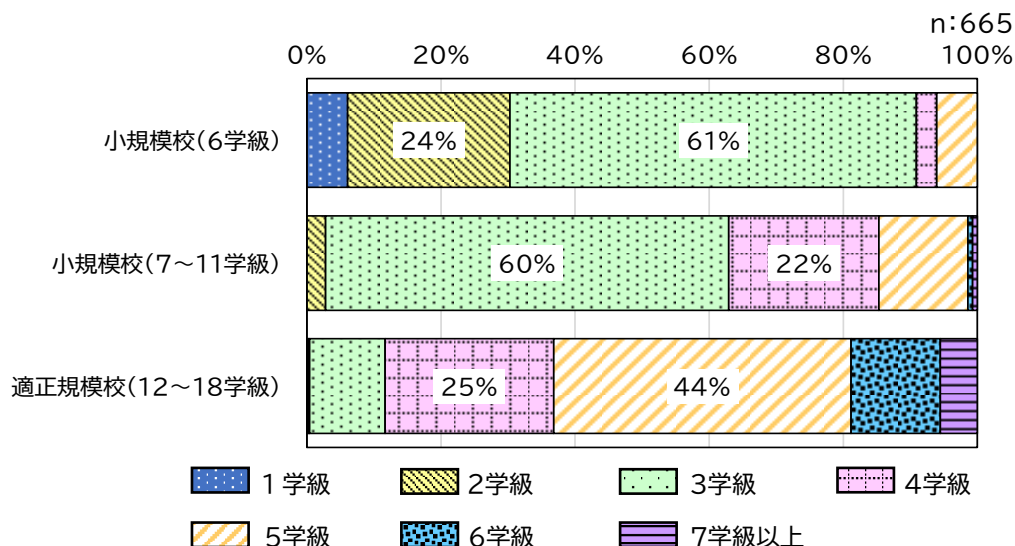
小規模校(6学級):6学級
 小規模校:7~11学級
 適正規模校:12~18学級

- 小学校の保護者の場合、現在の学校規模にかかわらず、「1学年あたりの望ましい学級数」は、「3学級」と回答した割合が高いが、小規模校では、「3学級」、「2学級」と回答した人が同じ割合だった。

中学校

学校規模	1学級		2学級		3学級		4学級	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
小規模校(6学級)	2	6%	8	24%	20	61%	1	3%
小規模校(7~11学級)	0	0%	4	3%	86	60%	32	22%
適正規模校(12~18学級)	1	0%	1	0%	55	11%	123	25%
計	3	-	13	-	161	-	156	-

学校規模	5学級		6学級		7学級以上		合計
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	計
小規模校(6学級)	2	6%	0	0%	0	0%	33
小規模校(7~11学級)	19	13%	1	1%	1	1%	143
適正規模校(12~18学級)	217	44%	65	13%	27	6%	489
計	238	-	66	-	28	-	665



中学校	R4年度学級数 (通常)	学校規模フラグ
城山	10	小規模校
白鷗	9	小規模校
白山	15	適正規模校
城南	5	小規模校(6学級)
鴨宮	15	適正規模校
千代	15	適正規模校
国府津	9	小規模校
酒匂	12	適正規模校
泉中	13	適正規模校
橋中	7	小規模校
城北	12	適正規模校

小規模校(6学級) : 6学級
 小規模校 : 7~11学級
 適正規模校 : 12~18学級

- 中学校の保護者の場合、小規模校では、「3学級」、適正規模校では、「5学級」と回答する割合が高い。

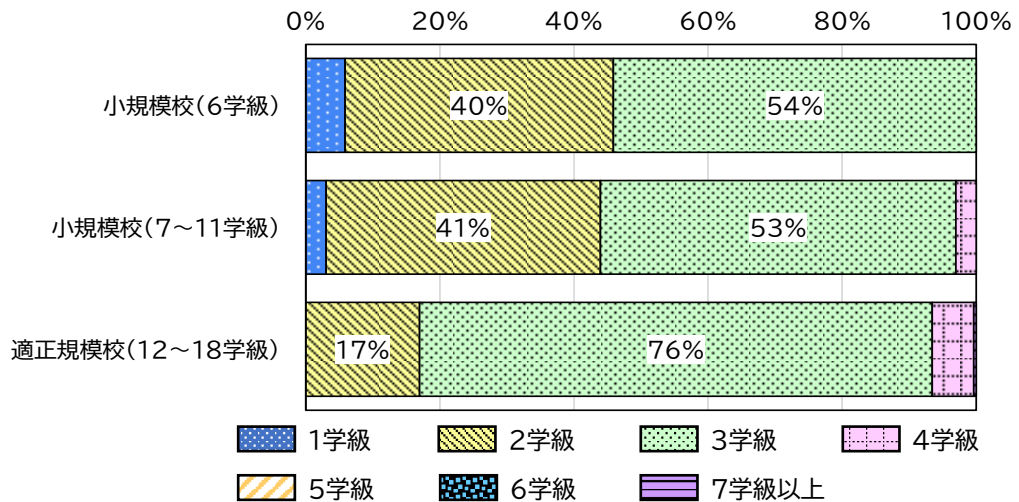
【教職員】現在の学校の学校規模×問 12:1学年あたりの望ましい学級数

小学校

学校規模	1学級		2学級		3学級		4学級	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
小規模校(6学級)	5	6%	34	40%	46	54%	0	0%
小規模校(7~11学級)	2	3%	27	41%	35	53%	2	3%
適正規模校(12~18学級)	0	0%	44	17%	198	76%	16	6%
計	7	-	105	-	279	-	18	-

学校規模	5学級		6学級		7学級以上		計
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
小規模校(6学級)	0	0%	0	0%	0	0%	85
小規模校(7~11学級)	0	0%	0	0%	0	0%	66
適正規模校(12~18学級)	0	0%	0	0%	1	0%	259
計	0	-	0	-	1	-	410

n:410



小学校	R4年度学級数(通常)	学校規模	小学校	R4年度学級数(通常)	学校規模
三の丸	18	適正規模校	下曾我	6	小規模校(6学級)
新玉	6	小規模校(6学級)	国府津	17	適正規模校
足柄	14	適正規模校	酒匂	12	適正規模校
芦子	15	適正規模校	片浦	6	小規模校(6学級)
大窪	7	小規模校	曾我	6	小規模校(6学級)
早川	6	小規模校(6学級)	東富水	14	適正規模校
山王	6	小規模校(6学級)	前羽	6	小規模校(6学級)
久野	10	小規模校	下中	11	小規模校
富水	17	適正規模校	矢作	17	適正規模校
町田	11	小規模校	報徳	12	適正規模校
下府中	12	適正規模校	豊川	18	適正規模校
桜井	15	適正規模校	富士見	14	適正規模校
千代	17	適正規模校			

小規模校(6学級):6学級
 小規模校:7~11学級
 適正規模校:12~18学級

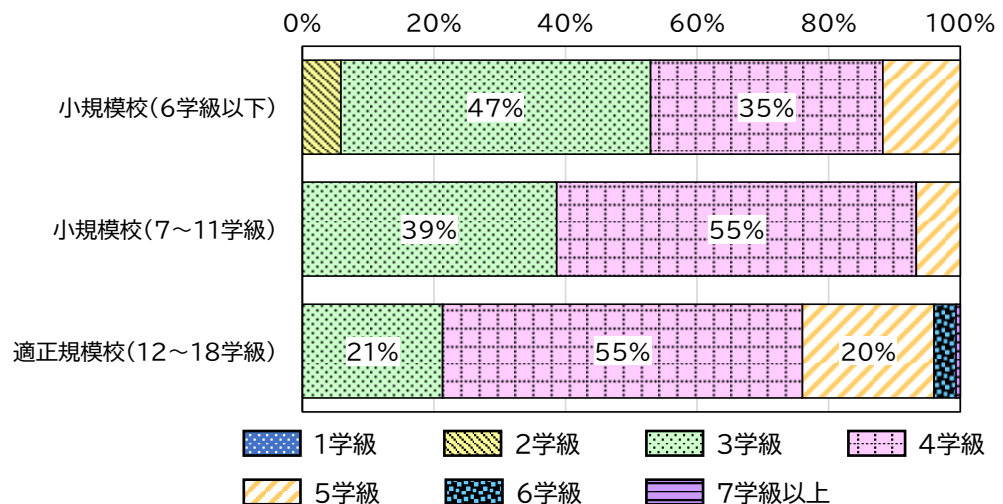
- 小学校の教職員の場合、現在の学校規模に関わらず「1学年あたりの望ましい学級数」は、「3学級」と回答する割合が高いが、小規模校ではその割合が減少する。

中学校

学校規模	1学級		2学級		3学級		4学級	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
小規模校(6学級以下)	0	0%	1	6%	8	47%	6	35%
小規模校(7~11学級)	0	0%	0	0%	29	39%	41	55%
適正規模校(12~18学級)	0	0%	0	0%	32	21%	82	55%
計	0	-	1	-	69	-	129	-

学校規模	5学級		6学級		7学級以上		計
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
小規模校(6学級以下)	2	12%	0	0%	0	0%	17
小規模校(7~11学級)	5	7%	0	0%	0	0%	75
適正規模校(12~18学級)	30	20%	5	3%	1	1%	150
計	37	-	5	-	1	-	242

n:242



中学校	R4年度学級数(通常)	学校規模フラグ
城山	10	小規模校
白鷗	9	小規模校
白山	15	適正規模校
城南	5	小規模校(6学級)
鴨宮	15	適正規模校
千代	15	適正規模校
国府津	9	小規模校
酒匂	12	適正規模校
泉中	13	適正規模校
橘中	7	小規模校
城北	12	適正規模校

小規模校(6学級): 6学級
 小規模校: 7~11学級
 適正規模校: 12~18学級

- 中学校の教職員の場合、「1学年あたりの望ましい学級数」は、6学級以下の小規模校では、「3学級」、7~11学級の小規模校と適正規模校では、「4学級」と回答する割合が高い。

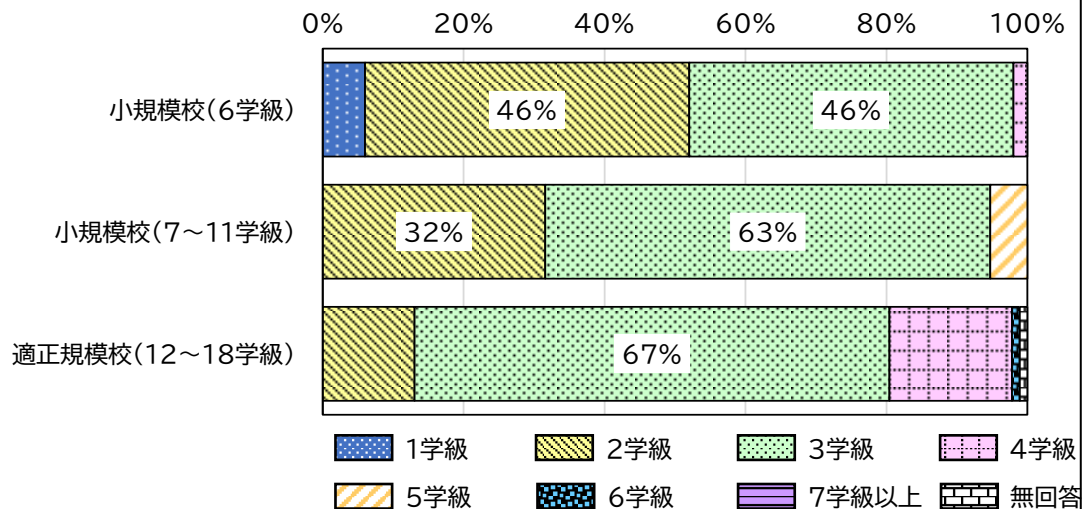
【地域関係者】現在の学校の学校規模×問 8:1学年あたりの望ましい学級数

小学校

学校規模	1学級		2学級		3学級		4学級	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
小規模校(6学級)	3	6%	23	46%	23	46%	1	2%
小規模校(7~11学級)	0	0%	6	32%	12	63%	0	0%
適正規模校(12~18学級)	0	0%	12	13%	62	67%	16	17%
計	3	-	41	-	97	-	17	-

学校規模	5学級		6学級		7学級以上		無回答		計
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
小規模校(6学級)	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	50
小規模校(7~11学級)	1	5%	0	0%	0	0%	0	0%	19
適正規模校(12~18学級)	0	0%	1	1%	0	0%	1	1%	92
計	1	-	1	-	0	-	1	-	161

n:161



小学校	R4年度学級数(通常)	学校規模	小学校	R4年度学級数(通常)	学校規模
三の丸	18	適正規模校	下曾我	6	小規模校(6学級)
新玉	6	小規模校(6学級)	国府津	17	適正規模校
足柄	14	適正規模校	酒匂	12	適正規模校
芦子	15	適正規模校	片浦	6	小規模校(6学級)
大窪	7	小規模校	曾我	6	小規模校(6学級)
早川	6	小規模校(6学級)	東富水	14	適正規模校
山王	6	小規模校(6学級)	前羽	6	小規模校(6学級)
久野	10	小規模校	下中	11	小規模校
富水	17	適正規模校	矢作	17	適正規模校
町田	11	小規模校	報徳	12	適正規模校
下府中	12	適正規模校	豊川	18	適正規模校
桜井	15	適正規模校	富士見	14	適正規模校
千代	17	適正規模校			

小規模校(6学級):6学級

小規模校:7~11学級

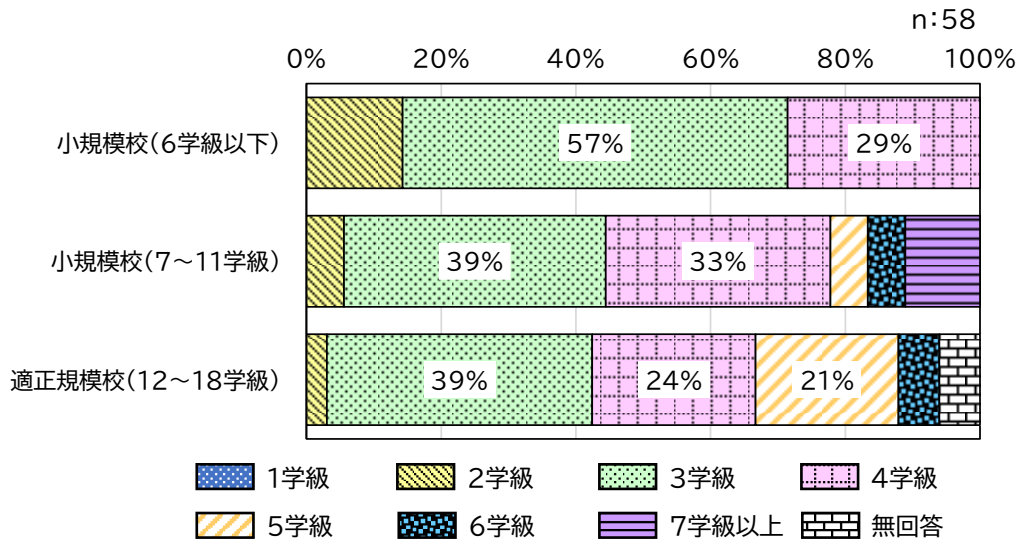
適正規模校:12~18学級

- 小学校の地域関係者の場合、現在の学校規模にかかわらず、「1学年あたりの望ましい学級数」は、「3学級」と回答する割合が高く、次に「2学級」と回答する割合が高い。

中学校

学校規模	1学級		2学級		3学級		4学級	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
小規模校(6学級以下)	0	0%	1	14%	4	57%	2	29%
小規模校(7~11学級)	0	0%	1	6%	7	39%	6	33%
適正規模校(12~18学級)	0	0%	1	3%	13	39%	8	24%
計	0	-	3	-	24	-	16	-

学校規模	5学級		6学級		7学級以上		無回答		計
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
小規模校(6学級)	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	7
小規模校(7~11学級)	1	6%	1	6%	2	11%	0	0%	18
適正規模校(12~18学級)	7	21%	2	6%	0	0%	2	6%	33
計	8	-	3	-	2	-	2	-	58



中学校	R4年度学級数 (通常)	学校規模フラグ
城山	10	小規模校
白鷗	9	小規模校
白山	15	適正規模校
城南	5	小規模校(6学級)
鴨宮	15	適正規模校
千代	15	適正規模校
国府津	9	小規模校
酒匂	12	適正規模校
泉中	13	適正規模校
橘中	7	小規模校
城北	12	適正規模校

小規模校(6学級): 6学級
 小規模校: 7~11学級
 適正規模校: 12~18学級

- 中学校の地域関係者の場合、現在の学校規模にかかわらず、「1学年あたりの望ましい学級数」は、「3学級」と回答する割合が高く、次に「4学級」と回答する割合が高い。

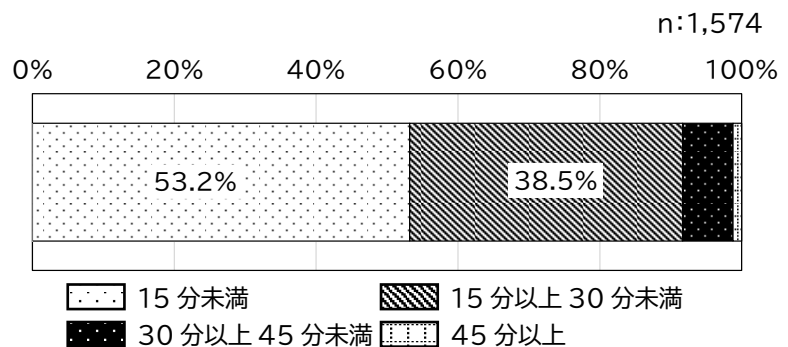
通学・学区について

○現在の通学時間・通学手段

【保護者】問 14: お子様の通学時間(片道)

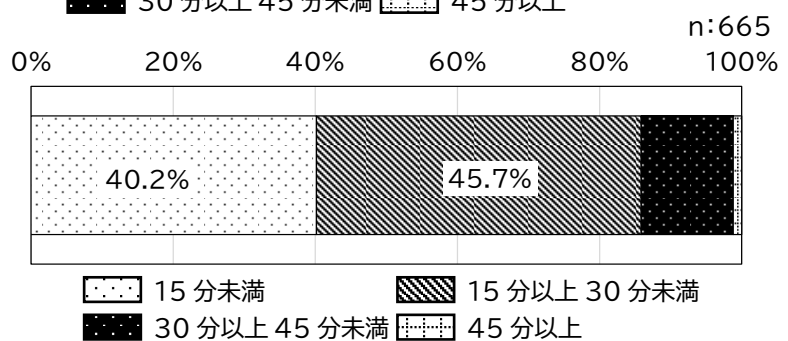
小学校

	回答数	割合
15分未満	837	53.2%
15分以上30分未満	606	38.5%
30分以上45分未満	112	7.1%
45分以上	19	1.2%
計	1,574	100.0%



中学校

	回答数	割合
15分未満	267	40.2%
15分以上30分未満	304	45.7%
30分以上45分未満	86	12.9%
45分以上	8	1.2%
計	665	100.0%

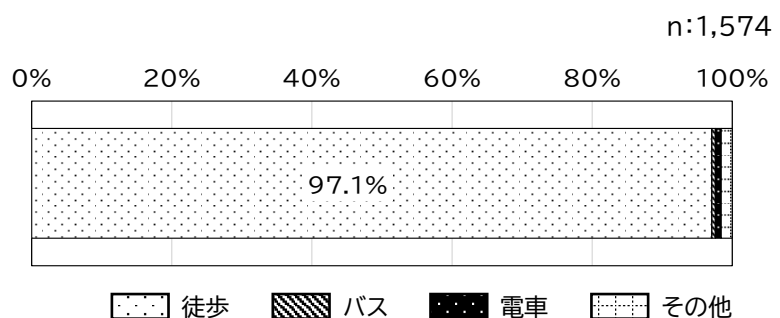


- 通学時間(片道)については、小学校は「15分未満」が最も高く、中学校は「15分以上30分未満」が最も高い。

【保護者】問 15: お子様の通学手段

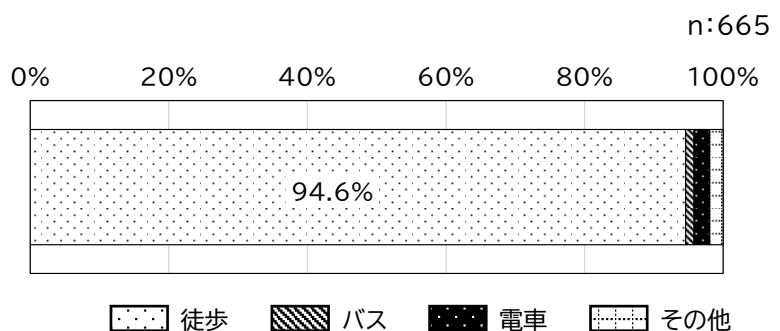
小学校

	回答数	割合
徒歩	1,528	97.1%
バス	8	0.5%
電車	13	0.8%
その他	25	1.6%
計	1,574	100.0%



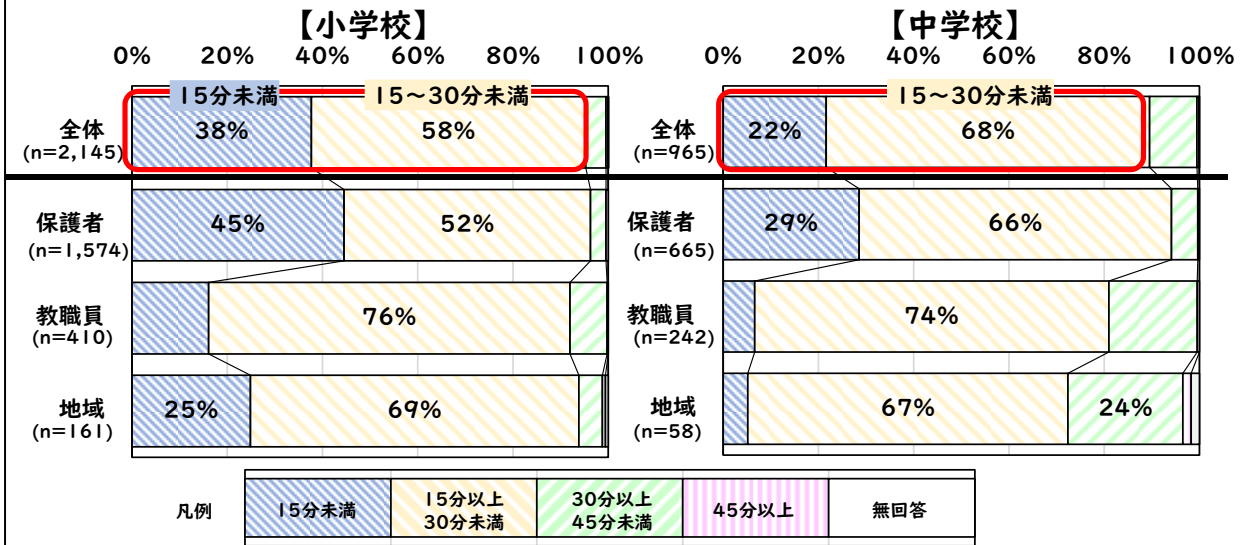
中学校

	回答数	割合
徒歩	629	94.6%
バス	8	1.2%
電車	15	2.3%
その他	13	2.0%
計	665	100.0%

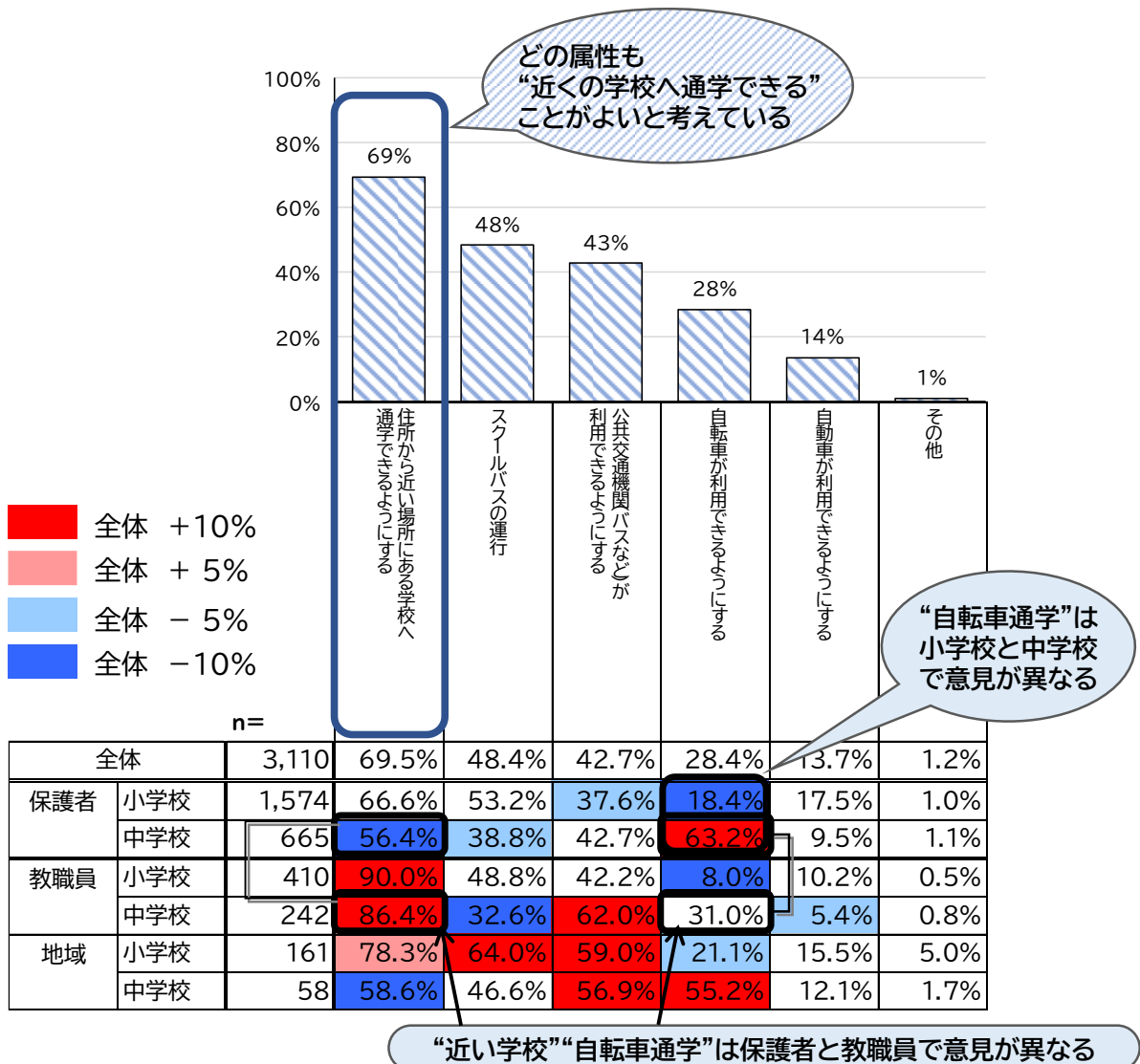


- 通学手段は、小学校・中学校ともに「徒歩」が最も高い。

全体集計(通学時間(片道)の許容範囲)



全体集計(徒歩で通学することが難しい場合に必要な配慮)※3 つまで選択



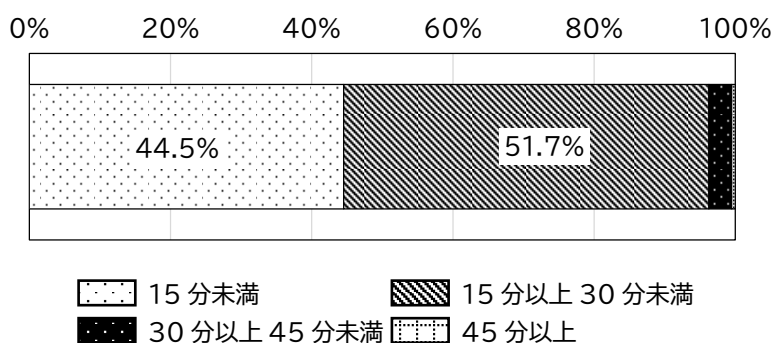
○望ましい通学時間の許容範囲と通学するための配慮

【保護者】問 16:通学時間(片道)の許容範囲

小学校

	回答数	割合
15分未満	701	44.5%
15分以上30分未満	814	51.7%
30分以上45分未満	51	3.2%
45分以上	8	0.5%
計	1,574	100.0%

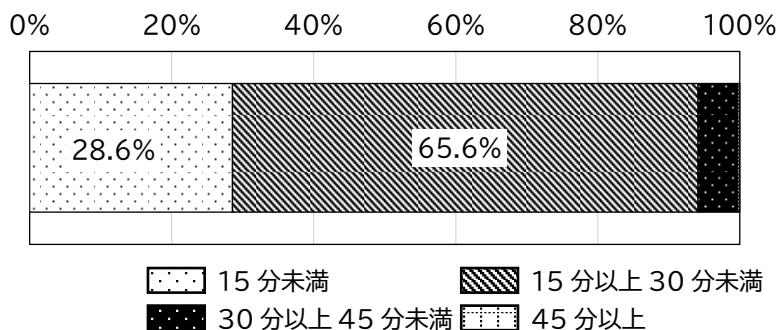
n:1,574



中学校

	回答数	割合
15分未満	190	28.6%
15分以上30分未満	436	65.6%
30分以上45分未満	37	5.6%
45分以上	2	0.3%
計	665	100.0%

n:665

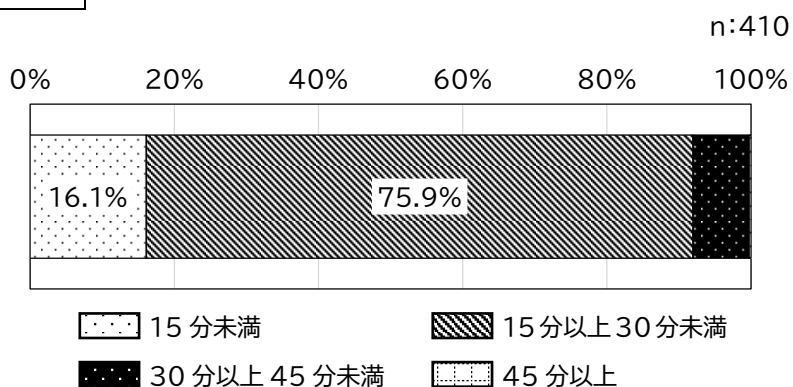


- 通学時間(片道)については、小学校、中学校ともに「15分以上 30分未満」が最も高くなっている。
- 小学校では、「15分未満」と回答する割合も高くなっている。

【教職員】問 14:通学時間(片道)の許容範囲

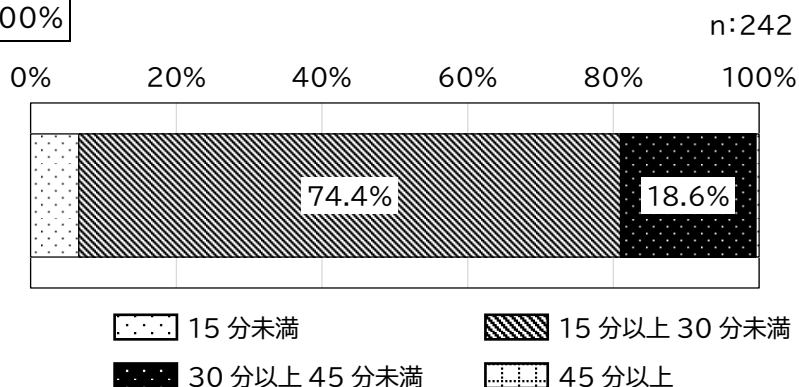
小学校

	回答数	割合
15分未満	66	16.1%
15分以上30分未満	311	75.9%
30分以上45分未満	32	7.8%
45分以上	1	0.2%
計	410	100%



中学校

	回答数	割合
15分未満	16	6.6%
15分以上30分未満	180	74.4%
30分以上45分未満	45	18.6%
45分以上	1	0.4%
計	242	100%

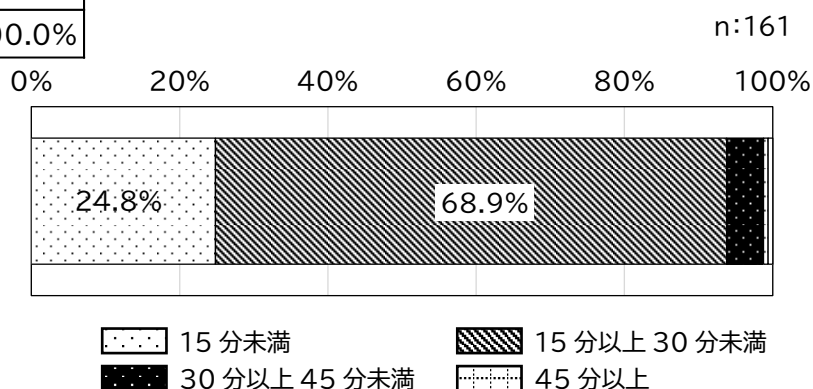


- 通学時間(片道)の許容範囲は、小学校・中学校ともに「15分以上30分未満」が最も多く、次いで、小学校は「15分未満」、中学校は「30分以上45分未満」となっている。

【地域関係者】問 10:通学時間(片道)の許容範囲

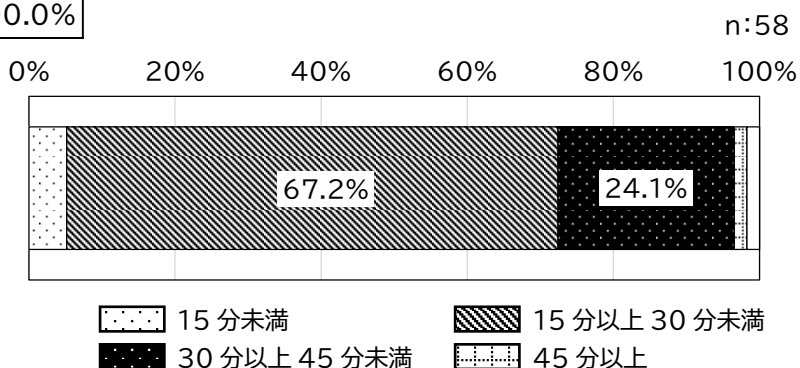
小学校

	回答数	割合
15分未満	40	24.8%
15分以上30分未満	111	68.9%
30分以上45分未満	8	5.0%
45分以上	1	0.6%
無回答	1	0.6%
計	161	100.0%



中学校

	回答数	割合
15分未満	3	5.2%
15分以上30分未満	39	67.2%
30分以上45分未満	14	24.1%
45分以上	1	1.7%
無回答	1	1.7%
計	58	100.0%

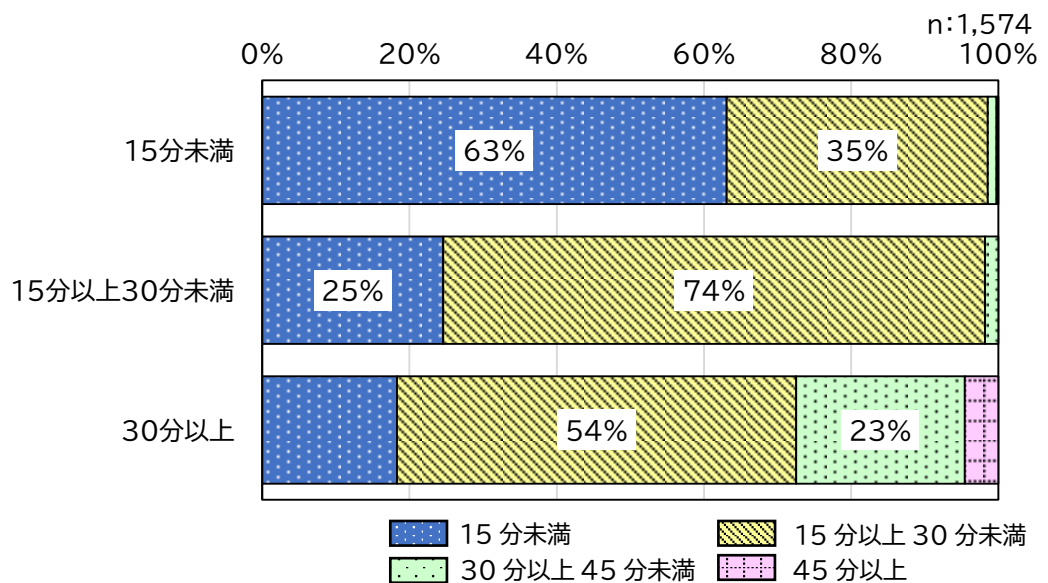


- 通学時間(片道)の許容範囲は、小学校・中学校ともに「15分以上30分未満」が最も多く、次いで小学校は「15分未満」、中学校は「30分以上45分未満」となっている。

【保護者】問 14:お子様の通学時間(片道)×問 16:通学時間(片道)の許容範囲

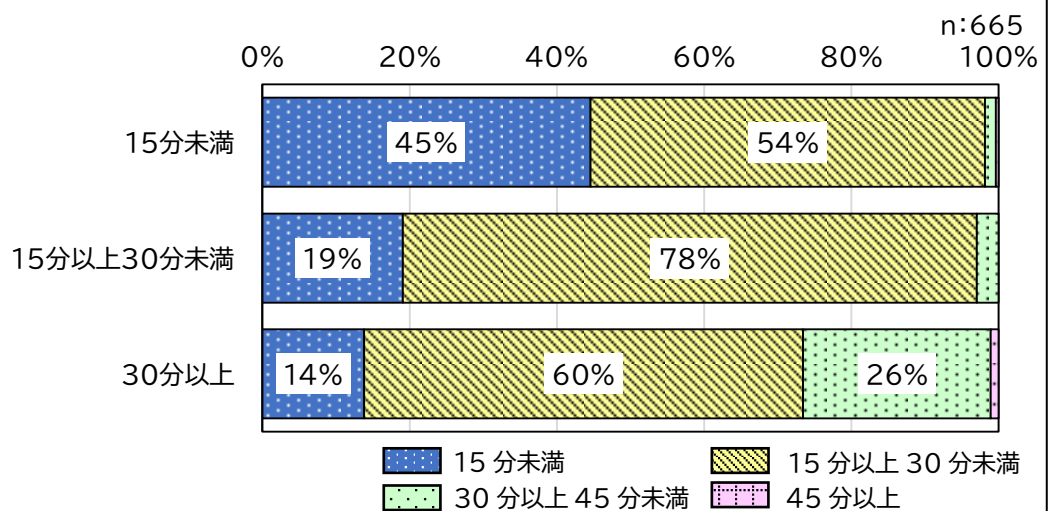
小学校

通学時間(片道)	15分未満		15分以上30分未満		30分以上45分未満		45分以上		合計
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	計
15分未満	528	63%	297	35%	10	1%	2	0%	837
15分以上30分未満	149	25%	446	74%	11	2%	0	0%	606
30分以上	24	18%	71	54%	30	23%	6	5%	131
計	701	-	814	-	51	-	8	-	1,574



中学校

通学時間(片道)	15分未満		15分以上30分未満		30分以上45分未満		45分以上		合計
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	計
15分未満	119	45%	143	54%	4	1%	1	0%	267
15分以上30分未満	58	19%	237	78%	9	3%	0	0%	304
30分以上	13	14%	56	60%	24	26%	1	1%	94
計	190	-	436	-	37	-	2	-	665



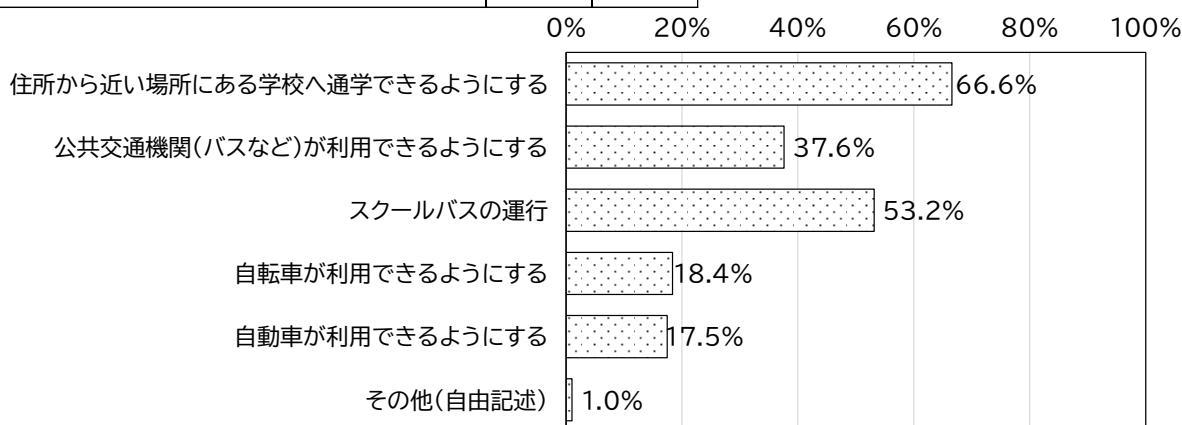
- 小学校の保護者の場合、現在の通学時間が「15分以上」の人は「15分以上30分未満」と回答しており、現在「15分未満」の人も約35%は「15分以上30分未満」でも良いと考えている。
- 中学校の保護者の場合、現状の通学時間に関わらず、許容範囲は「15分以上30分未満」と回答する割合が高い。

【保護者】問 17:徒歩で通学することが難しい場合に必要な配慮

小学校

	回答数	割合
住所から近い場所にある学校へ通学できるようにする	1,048	66.6%
公共交通機関(バスなど)が利用できるようにする	592	37.6%
スクールバスの運行	837	53.2%
自転車が利用できるようにする	289	18.4%
自動車が利用できるようにする	275	17.5%
その他(自由記述)	16	1.0%
計	3,057	-

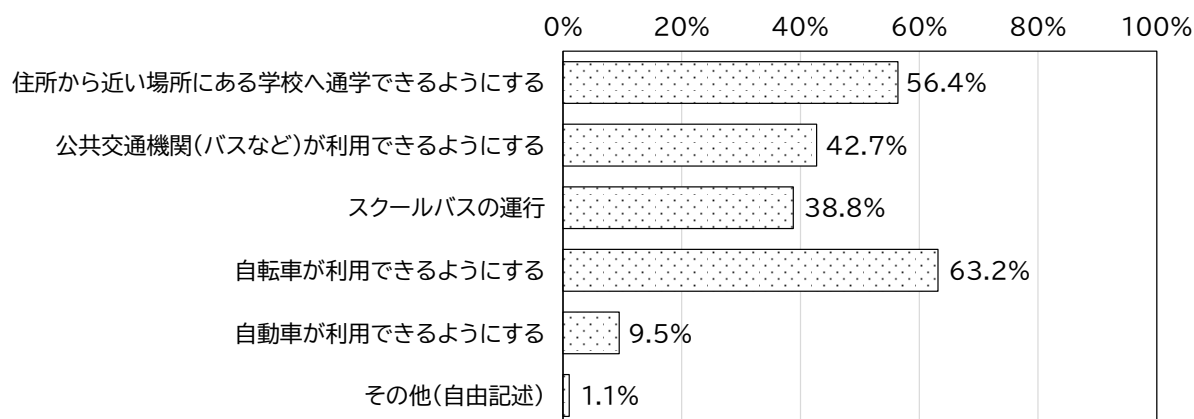
n:1,574



中学校

	回答数	割合
住所から近い場所にある学校へ通学できるようにする	375	56.4%
公共交通機関(バスなど)が利用できるようにする	284	42.7%
スクールバスの運行	258	38.8%
自転車が利用できるようにする	420	63.2%
自動車が利用できるようにする	63	9.5%
その他(自由記述)	7	1.1%
計	1,407	-

n:665



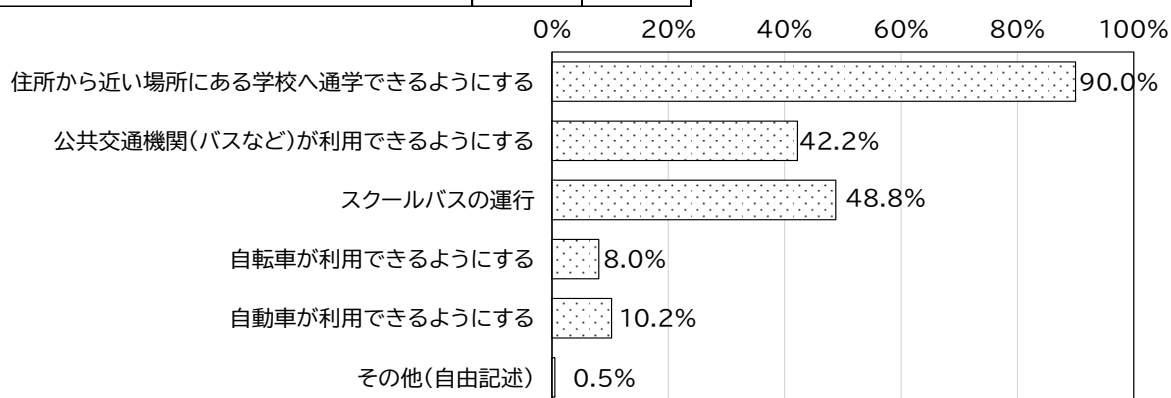
- 許容範囲の通学時間で通学することが難しい場合の配慮について、小学校は「住所から近い場所にある学校へ通学できるようにする」、「スクールバスの運行」と答えた割合が多く、中学校では「自転車で通学できるようにする」、「住所から近い場所にある学校へ通学できるようにする」と回答する割合が高い。

【教職員】問 15:徒歩で通学することが難しい場合に必要な配慮

小学校

	回答数	割合
住所から近い場所にある学校へ通学できるようにする	369	90.0%
公共交通機関(バスなど)が利用できるようにする	173	42.2%
スクールバスの運行	200	48.8%
自転車が利用できるようにする	33	8.0%
自動車が利用できるようにする	42	10.2%
その他(自由記述)	2	0.5%
計	819	-

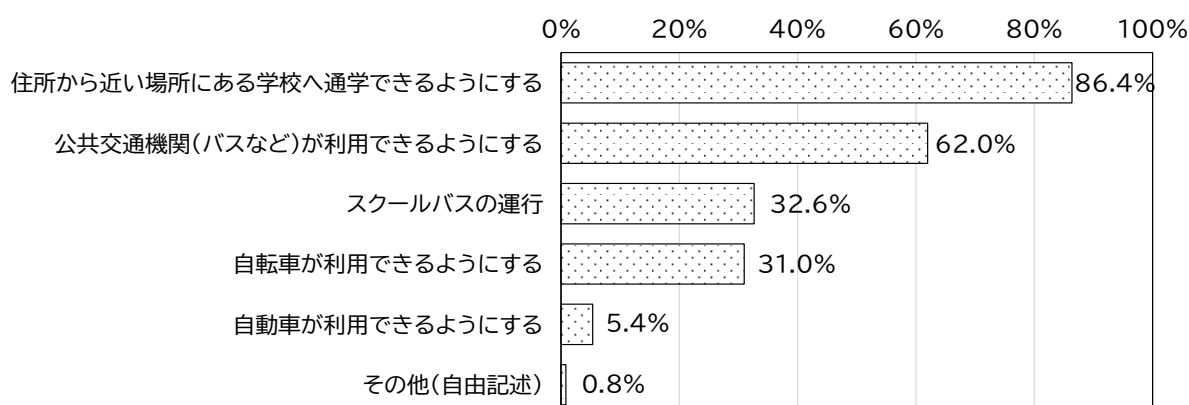
n:410



中学校

	回答数	割合
住所から近い場所にある学校へ通学できるようにする	209	86.4%
公共交通機関(バスなど)が利用できるようにする	150	62.0%
スクールバスの運行	79	32.6%
自転車が利用できるようにする	75	31.0%
自動車が利用できるようにする	13	5.4%
その他(自由記述)	2	0.8%
計	528	-

n:242



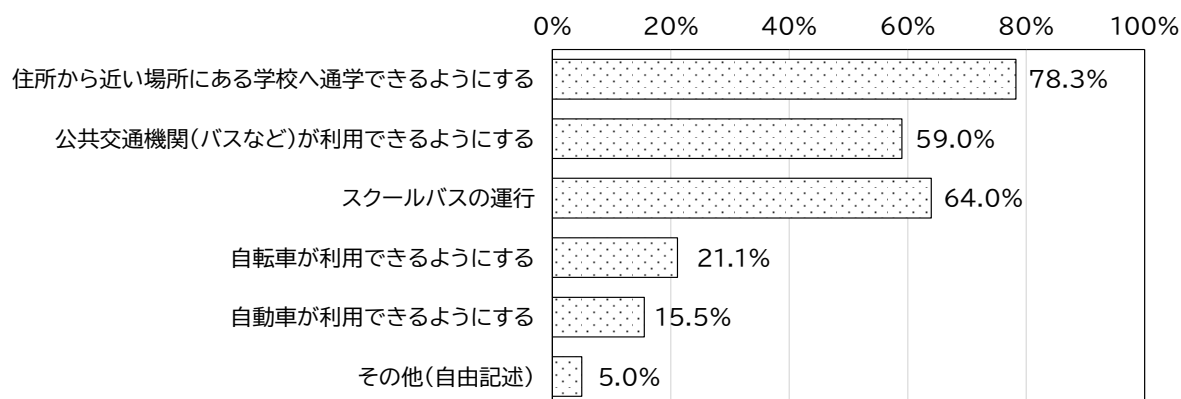
- 許容範囲の通学時間で通学することが難しい場合の配慮については、小学校・中学校ともに「住所から近い場所にある学校へ通学できるようにする」と回答する割合が高い。

【地域関係者】問 11:徒歩で通学することが難しい場合に必要な配慮

小学校

	回答数	割合
住所から近い場所にある学校へ通学できるようにする	126	78.3%
公共交通機関(バスなど)が利用できるようにする	95	59.0%
スクールバスの運行	103	64.0%
自転車が利用できるようにする	34	21.1%
自動車が利用できるようにする	25	15.5%
その他(自由記述)	8	5.0%
計	391	-

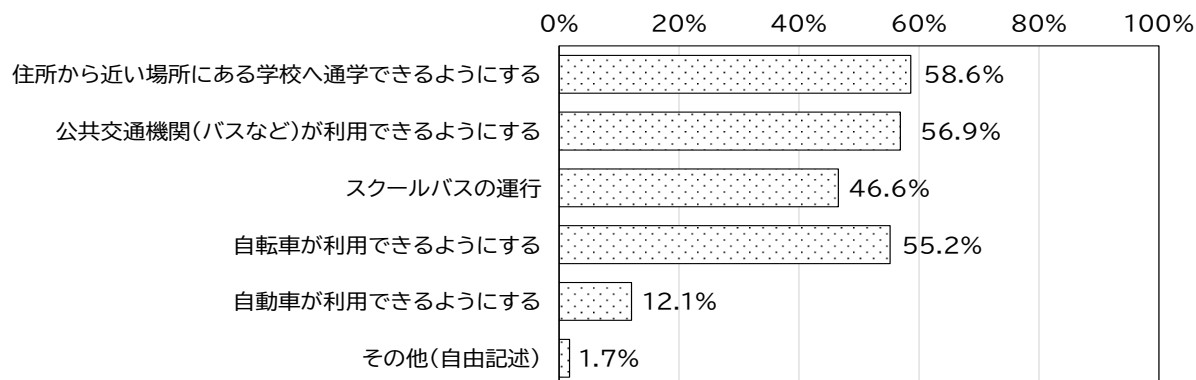
n:161



中学校

	回答数	割合
住所から近い場所にある学校へ通学できるようにする	34	58.6%
公共交通機関(バスなど)が利用できるようにする	33	56.9%
スクールバスの運行	27	46.6%
自転車が利用できるようにする	32	55.2%
自動車が利用できるようにする	7	12.1%
その他(自由記述)	1	1.7%
計	134	-

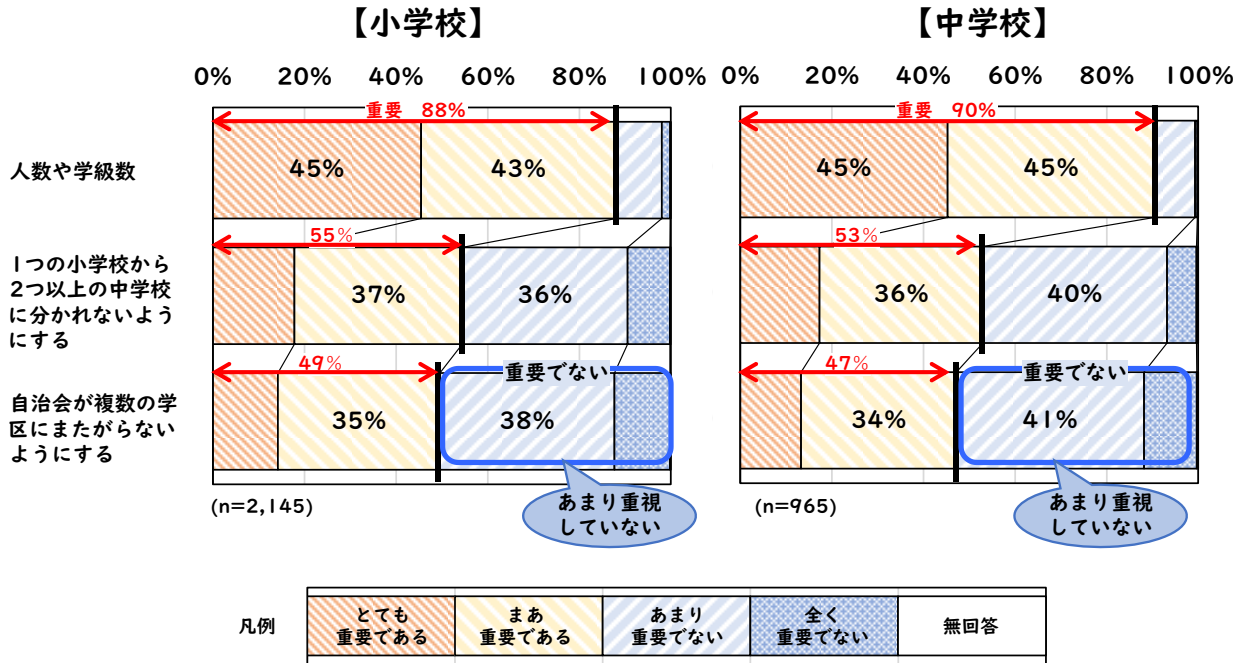
n:58



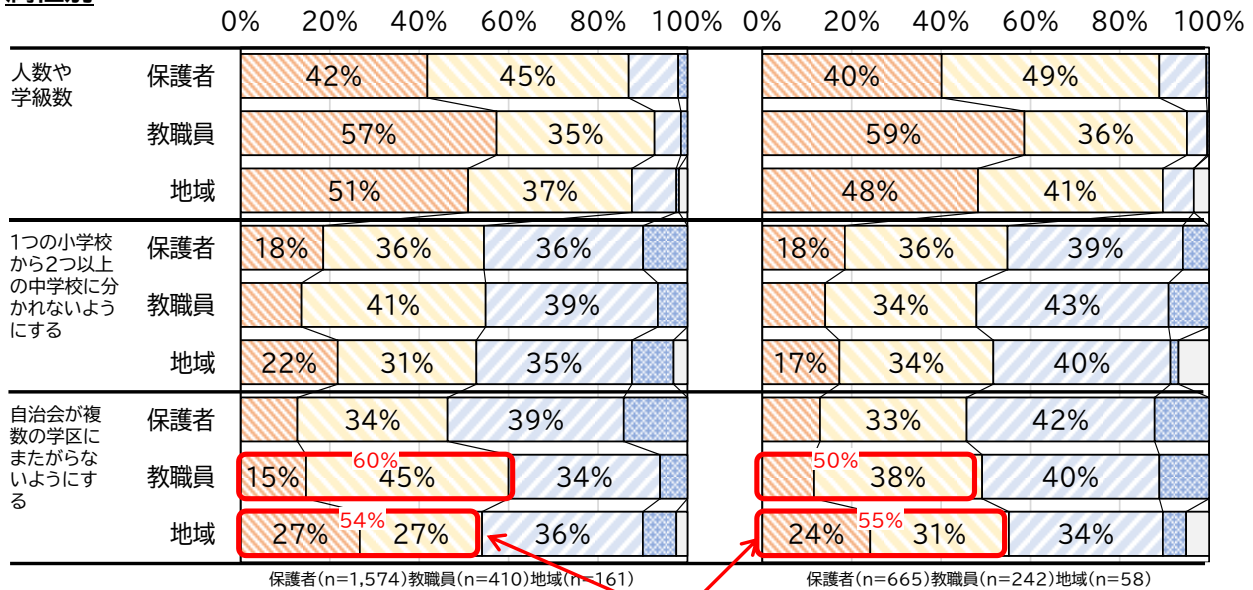
- 許容範囲の通学時間で通学することが難しい場合の配慮について、小学校は「住所から近い場所にある学校へ通学できるようにする」、「スクールバスの運行」と回答する割合が高く、中学校では「住所から近い場所にある学校へ通学できるようにする」、「公共交通機関が利用できるようにする」と回答する割合が高い。

○学区の見直しをする場合に重要と考える事項

全体集計



属性別



“自治会と学区”の関係については、教職員と地域は重視している傾向にある

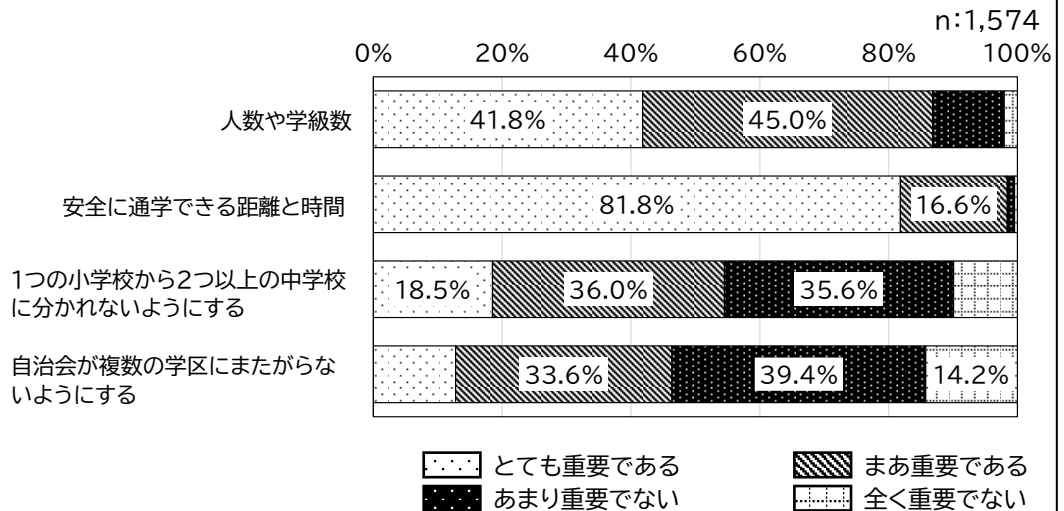
※回答項目の「安全に通学できる距離と時間」の集計について、学区の見直しは通学距離と通学時間の適正化を目的とするため、「安全に通学できる距離と時間」の項目は、検討の前提として他の重要と考える項目で集計している。

- 全体として、学区の見直しにおいて「人数や学級数」が重要と考える割合が高い。
- 「1つの小学校から2つ以上の中学校に分かれないようにする」では、「重要である」と回答した割合が約50%であり、学区の見直しをする場合にあまり重視されていない。
- 「自治会が複数の学区にまたがらないようにする」についても、小学校、中学校どちらとも全体において、「重要ではない」の回答が「重要である」より高くなっている。

【保護者】問 18:学区の見直しをする場合に重要と考える事項

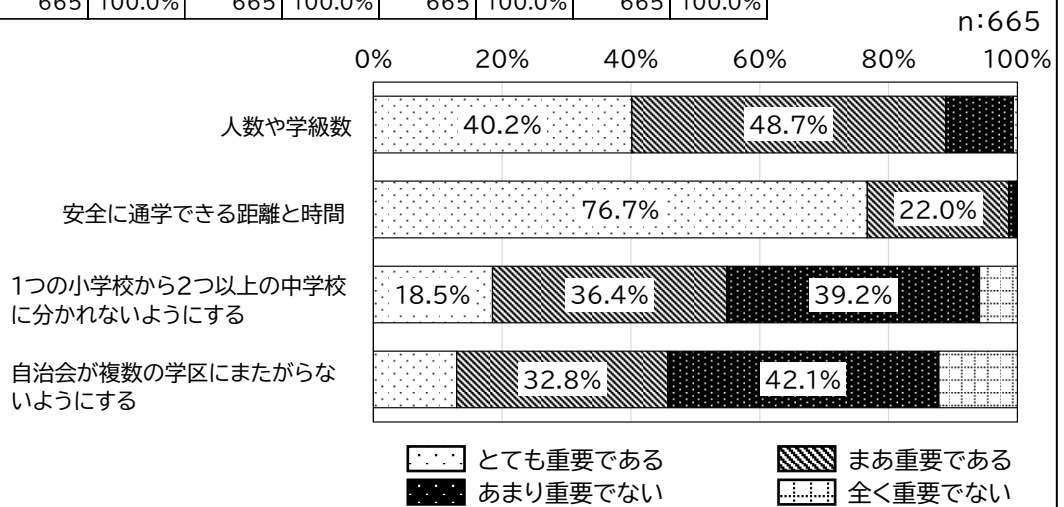
小学校

	人数や学級数		安全に通学できる距離と時間		1つの小学校から2つ以上の中学校に分かれないようにする		自治会が複数の学区にまたがらないようにする	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
とても重要である	658	41.8%	1,288	81.8%	291	18.5%	201	12.8%
まあ重要である	709	45.0%	261	16.6%	567	36.0%	529	33.6%
あまり重要でない	175	11.1%	18	1.1%	560	35.6%	620	39.4%
全く重要でない	32	2.0%	7	0.4%	156	9.9%	224	14.2%
計	1,574	100.0%	1,574	100.0%	1,574	100.0%	1,574	100.0%



中学校

	人数や学級数		安全に通学できる距離と時間		1つの小学校から2つ以上の中学校に分かれないようにする		自治会が複数の学区にまたがらないようにする	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
とても重要である	267	40.2%	510	76.7%	123	18.5%	86	12.9%
まあ重要である	324	48.7%	146	22.0%	242	36.4%	218	32.8%
あまり重要でない	70	10.5%	8	1.2%	261	39.2%	280	42.1%
全く重要でない	4	0.6%	1	0.2%	39	5.9%	81	12.2%
計	665	100.0%	665	100.0%	665	100.0%	665	100.0%



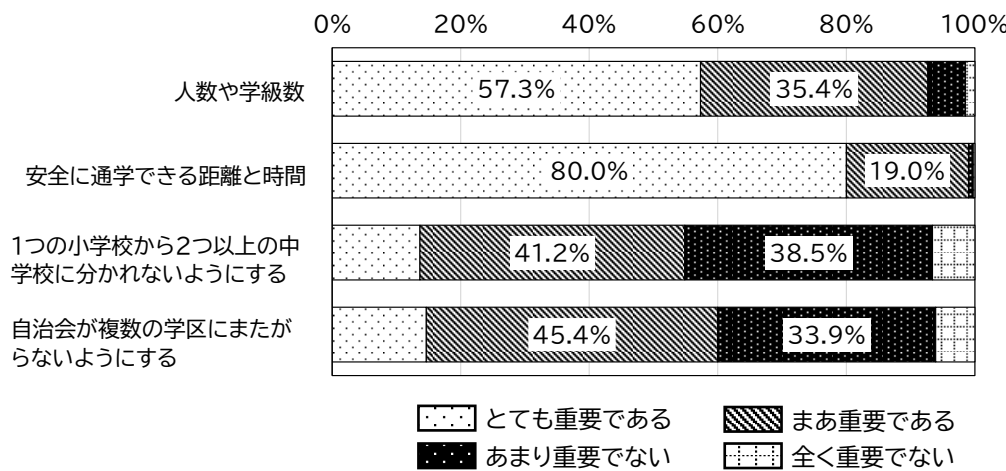
- 学区の見直しをする際に重要と考えることは、小学校・中学校ともに「安全に通学できる距離と時間」と回答する割合が高い。次いで「人数や学級数」と回答する割合が高い。

【教職員】問 16:学区の見直しをする場合に重要と考える事項

小学校

	人数や学級数		安全に通学できる距離と時間		1つの小学校から2つ以上の中学校に分かれないようにする		自治会が複数の学区にまたがらないようにする	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
とても重要である	235	57.3%	328	80.0%	56	13.7%	60	14.6%
まあ重要である	145	35.4%	78	19.0%	169	41.2%	186	45.4%
あまり重要でない	24	5.9%	3	0.7%	158	38.5%	139	33.9%
全く重要でない	6	1.5%	1	0.2%	27	6.6%	25	6.1%
計	410	100.0%	410	100.0%	410	100.0%	410	100.0%

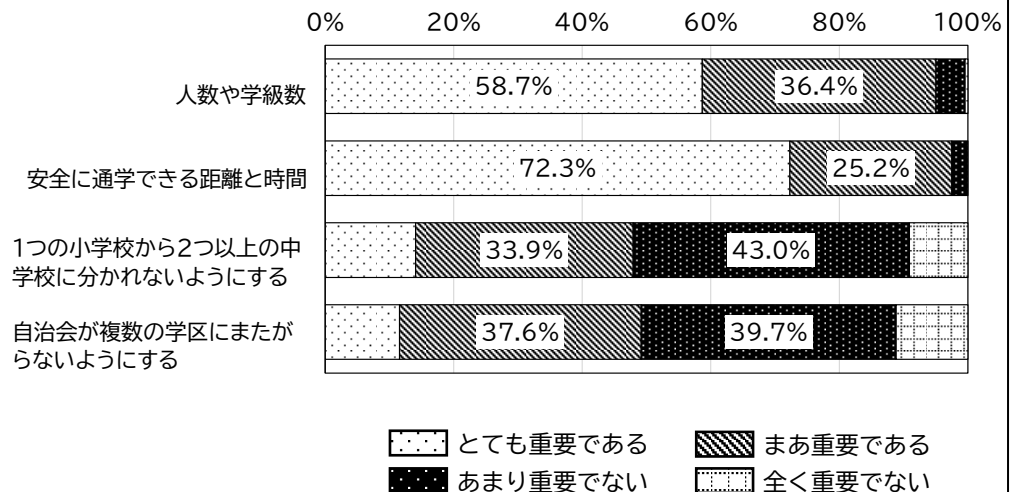
n:410



中学校

	人数や学級数		安全に通学できる距離と時間		1つの小学校から2つ以上の中学校に分かれないようにする		自治会が複数の学区にまたがらないようにする	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
とても重要である	142	58.7%	175	72.3%	34	14.0%	28	11.6%
まあ重要である	88	36.4%	61	25.2%	82	33.9%	91	37.6%
あまり重要でない	11	4.5%	6	2.5%	104	43.0%	96	39.7%
全く重要でない	1	0.4%	0	0.0%	22	9.1%	27	11.2%
計	242	100.0%	242	100.0%	242	100.0%	242	100.0%

n:242



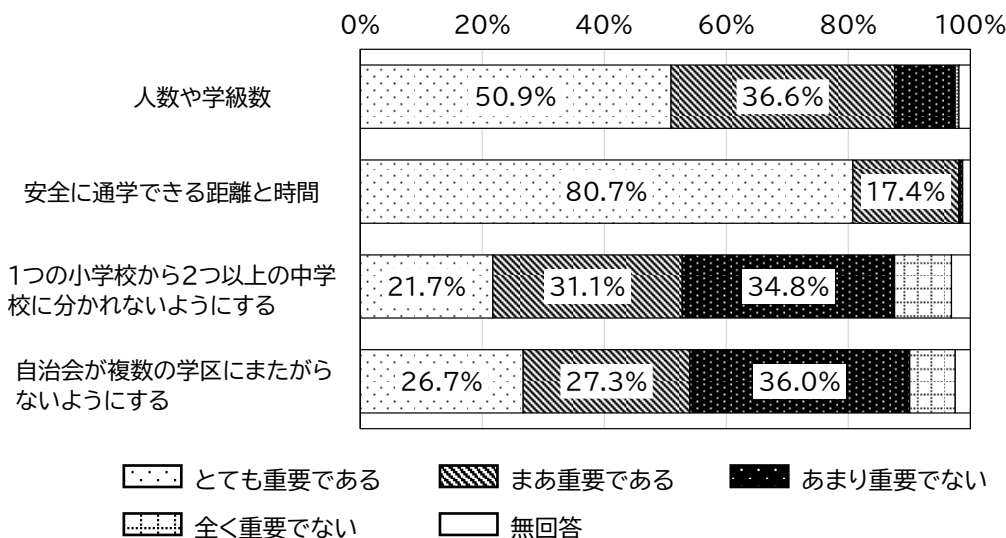
- 学区の見直しをする際に重要と考えることは、小学校・中学校ともに「安全に通学できる距離と時間」と回答する割合が高く、次いで「人数や学級数」となっている。

【地域関係者】問12:学区の見直しをする場合に重要と考える事項

小学校

	人数や学級数		安全に通学できる距離と時間		1つの小学校から2つ以上の中学校に分かれないようにする		自治会が複数の学区にまたがらないようにする	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
とても重要である	82	50.9%	130	80.7%	35	21.7%	43	26.7%
まあ重要である	59	36.6%	28	17.4%	50	31.1%	44	27.3%
あまり重要でない	16	9.9%	1	0.6%	56	34.8%	58	36.0%
全く重要でない	1	0.6%	0	0.0%	15	9.3%	12	7.5%
無回答	3	1.9%	2	1.2%	5	3.1%	4	2.5%
計	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%

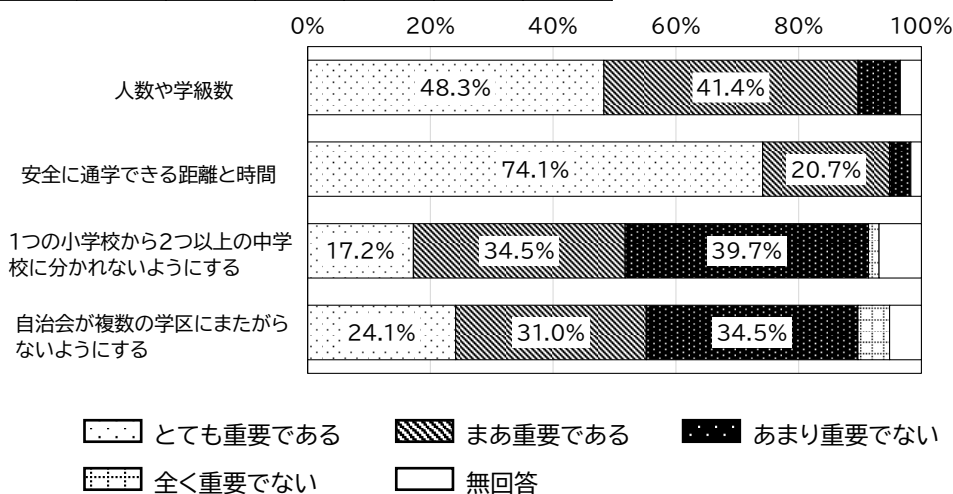
n:161



中学校

	人数や学級数		安全に通学できる距離と時間		1つの小学校から2つ以上の中学校に分かれないようにする		自治会が複数の学区にまたがらないようにする	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
とても重要である	28	48.3%	43	74.1%	10	17.2%	14	24.1%
まあ重要である	24	41.4%	12	20.7%	20	34.5%	18	31.0%
あまり重要でない	4	6.9%	2	3.4%	23	39.7%	20	34.5%
全く重要でない	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	3	5.2%
無回答	2	3.4%	1	1.7%	4	6.9%	3	5.2%
計	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%

n:58



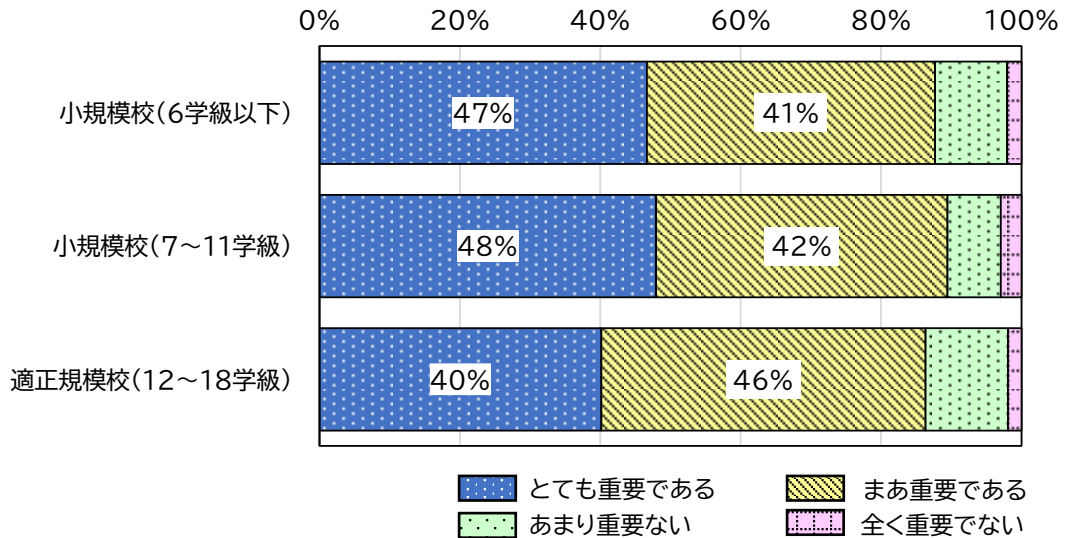
- 学区の見直しをする際に重要と考えることは、小学校・中学校ともに「安全に通学できる距離と時間」と回答する割合が高く、次いで「人数や学級数」となっている。

【保護者】現在の学校の学級数別×問 18:学区の見直しをする場合の「人数や学級数」の重要度

小学校

学校規模	とても重要である		まあ重要である		あまり重要でない		全く重要でない		合計
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	計
小規模校(6学級以下)	91	47%	80	41%	20	10%	4	2%	195
小規模校(7~11学級)	82	48%	71	42%	13	8%	5	3%	171
適正規模校(12~18学級)	485	40%	558	46%	142	12%	23	2%	1208
計	658	-	709	-	175	-	32	-	1,574

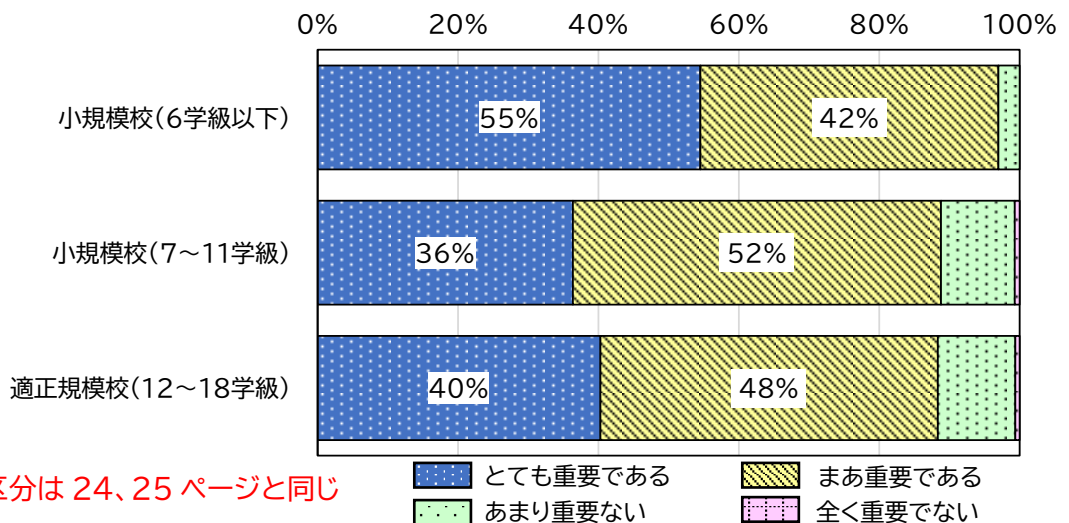
n:1,574



中学校

学校規模	とても重要である		まあ重要である		あまり重要でない		全く重要でない		合計
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	計
小規模校(6学級以下)	18	55%	14	42%	1	3%	0	0%	33
小規模校(7~11学級)	52	36%	75	52%	15	10%	1	1%	143
適正規模校(12~18学級)	197	40%	235	48%	54	11%	3	1%	489
計	267	-	324	-	70	-	4	-	665

n:665



※学校規模区分は 24、25 ページと同じ

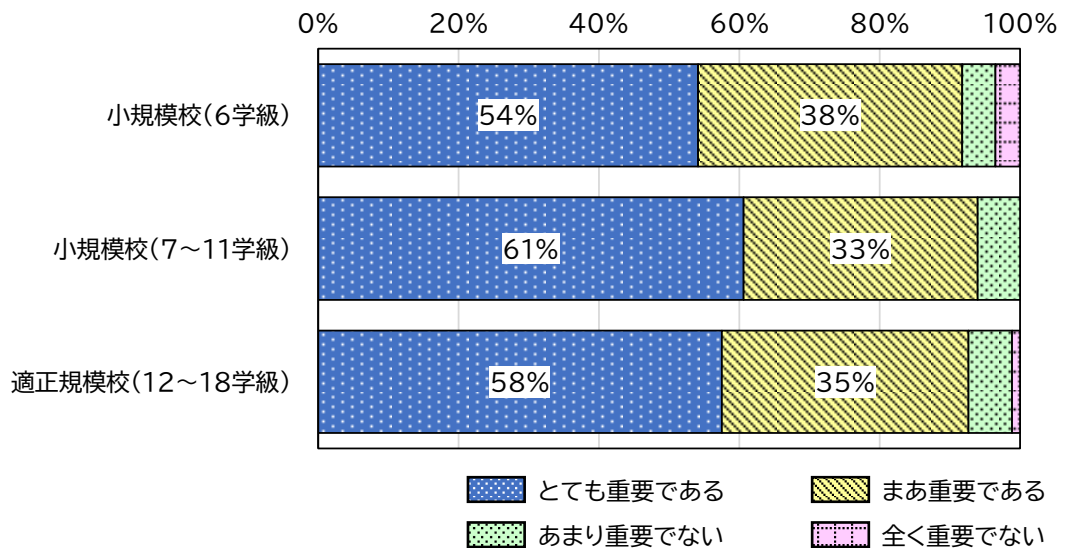
- 小学校の保護者の場合、どの学校規模でも学区の見直しに、「人数や学級数」は重要と考えており、どの学校規模も 80%以上となっている。
- 中学校の保護者の場合も同様に、どの学校規模でも学区の見直しに、「人数や学級数」は重要と考えており、どの学校規模も 80%以上となっている。

【教職員】現在の学校の学校規模×問 18:学区の見直しをする場合の「人数や学級数」の重要度

小学校

学校規模	とても重要である		まあ重要である		あまり重要でない		全く重要でない		計
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
小規模校(6学級)	46	54%	32	38%	4	5%	3	4%	85
小規模校(7~11学級)	40	61%	22	33%	4	6%	0	0%	66
適正規模校(12~18学級)	149	58%	91	35%	16	6%	3	1%	259
計	235	-	145	-	24	-	6	-	410

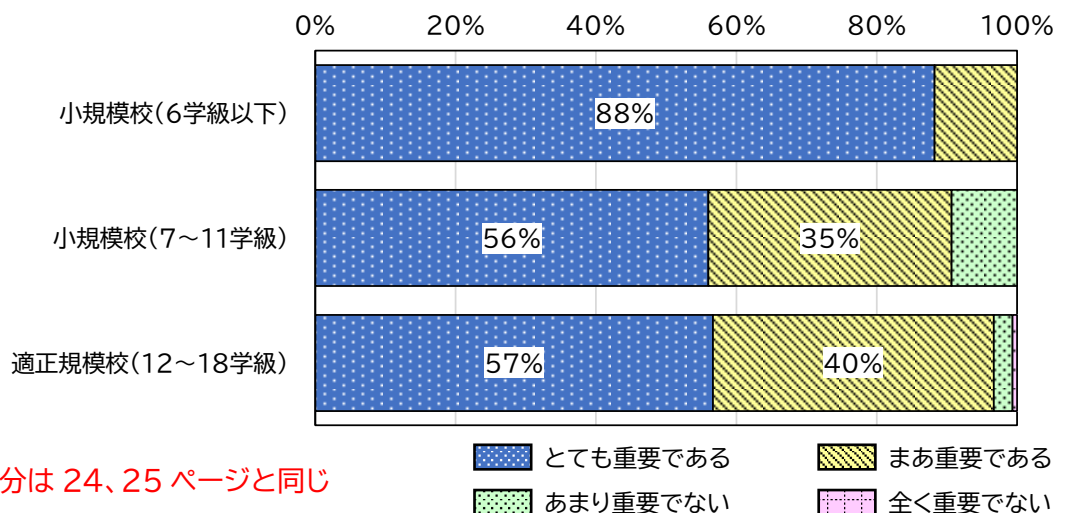
n:410



中学校

学校規模	とても重要である		まあ重要である		あまり重要でない		全く重要でない		計
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
小規模校(6学級以下)	15	88%	2	12%	0	0%	0	0%	17
小規模校(7~11学級)	42	56%	26	35%	7	9%	0	0%	75
適正規模校(12~18学級)	85	57%	60	40%	4	3%	1	1%	150
計	142	-	88	-	11	-	1	-	242

n:242



※学校規模区分は 24、25 ページと同じ

- 小学校の教職員の場合、どの学校規模でも学区の見直しに、「人数や学級数」は重要と考えており、どの学校規模も 80%以上となっている。
- 中学校の教職員の場合も同様に、どの学校規模でも学区の見直しに、「人数や学級数」は需要と考えており、全体の約 89%となっている。

学校と地域との関わりについて

○地域連携の取組の中で、力を入れていきたい/重要と思うもの

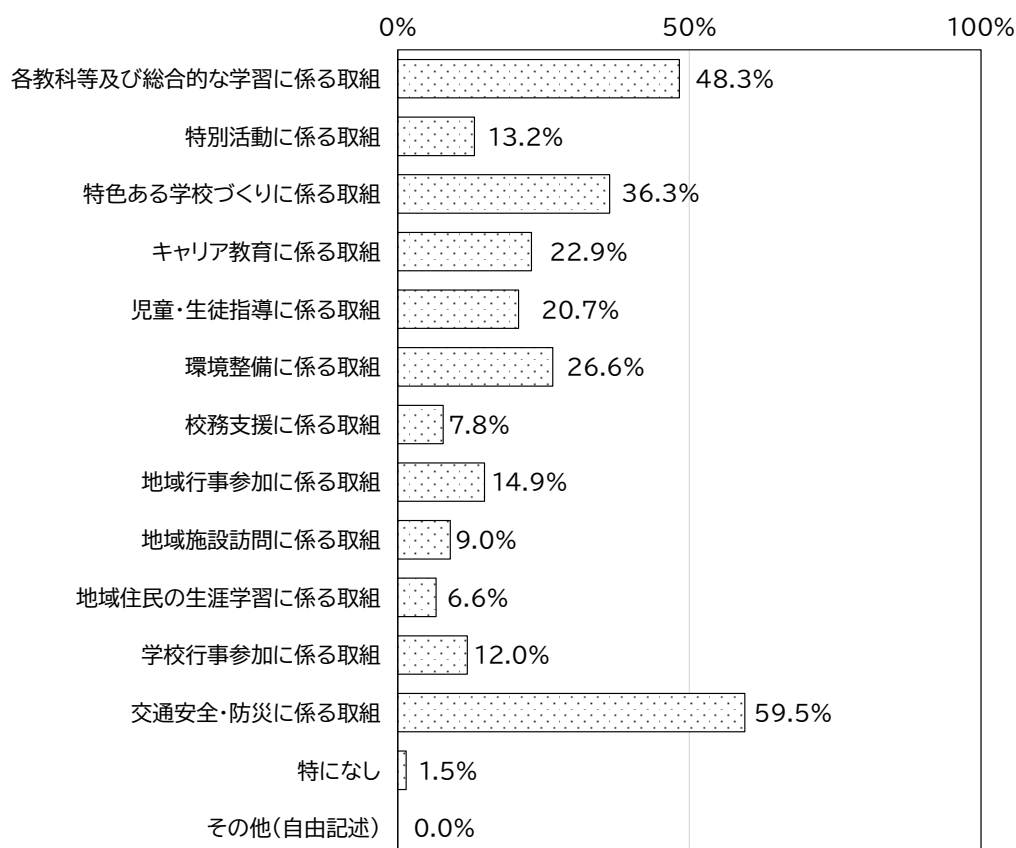
【教職員】問 17: 今後の地域連携の取組の中で、力を入れていきたいと考えるもの

※3つまで回答可

小学校

	回答数	割合
各教科等及び総合的な学習に係る取組	198	48.3%
特別活動に係る取組	54	13.2%
特色ある学校づくりに係る取組	149	36.3%
キャリア教育に係る取組	94	22.9%
児童・生徒指導に係る取組	85	20.7%
環境整備に係る取組	109	26.6%
校務支援に係る取組	32	7.8%
地域行事参加に係る取組	61	14.9%
地域施設訪問に係る取組	37	9.0%
地域住民の生涯学習に係る取組	27	6.6%
学校行事参加に係る取組	49	12.0%
交通安全・防災に係る取組	244	59.5%
特になし	6	1.5%
その他(自由記述)	0	0.0%
計	1,145	-

n:410

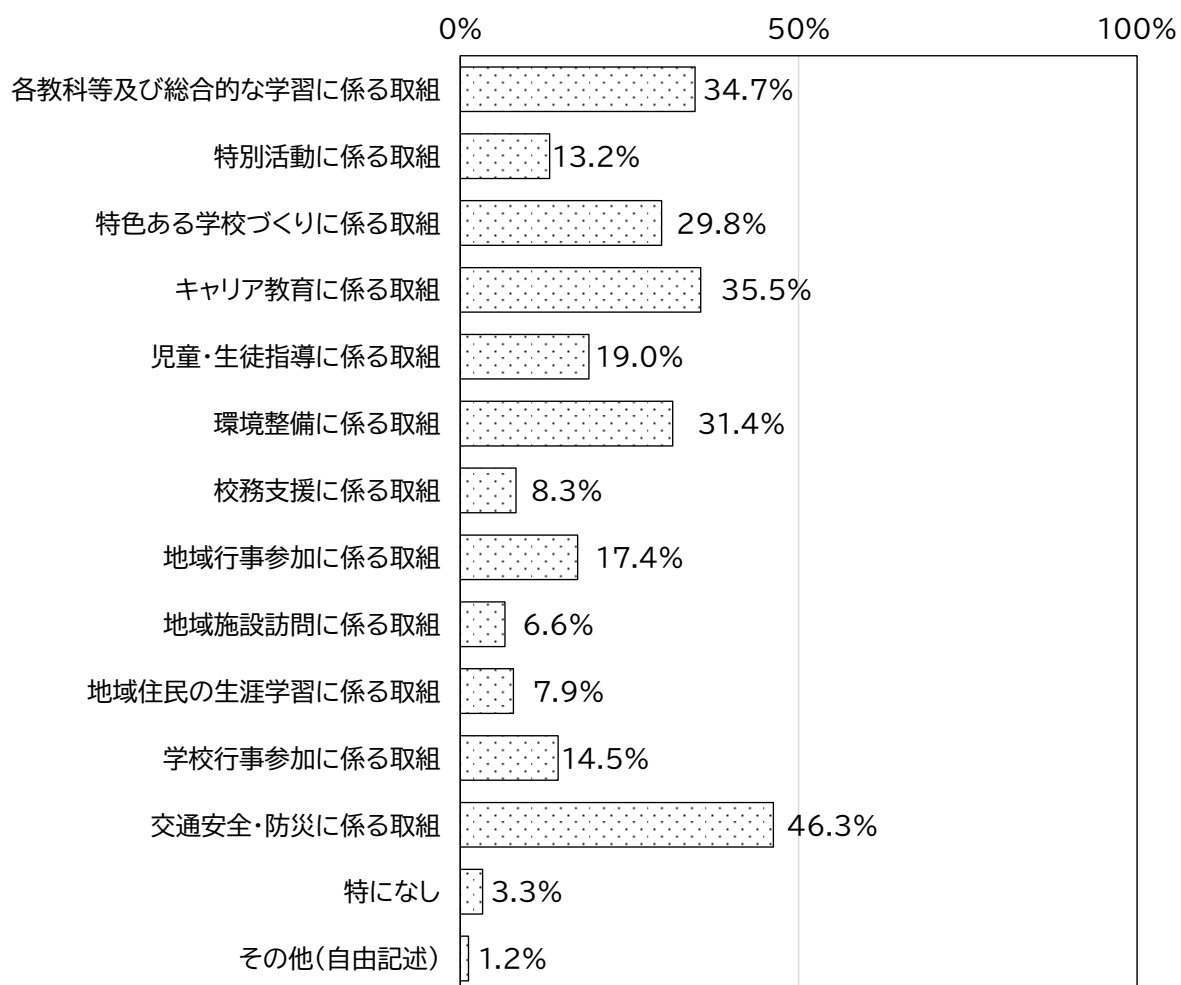


- 小学校の教職員の場合、「交通安全・防災に係る取組」と回答する割合が最も多く、次いで「各教科等及び総合的な学習に係る取組」、「特色ある学校づくりに係る取組」となっている。

中学校

	回答数	割合
各教科等及び総合的な学習に係る取組	84	34.7%
特別活動に係る取組	32	13.2%
特色ある学校づくりに係る取組	72	29.8%
キャリア教育に係る取組	86	35.5%
児童・生徒指導に係る取組	46	19.0%
環境整備に係る取組	76	31.4%
校務支援に係る取組	20	8.3%
地域行事参加に係る取組	42	17.4%
地域施設訪問に係る取組	16	6.6%
地域住民の生涯学習に係る取組	19	7.9%
学校行事参加に係る取組	35	14.5%
交通安全・防災に係る取組	112	46.3%
特になし	8	3.3%
その他(自由記述)	3	1.2%
計	651	-

n:242



- 中学校の教職員の場合、「交通安全・防災に係る取組」と回答する割合が最も多く、次いで「キャリア教育に係る取組」、「各教科等及び総合的な学習に係る取組」となっている。

○地域に学校がこれまで果たしてきた役割と期待する役割

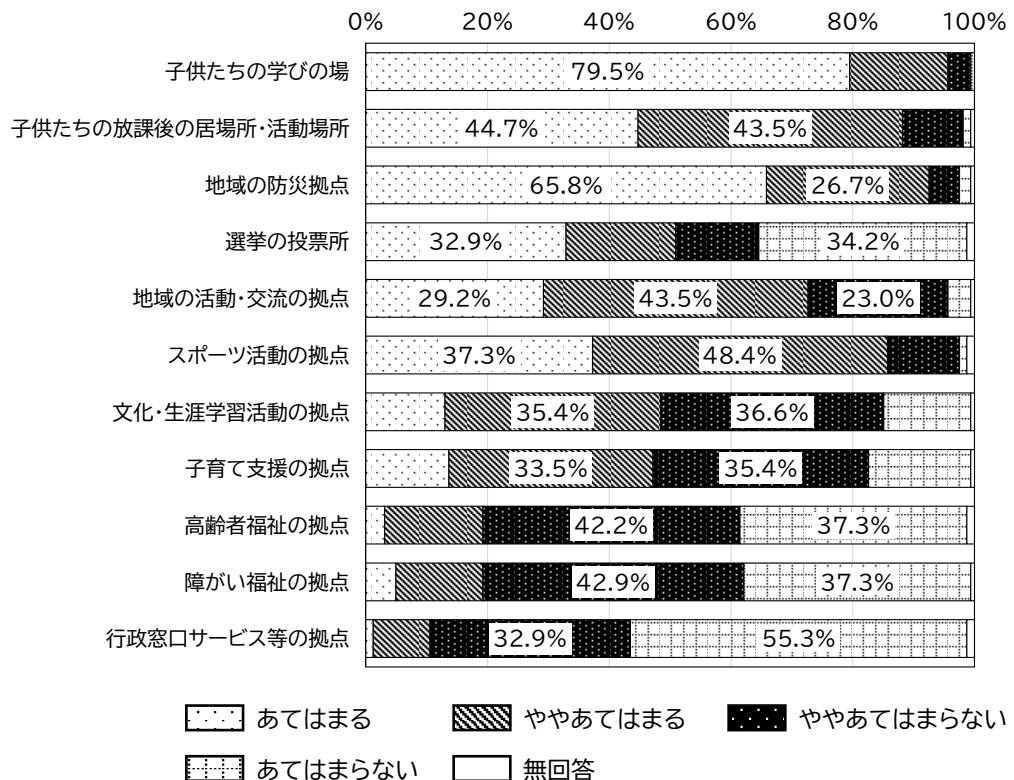
【地域関係者】問 14:地域において、学校がこれまで果たしてきた役割

小学校

	子供たちの学びの場		子供たちの放課後の居場所・活動場所		地域の防災拠点		選挙の投票所		地域の活動・交流の拠点		スポーツ活動の拠点	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
あてはまる	128	79.5%	72	44.7%	106	65.8%	53	32.9%	47	29.2%	60	37.3%
ややあてはまる	26	16.1%	70	43.5%	43	26.7%	29	18.0%	70	43.5%	78	48.4%
ややあてはまらない	6	3.7%	16	9.9%	8	5.0%	22	13.7%	37	23.0%	19	11.8%
あてはまらない	1	0.6%	2	1.2%	3	1.9%	55	34.2%	6	3.7%	2	1.2%
無回答	0	0.0%	1	0.6%	1	0.6%	2	1.2%	1	0.6%	2	1.2%
計	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%

	文化・生涯学習活動の拠点		子育て支援の拠点		高齢者福祉の拠点		障がい福祉の拠点		行政窓口サービス等の拠点	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
あてはまる	21	13.0%	22	13.7%	5	3.1%	8	5.0%	2	1.2%
ややあてはまる	57	35.4%	54	33.5%	26	16.1%	23	14.3%	15	9.3%
ややあてはまらない	59	36.6%	57	35.4%	68	42.2%	69	42.9%	53	32.9%
あてはまらない	23	14.3%	27	16.8%	60	37.3%	60	37.3%	89	55.3%
無回答	1	0.6%	1	0.6%	2	1.2%	1	0.6%	2	1.2%
計	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%

n:161



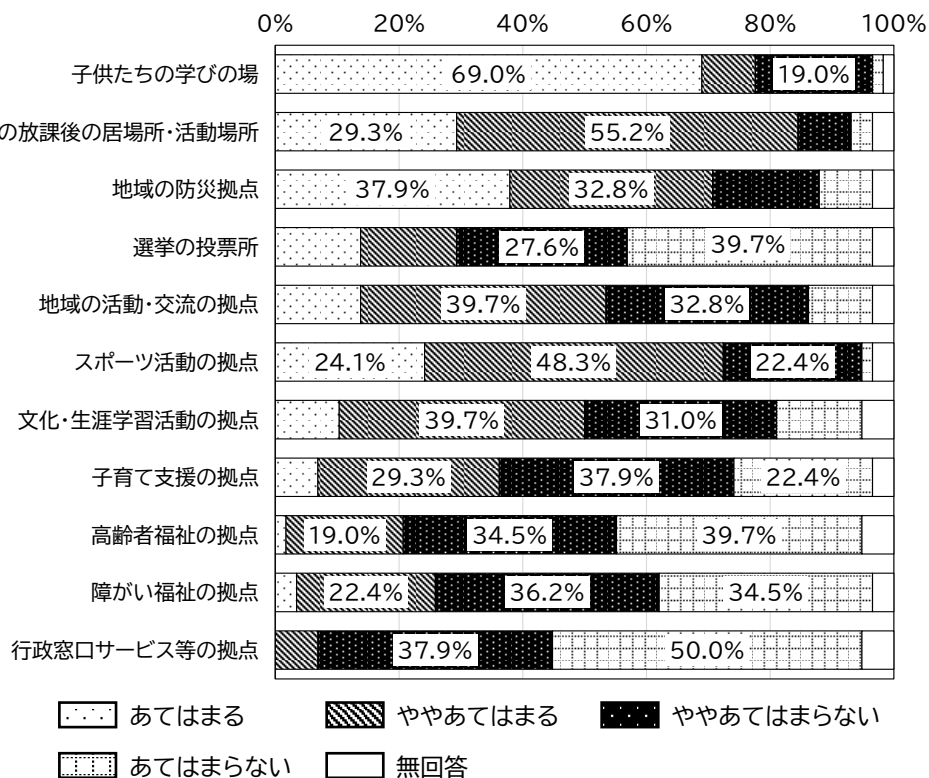
- 小学校の地域関係者の場合、「子供たちの学びの場」、「地域の防災拠点」、「子供たちの放課後の居場所・活動場所」といった項目の割合が比較的多くなった。

中学校

	子供たちの学びの場		子供たちの放課後の居場所・活動場所		地域の防災拠点		選挙の投票所		地域の活動・交流の拠点		スポーツ活動の拠点	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
あてはまる	40	69.0%	17	29.3%	22	37.9%	8	13.8%	8	13.8%	14	24.1%
ややあてはまる	5	8.6%	32	55.2%	19	32.8%	9	15.5%	23	39.7%	28	48.3%
ややあてはまらない	11	19.0%	5	8.6%	10	17.2%	16	27.6%	19	32.8%	13	22.4%
あてはまらない	1	1.7%	2	3.4%	5	8.6%	23	39.7%	6	10.3%	1	1.7%
無回答	1	1.7%	2	3.4%	2	3.4%	2	3.4%	2	3.4%	2	3.4%
計	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%

	文化・生涯学習活動の拠点		子育て支援の拠点		高齢者福祉の拠点		障がい福祉の拠点		行政窓口サービス等の拠点	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
あてはまる	6	10.3%	4	6.9%	1	1.7%	2	3.4%	0	0.0%
ややあてはまる	23	39.7%	17	29.3%	11	19.0%	13	22.4%	4	6.9%
ややあてはまらない	18	31.0%	22	37.9%	20	34.5%	21	36.2%	22	37.9%
あてはまらない	8	13.8%	13	22.4%	23	39.7%	20	34.5%	29	50.0%
無回答	3	5.2%	2	3.4%	3	5.2%	2	3.4%	3	5.2%
計	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%

n:58



- 中学校の地域関係者の場合、「子供たちの放課後の居場所・活動場所」、「子供たちの学びの場」、「スポーツ活動の拠点」といった項目の割合が比較的多くなった。

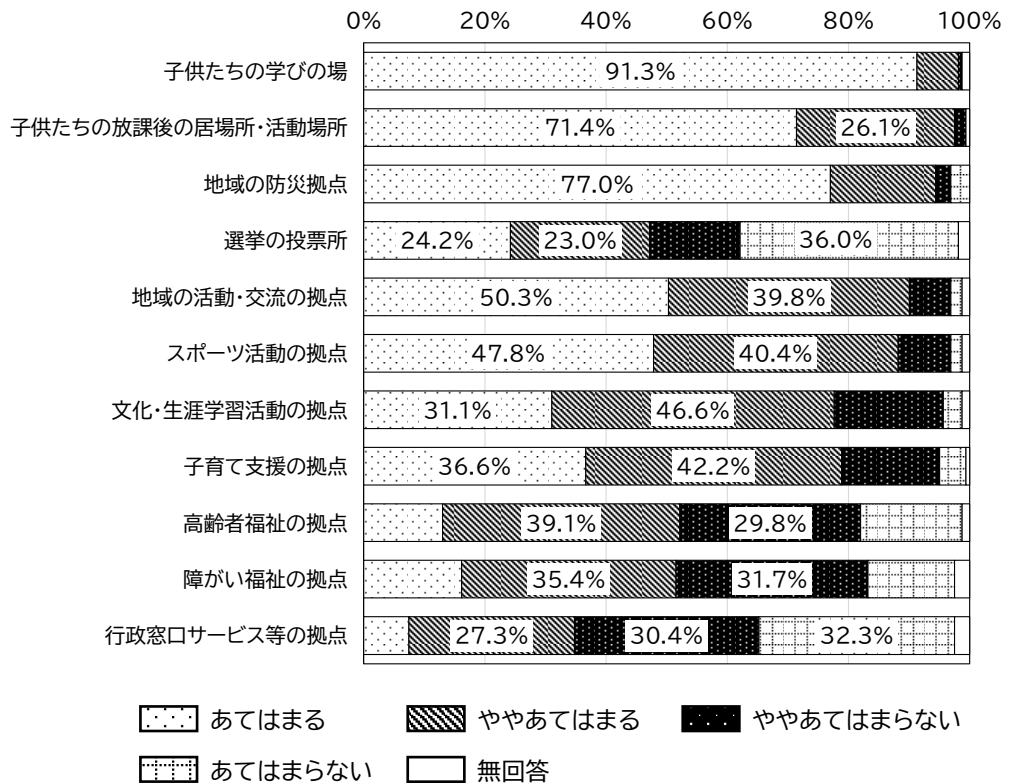
【地域関係者】問 15:地域において、これからの学校に期待する役割

小学校

	子供たちの学びの場		子供たちの放課後の居場所・活動場所		地域の防災拠点		選挙の投票所		地域の活動・交流の拠点		スポーツ活動の拠点	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
あてはまる	147	91.3%	115	71.4%	124	77.0%	39	24.2%	81	50.3%	77	47.8%
ややあてはまる	11	6.8%	42	26.1%	28	17.4%	37	23.0%	64	39.8%	65	40.4%
ややあてはまらない	1	0.6%	3	1.9%	4	2.5%	24	14.9%	11	6.8%	14	8.7%
あてはまらない	0	0.0%	0	0.0%	5	3.1%	58	36.0%	3	1.9%	3	1.9%
無回答	2	1.2%	1	0.6%	0	0.0%	3	1.9%	2	1.2%	2	1.2%
計	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%

	文化・生涯学習活動の拠点		子育て支援の拠点		高齢者福祉の拠点		障がい福祉の拠点		行政窓口サービス等の拠点	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
あてはまる	50	31.1%	59	36.6%	21	13.0%	26	16.1%	12	7.5%
ややあてはまる	75	46.6%	68	42.2%	63	39.1%	57	35.4%	44	27.3%
ややあてはまらない	29	18.0%	26	16.1%	48	29.8%	51	31.7%	49	30.4%
あてはまらない	5	3.1%	7	4.3%	27	16.8%	23	14.3%	52	32.3%
無回答	2	1.2%	1	0.6%	2	1.2%	4	2.5%	4	2.5%
計	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%

n:161



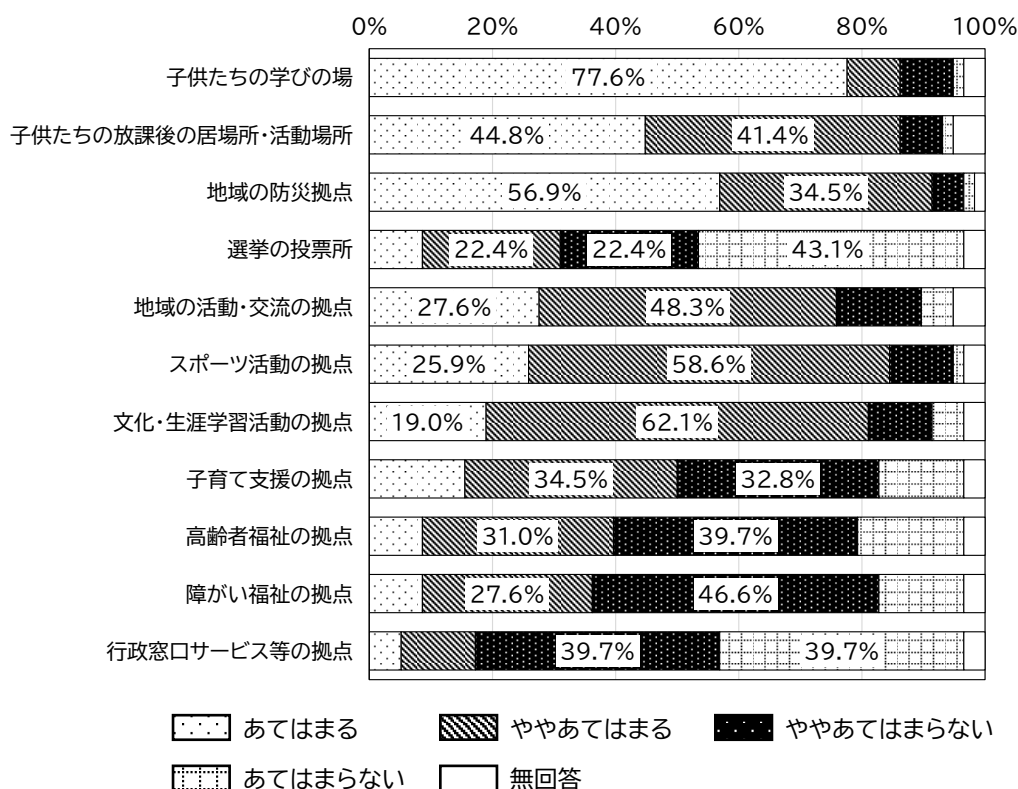
- 小学校の地域関係者の場合、「子供たちの学びの場」、「子供たちの放課後の居場所・活動場所」、「地域の防災拠点」といった項目の割合が比較的多くなり、これまで果たしてきた役割と概ね同様の傾向となった。

中学校

	子供たちの学びの場		子供たちの放課後の居場所・活動場所		地域の防災拠点		選挙の投票所		地域の活動・交流の拠点		スポーツ活動の拠点	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
あてはまる	45	77.6%	26	44.8%	33	56.9%	5	8.6%	16	27.6%	15	25.9%
ややあてはまる	5	8.6%	24	41.4%	20	34.5%	13	22.4%	28	48.3%	34	58.6%
ややあてはまらない	5	8.6%	4	6.9%	3	5.2%	13	22.4%	8	13.8%	6	10.3%
あてはまらない	1	1.7%	1	1.7%	1	1.7%	25	43.1%	3	5.2%	1	1.7%
無回答	2	3.4%	3	5.2%	1	1.7%	2	3.4%	3	5.2%	2	3.4%
計	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%

	文化・生涯学習活動の拠点		子育て支援の拠点		高齢者福祉の拠点		障がい福祉の拠点		行政窓口サービス等の拠点	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
あてはまる	11	19.0%	9	15.5%	5	8.6%	5	8.6%	3	5.2%
ややあてはまる	36	62.1%	20	34.5%	18	31.0%	16	27.6%	7	12.1%
ややあてはまらない	6	10.3%	19	32.8%	23	39.7%	27	46.6%	23	39.7%
あてはまらない	3	5.2%	8	13.8%	10	17.2%	8	13.8%	23	39.7%
無回答	2	3.4%	2	3.4%	2	3.4%	2	3.4%	2	3.4%
計	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%

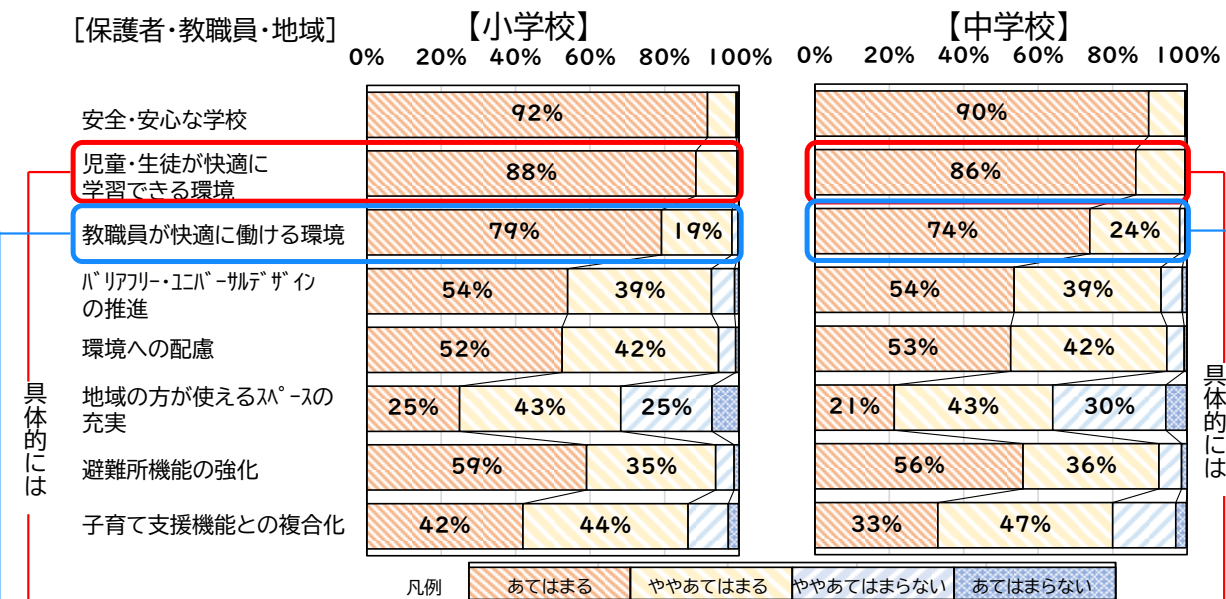
n:58



- 中学校の地域関係者の場合、「子供たちの放課後の居場所・活動場所」、「子供たちの学びの場」、「地域の防災拠点」といった項目の割合が比較的多い。

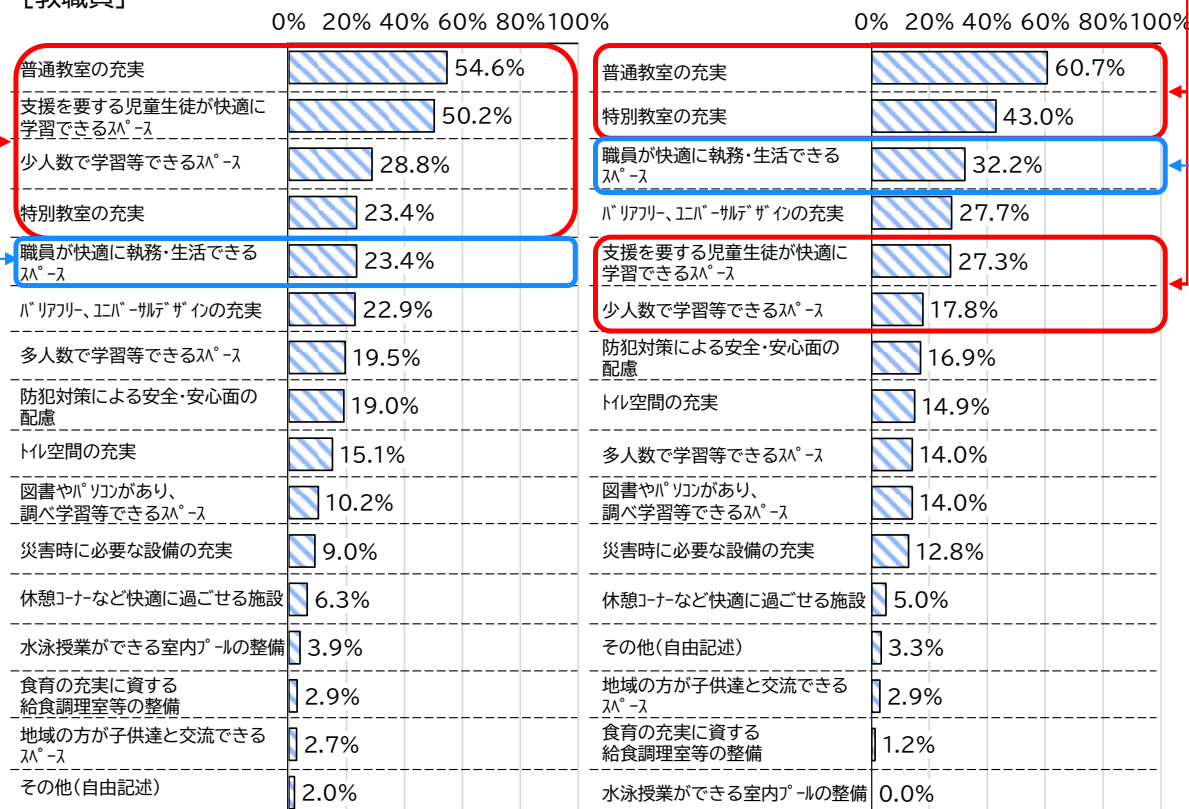
教育環境・学校施設について

○これからの学校施設に期待する機能



○これからの学校施設に必要と思うもの

【教職員】



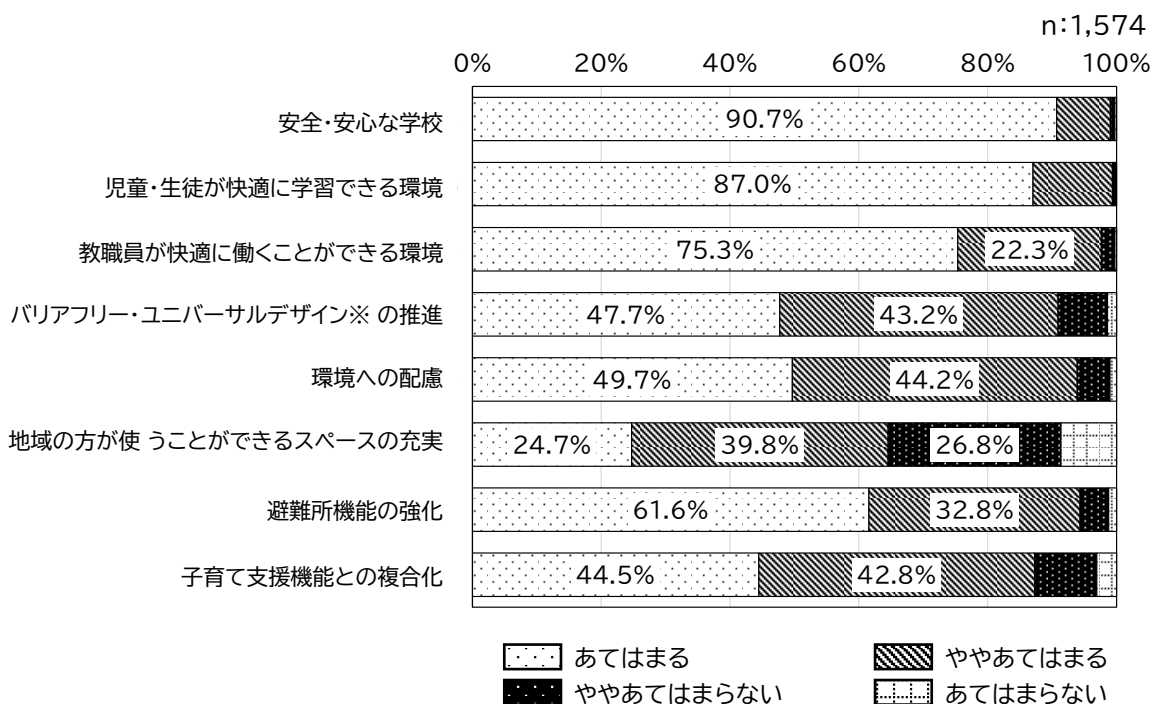
- 全体として、学区の見直しにおいて「人数や学級数」が重要と回答する割合が高い。
- 「1つの小学校から2つ以上の中学校に分かれないようにする」では、「重要である」の回答が約50%であり、学区の見直しをする場合にあまり重視されていない。
- 「自治会が複数の学区にまたがらないようにする」についても、小学校、中学校どちらとも全体において、「重要ではない」の回答が「重要である」より高くなっている。

【保護者】問 19:これからの学校施設に期待する機能

小学校

	安全・安心な学校		児童・生徒が快適に学習できる環境		教職員が快適に働くことができる環境		バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進※1	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
あてはまる	1,428	90.7%	1,370	87.0%	1,186	75.3%	751	47.7%
ややあてはまる	131	8.3%	194	12.3%	351	22.3%	680	43.2%
ややあてはまらない	11	0.7%	8	0.5%	33	2.1%	121	7.7%
あてはまらない	4	0.3%	2	0.1%	4	0.3%	22	1.4%
計	1,574	100.0%	1,574	100.0%	1,574	100.0%	1,574	100.0%

	環境への配慮		地域の方が使うことができるスペースの充実		避難所機能の強化		子育て支援機能との複合化	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
あてはまる	782	49.7%	389	24.7%	969	61.6%	700	44.5%
ややあてはまる	696	44.2%	627	39.8%	516	32.8%	674	42.8%
ややあてはまらない	80	5.1%	422	26.8%	70	4.4%	152	9.7%
あてはまらない	16	1.0%	136	8.6%	19	1.2%	48	3.0%
計	1,574	100.0%	1,574	100.0%	1,574	100.0%	1,574	100.0%

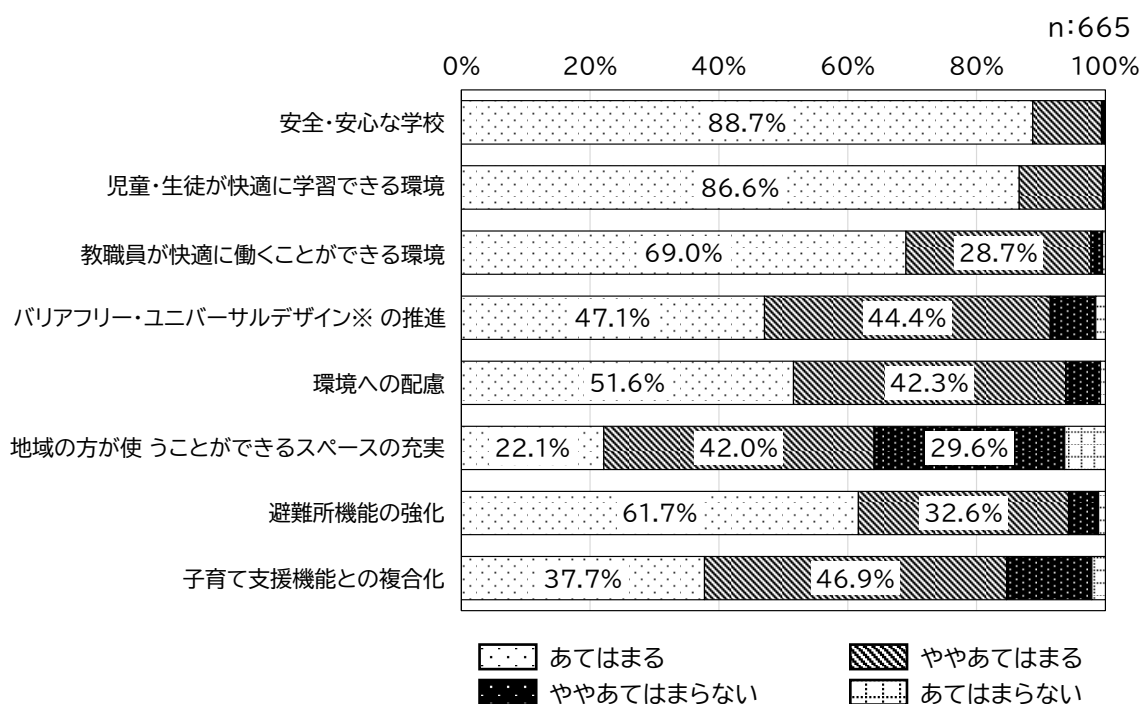


※ 文化・言語・国籍や年齢・性別・能力などの違いにかかわらず、できるだけ多くの人々が利用できることを目指したデザイン。

中学校

	安全・安心な学校		児童・生徒が快適に学習できる環境		教職員が快適に働くことができる環境		バリアフリー・ユニバーサルデザイン※の推進※1	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
あてはまる	590	88.7%	576	86.6%	459	69.0%	313	47.1%
ややあてはまる	71	10.7%	86	12.9%	191	28.7%	295	44.4%
ややあてはまらない	3	0.5%	3	0.5%	12	1.8%	47	7.1%
あてはまらない	1	0.2%	0	0.0%	3	0.5%	10	1.5%
計	665	100.0%	665	100.0%	665	100.0%	665	100.0%

	環境への配慮		地域の方が使うことができるスペースの充実		避難所機能の強化		子育て支援機能との複合化	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
あてはまる	343	51.6%	147	22.1%	410	61.7%	251	37.7%
ややあてはまる	281	42.3%	279	42.0%	217	32.6%	312	46.9%
ややあてはまらない	36	5.4%	197	29.6%	31	4.7%	88	13.2%
あてはまらない	5	0.8%	42	6.3%	7	1.1%	14	2.1%
計	665	100.0%	665	100.0%	665	100.0%	665	100.0%



※ 文化・言語・国籍や年齢・性別・能力などの違いにかかわらず、できるだけ多くの人が利用できることを目指したデザイン。

- これからの学校施設に期待する機能は、小学校、中学校ともに「安全・安心な学校」「児童・生徒が快適に学習できる環境」と回答する割合が高い。

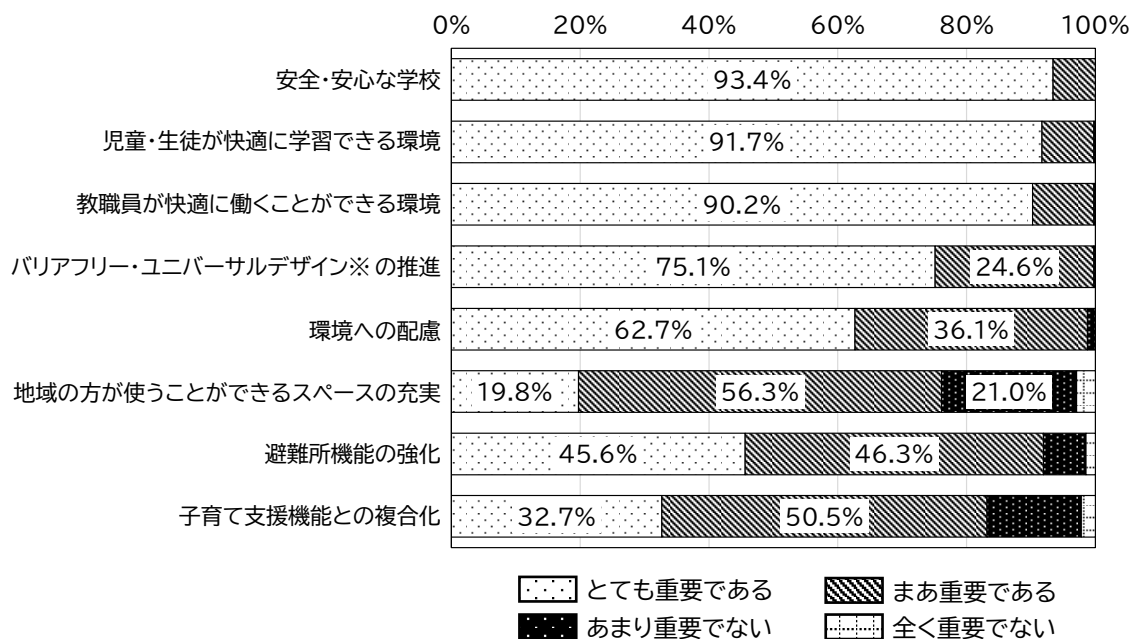
【教職員】問 18:これからの学校施設に期待する機能

小学校

	安全・安心な学校		児童・生徒が快適に学習できる環境		教職員が快適に働くことができる環境		バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進※1	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
とても重要である	383	93.4%	376	91.7%	370	90.2%	308	75.1%
まあ重要である	27	6.6%	33	8.0%	39	9.5%	101	24.6%
あまり重要でない	0	0.0%	1	0.2%	1	0.2%	1	0.2%
全く重要でない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	410	100.0%	410	100.0%	410	100.0%	410	100.0%

	環境への配慮		地域の方が使うことができるスペースの充実		避難所機能の強化		子育て支援機能との複合化	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
とても重要である	257	62.7%	81	19.8%	187	45.6%	134	32.7%
まあ重要である	148	36.1%	231	56.3%	190	46.3%	207	50.5%
あまり重要でない	5	1.2%	86	21.0%	27	6.6%	60	14.6%
全く重要でない	0	0.0%	12	2.9%	6	1.5%	9	2.2%
計	410	100.0%	410	100.0%	410	100.0%	410	100.0%

n:410



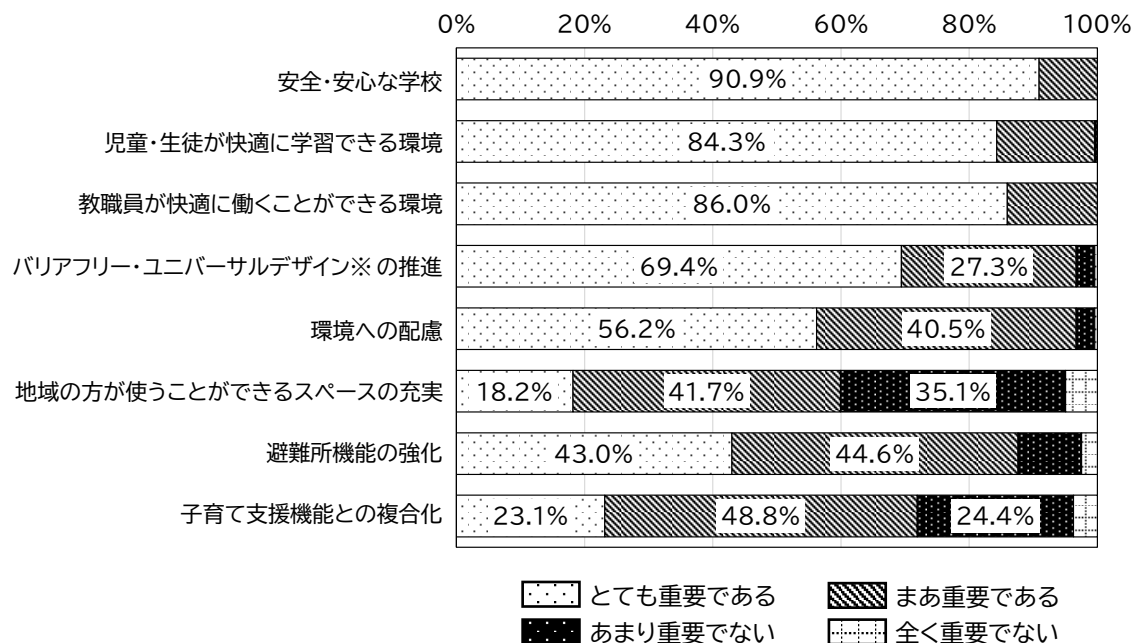
※ 文化・言語・国籍や年齢・性別・能力などの違いにかかわらず、できるだけ多くの人が利用できることを目指したデザイン。

中学校

	安全・安心な学校		児童・生徒が快適に学習できる環境		教職員が快適に働くことができる環境		バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進※1	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
とても重要である	220	90.9%	204	84.3%	208	86.0%	168	69.4%
まあ重要である	22	9.1%	37	15.3%	34	14.0%	66	27.3%
あまり重要でない	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%	7	2.9%
全く重要でない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%
計	242	100.0%	242	100.0%	242	100.0%	242	100.0%

	環境への配慮		地域の方が使うことができるスペースの充実		避難所機能の強化		子育て支援機能との複合化	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
とても重要である	136	56.2%	44	18.2%	104	43.0%	56	23.1%
まあ重要である	98	40.5%	101	41.7%	108	44.6%	118	48.8%
あまり重要でない	7	2.9%	85	35.1%	24	9.9%	59	24.4%
全く重要でない	1	0.4%	12	5.0%	6	2.5%	9	3.7%
計	242	100.0%	242	100.0%	242	100.0%	242	100.0%

n:242



※ 文化・言語・国籍や年齢・性別・能力などの違いにかかわらず、できるだけ多くの人が利用できることを目指したデザイン。

- これからの学校施設に期待する機能は、小学校、中学校ともに「安全・安心な学校」「児童・生徒が快適に学習できる環境」「教職員が快適に働くことができる環境」と回答した割合が高い。

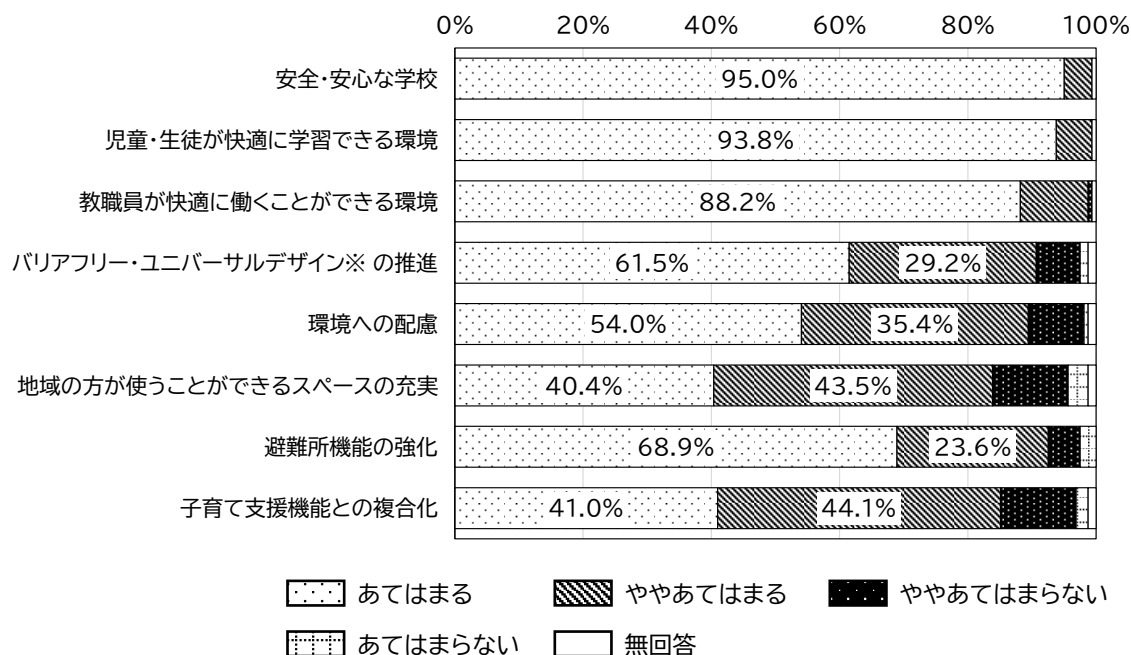
【地域関係者】問 16:これからの学校施設に期待する機能

小学校

	安全・安心な学校		児童・生徒が快適に学習できる環境		教職員が快適に働くことができる環境		バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進※1	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
あてはまる	153	95.0%	151	93.8%	142	88.2%	99	61.5%
ややあてはまる	7	4.3%	9	5.6%	17	10.6%	47	29.2%
ややあてはまらない	0	0.0%	0	0.0%	1	0.6%	11	6.8%
あてはまらない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.2%
無回答	1	0.6%	1	0.6%	1	0.6%	2	1.2%
計	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%

	環境への配慮		地域の方が使うことができるスペースの充実		避難所機能の強化		子育て支援機能との複合化	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
あてはまる	87	54.0%	65	40.4%	111	68.9%	66	41.0%
ややあてはまる	57	35.4%	70	43.5%	38	23.6%	71	44.1%
ややあてはまらない	14	8.7%	19	11.8%	8	5.0%	19	11.8%
あてはまらない	1	0.6%	5	3.1%	4	2.5%	3	1.9%
無回答	2	1.2%	2	1.2%	0	0.0%	2	1.2%
計	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%

n:161



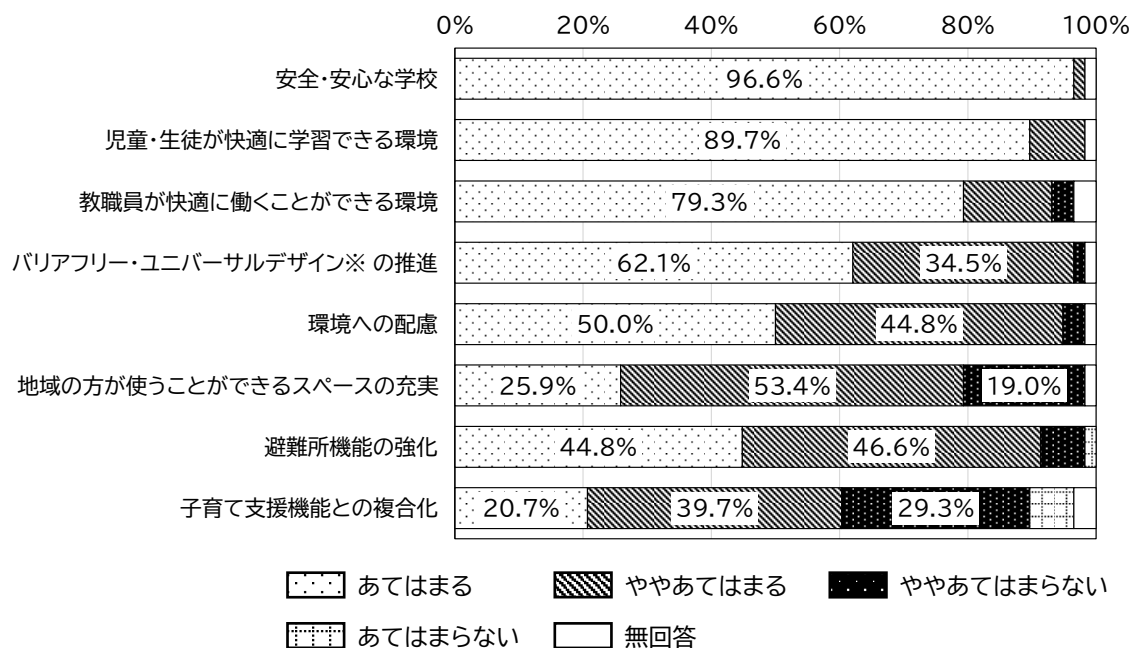
※ 文化・言語・国籍や年齢・性別・能力などの違いにかかわらず、できるだけ多くの人が利用できることを目指したデザイン。

中学校

	安全・安心な学校		児童・生徒が快適に学習できる環境		教職員が快適に働くことができる環境		バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進※1	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
あてはまる	56	96.6%	52	89.7%	46	79.3%	36	62.1%
ややあてはまる	1	1.7%	5	8.6%	8	13.8%	20	34.5%
ややあてはまらない	0	0.0%	0	0.0%	2	3.4%	1	1.7%
あてはまらない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	1	1.7%	1	1.7%	2	3.4%	1	1.7%
計	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%

	環境への配慮		地域の方が使うことができるスペースの充実		避難所機能の強化		子育て支援機能との複合化	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
あてはまる	29	50.0%	15	25.9%	26	44.8%	12	20.7%
ややあてはまる	26	44.8%	31	53.4%	27	46.6%	23	39.7%
ややあてはまらない	2	3.4%	11	19.0%	4	6.9%	17	29.3%
あてはまらない	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	4	6.9%
無回答	1	1.7%	1	1.7%	0	0.0%	2	3.4%
計	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%

n:58



※ 文化・言語・国籍や年齢・性別・能力などの違いにかかわらず、できるだけ多くの人々が利用できることを目指したデザイン。

- これからの学校施設に期待する機能は、小学校・中学校ともに「安全・安心な学校」、「児童・生徒が快適に学習できる環境」、「教職員が快適に働くことができる環境」と回答する割合が高い。

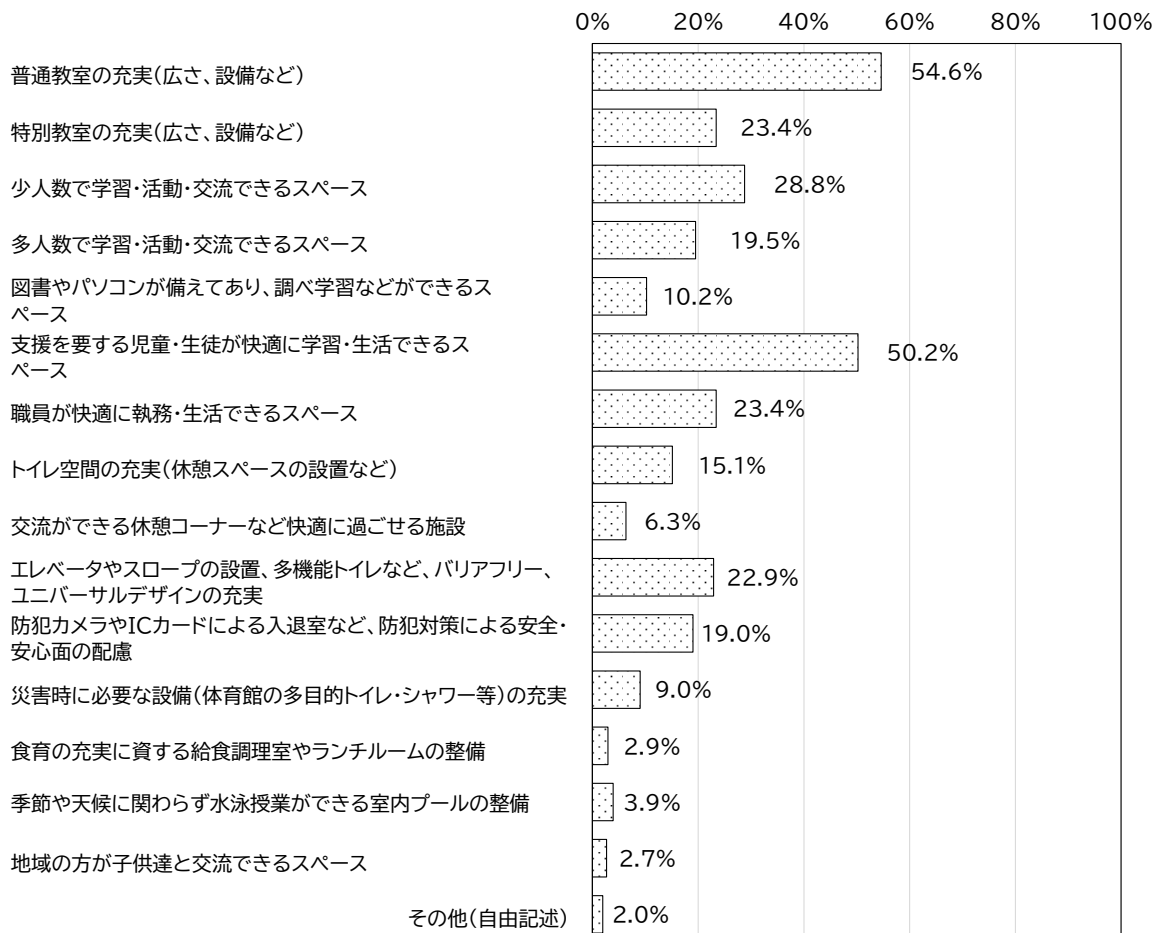
○これからの学校施設に必要と思うもの

【教職員】問 19:これからの学校施設に必要と思うもの

小学校

	回答数	割合
普通教室の充実(広さ、設備など)	224	54.6%
特別教室の充実(広さ、設備など)	96	23.4%
少人数で学習・活動・交流できるスペース	118	28.8%
多人数で学習・活動・交流できるスペース	80	19.5%
図書やパソコンが備えてあり、調べ学習などができるスペース	42	10.2%
支援を要する児童・生徒が快適に学習・生活できるスペース	206	50.2%
職員が快適に執務・生活できるスペース	96	23.4%
トイレ空間の充実(休憩スペースの設置など)	62	15.1%
交流ができる休憩コーナーなど快適に過ごせる施設	26	6.3%
エレベータやスロープの設置、多機能トイレなど、バリアフリー、ユニバーサルデザインの充実	94	22.9%
防犯カメラやICカードによる入退室など、防犯対策による安全・安心面の配慮	78	19.0%
災害時に必要な設備(体育館の多目的トイレ・シャワー等)の充実	37	9.0%
食育の充実に資する給食調理室やランチルームの整備	12	2.9%
季節や天候に関わらず水泳授業ができる室内プールの整備	16	3.9%
地域の方が子供達と交流できるスペース	11	2.7%
その他(自由記述)	8	2.0%
計	1,206	-

n:410

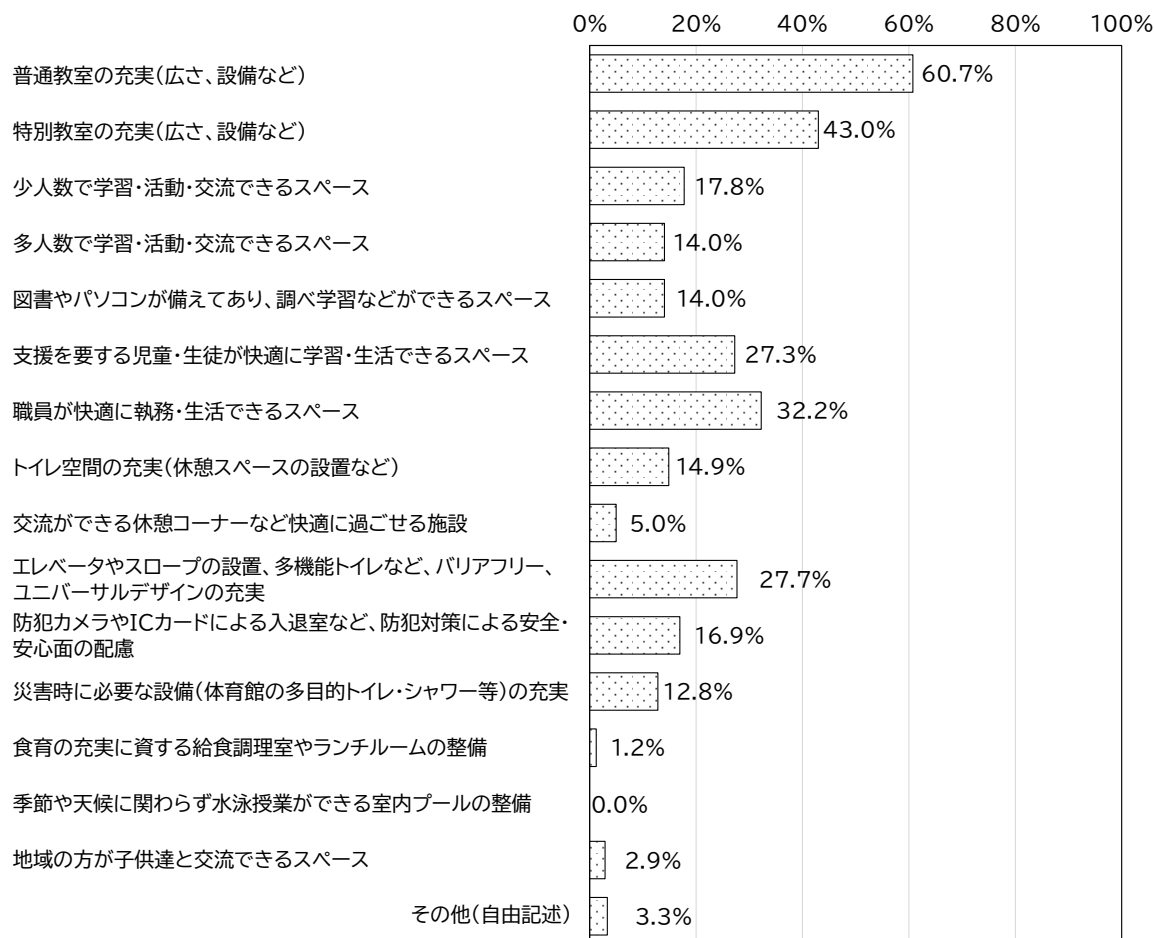


- 小学校の教職員の場合、「普通教室の充実(広さ、設備など)」と回答する割合が高く、次いで「支援を要する児童・生徒が快適に学習・生活できるスペース」となっている。

中学校

	回答数	割合
普通教室の充実(広さ、設備など)	147	60.7%
特別教室の充実(広さ、設備など)	104	43.0%
少人数で学習・活動・交流できるスペース	43	17.8%
多人数で学習・活動・交流できるスペース	34	14.0%
図書やパソコンが備えてあり、調べ学習などができるスペース	34	14.0%
支援を要する児童・生徒が快適に学習・生活できるスペース	66	27.3%
職員が快適に執務・生活できるスペース	78	32.2%
トイレ空間の充実(休憩スペースの設置など)	36	14.9%
交流ができる休憩コーナーなど快適に過ごせる施設	12	5.0%
エレベータやスロープの設置、多機能トイレなど、バリアフリー、ユニバーサルデザインの充実	67	27.7%
防犯カメラやICカードによる入退室など、防犯対策による安全・安心面の配慮	41	16.9%
災害時に必要な設備(体育館の多目的トイレ・シャワー等)の充実	31	12.8%
食育の充実に資する給食調理室やランチルームの整備	3	1.2%
季節や天候に関わらず水泳授業ができる室内プールの整備	0	0.0%
地域の方が子供達と交流できるスペース	7	2.9%
その他(自由記述)	8	3.3%
計	711	-

n:242

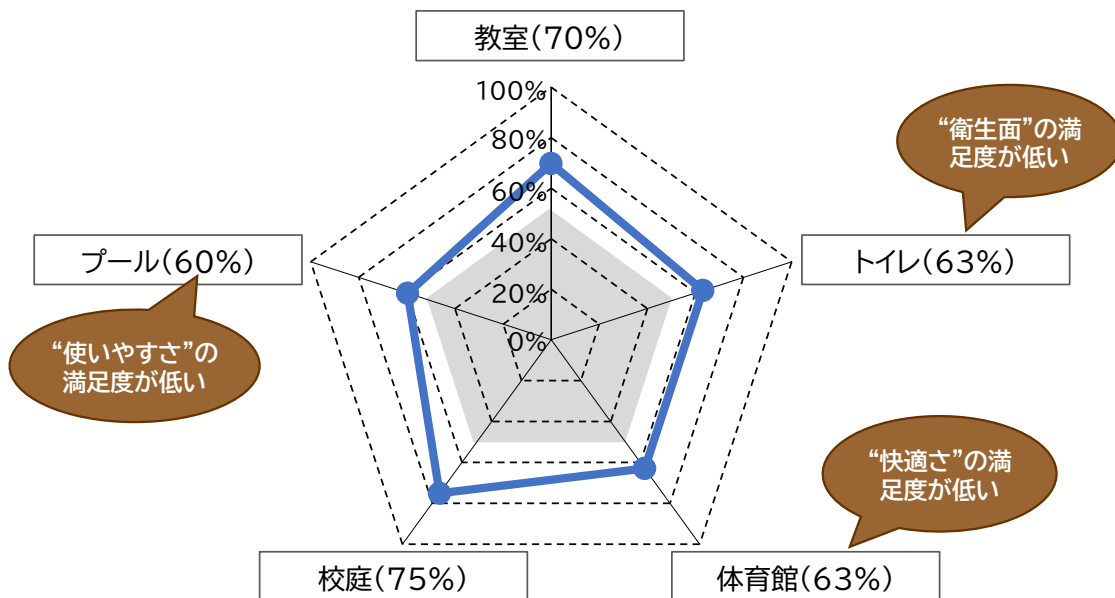


- 中学校も小学校と同様、「普通教室の充実(広さ、設備など)」と回答する割合が高く、次いで「特別教室の充実(広さ、設備など)」、「職員が快適に執務・生活できるスペース」となっている。

○現在の学校施設についての評価

■諸室別の満足度【小学校・中学校合計】／【保護者・教職員・地域合計】

※数字：満足+やや満足を合わせた値



■学校別・諸室別の満足度ランキング

※数字：満足+やや満足を合わせた値

小学校(n=1,574)														
No	小学校:教室		No	小学校:トイレ		No	小学校:体育館		No	小学校:校庭		No	小学校:プール	
1	快適さ	77%	1	安全	70%	1	広さ	83%	1	広さ	84%	1	広さ	74%
2	広さ	76%	1	広さ	70%	2	安全	77%	2	安全	77%	2	安全	56%
3	安全	72%	3	快適さ	58%	3	使いやすさ	70%	3	使いやすさ	73%	3	使いやすさ	52%
3	使いやすさ	72%	4	衛生面	46%	4	快適さ	38%						

“衛生面”が低い

“快適さ”が低い

中学校(n=665)														
No	中学校:教室		No	中学校:トイレ		No	中学校:体育館		No	中学校:校庭		No	中学校:プール	
1	快適さ	65%	1	安全	68%	1	広さ	66%	1	広さ	72%	1	広さ	68%
2	使いやすさ	59%	2	広さ	67%	2	安全	63%	2	安全	68%	2	安全	53%
2	広さ	59%	3	快適さ	58%	3	使いやすさ	56%	3	使いやすさ	65%	3	使いやすさ	48%
4	安全	57%	4	衛生面	43%	4	快適さ	28%						

“衛生面”が低い

“快適さ”が低い

“使いやすさ”が低い

- 全体では、校庭の満足度が高く、プールの満足度が低い。
- 個別に見ると、特にトイレの「衛生面」、体育館の「快適さ」の満足度が小学校・中学校ともに低い。

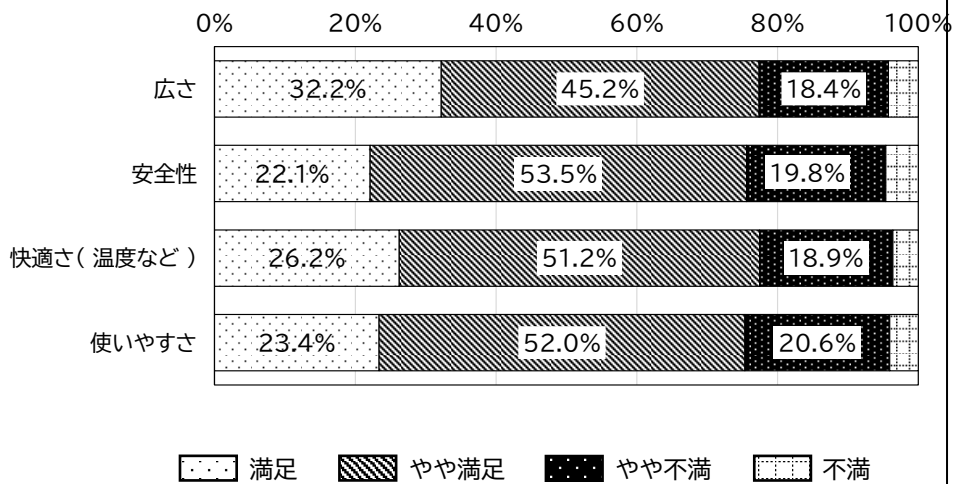
【保護者】問 20:現在の学校施設についての評価

小学校

[教室]

	広さ		安全性		快適さ(温度など)		使いやすさ	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	507	32.2%	348	22.1%	413	26.2%	368	23.4%
やや満足	711	45.2%	842	53.5%	806	51.2%	818	52.0%
やや不満	289	18.4%	311	19.8%	298	18.9%	324	20.6%
不満	67	4.3%	73	4.6%	57	3.6%	64	4.1%
計	1,574	100.0%	1,574	100.0%	1,574	100.0%	1,574	100.0%

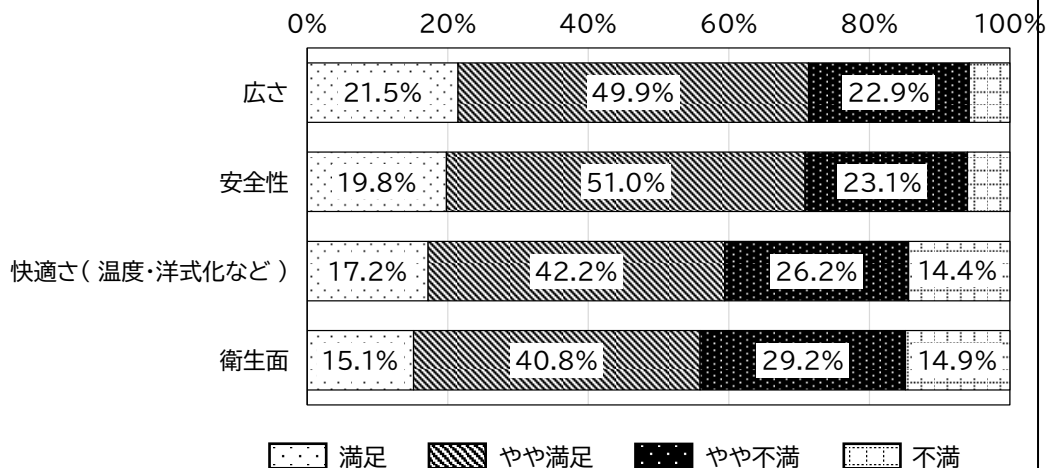
n:1,574



[トイレ]

	広さ		安全性		快適さ(温度・洋式化など)		衛生面	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	338	21.5%	312	19.8%	271	17.2%	238	15.1%
やや満足	785	49.9%	803	51.0%	664	42.2%	642	40.8%
やや不満	360	22.9%	364	23.1%	412	26.2%	460	29.2%
不満	91	5.8%	95	6.0%	227	14.4%	234	14.9%
計	1,574	100.0%	1,574	100.0%	1,574	100.0%	1,574	100.0%

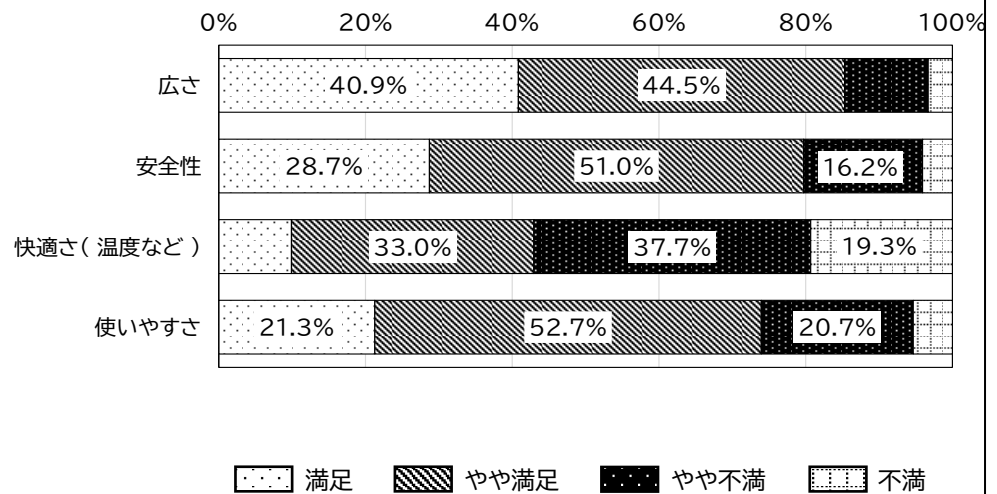
n:1,574



[体育館]

	広さ		安全性		快適さ(温度など)		使いやすさ	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	643	40.9%	452	28.7%	156	9.9%	335	21.3%
やや満足	700	44.5%	803	51.0%	520	33.0%	829	52.7%
やや不満	179	11.4%	255	16.2%	594	37.7%	326	20.7%
不満	52	3.3%	64	4.1%	304	19.3%	84	5.3%
計	1,574	100.0%	1,574	100.0%	1,574	100.0%	1,574	100.0%

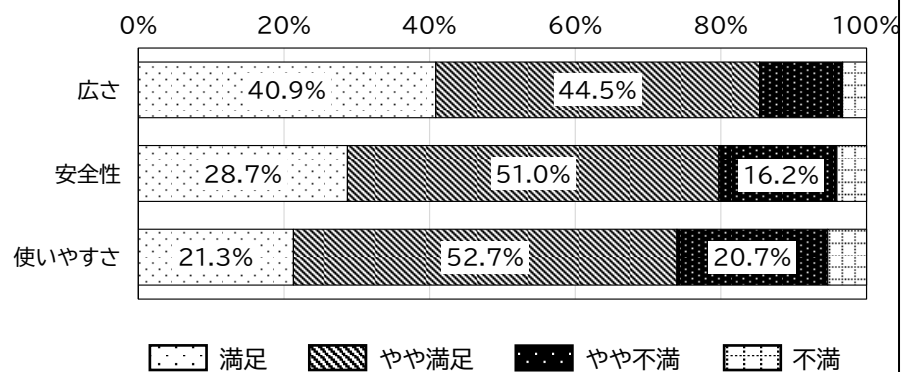
n:1,574



[校庭]

	広さ		安全性		使いやすさ	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	643	40.9%	452	28.7%	335	21.3%
やや満足	700	44.5%	803	51.0%	829	52.7%
やや不満	179	11.4%	255	16.2%	326	20.7%
不満	52	3.3%	64	4.1%	84	5.3%
計	1,574	100.0%	1,574	100.0%	1,574	100.0%

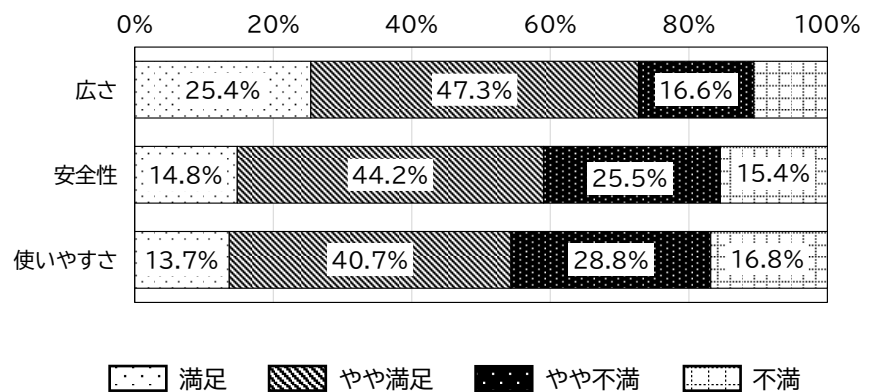
n:1,574



[プール]

	広さ		安全性		使いやすさ	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	400	25.4%	233	14.8%	215	13.7%
やや満足	745	47.3%	696	44.2%	640	40.7%
やや不満	262	16.6%	402	25.5%	454	28.8%
不満	167	10.6%	243	15.4%	265	16.8%
計	1,574	100.0%	1,574	100.0%	1,574	100.0%

n:1,574



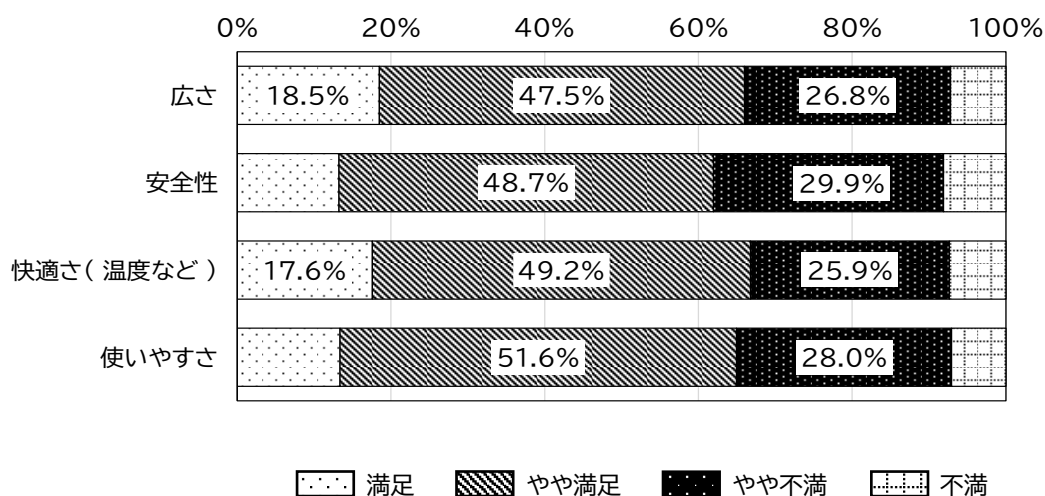
- [教室] 満足・やや満足が各項目(広さ、安全性、快適さ、使いやすさ)とも75%を超える高い割合になっている。
- [トイレ] 広さ・安全性の満足・やや満足が70%以上の高い割合だが、快適さ・衛生面の満足・やや満足が50%台で、前者に比べてやや低い割合になっている。
- [体育館] 快適さの満足・やや満足が50%以下と低い割合になっているが、他項目(広さ、安全性、使いやすさ)の満足・やや満足は50%以上と高い割合になっている。
- [校庭] 満足・やや満足の各項目(広さ、安全性、使いやすさ)とも70%を超える高い割合になっている。
- [プール] 広さの満足・やや満足は70%を超える高い割合だが、安全性・使いやすさの満足・やや満足が50%台で、やや低い割合になっている。

中学校

[教室]

	広さ		安全性		快適さ(温度など)		使いやすさ	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	123	18.5%	88	13.2%	117	17.6%	89	13.4%
やや満足	316	47.5%	324	48.7%	327	49.2%	343	51.6%
やや不満	178	26.8%	199	29.9%	172	25.9%	186	28.0%
不満	48	7.2%	54	8.1%	49	7.4%	47	7.1%
計	665	100.0%	665	100.0%	665	100.0%	665	100.0%

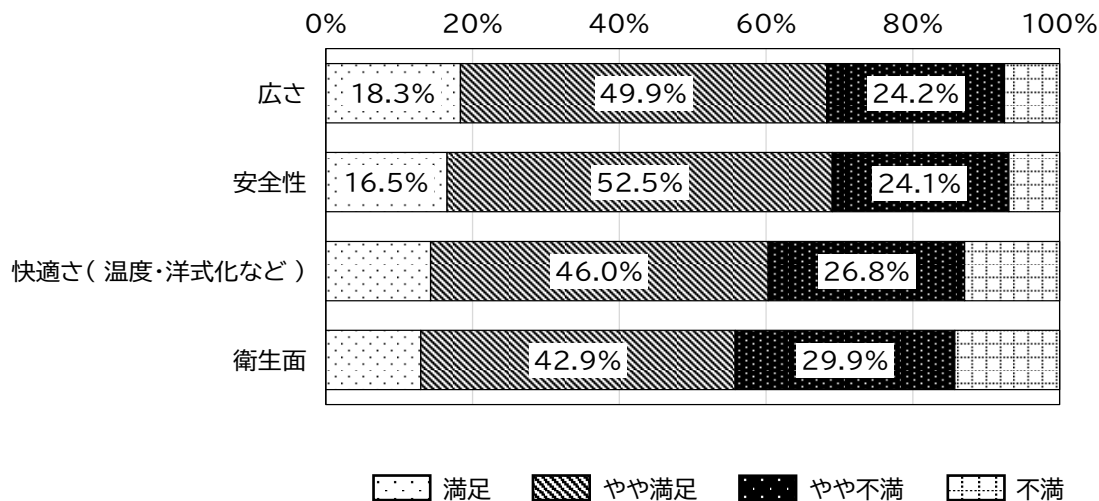
n:665



[トイレ]

	広さ		安全性		快適さ(温度・洋式化など)		衛生面	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	122	18.3%	110	16.5%	95	14.3%	86	12.9%
やや満足	332	49.9%	349	52.5%	306	46.0%	285	42.9%
やや不満	161	24.2%	160	24.1%	178	26.8%	199	29.9%
不満	50	7.5%	46	6.9%	86	12.9%	95	14.3%
計	665	100.0%	665	100.0%	665	100.0%	665	100.0%

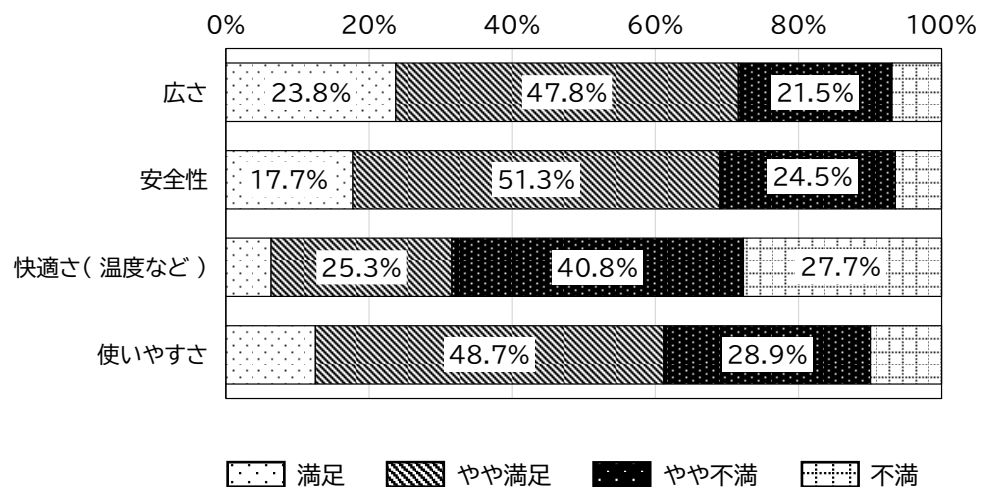
n : 665



[体育館]

	広さ		安全性		快適さ(温度など)		使いやすさ	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	158	23.8%	118	17.7%	42	6.3%	83	12.5%
やや満足	318	47.8%	341	51.3%	168	25.3%	324	48.7%
やや不満	143	21.5%	163	24.5%	271	40.8%	192	28.9%
不満	46	6.9%	43	6.5%	184	27.7%	66	9.9%
計	665	100.0%	665	100.0%	665	100.0%	665	100.0%

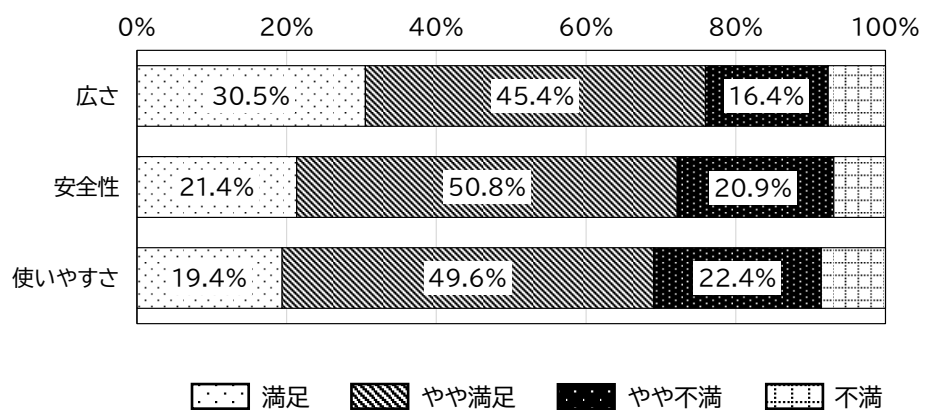
n:665



[校庭]

	広さ		安全性		使いやすさ	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	203	30.5%	142	21.4%	129	19.4%
やや満足	302	45.4%	338	50.8%	330	49.6%
やや不満	109	16.4%	139	20.9%	149	22.4%
不満	51	7.7%	46	6.9%	57	8.6%
計	665	100.0%	665	100.0%	665	100.0%

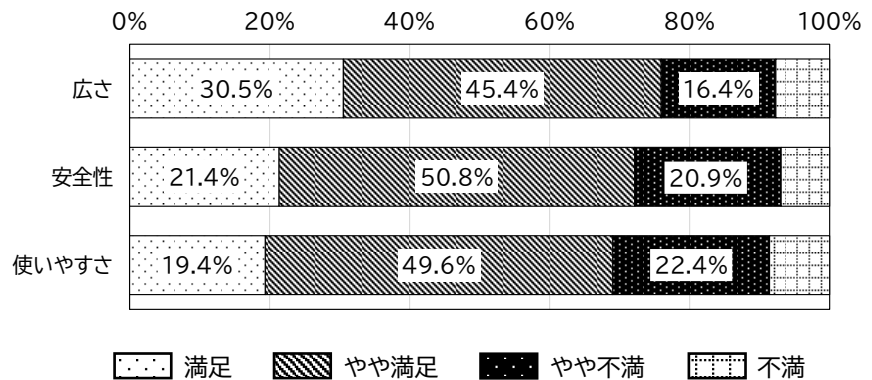
n:665



[プール]

	広さ		安全性		使いやすさ	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	203	30.5%	142	21.4%	129	19.4%
やや満足	302	45.4%	338	50.8%	330	49.6%
やや不満	109	16.4%	139	20.9%	149	22.4%
不満	51	7.7%	46	6.9%	57	8.6%
計	665	100.0%	665	100.0%	665	100.0%

n:665



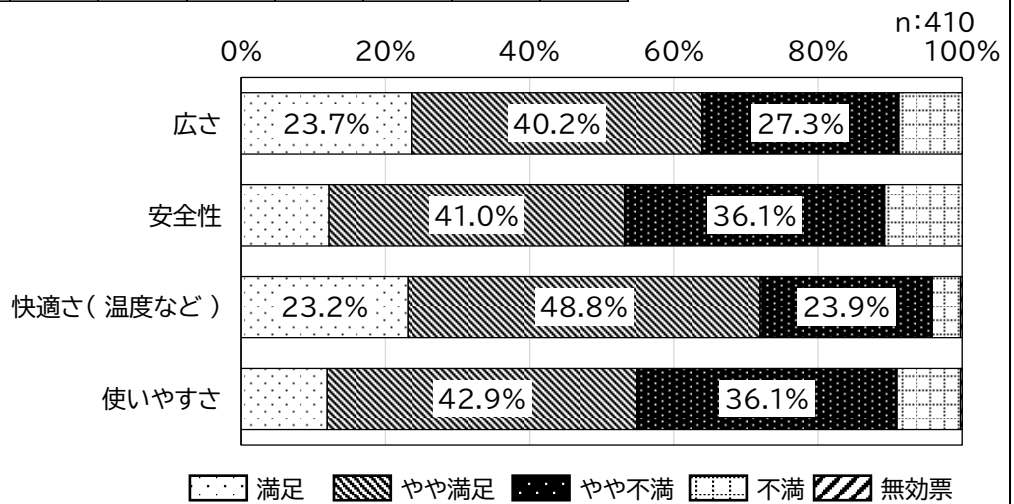
- [教室]満足・やや満足が各項目(広さ、安全性、快適さ、使いやすさ)とも 60%を超える高い割合になっている。
- [トイレ] 広さ・安全性の満足・やや満足は 65%以上の高い割合だが、快適さ・衛生面の満足・やや満足は 55~60%と、前者に比べてやや低い割合になっている。
- [体育館] 快適さの満足・やや満足は、31.6%と低い割合となっているが、他の項目(広さ、安全性、使いやすさ)は、60%を超える高い割合となっている。
- [校庭] 満足・やや満足が各項目(広さ、安全性、使いやすさ)とも 65%を超える高い割合となっている。
- [プール] 広さの満足・やや満足は 75%を超える高い割合だが、安全性・使いやすさの満足・やや満足は 45~55%と、やや低い割合になっている。

【教職員】問 20:現在勤務している学校施設についての評価

小学校

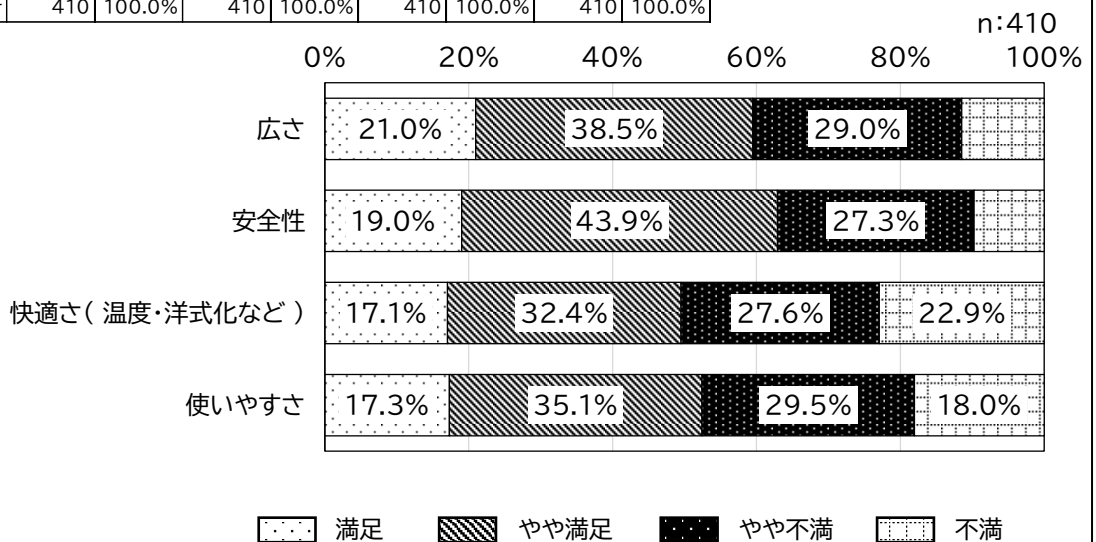
[教室]

	広さ		安全性		快適さ(温度など)		使いやすさ	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	97	23.7%	50	12.2%	95	23.2%	49	12.0%
やや満足	165	40.2%	168	41.0%	200	48.8%	176	42.9%
やや不満	112	27.3%	148	36.1%	98	23.9%	148	36.1%
不満	36	8.8%	44	10.7%	16	3.9%	36	8.8%
無効票	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	1	0.2%
計	410	100.0%	410	100.0%	410	100.0%	410	100.0%



[トイレ]

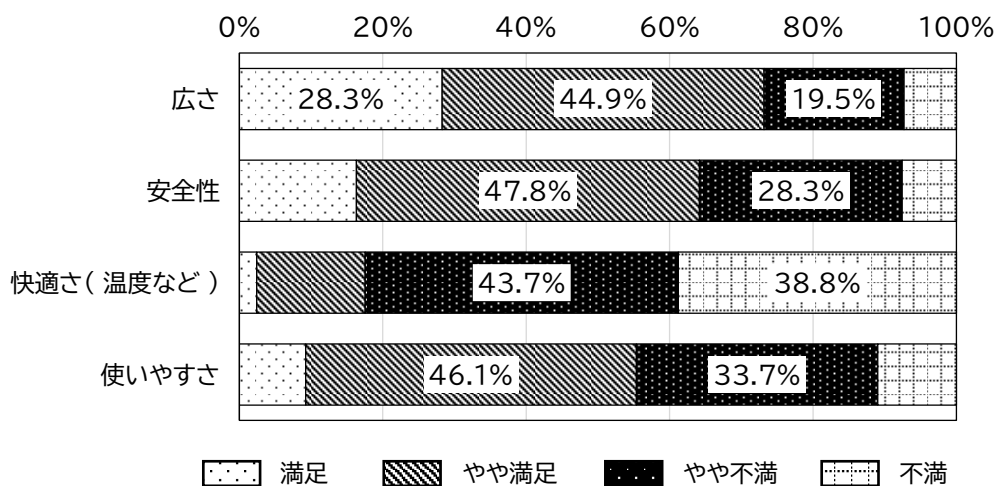
	広さ		安全性		快適さ(温度・洋式化など)		使いやすさ	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	86	21.0%	78	19.0%	70	17.1%	71	17.3%
やや満足	158	38.5%	180	43.9%	133	32.4%	144	35.1%
やや不満	119	29.0%	112	27.3%	113	27.6%	121	29.5%
不満	47	11.5%	40	9.8%	94	22.9%	74	18.0%
計	410	100.0%	410	100.0%	410	100.0%	410	100.0%



[体育館]

	広さ		安全性		快適さ(温度など)		使いやすさ	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	116	28.3%	67	16.3%	10	2.4%	38	9.3%
やや満足	184	44.9%	196	47.8%	62	15.1%	189	46.1%
やや不満	80	19.5%	116	28.3%	179	43.7%	138	33.7%
不満	30	7.3%	31	7.6%	159	38.8%	45	11.0%
計	410	100.0%	410	100.0%	410	100.0%	410	100.0%

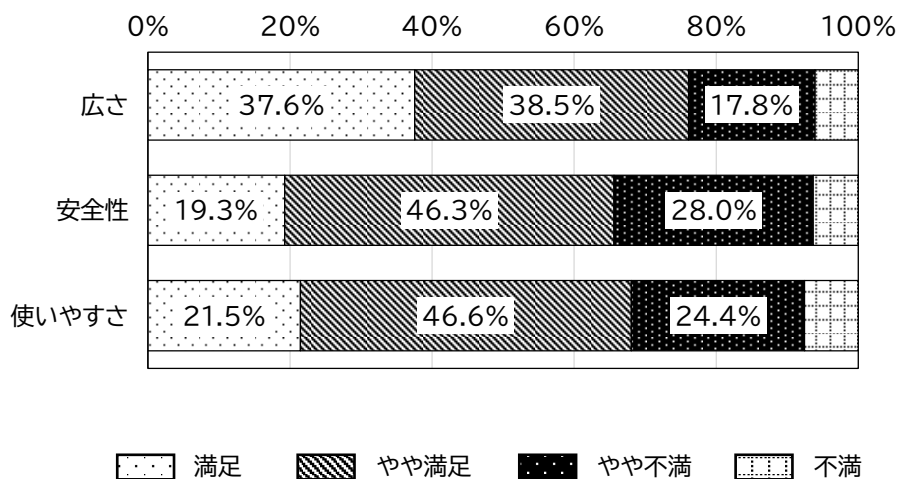
n:410



[校庭]

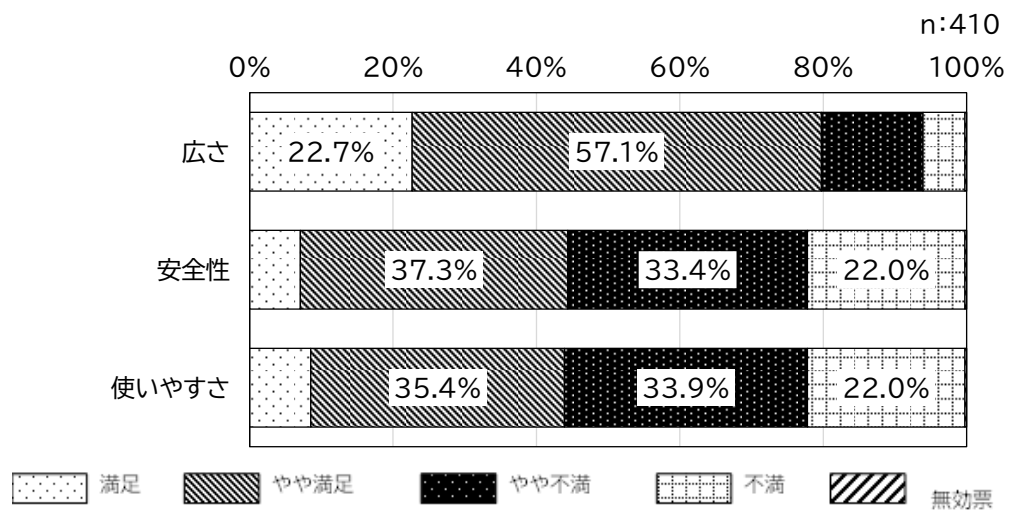
	広さ		安全性		使いやすさ	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	154	37.6%	79	19.3%	88	21.5%
やや満足	158	38.5%	190	46.3%	191	46.6%
やや不満	73	17.8%	115	28.0%	100	24.4%
不満	25	6.1%	26	6.3%	31	7.6%
計	410	100.0%	410	100.0%	410	100.0%

n:410



[プール]

	広さ		安全性		使いやすさ	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	93	22.7%	29	7.1%	35	8.5%
やや満足	234	57.1%	153	37.3%	145	35.4%
やや不満	58	14.1%	137	33.4%	139	33.9%
不満	24	5.9%	90	22.0%	90	22.0%
無効票	1	0.2%	1	0.2%	1	0.2%
計	410	100.0%	410	100.0%	410	100.0%

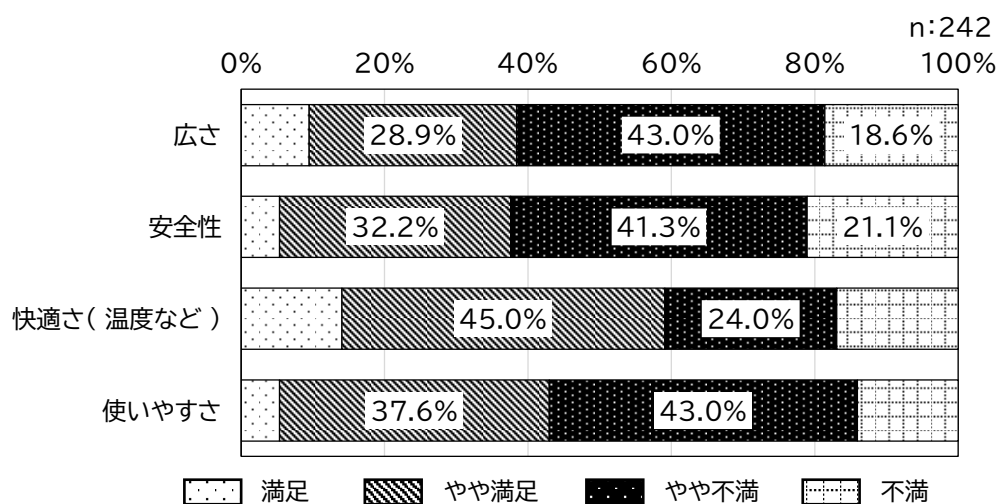


- [教室] 快適さ・広さの順に満足・やや満足が、60～75%と高い割合になっているが、安全性・使いやすさの満足・やや満足が50%台で、前者に比べて低い割合になっている。
- [トイレ] 広さ・安全性の満足・やや満足が約60%と高い割合だが、快適さ・衛生面の満足・やや満足は、前者に比べてやや低い割合になっている。
- [体育館] 快適さの満足・やや満足は17.5%とかなり低い割合だが、他の満足・やや満足は、広さ・安全性・使いやすさの順に高い割合となっている。
- [校庭] 満足・やや満足が各項目(広さ、安全性、使いやすさ)とも65%を超える高い割合になっている。
- [プール] 広さの満足・やや満足は70%と高い割合だが、安全性・使いやすさの満足・やや満足が50%を切り、やや低い割合になっている。

中学校

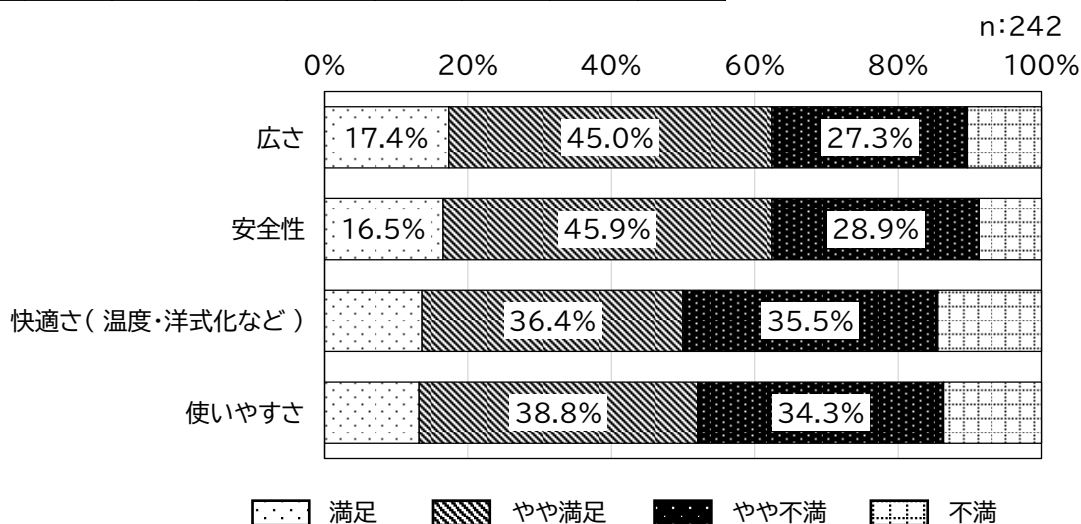
[教室]

	広さ		安全性		快適さ(温度など)		使いやすさ	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	23	9.5%	13	5.4%	34	14.0%	13	5.4%
やや満足	70	28.9%	78	32.2%	109	45.0%	91	37.6%
やや不満	104	43.0%	100	41.3%	58	24.0%	104	43.0%
不満	45	18.6%	51	21.1%	41	16.9%	34	14.0%
計	242	100.0%	242	100.0%	242	100.0%	242	100.0%



[トイレ]

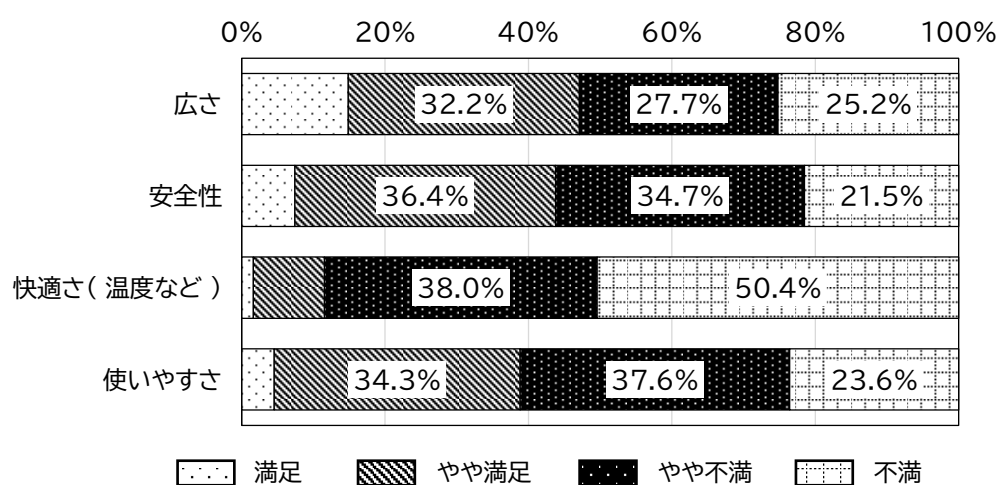
	広さ		安全性		快適さ(温度・洋式化など)		使いやすさ	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	42	17.4%	40	16.5%	33	13.6%	32	13.2%
やや満足	109	45.0%	111	45.9%	88	36.4%	94	38.8%
やや不満	66	27.3%	70	28.9%	86	35.5%	83	34.3%
不満	25	10.3%	21	8.7%	35	14.5%	33	13.6%
計	242	100.0%	242	100.0%	242	100.0%	242	100.0%



[体育館]

	広さ		安全性		快適さ(温度など)		使いやすさ	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	36	14.9%	18	7.4%	4	1.7%	11	4.5%
やや満足	78	32.2%	88	36.4%	24	9.9%	83	34.3%
やや不満	67	27.7%	84	34.7%	92	38.0%	91	37.6%
不満	61	25.2%	52	21.5%	122	50.4%	57	23.6%
計	242	100.0%	242	100.0%	242	100.0%	242	100.0%

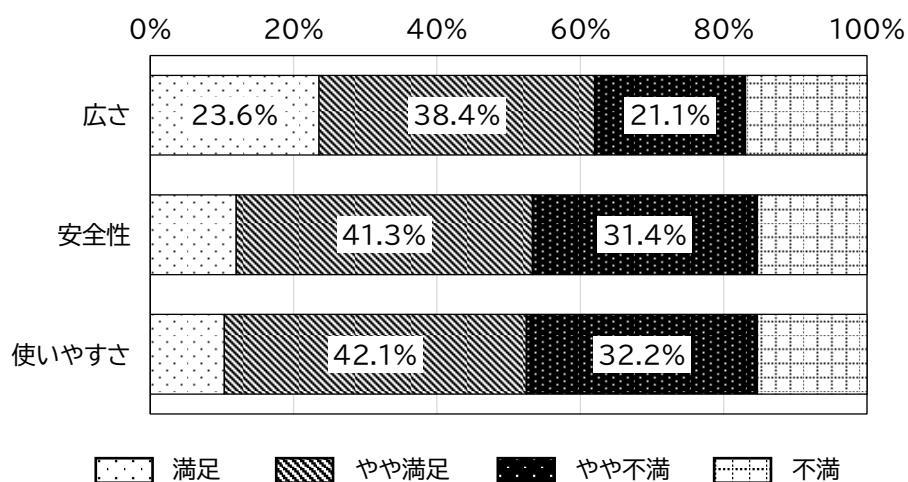
n:242



[校庭]

	広さ		安全性		使いやすさ	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	57	23.6%	29	12.0%	25	10.3%
やや満足	93	38.4%	100	41.3%	102	42.1%
やや不満	51	21.1%	76	31.4%	78	32.2%
不満	41	16.9%	37	15.3%	37	15.3%
計	242	100.0%	242	100.0%	242	100.0%

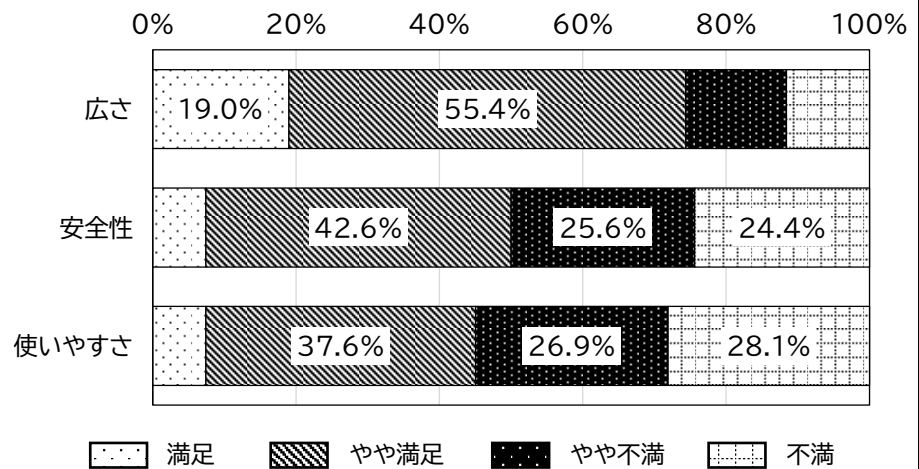
n:242



[プール]

	広さ		安全性		使いやすさ	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	46	19.0%	18	7.4%	18	7.4%
やや満足	134	55.4%	103	42.6%	91	37.6%
やや不満	34	14.0%	62	25.6%	65	26.9%
不満	28	11.6%	59	24.4%	68	28.1%
計	242	100.0%	242	100.0%	242	100.0%

n:242



- [教室] 快適さの満足・やや満足が 59%と高い割合だが、広さ・安全性・使いやすさの満足・やや満足が前者に比べて 35~45%と低い割合になっている。
- [トイレ] 広さ・安全性の満足・やや満足が約 60%と高い割合だが、快適さ・使いやすさの満足・やや満足は、前者に比べてやや低い割合になっている。
- [体育館] 快適さの満足・やや満足が 11.6%とかなり低い割合となっているが、他の項目の満足・やや満足は、広さ・安全性・使いやすさの順で 35~50%の割合となっている。
- [校庭] 満足・やや満足が各項目(広さ・安全性・使いやすさ)とも50%を超える割合となっている。
- [プール] 広さの満足・やや満足が 70%を超える高い割合だが、安全性・使いやすさが、やや低い割合になっている。

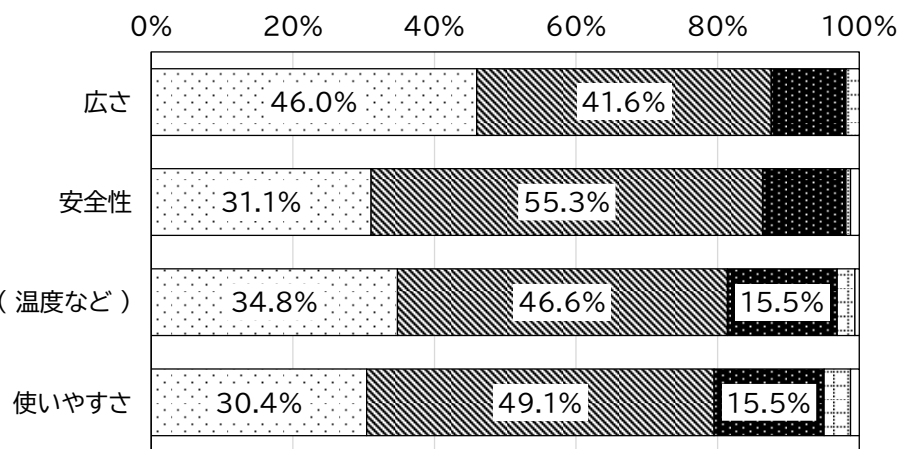
【地域関係者】問 17:現在の学校施設についての評価

小学校

[教室]

	広さ		安全性		快適さ(温度など)		使いやすさ	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	74	46.0%	50	31.1%	56	34.8%	49	30.4%
やや満足	67	41.6%	89	55.3%	75	46.6%	79	49.1%
やや不満	17	10.6%	19	11.8%	25	15.5%	25	15.5%
不満	3	1.9%	1	0.6%	4	2.5%	6	3.7%
無回答	0	0.0%	2	1.2%	1	0.6%	2	1.2%
計	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%

n:161

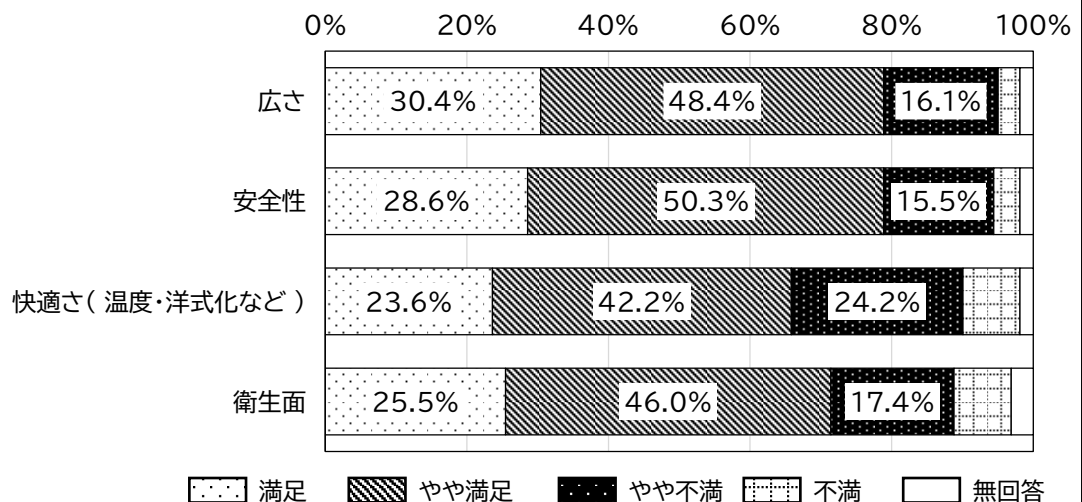


[トイレ]

満足
 やや満足
 やや不満
 不満
 無回答

	広さ		安全性		快適さ(温度・洋式化など)		衛生面	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	49	30.4%	46	28.6%	38	23.6%	41	25.5%
やや満足	78	48.4%	81	50.3%	68	42.2%	74	46.0%
やや不満	26	16.1%	25	15.5%	39	24.2%	28	17.4%
不満	5	3.1%	6	3.7%	13	8.1%	13	8.1%
無回答	3	1.9%	3	1.9%	3	1.9%	5	3.1%
計	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%

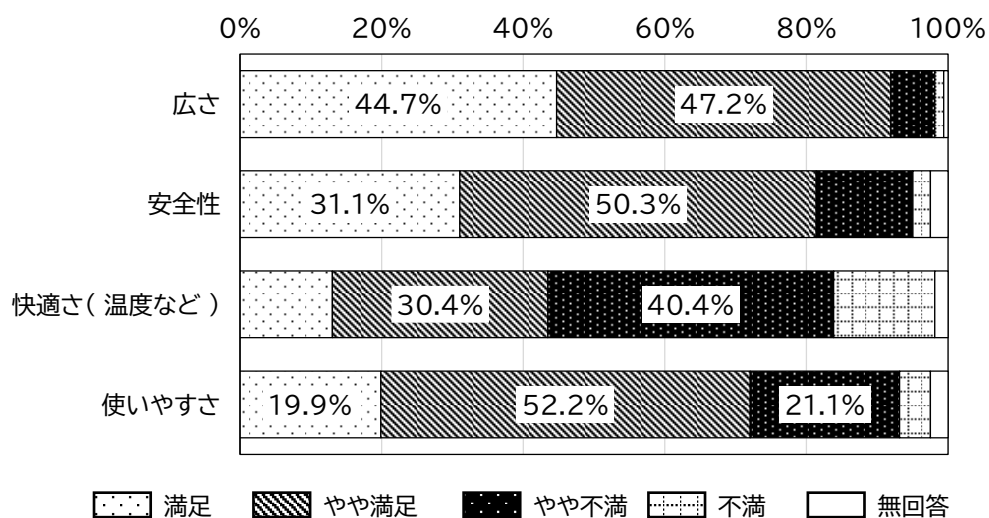
n:161



[体育館]

	広さ		安全性		快適さ(温度など)		使いやすさ	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	72	44.7%	50	31.1%	21	13.0%	32	19.9%
やや満足	76	47.2%	81	50.3%	49	30.4%	84	52.2%
やや不満	10	6.2%	22	13.7%	65	40.4%	34	21.1%
不満	2	1.2%	4	2.5%	23	14.3%	7	4.3%
無回答	1	0.6%	4	2.5%	3	1.9%	4	2.5%
計	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%

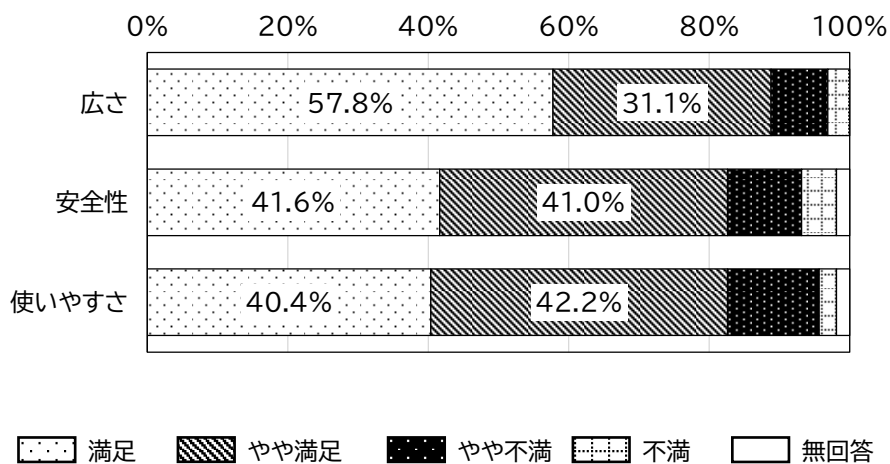
n:161



[校庭]

	広さ		安全性		使いやすさ	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	93	57.8%	67	41.6%	65	40.4%
やや満足	50	31.1%	66	41.0%	68	42.2%
やや不満	13	8.1%	17	10.6%	21	13.0%
不満	5	3.1%	8	5.0%	4	2.5%
無回答	0	0.0%	3	1.9%	3	1.9%
計	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%

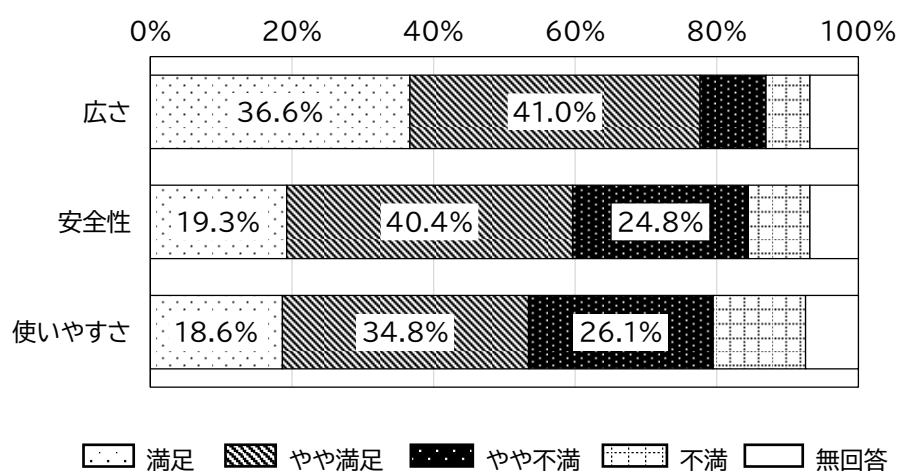
n:161



[プール]

	広さ		安全性		使いやすさ	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	59	36.6%	31	19.3%	30	18.6%
やや満足	66	41.0%	65	40.4%	56	34.8%
やや不満	15	9.3%	40	24.8%	42	26.1%
不満	10	6.2%	14	8.7%	21	13.0%
無回答	11	6.8%	11	6.8%	12	7.5%
計	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%

n:161



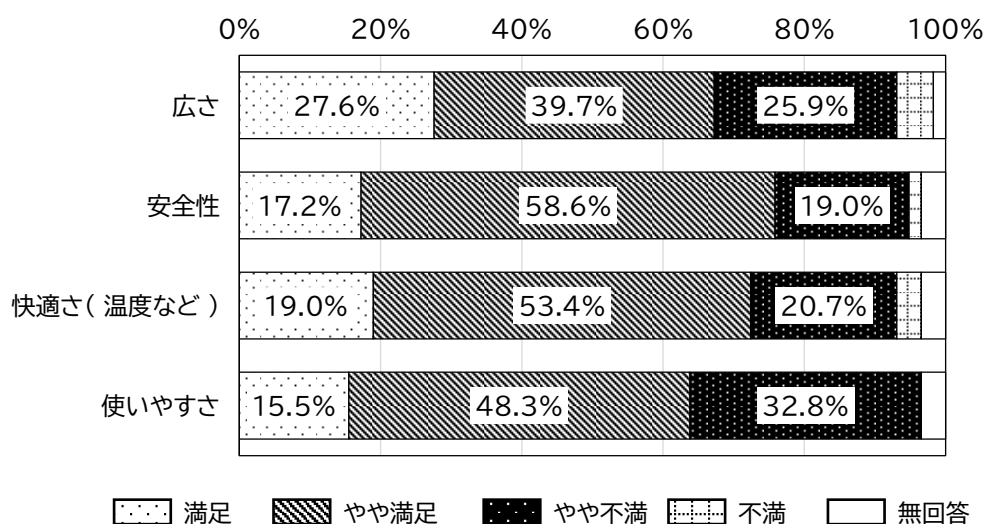
- [教室] 広さ・安全性・快適さ・使いやすさの順に満足・やや満足が、高い割合になっている。
- [トイレ] 広さ・安全性・衛生面の満足・やや満足は70%を超える高い割合だが、快適さの満足・やや満足は、前者に比べてやや低い割合になっている。
- [体育館] 快適さの満足・やや満足は50%を切る割合だが、他の満足・やや満足は、広さ・安全性・使いやすさの順に高い割合となっている。
- [校庭] 満足・やや満足が各項目(広さ、安全性、使いやすさ)とも80%を超える高い割合になっている。
- [プール] 広さの満足・やや満足は75%を超える高い割合だが、安全性・使いやすさの満足・やや満足が前者よりやや低い割合になっている。

中学校

[教室]

	広さ		安全性		快適さ(温度など)		使いやすさ	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	16	27.6%	10	17.2%	11	19.0%	9	15.5%
やや満足	23	39.7%	34	58.6%	31	53.4%	28	48.3%
やや不満	15	25.9%	11	19.0%	12	20.7%	19	32.8%
不満	3	5.2%	1	1.7%	2	3.4%	0	0.0%
無回答	1	1.7%	2	3.4%	2	3.4%	2	3.4%
計	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%

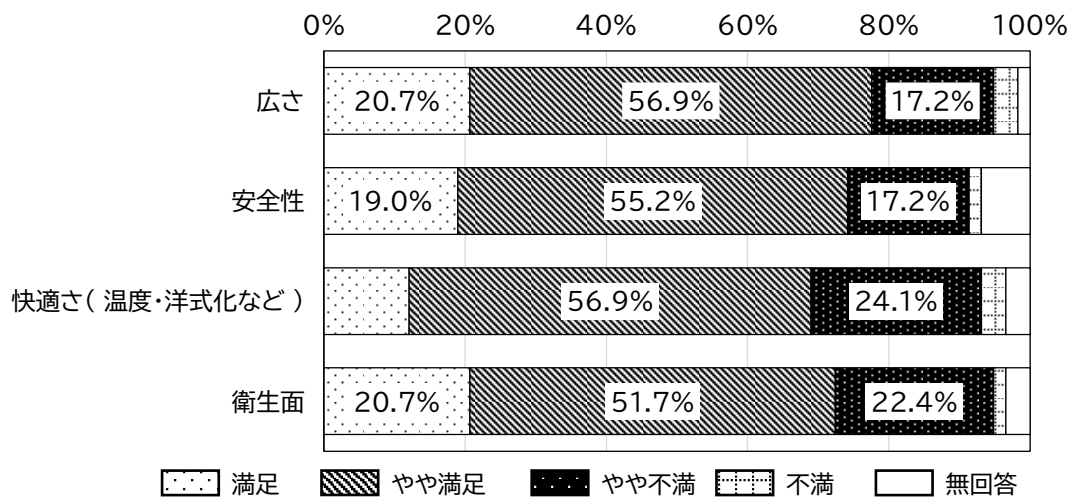
n:58



[トイレ]

	広さ		安全性		快適さ(温度・洋式化など)		衛生面	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	12	20.7%	11	19.0%	7	12.1%	12	20.7%
やや満足	33	56.9%	32	55.2%	33	56.9%	30	51.7%
やや不満	10	17.2%	10	17.2%	14	24.1%	13	22.4%
不満	2	3.4%	1	1.7%	2	3.4%	1	1.7%
無回答	1	1.7%	4	6.9%	2	3.4%	2	3.4%
計	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%

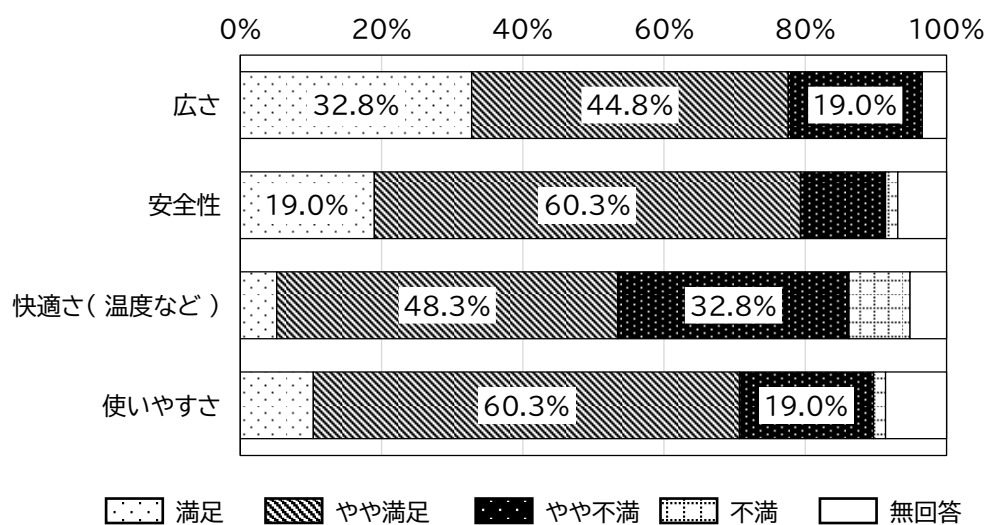
n:58



[体育館]

	広さ		安全性		快適さ(温度など)		使いやすさ	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	19	32.8%	11	19.0%	3	5.2%	6	10.3%
やや満足	26	44.8%	35	60.3%	28	48.3%	35	60.3%
やや不満	11	19.0%	7	12.1%	19	32.8%	11	19.0%
不満	0	0.0%	1	1.7%	5	8.6%	1	1.7%
無回答	2	3.4%	4	6.9%	3	5.2%	5	8.6%
計	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%

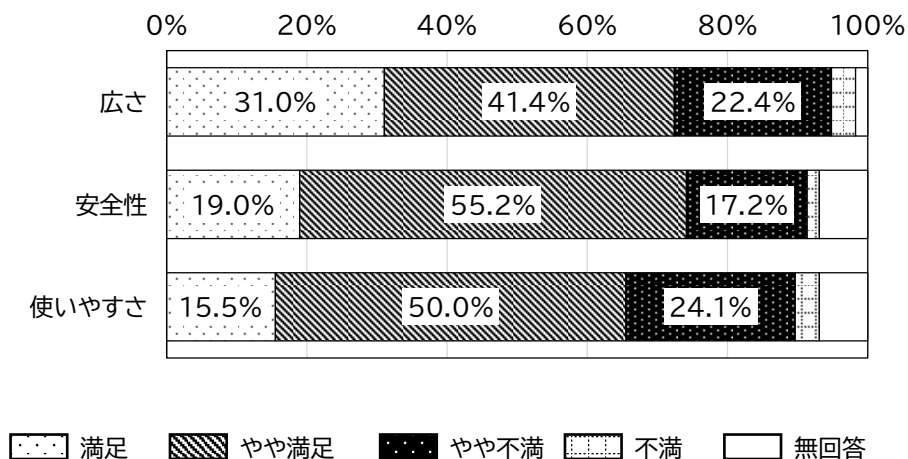
n:58



[校庭]

	広さ		安全性		使いやすさ	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	18	31.0%	11	19.0%	9	15.5%
やや満足	24	41.4%	32	55.2%	29	50.0%
やや不満	13	22.4%	10	17.2%	14	24.1%
不満	2	3.4%	1	1.7%	2	3.4%
無回答	1	1.7%	4	6.9%	4	6.9%
計	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%

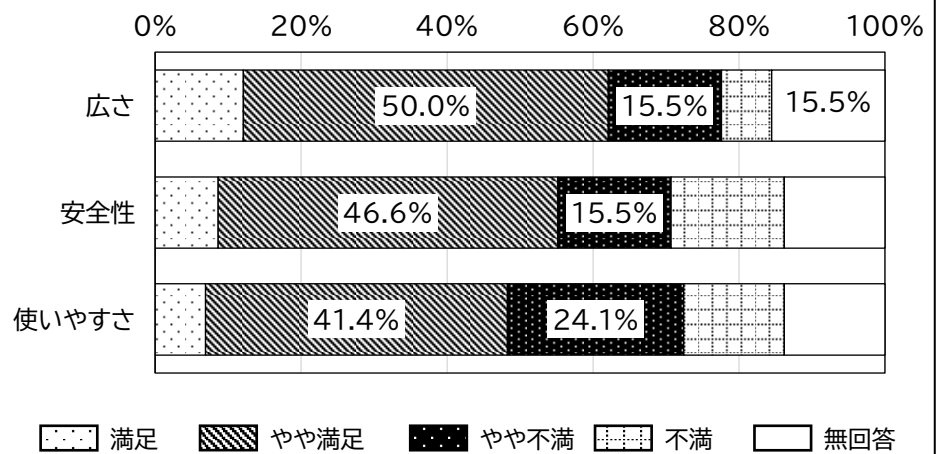
n:58



[プール]

	広さ		安全性		使いやすさ	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
満足	7	12.1%	5	8.6%	4	6.9%
やや満足	29	50.0%	27	46.6%	24	41.4%
やや不満	9	15.5%	9	15.5%	14	24.1%
不満	4	6.9%	9	15.5%	8	13.8%
無回答	9	15.5%	8	13.8%	8	13.8%
計	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%

n:58



- [教室] 広さ・安全性・快適さ・使いやすさの順に満足・やや満足が、高い割合になっている。
- [トイレ] 広さ・安全性・衛生面の満足・やや満足は 70%を超える高い割合だが、快適さの満足・やや満足は、前者に比べてやや低い割合になっている。
- [体育館] 快適さの満足・やや満足は 50%を切る割合だが、他の満足・やや満足は、広さ・安全性・使いやすさの順に高い割合となっている。
- [校庭] 満足・やや満足が各項目(広さ、安全性、使いやすさ)とも 80%を超える高い割合になっている。
- [プール] 広さの満足・やや満足は 75%を超える高い割合だが、安全性・使いやすさの満足・やや満足が前者よりやや低い割合になっている。

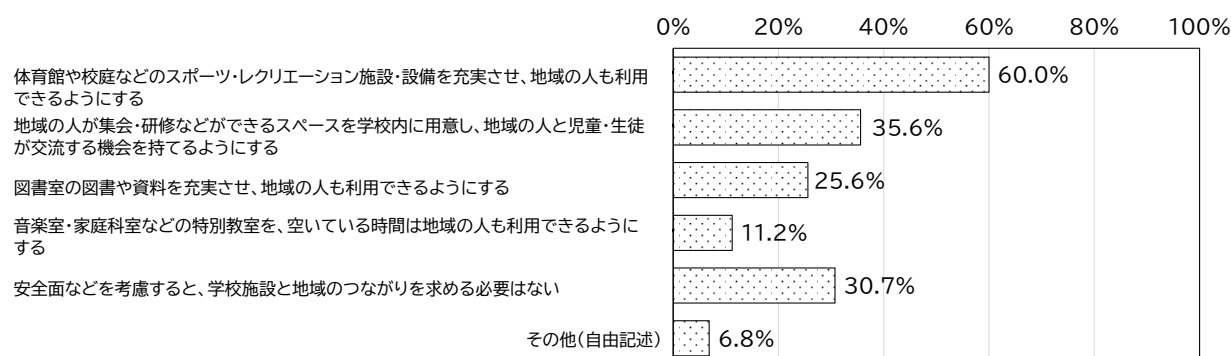
○学校施設と地域のつながりについて

【教職員】問 22:学校施設と地域のつながりについて

小学校

	回答数	割合
体育館や校庭などのスポーツ・レクリエーション施設・設備を充実させ、地域の人も利用できるようにする	246	60.0%
地域の人が集会・研修などができるスペースを学校内に用意し、地域の人と児童・生徒が交流する機会を持てるようにする	146	35.6%
図書室の図書や資料を充実させ、地域の人も利用できるようにする	105	25.6%
音楽室・家庭科室などの特別教室を、空いている時間は地域の人も利用できるようにする	46	11.2%
安全面などを考慮すると、学校施設と地域のつながりを求める必要はない	126	30.7%
その他(自由記述)	28	6.8%
計	697	-

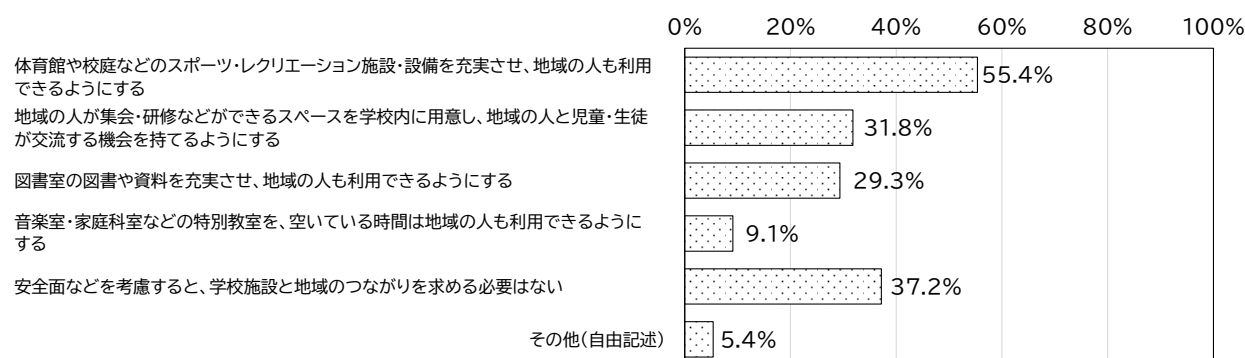
n:697



小学校

	回答数	割合
体育館や校庭などのスポーツ・レクリエーション施設・設備を充実させ、地域の人も利用できるようにする	134	55.4%
地域の人が集会・研修などができるスペースを学校内に用意し、地域の人と児童・生徒が交流する機会を持てるようにする	77	31.8%
図書室の図書や資料を充実させ、地域の人も利用できるようにする	71	29.3%
音楽室・家庭科室などの特別教室を、空いている時間は地域の人も利用できるようにする	22	9.1%
安全面などを考慮すると、学校施設と地域のつながりを求める必要はない	90	37.2%
その他(自由記述)	13	5.4%
計	407	-

n:407



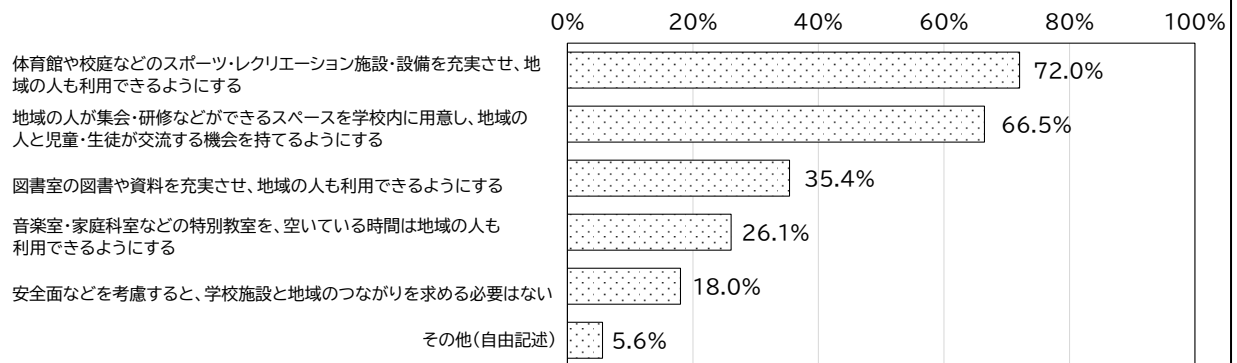
- 学校施設と地域のつながりについては、小学校・中学校ともに、「体育館や校庭などのスポーツ・レクリエーション施設・設備を充実させ、地域の人も利用できるようにする」と回答する割合が高い。

【地域関係者】問 19:学校施設と地域のつながりについて

小学校

	回答数	割合
体育館や校庭などのスポーツ・レクリエーション施設・設備を充実させ、地域の人も利用できるようにする	116	72.0%
地域の人が集会・研修などができるスペースを学校内に用意し、地域の人と児童・生徒が交流する機会を持てるようにする	107	66.5%
図書室の図書や資料を充実させ、地域の人も利用できるようにする	57	35.4%
音楽室・家庭科室などの特別教室を、空いている時間は地域の人も利用できるようにする	42	26.1%
安全面などを考慮すると、学校施設と地域のつながりを求める必要はない	29	18.0%
その他(自由記述)	9	5.6%
計	360	-

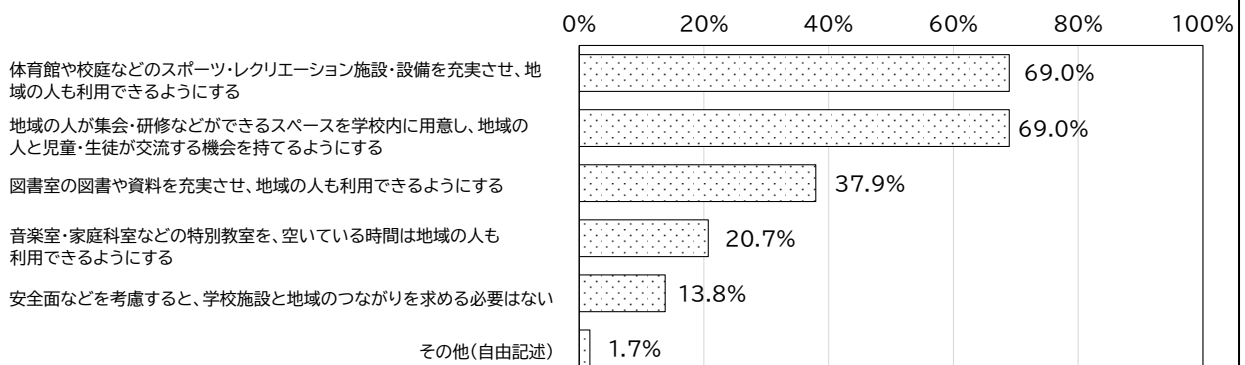
n:360



中学校

	回答数	割合
体育館や校庭などのスポーツ・レクリエーション施設・設備を充実させ、地域の人も利用できるようにする	40	69.0%
地域の人が集会・研修などができるスペースを学校内に用意し、地域の人と児童・生徒が交流する機会を持てるようにする	40	69.0%
図書室の図書や資料を充実させ、地域の人も利用できるようにする	22	37.9%
音楽室・家庭科室などの特別教室を、空いている時間は地域の人も利用できるようにする	12	20.7%
安全面などを考慮すると、学校施設と地域のつながりを求める必要はない	8	13.8%
その他(自由記述)	1	1.7%
計	123	-

n:123



- 学校施設と地域のつながりについては、小学校・中学校ともに「体育館や校庭などのスポーツ・レクリエーション施設・設備を充実させ、地域の人も利用できるようにする」、「地域の人が集会・研修などができるスペースを学校内に用意し、地域の人と児童・生徒が交流する機会を持てるようにする」と答えた割合が高い。

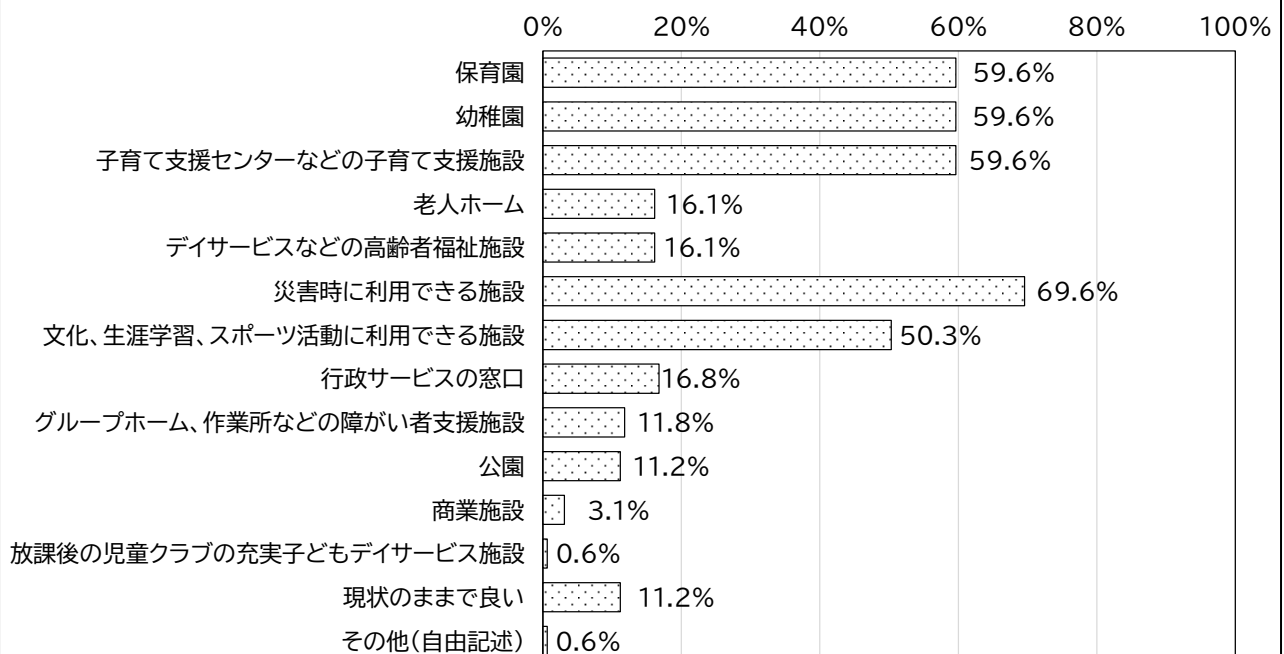
○学校施設に併設・隣接しているという施設

【地域関係者】問 20:学校敷地に併設・隣接しているという施設

小学校

	回答数	割合
保育園	96	59.6%
幼稚園	96	59.6%
子育て支援センターなどの子育て支援施設	96	59.6%
老人ホーム	26	16.1%
デイサービスなどの高齢者福祉施設	26	16.1%
災害時に利用できる施設	112	69.6%
文化、生涯学習、スポーツ活動に利用できる施設	81	50.3%
行政サービスの窓口	27	16.8%
グループホーム、作業所などの障がい者支援施設	19	11.8%
公園	18	11.2%
商業施設	5	3.1%
放課後の児童クラブの充実子どもデイサービス施設	1	0.6%
現状のままで良い	18	11.2%
その他(自由記述)	1	0.6%
計	622	-

n:161

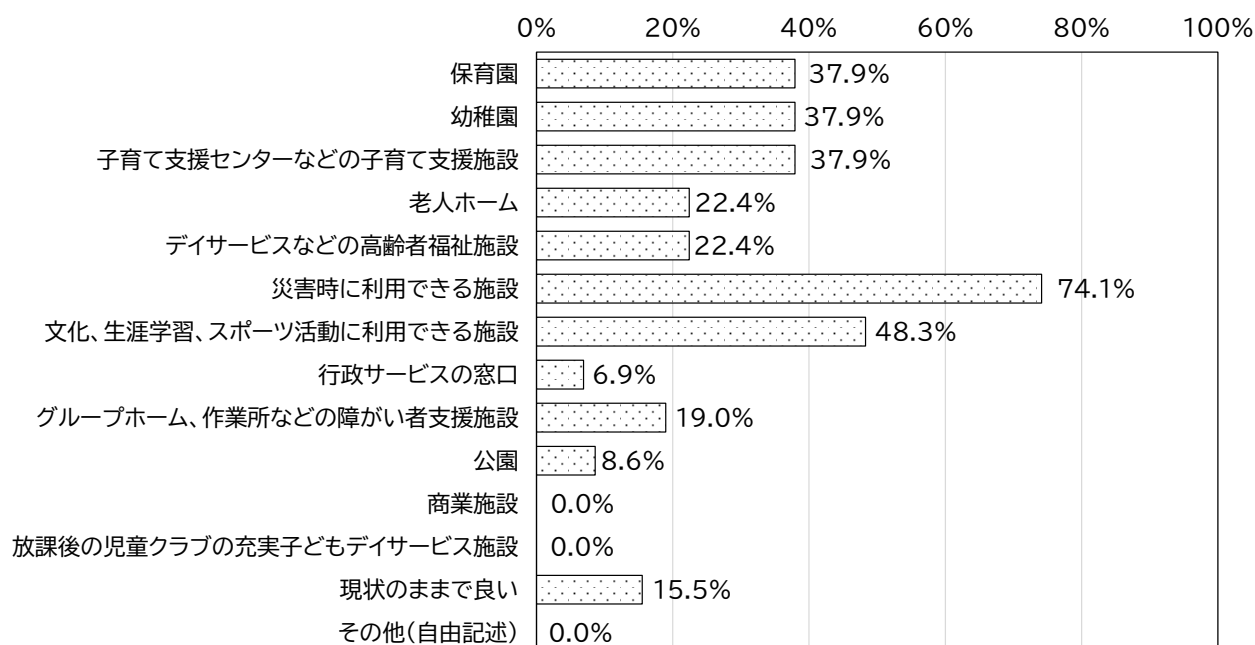


- 小学校は「災害時に利用できる施設」が最も多く、次いで「保育園」、「幼稚園」、「子育て支援センターなどの子育て支援施設」と回答する割合が高い。

中学校

	回答数	割合
保育園	22	37.9%
幼稚園	22	37.9%
子育て支援センターなどの子育て支援施設	22	37.9%
老人ホーム	13	22.4%
デイサービスなどの高齢者福祉施設	13	22.4%
災害時に利用できる施設	43	74.1%
文化、生涯学習、スポーツ活動に利用できる施設	28	48.3%
行政サービスの窓口	4	6.9%
グループホーム、作業所などの障がい者支援施設	11	19.0%
公園	5	8.6%
商業施設	0	0.0%
放課後の児童クラブの充実子どもデイサービス施設	0	0.0%
現状のままで良い	9	15.5%
その他(自由記述)	0	0.0%
計	192	-

n:58



- 中学校も小学校と同様「災害時に利用できる施設」が最も多く、次いで「文化・生涯学習・スポーツ活動に利用できる施設」が多い。

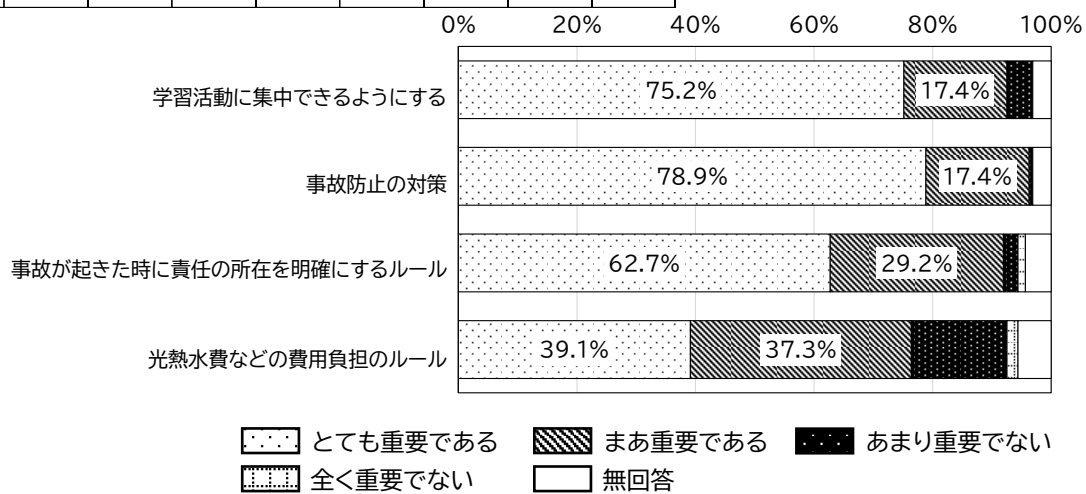
○学校施設に他施設が併設・隣接された場合に必要な配慮

【地域関係者】問 21:学校施設に前の設問で挙げた施設等が併設・隣接された場合に配慮が必要な事項

小学校

	学習活動に集中できるようにする		事故防止の対策		事故が起きた時に責任の所在を明確にするルール		光熱水費などの費用負担のルール	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
とても重要である	121	75.2%	127	78.9%	101	62.7%	63	39.1%
まあ重要である	28	17.4%	28	17.4%	47	29.2%	60	37.3%
あまり重要でない	7	4.3%	1	0.6%	4	2.5%	26	16.1%
全く重要でない	0	0.0%	0	0.0%	2	1.2%	3	1.9%
無回答	5	3.1%	5	3.1%	7	4.3%	9	5.6%
計	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%

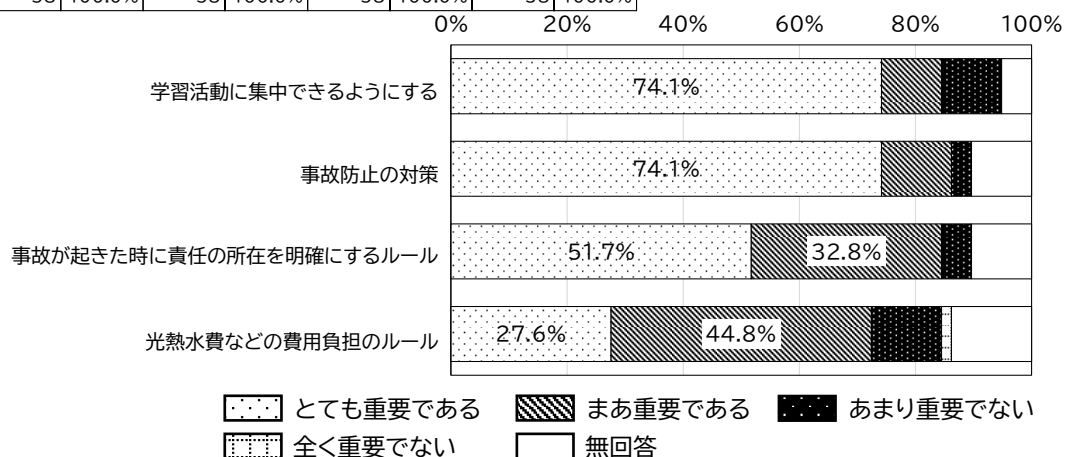
n:161



中学校

	学習活動に集中できるようにする		事故防止の対策		事故が起きた時に責任の所在を明確にするルール		光熱水費などの費用負担のルール	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
とても重要である	43	74.1%	43	74.1%	30	51.7%	16	27.6%
まあ重要である	6	10.3%	7	12.1%	19	32.8%	26	44.8%
あまり重要でない	6	10.3%	2	3.4%	3	5.2%	7	12.1%
全く重要でない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%
無回答	3	5.2%	6	10.3%	6	10.3%	8	13.8%
計	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%	58	100.0%

n:58



- 学校施設に他の機能を設ける場合に配慮が必要な事項については、小学校・中学校ともに「事故防止の対策」が最も多く、次いで「学習活動に集中できるようにする」が多い。

「新しい学校づくり」に対するご意見

〇本市の「新しい学校づくり」に対するご意見やご要望(782件)

<主な意見> [保護者]

- 学校の時間だけでなく放課後も子供が集えて約束してなくてもそこでは誰かしらお友達がい
て遊べたり一緒に勉強(宿題など)できたりする子供の居場所だったらうれしいです。
- 多少お金がかかっても、子供や地域の方も使えるような、みんなの学校のような発想で取り
組みを期待します。
- 同じ施設や環境でも、自由度が高いか低いかで、印象や窮屈さがだいぶ違うと思うので、現
場の先生方が、もっと自由に、施設や環境を活用できるよう、ソフト面の学校づくりも大切だ
と感じています。
- 地域がある程度、自由に使える施設にしていきたい。部活動もなくなるという報道があ
るので、体育館は防災拠点の意味も含め、ある程度の広さ、快適さ(冷暖房の効く部屋の確
保)が必要かと思います。
- 支援級など多様な子供たちが分け隔てなく過ごせる環境であり、そういった社会の中で成長
して欲しい。
- 安心安全に通える学校にして頂きたいです。学校の老朽化の改善も大切ですが、通学距離が
長いので通学路の危ない場所への交通見守りなどの手配なども検討して欲しいです。
- 全体的に施設の老朽化が目立ってきている。特に体育館などは安全性がきちんと確保されな
いと不安なので、優先的に修繕や改修をして欲しい。
- 子供がより良い生活が出来る様に、大人目線ではなく、子供目線で学校づくりをして欲しい
です。

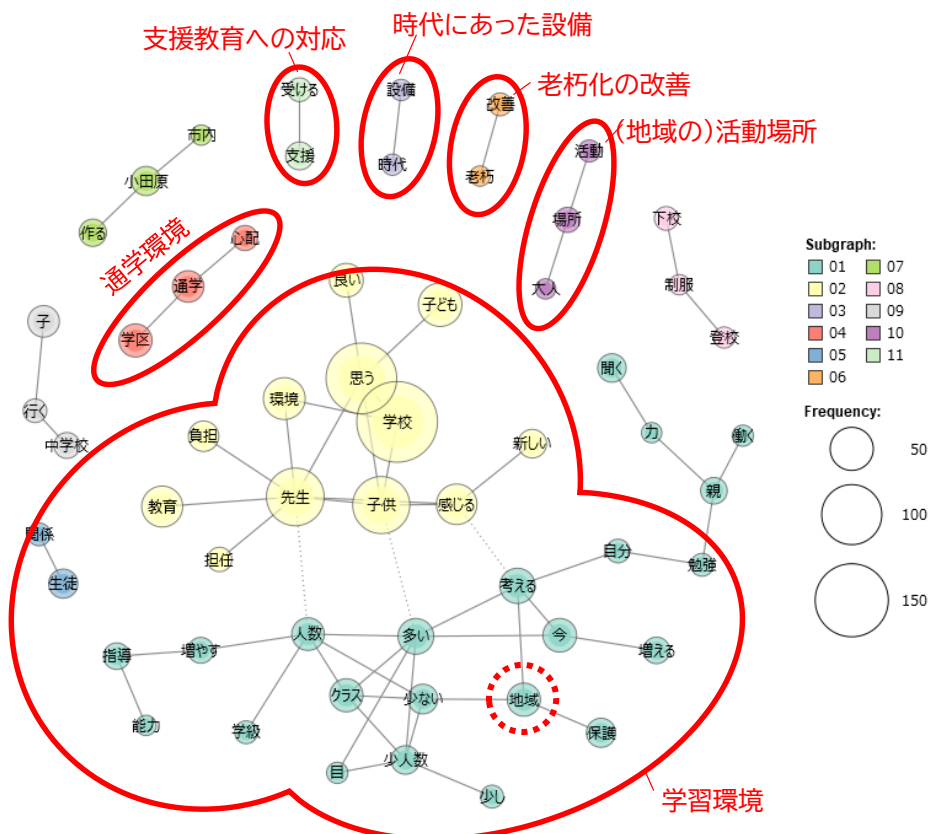
[共起ネットワーク] 保護者(小学校)

Subgraph: 関連性の強い
ワードごとに自動で分類され、
色分けされたもの。
Frequency: 円が大きいほど、
ワード登場回数が多いことを
示している。

保護者(小学校)の意
見や要望として、以下
の項目が多いことが読
み取れる。

- 学習環境
- 支援教育への対応
- 時代にあった設備、
老朽化の改善
- (地域の)活動場所
- 通学環境、通学の
心配

中学校も同様の傾向。



<主な意見> [教職員]

- 多様な児童と保護者への対応として、一人ひとりを大切にしたい指導が必要です。そのための職員の人数、学級人数、環境整備を進めて欲しいです。
- 施設の整備と共に職員の配置についても大規模校、小規模校関わらず必要であると考えます。
- 児童数の減少により小規模の学校が増えると思うが、児童からすると人間関係が固定化し、学習への意欲その他に弊害が出ると思われる。学年に複数学級のある学校の設置と、通学バスなど安全な登下校への施策が必要だと思えます。
- 子供が学校へ行きたい、保護者が子供を通わせたい、教職員が働きたい、地域が応援したいと思える特色のある魅力的な学校づくりにして欲しい。
- 老朽化が進んでいるため、快適な環境を整えていただきたい。特別教室にもエアコンの設置をしてもらいたい。
- トイレや机、椅子といった子供たちが毎日使っている物などに予算を計上し、各学校へ充てていただきたい。そういう意味でエアコン設置は大変助かっている。早く特別教室へのエアコン設置を願うところです。
- 空き教室を整備して多目的に使用できる空間に出来たらと思います。
- 少子化が進んでいるので小学校の統廃合も必要かと思えます。しかし避難場所になることを考えると地域に小学校は必要です。高齢の方も安心して避難できる場所であって欲しいです。
- 学校は地域の中であって地域と共に歩んでいくことが本来の姿である。地域住民が様々な面で大いに参加する中で子どもたちの成長があると思う。だから、学校は施設のみならず運営面においてもより地域一体型にしていくことが望ましいと思えます。

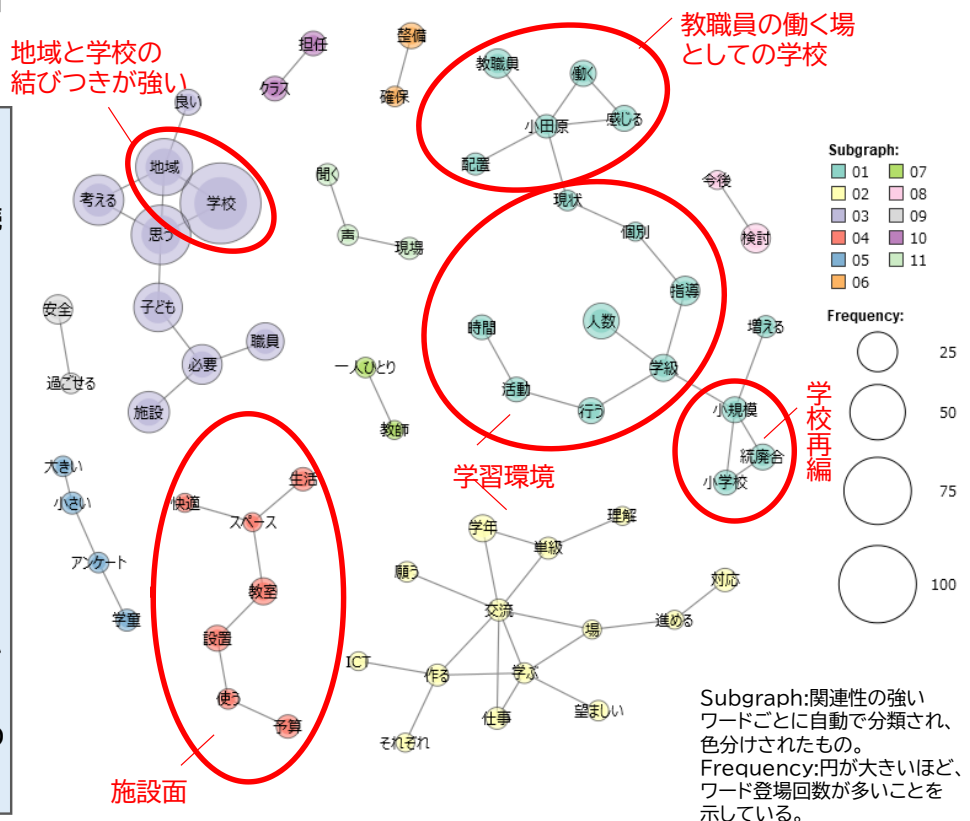
[共起ネットワーク]

教職員(小学校)

教職員(小学校)の意見や要望として、以下の項目が多いことが読み取れる。

- ・学習環境
- ・施設面(スペース・設備・快適性・生活の場)
- ・地域と学校
- ・教職員の働く場としての学校
- ・学校再編

教職員では、保護者に比べて“地域と学校の結びつき”を強く考えていることが読み取れる。また、保護者にはなかった視点として「学校再編」についても意見も出ている。



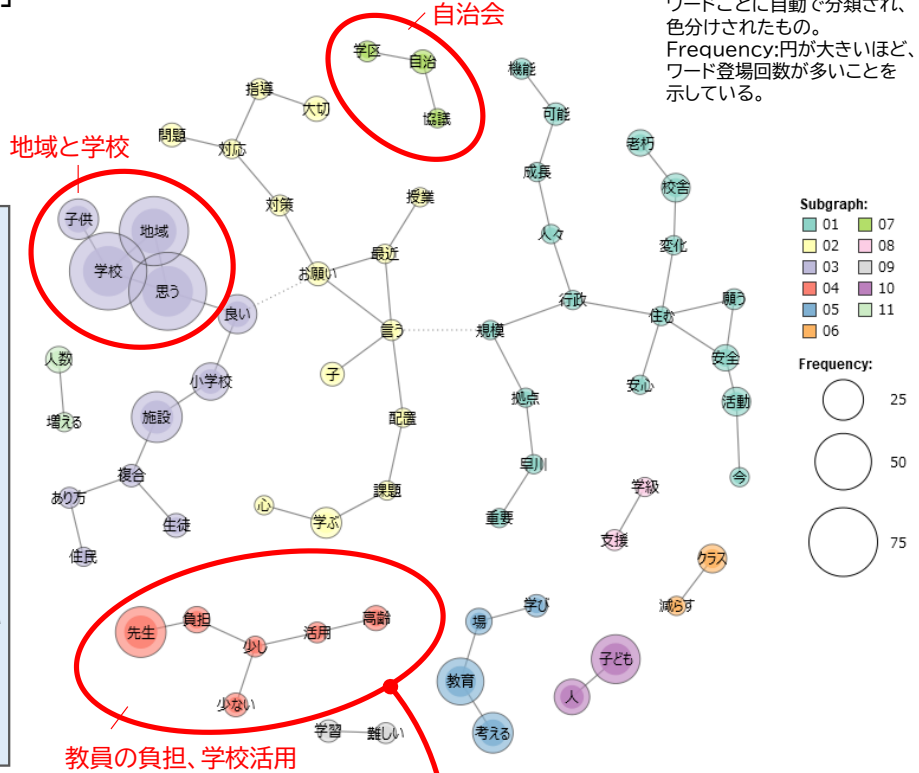
<主な意見> [地域関係者]

- 学校が児童生徒の教育生活環境を優先し改革に踏み出すことで、地域住民の意識の変化、地域＝自治体ではなく、人と人のつながり、輪、子供たちを育む思いを共有する人々の集まりに変わってくることを期待します。
- ただ新しい校舎に建て替えるのではなく、地域の特色を盛り込んだ環境と先生達の職場環境まで配慮して欲しいです。
- 地域にとっては、コミュニティの中心は学校だと思います。これからも学校を中心に地域コミュニティが発展することを望みます。
- 学区と自治会(連合会)が同一でないため、地域で行う健民祭等、子供の参加が多い地域と少い地域になってしまう。
- インクルーシブな学校を目指して取り組まれていると思うが、障害のある子供や課題を抱えて居る子供、どんな子供も1つの教室で、共に協力しあって共に学べる環境になるのが好ましいと思います。それには環境整備やそれぞれの子供に寄り添った人員(先生)配置等、大変なことは沢山あるかと思いますが、将来的にも子供の頃からそういった中で育つことは大切だと思います。
- 40人以上で2クラスでは先生の負担が大きい、今後少子化が進んで行くと思われる為、1クラス 25名以下にすれば先生の負担を軽減出来ると思う。
- 先生方の負担が大変多いと思っております。夜職員室の明かりがついていると、本当に頭が下がります。先生方の負担が少しでも少なくなるよう望みます。

[共起ネットワーク]
地域(小学校)

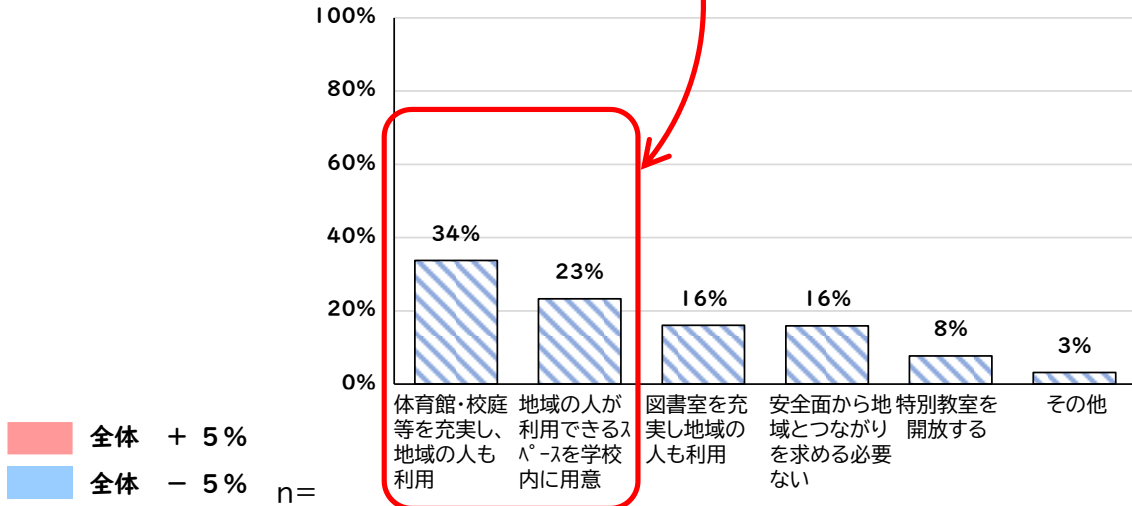
地域(小学校)の意見や要望では、「地域と学校」のつながりを強く考えていることが読み取れる。

その他「自治会」「教員の負担」「高齢化・学校活用」などの項目が多い。これは、空き教室等の有効活用・複合化に期待する考えと、教員の負担増にならない配慮が必要なることをあわせて考えていることが推察できる。



Subgraph:関連性の強いワードごとに自動で分類され、色分けされたもの。
Frequency:円が大きいほど、ワード登場回数が多いことを示している。

○学校施設と地域とのつながりについて ※3つまで選択



全体 + 5%
全体 - 5% n=

全体		1,587	33.8%	23.3%	16.1%	15.9%	7.7%	3.2%
教職員	小学校	697	35.3%	20.9%	15.1%	18.1%	6.6%	4.0%
	中学校	407	32.9%	18.9%	17.4%	22.1%	5.4%	3.2%
地域	小学校	360	32.2%	29.7%	15.8%	8.1%	11.7%	2.5%
	中学校	123	32.5%	32.5%	17.9%	6.5%	9.8%	0.8%

特に“活動場所(居場所)”の必要性を感じている

問12: 1学年あたりの学級数は、どのくらいの学級数がいいと考えますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- (1) 1学級 (2) 2学級 (3) 3学級 (4) 4学級
(5) 5学級 (6) 6学級 (7) 7学級以上

問13: 問12の選択肢を選んだ理由について、それぞれの項目で最も当てはまる項目を選んでください。当てはまるもの1つに○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
(1) 一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられている				
(2) クラスのメンバーが固定され、子供たちの人間関係が深まりやすい				
(3) 学年を超えた交流・活動(行事等)ができる				
(4) クラス替えができる				
(5) 多様な価値観に触れる機会がある				
(6) クラブ活動や部活動の選択の幅が広がる				
(7) その他(自由記述)				

※(7)その他に○をつけた方はここに記述してください

通学・学区について

問14: お子様の通学時間(片道)を選んでください。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- (1) 15分未満
(2) 15分以上30分未満
(3) 30分以上45分未満
(4) 45分以上

問15: お子様の通学手段を選んでください。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- (1) 徒歩 (2) バス (3) 電車 (4) その他

問16: 通学時間(片道)はどのくらいが許容範囲ですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- (1) 15分未満
(2) 15分以上30分未満
(3) 30分以上45分未満
(4) 45分以上

※(4)45分以上に○をつけた方は、何分までが許容範囲かをここに記述してください

問17: 前の設問で回答した通学時間内に徒歩で通学することが難しい場合、どのような配慮が必要と考えますか。当てはまるもの3つまで○をつけてください。

- (1) 住所から近い場所にある学校へ通学できるようにする
(2) 公共交通機関(バスなど)が利用できるようにする
(3) スクールバスの運行
(4) 自転車を利用できるようにする
(5) 自動車を利用できるようにする
(6) その他(自由記述)

※(6)その他に○をつけた方はここに記述してください

問18: 学区の見直しをする場合、次の事項は重要ですか。それぞれの項目で最も当てはまる項目1つを選んでください。

	とても重要である	まあ重要である	あまり重要でない	全く重要でない
(1) 人数や学級数				
(2) 安全に通学できる距離と時間				
(3) 1つの小学校から2つ以上の中学校に分かれないようにする				
(4) 自治会が複数の学区にまたがらないようにする				
(5) その他(自由記述)				

※(5)その他に○をつけた方はここに記述してください

教育環境・学校施設について

問19: これからの学校施設に期待する機能について、それぞれの項目で最も当てはまる項目1つに○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
(1) 安全・安心な学校				
(2) 児童・生徒が快適に学習できる環境				
(3) 教職員が快適に働くことができる環境				
(4) バリアフリー・ユニバーサルデザイン※の推進				
(5) 環境への配慮				
(6) 地域の方が使うことができるスペースの充実				
(7) 避難所機能の強化				
(8) 子育て支援機能との複合化				
(9) その他(自由記述)				

※ユニバーサルデザイン: 文化・言語・国籍や年齢・性別・能力などの違いにかかわらず、できるだけ多くの人々が利用できることを目指したデザイン。

※(9)その他に○をつけた方はここに記述してください

問20：現在の学校施設について、どう思っていますか。それぞれの項目で最も当てはまる項目1つに○をつけてください。(必要に応じて、お子様に学校施設の様子等を聞きながらお答えください)

場所	項目	満足	やや満足	やや不満	不満
教室	広さ				
	安全性				
	快適さ(温度など)				
	使いやすさ				
トイレ	広さ				
	安全性				
	快適さ(温度・洋式化など)				
	衛生面				
体育館	広さ				
	安全性				
	快適さ(温度など)				
	使いやすさ				
校庭	広さ				
	安全性				
	使いやすさ				
プール	広さ				
	安全性				
	使いやすさ				

問21：問20に関して、具体的な内容やその他気になることがあればご記入ください。(自由記述)

9

問22：学校施設にあつたら良いと思われる空間・施設・設備等についてご自由にお書きください。(ぜひお子様と一緒に考えてみてください)

問23：本市の「新しい学校づくり」に対するご意見やご要望があれば、ご記入ください。(自由記述)

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

10

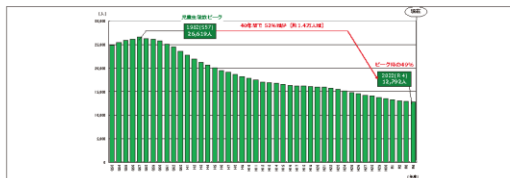
【本市の児童・生徒数について】

小田原市立学校全体の児童・生徒数の推移は、昭和57年度の26,619人をピークに減少傾向が続いており、令和4年度では、12,792人とピーク時の約5割まで減少しています。

また、令和4年度時点の各学校の学級数は、通常学級数が12学級未満の学校が小学校11校(小規模特認校である片浦小含む)、中学校5校の計16校となっています。

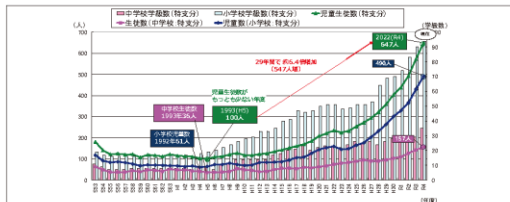
※文部科学省が作成した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」によると、学級数については小学校ととも「12学級以上18学級以下」が標準とされています。

<児童・生徒数の推移>



<支援を要する児童・生徒数の推移>

特別支援学級に在籍する児童・生徒数は年々増加しており、最も少なかった平成5年度と比較して、令和4年度は6倍以上になっています。



<各学校の通常学級数(令和4年度)>

学級数	小学校	中学校
18学級以上	三の丸 豊川	
12～17学級	足柄 芦子 富水 東富水 緑徳 笹井 下府中 矢作 酒匂 國府津 千代 富士見	白山 泉 城北 鴨宮 酒匂 千代
7～11学級	久野 町田 大窪 下中	城山 白鷺 國府津 橋
6学級以下	山王 新玉 早川 下曾我 曾我 片浦 前羽	城南

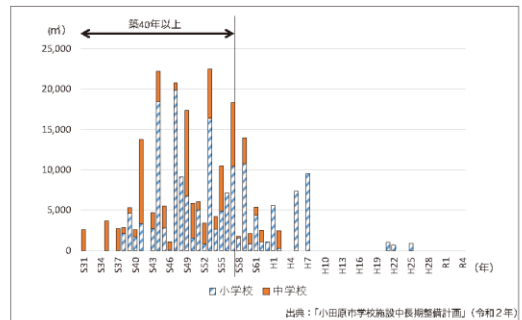
11

【本市の学校施設の老朽化について】

本市の学校施設整備は、児童・生徒数が増加していた昭和43年から昭和62年の20年間に大半を整備している一方、平成10年以降はほとんど新規整備を行っていません。

下の表は、校舎のうち最も古い建築年度を基準とし、築年数別(10年単位)にグルーピングした際の施設数一覧です。これによると、小学校5校は築40年未満ですが、残りの31校は既に築40年を経過し、老朽化が進行していることが分かります。

<築年別整備状況>



<学校施設の築年別一覧表>

築40年未満	【小学校】三の丸 大窪 下曾我 前羽 富士見
築40～49年	【小学校】久野 下府中 片浦 曾我 下中 報徳 豊川 【中学校】千代 國府津 酒匂※ 城北
築50～59年	【小学校】新玉 足柄 芦子 早川※ 山王※ 富水 町田 板井 千代 國府津 酒匂 東富水 矢作 【中学校】城山 城南 泉 橋
築60年超	【中学校】白鷺※ 白山 鴨宮

※を付した学校施設は、洪水浸水想定区域(河津浸食)(川原川)、津波浸水区域(山王小、白鷺中、酒匂中)となっている。

12

質問用紙(教職員)

教職員のみなさまのご意見をお聞かせください

小田原市立小・中学校の教育環境に関するアンケート調査 質問用紙

本アンケートは、小田原市の新しい学校づくりに向けて、教職員の皆様に、勤務している（または以前勤務していた）小・中学校について、現状や望ましい姿などのお考えを伺う調査です。

調査結果やいただいたご意見は、「新しい学校づくり検討委員会」での検討の参考にするものです。また、調査は無記名であり、他の目的には一切使用いたしませんので、お考えのままをご回答ください。

2022年7月
小田原市教育委員会

【新しい学校づくり推進事業について】

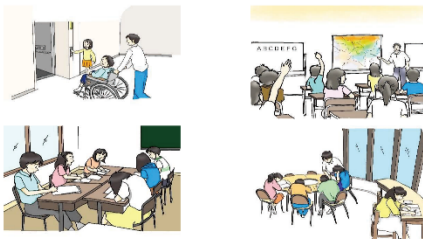
小田原市の学校施設は、7割以上が築40年以上を経過しており、老朽化が進行しています。また、児童・生徒数はピーク時の半分以上まで減少している一方、支援を要する児童・生徒数は年々増加しています。（※関連するグラフを参考資料として、アンケートの最後に掲載しています。）

こうした課題に加え、少子化の進行や新型コロナウイルス感染症のリスクに備えた新しい生活様式、さらにはICTを活用した学習環境の整備など、子供たちや学校を取り巻く状況が大きく変化しています。

そのような現状を踏まえ、小田原市教育委員会では、子供たちにとって望ましい教育環境について検討する「新しい学校づくり検討委員会」を令和4年4月に設置し、「10年後の新しい学校」のあるべき姿について検討してまいります。

（小田原市ホームページ）

<https://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/education/plan/gakkousuishin/>



1

回答者について

問1：配布されているチラシの右上に記載された「整理番号」を記入してください。

問2：あなたが勤務している学校の校種に○をつけてください。

- (1) 小学校 (2) 小学校(特別支援) (3) 中学校 (4) 中学校(特別支援)

問3：勤務している小学校名・中学校名に○をつけてください。

学校名	
小学校	二の丸 新工 足柄 芦子 大窪 早川 山工 久野 富水 町田 下府中 桜井 千代 下曽我 国府津 沼匂 片浦 曾我 東高水 前羽 下中 矢作 飯徳 豊川 富士見
中学校	城山 白鷺 白山 城南 鶴宮 千代 国府津 沼匂 泉 横 城北

問4：あなたの役職等に1つ○をつけてください。

- (1) 校長 (2) 教頭 (3) 教務主任
(4) 学年主任 (5) 担任 (6) (1)～(5)以外の総括教諭または教諭
(7) 養護教諭 (8) 栄養士 (9) 事務職員
(10) その他

※(10)その他に○をつけた方はここに記述してください

問5：あなたの教職経験年数または勤務年数に1つ○をつけてください。

- (1) 10年未満 (2) 10～19年 (3) 20～29年 (4) 30年以上

問6：これまで、通常学級数が11学級以下の学校に勤務した経験はありますか。当てはまるものに1つ○をつけてください。

- (1) ある (2) ない (3) わからない

2

学校全般について

問7：これからの学校教育で重視することについて、お考えに近いものを3つまで○をつけてください。

- (1) 一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導
(2) グループ学習や習熟度別指導など多様な学習環境
(3) 競争意識をもって学力を高め合うことができる環境
(4) たくさんの友達ができること
(5) 学年を超えた交流・活動（行事等）が多いこと
(6) 集団の中で主体性や協調性を身に付ける機会に恵まれること
(7) クラブ活動や部活動などの選択の幅が広いこと
(8) その他（自由記述）

※(8)その他に○をつけた方はここに記述してください

学級数等について

※問2で(1)(2)を選んだ方は問8を、(3)(4)を選んだ方は問10を回答してください

問8：小学校の1学級あたりの人数は、どのくらいの人数がいいと考えますか。当てはまるもの1つに○をつけてください

- (1) 0～10人
(2) 11～15人
(3) 16～20人
(4) 21～25人
(5) 26～30人
(6) 31～35人
(7) 36～40人

3

問9：問8の選択肢を選んだ理由について、それぞれの項目で最も当てはまる項目1つに○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
(1) 一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる				
(2) 発表やグループ活動などで一人ひとりの活躍の機会が多くなる				
(3) 子供たちの人間関係が深まりやすい				
(4) 少人数学習やグループ学習など多様な学習形態をとることができる				
(5) 集団の中で切磋琢磨することができる				
(6) 多様な価値観に触れることができる				
(7) その他（自由記述）				

※(7)その他に○をつけた方はここに記述してください

※問8・9を回答した方は問12を回答してください

問10：中学校の1学級あたりの人数は、どのくらいの人数がいいと考えますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- (1) 0～10人
(2) 11～15人
(3) 16～20人
(4) 21～25人
(5) 26～30人
(6) 31～35人
(7) 36～40人

4

問11：問10の選択肢を選んだ理由について、それぞれの項目で最も当てはまるもの1つに○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
(1) 一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる				
(2) 発表やグループ活動などで一人ひとりの活躍の機会が多くなる				
(3) 子供たちの人間関係がほぐれやすい				
(4) 少人数学習やグループ学習など多様な学習形態をとることができる				
(5) 集団の中で切磋琢磨することができる				
(6) 多様な価値観に触れることができる				
(7) その他（自由記述）				

※(7)その他に○をつけた方はここに記述してください

5

問12：1学年あたりの学級数は、どのくらいの学級数がいいと考えますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | |
|---------|---------|-----------|---------|
| (1) 1学級 | (2) 2学級 | (3) 3学級 | (4) 4学級 |
| (5) 5学級 | (6) 6学級 | (7) 7学級以上 | |

問13：問12の選択肢を選んだ理由について、それぞれの項目で最も当てはまるもの1つに○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
(1) 一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられている				
(2) クラスのメンバーが固定され、子供たちの人間関係がほぐれやすい				
(3) 学年を超えた交流・活動（行事等）ができる				
(4) クラス替えができる				
(5) 多様な価値観に触れる機会がある				
(6) クラブ活動や部活動の選択の幅が広がる				
(7) その他（自由記述）				

※(7)その他に○をつけた方はここに記述してください

6

通学・学区について

問14：通学時間（片道）はどのくらいが許容範囲ですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|----------------|
| (1) 15分未満 |
| (2) 15分以上30分未満 |
| (3) 30分以上45分未満 |
| (4) 45分以上 |

※(4)45分以上に○をつけた方は、何分までが許容範囲かをここに記述してください

問15：前の設問で回答した通学時間内に徒歩で通学することが難しい場合、どのような配慮が必要と考えますか。当てはまるもの3つに○をつけてください。

- | |
|------------------------------|
| (1) 住所から近い場所にある学校へ通学できるようにする |
| (2) 公共交通機関（バスなど）が利用できるようにする |
| (3) スクールバスの運行 |
| (4) 自転車が利用できるようにする |
| (5) 自動車が利用できるようにする |
| (6) その他（自由記述） |

※(6)その他に○をつけた方はここに記述してください

7

問16：学区の見直しをする場合、次の事項は重要ですか。それぞれの項目で最も当てはまる項目1つを選んでください。

	とても重要である	まあ重要である	あまり重要でない	全く重要でない
(1) 人数や学級数				
(2) 安全に通学できる距離と時間				
(3) 1つの小学校から2つ以上の中学校に分かれないようにする				
(4) 自治会が複数の学区にまたがらないようにする				
(5) その他（自由記述）				

※(5)その他に○をつけた方はここに記述してください

学校と地域との関わりについて

問17：今後、地域連携の取組の中で、力を入れていきたいと考えるものを3つまで○をつけてください。また、具体的な取組があればご記入ください。（自由記述）

- | |
|-----------------------|
| (1) 各教科等及び総合的な学習に係る取組 |
| (2) 特別活動に係る取組 |
| (3) 特色ある学校づくりに係る取組 |
| (4) キャリア教育に係る取組 |
| (5) 児童・生徒指導に係る取組 |
| (6) 環境整備に係る取組 |
| (7) 校務支援に係る取組 |
| (8) 地域行事参加に係る取組 |
| (9) 地域施設訪問に係る取組 |
| (10) 地域住民の生涯学習に係る取組 |
| (11) 学校行事参加に係る取組 |
| (12) 交通安全・防災に係る取組 |
| (13) 特になし |
| (14) その他（自由記述） |

8

※(14)その他に○をつけた方はこちらに記述してください

※具体的な取組がある方はこちらに記述してください

教育環境・学校施設について

問 18：これからの学校施設に期待する機能について、最も当てはまる項目に○をつけてください。

	とても重要である	まあ重要である	あまり重要でない	全く重要でない
(1) 安全・安心な学校				
(2) 児童・生徒が快適に学習できる環境				
(3) 教職員が快適に働くことができる環境				
(4) バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進 (※)				
(5) 環境への配慮				
(6) 地域の方が使うことができるスペースの充実				
(7) 避難所機能の強化				
(8) 子育て支援機能との複合化				
(9) その他 (自由記述)				

※ユニバーサルデザイン：文化・言語・国籍や年齢・性別・能力などの違いにかかわらず、できるだけ多くの人が利用できることを目指したデザイン。

※(9)その他に○をつけた方はこちらに記述してください

問 19：これからの学校施設に必要と思うものを3つまで○をつけてください。

- (1) 普通教室の充実 (広さ、設備など)
- (2) 特別教室の充実 (広さ、設備など)
- (3) 少人数で学習・活動・交流できるスペース
- (4) 多人数で学習・活動・交流できるスペース
- (5) 図書やパソコンが備えてあり、調べ学習などができるスペース
- (6) 支援を要する児童・生徒が快適に学習・生活できるスペース
- (7) 職員が快適に執務・生活できるスペース
- (8) トイレ空間の充実 (休憩スペースの設置など)
- (9) 交流ができる休憩コーナーなど快適に過ごせる施設
- (11) エレベーターやスロープの設置、多機能トイレなど、バリアフリー、ユニバーサルデザインの充実
- (12) 防犯カメラやICカードによる入退室など、防犯対策による安全・安心面の配慮
- (13) 災害時に必要な設備 (体育館の多目的トイレ・シャワー等) の充実
- (14) 食育の充実に資する給食調理室やランチルームの整備
- (15) 季節や天候に関わらず水泳授業ができる室内プールの整備
- (16) 地域の方が子供達と交流できるスペース
- (17) その他 (自由記述)

※(17)その他に○をつけた方はこちらに記述してください

問 20：現在勤務している学校施設について、最も当てはまる項目○をつけてください。

場所	項目	満足	やや満足	やや不満足	不満足
教室	広さ				
	安全性				
	快適さ (温度など)				
トイレ	使いやすさ				
	広さ				
	安全性				
体育館	快適さ (温度など)				
	安全性				
	使いやすさ				
校庭	広さ				
	安全性				
	使いやすさ				
プール	広さ				
	安全性				
	使いやすさ				

問 21：問 20 に関して、具体的な内容やその他気になることがあればご記入ください。(自由記述)

問 22：本市の「新しい学校づくり」に対するご意見やご要望があれば、ご記入ください。
(自由記述)

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

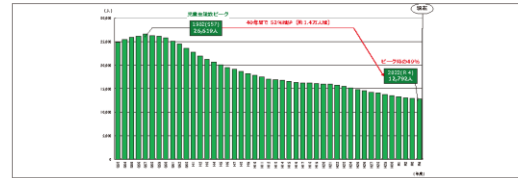
【本市の児童・生徒数について】

小田原市立学校全体の児童・生徒数の推移は、昭和 57 年度の 26,619 人をピークに減少傾向が続いており、令和 4 年度では、12,792 人とピーク時の約 5 割まで減少しています。

また、令和 4 年度時点の各学校の学級数は、通常学級数が 12 学級未満の学校が小学校 11 校（小規模特認校である片浦小含む）、中学校 5 校の計 16 校となっています。

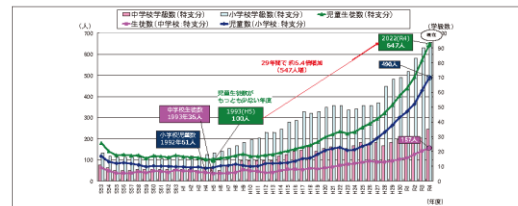
※次年度科学者が作成した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する方針」によると、学級数については小・中学校ともに「12 学級以上 18 学級以下」が標準とされています。

<児童・生徒数の推移>



<支援を要する児童・生徒数の推移>

特別支援学級に在籍する児童・生徒数は年々増加しており、最も少なかった平成 5 年度と比較して、令和 4 年度は 6 倍以上になっています。



<各学校の通常学級数（令和 4 年度）>

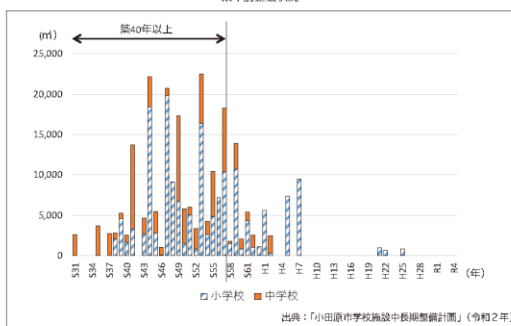
学級数	小学校	中学校
18 学級以上	三の丸 豊川	
12～17 学級	足柄 芦子 富水 東富水 朝徳 桜井 下府中 矢作 酒匂 国府津 千代 富士見	白山 泉 城北 鴨宮 酒匂 千代
7～11 学級	久野 町田 大塚 下中	城山 白鷺 国府津 橋
6 学級以下	山王 新玉 平川 下曾我 曾我 片浦 前羽	城南

【本市の学校施設の老朽化について】

本市の学校施設整備は、児童・生徒数が増加していた昭和 43 年から昭和 62 年の 20 年間に大半を整備している一方、平成 10 年以降はほとんど新規整備を行っていません。

下の表は、校舎のうち最も古い建築年度を基準とし、築年数別（10 年単位）にグルーピングした際の施設数一覧です。これによると、小学校 5 校は築 40 年未満ですが、残りの 31 校は既に築 40 年を経過し、老朽化が進行していることが分かります。

<築年別整備状況>



<学校施設の築年別一覧表>

築 40 年未満	【小学校】三の丸 大塚 下曾我 前羽 富士見
築 40～49 年	【小学校】久野 下府中 片浦 曾我 下中 朝徳 豊川 【中学校】千代 国府津 酒匂 泉 城北
築 50～59 年	【小学校】新玉 足柄 芦子 早川※ 山王※ 富水 町田 桜井 千代 【中学校】国府津 酒匂 東富水 矢作
築 60 年超	【中学校】城山 城南 泉 橋
	【中学校】白鷺 白山 鴨宮

※を付した学校施設は、洪水浸水想定区域（河津川）、津波災害区域（山王小、白鷺中、酒匂中）となっている

質問用紙(地域関係者)

地域のみなさまのご意見をお聞かせください

小田原市立小・中学校の教育環境に関するアンケート調査 質問用紙

本アンケートは、小田原市の新しい学校づくりに向けて、学校運営協議会委員・学校評議員の皆様にも、小・中学校について、現状や望ましい姿などのお考えを伺う調査です。調査結果やいただいたご意見は、「新しい学校づくり検討委員会」での検討の参考にします。また、調査は無記名であり、他の目的には一切使用いたしませんので、お考えのままをご回答ください。

2022年8月
小田原市教育委員会

【新しい学校づくり推進事業について】

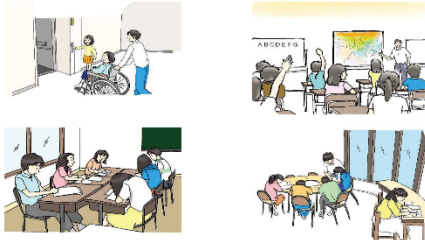
小田原市の学校施設は、7割以上が築40年以上を経過しており、老朽化が進行しています。また、児童・生徒数はピーク時の半分以下まで減少している一方、支援を要する児童・生徒数は年々増加しています。(※関連するグラフを参考資料として、アンケートの最後に掲載しています。)

こうした課題に加え、少子化の進行や新型コロナウイルス感染症のリスクに備えた新しい生活様式、さらにはICTを活用した学習環境の整備など、子供たちや学校を取り巻く状況が大きく変化しています。

そのような現状を踏まえ、小田原市教育委員会では、子供たちにとって望ましい教育環境について検討する「新しい学校づくり検討委員会」を令和4年4月に設置し、「10年後の新しい学校」のあるべき姿について検討してまいります。

(小田原市ホームページ)

<https://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/education/plan/gakkousuishin/>



1

回答者について

問1：配布されているチラシの右上に記載された「整理番号」を記入してください。

問2：お住まいの住所の郵便番号を記入してください。

問3：あなたが所属している学校運営協議会・学校評議員の校種に○をつけてください。

(1) 小学校 (2) 中学校

問4：所属している小学校名・中学校名に○をつけてください。

	学校名
小学校	三の丸 新玉 足柄 芦子 大塚 早川 山王 久野 富水 町田 下府中 桜井 千代 下曾我 国府津 酒匂 片浦 善我 茨高水 前羽 下巾 矢作 軽徳 豊川 富士見
中学校	城山 白隠 白山 城南 鶴宮 千代 国府津 酒匂 泉 橋 城北

学校全般について

問5：これからの学校教育で重視することについて、お考えに近いものを3つまで○をつけてください。

- (1) 一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導
- (2) グループ学習や習熟度別指導など多様な学習環境
- (3) 競争意識をもって学力を高め合うことができる環境
- (4) たくさんの友達ができること
- (5) 学年を超えた交流・活動(行事等)が多いこと
- (6) 集団の中で主体性や協働性を身に付ける機会に恵まれること
- (7) クラブ活動や部活動などの選択の幅が広いこと
- (8) その他(自由記述)

※(8)その他に○をつけた方はこちらに記述してください

2

学級数等について

問6：1学級あたりの人数は、どのくらいの人数がいいと考えますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- (1) 0~10人
- (2) 11~15人
- (3) 16~20人
- (4) 21~25人
- (5) 26~30人
- (6) 31~35人
- (7) 36~40人

問7：問6の選択肢を選んだ理由について、それぞれの項目で最も当てはまる項目1つに○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
(1) 一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられる				
(2) 発表やグループ活動などで一人ひとりの活躍の機会が多くなる				
(3) 子供たちの人間関係が深まりやすい				
(4) 少人数学習やグループ学習など多様な学習形態をとることができる				
(5) 集団の中で切磋琢磨することができる				
(6) 多様な価値観に触れることができる				
(7) その他(自由記述)				

※(7)その他に○をつけた方はこちらに記述してください

3

問8：1学年あたりの学級数は、どのくらいの学級数がいいと考えますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- (1) 1学級 (2) 2学級 (3) 3学級 (4) 4学級
- (5) 5学級 (6) 6学級 (7) 7学級以上

問9：問8の選択肢を選んだ理由について、それぞれの項目で最も当てはまる項目1つを選んでください。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
(1) 一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導が受けられている				
(2) クラスのメンバーが固定され、子供たちの人間関係が深まりやすい				
(3) 学年を超えた交流・活動(行事等)ができる				
(4) クラス替えができる				
(5) 多様な価値観に触れる機会がある				
(6) クラブ活動や部活動の選択の幅が広がる				
(7) その他(自由記述)				

※(7)その他に○をつけた方はこちらに記述してください

4

通学・学区について

問10：通学時間（片道）はどのくらいが許容範囲ですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- (1) 15分未満
- (2) 15分以上30分未満
- (3) 30分以上45分未満
- (4) 45分以上

※(4)45分以上に○をつけた方は、何分までが許容範囲かをこちらに記述してください

問11：前の設問で回答した通学時間内に徒歩で通学することが難しい場合、どのような配慮が必要だと考えますか。当てはまるもの3つに○をつけてください。

- (1) 住所から近い場所にある学校へ通学できるようにする
- (2) 公共交通機関（バスなど）が利用できるようにする
- (3) スクールバスの運行
- (4) 自転車を利用できるようにする
- (5) 自動車を利用できるようにする
- (6) その他（自由記述）

※(6)その他に○をつけた方はこちらに記述してください

問12：学区の見直しをする場合、次の事項は重要ですか。それぞれの項目で最も当てはまる項目1つに○をつけてください。

	とても重要である	まあ重要である	あまり重要でない	全く重要でない
(1) 人数や学級数				
(2) 安全に通学できる距離と時間				
(3) 1つの小学校から2つ以上の中学校に分かれないようにする				
(4) 自治会が複数の学区にまたがらないようにする				
(5) その他（自由記述）				

5

※(5)その他に○をつけた方はこちらに記述してください

地域と学校との関わりについて

問13：所属している学校で行っている地域と学校との交流や、学校で行った活動などの中で、地域にとって重要と思うものや印象に残っているものがあれば、ご記入ください。（自由記述）

例：健民祭

6

問14：地域において、学校がこれまで果たしてきた役割について、それぞれの項目で最も当てはまる項目1つに○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
(1) 子供たちの学びの場				
(2) 子供たちの放課後の居場所・活動場所				
(3) 地域の防災拠点				
(4) 選挙の投票所				
(5) 地域の活動・交流の拠点				
(6) スポーツ活動の拠点				
(7) 文化・生涯学習活動の拠点				
(8) 子育て支援の拠点				
(9) 高齢者福祉の拠点				
(10) 障がい福祉の拠点				
(11) 行政窓口サービス等の拠点				
(12) その他（自由記述）				

※(12)その他に○をつけた方はこちらに記述してください

7

問15：地域において、これからの学校に期待する役割について、それぞれの項目で最も当てはまる項目1つに○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
(1) 子供たちの学びの場				
(2) 子供たちの放課後の居場所・活動場所				
(3) 地域の防災拠点				
(4) 選挙の投票所				
(5) 地域の活動・交流の拠点				
(6) スポーツ活動の拠点				
(7) 文化・生涯学習活動の拠点				
(8) 子育て支援の拠点				
(9) 高齢者福祉の拠点				
(10) 障がい福祉の拠点				
(11) 行政窓口サービス等の拠点				
(12) その他（自由記述）				

※(12)その他に○をつけた方はこちらに記述してください

8

教育環境・学校施設について

問 16：これからの学校施設に期待する機能について、それぞれの項目で最も当てはまる項目1つに○をつけてください。

		あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
(1)	安全・安心な学校				
(2)	児童・生徒が快適に学習できる環境				
(3)	教職員が快適に働くことができる環境				
(4)	バリアフリー・ユニバーサルデザイン※の推進				
(5)	環境への配慮				
(6)	地域の方が使うことができるスペースの充実				
(7)	避難所機能の強化				
(8)	子育て支援機能との複合化				
(9)	その他（自由記述）				

※ユニバーサルデザイン：文化・言語・国籍や年齢・性別・能力などの違いにかかわらず、できるだけ多くの人々が利用できることを目指したデザイン。

※(9)その他に○をつけた方はこちらに記述してください

問 17：所属している学校の施設について、それぞれの項目で最も当てはまる項目1つに○をつけてください。

場所	項目	満足	やや満足	やや不満	不満
教室	広さ				
	安全性				
	快適さ（温度など）				
	使いやすさ				
トイレ	広さ				
	安全性				
	快適さ（温度・洋式化など）				
	衛生面				
体育館	広さ				
	安全性				
	快適さ（温度など）				
	使いやすさ				
校庭	広さ				
	安全性				
	使いやすさ				
プール	広さ				
	安全性				
	使いやすさ				

問 18：問 17に関して、具体的な内容やその他気になることがあればご記入ください。（自由記述）

問 19：学校施設と地域のつながりについて、どのように考えますか。当てはまるものを3つまで○をつけてください。

- (1) 体育館や校庭などのスポーツ・レクリエーション施設・設備を充実させ、地域の人も利用できるようにする
- (2) 地域の人が集会・研修などができるスペースを学校内に用意し、地域の人と児童・生徒が交流する機会を持てるようにする
- (3) 図書室の図書や資料を充実させ、地域の人も利用できるようにする
- (4) 音楽室・家庭科室などの特別教室を、空いている時間は地域の人も利用できるようにする
- (5) 安全面などを考慮すると、学校施設と地域のつながりを求める必要はない
- (6) その他（自由記述）

※(6)その他に○をつけた方はこちらに記述してください

問 20：学校敷地に併設・隣接しているかと思うのはどのような施設ですか。当てはまるものを3つまで○をつけてください。

- (1) 保育園、幼稚園、子育て支援センターなどの子育て支援施設
- (2) 老人ホーム、デイサービスなどの高齢者福祉施設
- (3) グループホーム、作業所などの障がい者支援施設
- (4) 災害時に利用できる施設
- (5) 文化、生涯学習、スポーツ活動に利用できる施設
- (6) 行政サービスの窓口
- (7) 商業施設
- (8) 公園
- (9) 現状のままで良い
- (10) その他（自由記述）

※(10)その他に○をつけた方はこちらに記述してください

問 21：学校施設に前の設問で挙げた施設等が併設・隣接された場合、どのような配慮が必要になると思いますか。それぞれの項目で最も当てはまる項目1つに○をつけてください。

	とても重要である	まあ重要である	あまり重要でない	全く重要でない
(1)	学習活動に集中できるようにする			
(2)	事故防止の対策			
(3)	事故が起きた時に責任の所在を明確にするルール			
(4)	光熱水費などの費用負担のルール			
(5)	その他（自由記述）			

※(5)その他に○をつけた方はこちらに記述してください

問22：学校施設と地域のつながりについて、どのように考えますか。当てはまるもの3つまで○をつけてください。

- (1) 体育館や校庭などのスポーツ・レクリエーション施設・設備を充実させ、地域の人も利用できるようにする
- (2) 地域の人が集会・研修などができるスペースを学校内に用意し、地域の人と児童・生徒が交流する機会を持てるようにする
- (3) 図書室の図書や資料を充実させ、地域の人も利用できるようにする
- (4) 音楽室・家庭科室などの特別教室を、空いている時間は地域の人も利用できるようにする
- (5) 安全面などを考慮すると、学校施設と地域のつながりを求める必要はない
- (6) その他（自由記述）

※(6)その他に○をつけた方はこちらに記述してください

問23：本市の「新しい学校づくり」に対するご意見やご要望があれば、ご記入ください。（自由記述）

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

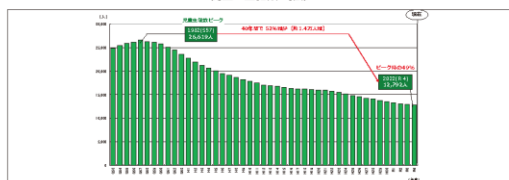
【本市の児童・生徒数について】

小田原市立学校全体の児童・生徒数の推移は、昭和57年度の26,619人をピークに減少傾向が続いており、令和4年度では、12,792人とピーク時の約5割まで減少しています。

また、令和4年度時点の各学校の学級数は、通常学級数が12学級未満の学校が小学校11校（小規模特認校である片瀬小含む）、中学校5校の計16校となっています。

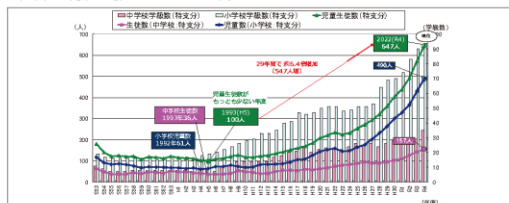
※文部科学省が特認した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」によると、学級数については小中学校ともに「12学級以上18学級以下」が標準とされています。

<児童・生徒数の推移>



<支援を要する児童・生徒数の推移>

特別支援学級に在籍する児童・生徒数は年々増加しており、最も少なかった平成5年度と比較して、令和4年度は6倍以上になっています。



<各学校の通常学級数（令和4年度）>

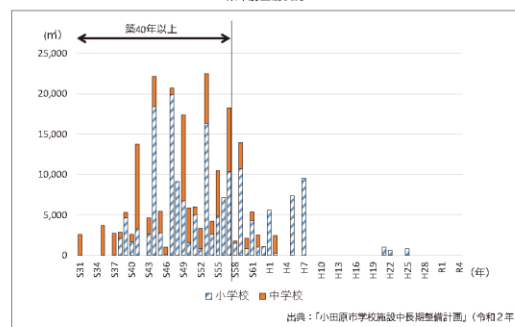
学級数	小学校	中学校
18学級以上	三の丸 豊川	
12～17学級	足柄 芦子 富水 東富水 頼徳 桜井 下府中 矢作 酒匂 國府津 千代 富士見	白山 泉 城北 鴨宮 酒匂 千代
7～11学級	久野 町田 大塚 下中	城山 白鷲 國府津 橋
6学級以下	山王 斯玉 早川 下曾我 曾我 片瀬 前羽	城南

【本市の学校施設の老朽化について】

本市の学校施設整備は、児童・生徒数が増加していた昭和43年から昭和62年の20年間に大規模を整備している一方、平成10年以降はほとんど新規整備を行っていません。

下の表は、校舎のうち、最も古い建築年度を基準とし、築年数別（10年単位）にグルーピングした際の施設数一覧です。これによると、小学校5校は築40年未満ですが、残りの31校は既に築40年を経過し、老朽化が進行していることが分かります。

<築年別整備状況>



<学校築年の築年別一覧表>

築40年未満	【小学校】三の丸 大塚 下曾我 前羽 富主見
築40～49年	【小学校】久野 下府中 片瀬 曾我 下中 報徳 豊川 【中学校】千代 國府津 酒匂※ 城北
築50～59年	【小学校】新玉 足柄 芦子 早川※ 山王※ 富水 町田 桜井 千代 國府津 酒匂 東富水 矢作
築60年超	【中学校】城山 城南 泉 橋 【中学校】白鷲※ 白山 鴨宮

※を付した学校施設は、洪水浸水想定区域（河川浸食）（早川川）、津波災害区域（山王小、白鷲中、酒匂中）となっている